

## 開講科目表

授業回数…◎＝週2回、○＝週1回、●＝週1回・2時限連続を表しています。

DP及び学修成果の項目については、「英語科卒業認定・学位授与の方針と開講科目との関連」(履修要覧P.55)及び「英語科卒業認定・学位授与の方針及び学修成果獲得の観点」(履修要覧P.64～66)を参照してください。

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選択	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
英語必修科目										講義内容(シラバス) → P.1～P.79	
ENG101	英語Ⅰ	2			◎		1	永野、平野、神谷、Thomas、M. Lupas	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-①
ENG102	英語Ⅱ	2				◎	1	神谷、Thomas、O. Ilina、P. McQuilling、M. Wilkinson	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-①
ENG201	英語Ⅲ	2			◎		2	R. Burton、O. Ilina、岩崎、O. Massoud、P. McQuilling、M. Wilkinson、J. Zhang	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-①
ENG202	英語Ⅳ	2				◎	2	R. Burton、G. Fredde、岩崎、O. Massoud、M. Wilkinson、J. Zhang	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-①
ENG111	TOEIC対策講座Ⅰ	1				○	1	C. Oliver、神谷、Thomas、M. Lupas	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-②
ENG112	TOEIC対策講座Ⅱ	1				○	1	O. Ilina、P. McQuilling、J. Zhang	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-②
英語選択必修科目(英語スキルズ)										講義内容(シラバス) → P.80～P.123	
ENG121	基礎英語スキルズ(生活の英語)	2			◎		1・2	O. Ilina	[人]25名	3	3-③
ENG123	基礎英語スキルズ(ライティング・文法)	2			◎		1・2	J. Zhang	[人]25名	3	3-③
ENG124	基礎英語スキルズ(リーディング・語彙)	2			◎		1・2	J. Zhang	[人]25名	3	3-③
ENG125	基礎英語スキルズ(旅行の英語)	2			◎		1・2	O. Massoud	[人]25名	3	3-③
ENG150	標準英語スキルズ(職場の英語)	2			◎		1・2	狩野	[人]25名	3	3-③
ENG160	標準英語スキルズ(メディアの英語)	2			◎		1・2	M. Lupas	[人]25名	3	3-③
ENG159	標準英語スキルズ(パブリックスピーキング)	2			◎		1・2	R. Burton	[人]25名	3	3-③
ENG158	標準英語スキルズ(ディスカッション)	2			◎		1・2	O. Massoud	[人]25名	3	3-③
ENG162	標準英語スキルズ(ライティング・文法)	2			◎		1・2	J. Zhang	[人]25名	3	3-③
ENG163	標準英語スキルズ(リーディング・語彙)	2			◎		1・2	O. Massoud	[人]25名	3	3-③
ENG161	標準英語スキルズ(編入対策)	2			◎		1・2	岩崎	[人]25名	3	3-③
ENG164	標準英語スキルズ(アメリカの文化と社会)	2			◎		1・2	M. Wilkinson	[人]25名	3	3-③
ENG166	標準英語スキルズ(ホスピタリティの英語)	2			◎		1・2	G. Fredde	[人]25名	3	3-③
ENG167	標準英語スキルズ(日本の文化)	2			◎		1・2	宮崎	[人]25名	3	3-③

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
ENG182	準上級英語スキルズ (TOEICスピーキング・ライティング対策)		2		◎		1・2	P. McQuilling	[人]25名	3	3-②, 3-③
ENG183	準上級英語スキルズ (多読速読)		2		◎		1・2	M. Lupas	[人]25名	3	3-③
ENG184	準上級英語スキルズ (アカデミックライティング)		2		◎		1・2	R. Burton	[人]25名	3	3-③
ENG185	準上級英語スキルズ (翻訳演習)		2		◎		1・2	飯田	[人]25名	3	3-③
ENG188	準上級英語 アカデミックスキルズ (諸学問分野)		2		◎		1・2	C. Oliver	[人]25名	3	3-③
ENG225	上級英語スキルズ (編入対策)		2		◎		1・2	平野	[人]25名	3	3-③
ENG226	上級英語スキルズ (TOEICスピーキング・ライティング対策)		2		◎		1・2	O. Massoud	[人]25名	3	3-②, 3-③
ENG229	上級英語スキルズ (SDGs)		2		◎		1・2	G. Freddes	[人]25名	3	3-③
教養必修科目										講義内容 (シラバス) → P. 124 ~ P. 127	
SCH100	人間学 I	2			○		1	丹木、小林(宏)、 島村	・クラス指定 ・P. 61(7)「履修上の 注意」参照	1, 2	1-①, 2-①
SCH100	人間学 I (再)	2			○		1	丹木	・クラス指定 ・P. 61(7)「履修上の 注意」参照 ・「人間学 I」の評価 が「F(不合格)」の学 生に限り、履修が義 務付けられます。	1, 2	1-①, 2-①
教養選択科目										講義内容 (シラバス) → P. 128 ~ P. 203	
SCH101	人間学 II		2		○		1・2	小林(宏)		1, 2	1-①, 2-①
HST201	歴史学 A		2		○		1・2	森下		2	2-①
HST202	歴史学 B		2		○		1・2	森下		2	2-①
PHL203	哲学 A		2		○	○	1・2	丹木		2	2-①
PHL204	哲学 B		2		○		1・2	(春) 丹木 (秋) 休講		2	2-①
REL201	宗教学 A		2		○	○	1・2	小林(宏)		1, 2	1-①, 2-①
REL202	宗教学 B		2		○		1・2	(春) 小林(宏) (秋) 休講		1, 2	1-①, 2-①
MUS201	音楽 A		2		○		1・2	北村		2	2-①
MUS202	音楽 B		2		○		1・2	北村		2	2-①
SOC201	社会学 A		2		○	○	1・2	李		2	2-①
SOC202	社会学 B		2		○	○	1・2	李		2	2-①
LAW211	日本国憲法 A		2		○		1・2	牧		2	2-①
LAW212	日本国憲法 B		2		○		1・2	牧		2	2-①

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
LAW201	法学A			2	○		1・2	牧		2	2-①
LAW202	法学B			2		○	1・2	牧		2	2-①
EDU201	教育学A			2	○	○	1・2	(春) 榎村 (秋) 杉村		2	2-①
EDU202	教育学B			2	○	○	1・2	(春) 杉村 (秋) 黒田		2, 5	2-①, 5-①
ECN201	経済学A			2	○		1・2	孫		2	2-①
ECN202	経済学B			2		○	1・2	孫		2	2-①
BUS201	経営学A			2	○		1・2	杉山		2	2-①
BUS202	経営学B			2		○	1・2	杉山		2	2-①
SWF201	社会福祉入門A			2	○		1・2	西牧		2	2-①
SWF202	社会福祉入門B			2		○	1・2	西牧		2	2-①
JRN202	マスメディア論A			2	○	○	1・2	吉武		2	2-①
JRN203	マスメディア論B			2	○	○	1・2	吉武		2	2-①
COM101	基礎コンピューター演習			2	○	○	1・2	(春) 坂本 (秋) 津垣	[人]各18名	2	2-②
MTH201	数学A			2		○	1・2	津垣		2	2-①
MTH202	数学B			2		○	1・2	津垣		2	2-①
PSY201	心理学A			2	○	○	1・2	(春) 眞田 (秋) 佐藤		2	2-①
PSY202	心理学B			2	○	○	1・2	(春) 眞田 (秋) 佐藤		2	2-①
PED100	体育理論 (ウエルネスと身体)			2	○	○	1・2	柳田		2	2-③
PED113	体育A			1	○	○	1・2	若松	[人]各20名	2	2-③
PED114	体育B			1	○	○	1・2	若松	[人]各20名	2	2-③
基礎選択科目（異文化理解領域）										講義内容（シラバス）→ P. 204～P. 207	
REL210	キリスト教文化入門			4		◎	1・2	小林(宏)（輪講）		1, 4	1-①, 4-②
IDS210	異文化間コミュニケーション			4	◎		1・2	C. Oliver		3, 4	3-④, 4-②
基礎選択科目（英米文学研究領域）										講義内容（シラバス）→ P. 208～P. 209	
LIT201	英文学概論			4	◎	◎	1・2	飯田		4	4-②
基礎選択科目（言語研究領域）										講義内容（シラバス）→ P. 210～P. 213	
LNG200	言語学概論			4	◎	◎	1・2	(春) 近藤 (秋) 神谷		4	4-②
基礎選択科目（言語教育領域）										講義内容（シラバス）→ P. 214～P. 215	
EDU205	児童英語教育概説			2	○	○	1・2	狩野		4, 5	4-②, 5-②

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選択	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
基礎選択科目										講義内容（シラバス）→ P. 216～P. 243	
GMN101	ドイツ語Ⅰ		2	◎	◎	1・2	工藤	[人]各30名 PP. 61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①	
GMN102	ドイツ語Ⅱ		2	◎		1・2	工藤	[人]30名 ・「ドイツ語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.60(4)、PP.61-62(12) 「履修上の注意」参照	4	4-①	
FRN101	フランス語Ⅰ		2	◎	◎	1・2	渡邊	[人]各30名 PP. 61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①	
FRN102	フランス語Ⅱ		2	◎		1・2	渡邊	[人]30名 ・「フランス語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.60(4)、PP.61-62(12) 「履修上の注意」参照	4	4-①	
SPN101	スペイン語Ⅰ		2	◎	◎	1・2		[人]各30名 PP. 61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①	
SPN102	スペイン語Ⅱ		2	◎		1・2		[人]30名 ・「スペイン語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.60(4)、PP.61-62(12) 「履修上の注意」参照	4	4-①	
CHN101	中国語Ⅰ		2	◎	◎	1・2	廣重	[人]各30名 PP. 61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①	
CHN102	中国語Ⅱ		2	◎		1・2	廣重	[人]30名 ・「中国語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.60(4)、PP.61-62(12) 「履修上の注意」参照	4	4-①	
KOR101	韓国語Ⅰ		2	◎	◎	1・2	金	[人]各30名 PP. 61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①	
KOR102	韓国語Ⅱ		2	◎		1・2	金	[人]30名 ・「韓国語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.60(4)、PP.61-62(12) 「履修上の注意」参照	4	4-①	
JPN250	日本語表現法		2	○	○	1・2	鷲見	[人]各20名	4	4-①	
SEF200	キャリアプランニング		2		○	1・2	森下（輪講）	同窓会寄附講座	4	4-①	
SAC200	留学準備A		1	○		1・2	狩野		3, 4	3-④, 4-①	
SAC201	留学準備B		1		○	1・2	杉村		3, 4	3-④, 4-①	
専門必修科目										講義内容（シラバス）→ P. 244～P. 323	
SES100	基礎ゼミナール	2			○	1	丹木、森下、宮崎、杉村、小林(宏)	・クラス指定 ・P. 61(7)「履修上の注意」参照	2	2-④	

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
SES100	基礎ゼミナール(再)	2				○	1	森下	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照 ・「基礎ゼミナール」の評価が「F(不合格)」の学生に限り、履修が義務付けられます。	2	2-④
SES150	プレ・ゼミナール(永野)	2				○	1	永野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P.61(7)「履修上の注意」参照</li> <li>・原則として2年次に履修する「ゼミナールⅠ」・「ゼミナールⅡ」担当教員と同一であること。但し、教員のサバティカルにより同一教員が履修できない場合がある。詳細は「ゼミナール説明会」(6月実施)で説明する。</li> </ul>	4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(近藤)	2				○	1	近藤		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(丹木)	2				○	1	丹木		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(森下)	2				○	1	森下		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(宮崎)	2				○	1	宮崎		4,5	4-③,5-①
SES150	プレ・ゼミナール(狩野)	2				○	1	狩野		4,5	4-③,5-②
SES150	プレ・ゼミナール(Oliver)	2				○	1	C.Oliver		3,4	3-④,4-③
SES150	プレ・ゼミナール(杉村)	2				○	1	杉村		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(神谷)	2				○	1	神谷		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(小林)	2				○	1	小林(宏)		1,4	1-①,4-③
SES150	プレ・ゼミナール(Thomas)	2				○	1	Thomas		3,4	3-④,4-③
SES150	プレ・ゼミナール(Lupas)	2				○	1	M.Lupas		3,4	3-④,4-③
SES200	ゼミナールⅠ(永野)	2			○		2	永野		<ul style="list-style-type: none"> <li>・P.61(7)「履修上の注意」参照</li> <li>・原則として、「ゼミナールⅠ」と「ゼミナールⅡ」は同一教員の担当科目を履修する。</li> </ul>	4
SES200	ゼミナールⅠ(平野)	2			○		2	平野	4		4-④
SES200	ゼミナールⅠ(近藤)	2			○		2	近藤	4		4-④
SES200	ゼミナールⅠ(丹木)	2			○		2	丹木	4		4-④
SES200	ゼミナールⅠ(森下)	2			○		2	森下	4		4-④
SES200	ゼミナールⅠ(宮崎)	2			○		2	宮崎	4,5		4-④,5-①
SES200	ゼミナールⅠ(狩野)	2			○		2	狩野	4,5		4-④,5-②
SES200	ゼミナールⅠ(Oliver)	2			○		2	C.Oliver	3,4		3-④,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(杉村)	2			○		2	杉村	4		4-④
SES200	ゼミナールⅠ(神谷)	2			○		2	神谷	4		4-④
SES200	ゼミナールⅠ(小林)	2			○		2	小林(宏)	1,4		1-①,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(Thomas)	2			○		2	Thomas	3,4		3-④,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(Lupas)	2			○		2	M.Lupas	3,4		3-④,4-④

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選択	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
SES300	ゼミナールⅡ (永野)	2				○	2	永野	・ P. 61(7)「履修上の注意」参照 ・ 原則として、「ゼミナールⅠ」と「ゼミナールⅡ」は同一教員の担当科目を履修する。	4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (平野)	2				○	2	平野		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (近藤)	2				○	2	近藤		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (丹木)	2				○	2	丹木		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (森下)	2				○	2	森下		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (宮崎)	2				○	2	宮崎		4, 5	4-④, 5-①
SES300	ゼミナールⅡ (狩野)	2				○	2	狩野		4, 5	4-④, 5-②
SES300	ゼミナールⅡ (Oliver)	2				○	2	C. Oliver		3, 4	3-④, 4-④
SES300	ゼミナールⅡ (杉村)	2				○	2	杉村		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (神谷)	2				○	2	神谷		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (小林)	2				○	2	小林(宏)		1, 4	1-①, 4-④
SES300	ゼミナールⅡ (Thomas)	2				○	2	Thomas		3, 4	3-④, 4-④
SES300	ゼミナールⅡ (Lupas)	2				○	2	M. Lupas		3, 4	3-④, 4-④
専門選択科目 (異文化理解領域)					講義内容 (シラバス) → P. 324 ~ P. 341						
HST310	東洋研究			4	◎		1・2	玉置		4	4-⑤
HST302	西洋研究			4			1・2	2024年度休講	隔年開講	4	4-⑤
JPN311	日本文化			4	◎		1・2	森下	隔年開講	4	4-⑤
HST301	英米史			4	◎		1・2	森下	隔年開講	4	4-⑤
HST300	比較社会史			4			1・2	2024年度休講	隔年開講	4	4-⑤
INT301	国際関係論			4	◎	◎	1・2	大木		4	4-⑤
ANT300	文化人類学			4		◎	1・2	C. Oliver		3, 4	3-④, 4-⑤
ART300	現代美術			4	◎		1・2	G. Fredde		3, 4	3-④, 4-⑤
EDU302	比較・国際教育学			4	◎		1・2	杉村		4	4-⑤
PHL310	倫理学			4		◎	1・2	丹木		1, 4	1-①, 4-⑤
SOC301	平和と開発			4		◎	1・2	Thomas		3, 4	3-④, 4-⑤
専門選択科目 (英米文学研究領域)					講義内容 (シラバス) → P. 342 ~ P. 347						
LIT310	英詩研究			4			1・2	2024年度休講	隔年開講	4	4-⑤
LIT320	演劇研究			4		◎	1・2	飯田	隔年開講	4	4-⑤
LIT321	小説研究			4		◎	1・2	永野		4	4-⑤
LIT322	映画と文学			4		◎	1・2	飯田		4	4-⑤

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
専門選択科目（言語研究領域）										講義内容（シラバス）→ P. 348～P. 355	
LNG310	社会言語学			4	◎		1・2	神谷		4	4-⑤
LNG305	音声学			4	◎		1・2	野口		4	4-⑤
LNG330	日本語学			2	○		1・2	鷺見		4	4-⑤
LNG302	語用論			4	◎		1・2	近藤		4	4-⑤
専門選択科目（言語教育領域）										講義内容（シラバス）→ P. 356～P. 375	
LNG320	バイリンガル教育			2	○		1・2	宮崎		4, 5	4-⑤, 5-①
EDU310	初等教育			4	◎		1・2	杉村		4	4-⑤
EDU300	児童英語教育演習A			4	●		2	狩野	[人]各25名 ・「児童英語教育概説」、 「児童英語指導者養成講座」、 「第二言語習得」、「リテラシーと多文化教育」のうち、いずれかの科目の既修者に限る ・P. 60(4)「履修上の注意」参照	4, 5	4-⑤, 5-②
EDU301	児童英語教育演習B			4	●		1・2	狩野		4, 5	4-⑤, 5-②
SLE201	サービスマスター入門講座			1	○	○	1・2	宮崎		4, 5	4-⑤, 5-①, 5-②
SLE301	サービスマスター（小中学校日本語支援A）			3	◎		2	鷺見	[人]各20名 ・「サービスマスター入門講座」既修者に限る ・P. 60(4)、P. 62(14)「履修上の注意」参照	4, 5	4-⑤, 5-①
SLE302	サービスマスター（小中学校日本語支援B）			3	◎		1・2	宮崎		4, 5	4-⑤, 5-①
SLE303	サービスマスター（地域日本語支援A）			3	◎		2	宮崎		4, 5	4-⑤, 5-①
SLE304	サービスマスター（地域日本語支援B）			3	◎		1・2	鷺見		4, 5	4-⑤, 5-①
EDU322	リテラシーと多文化教育			4	◎		1・2	M. Lupas		3, 4	3-④, 4-⑤
専門選択科目（その他）											
SES399	インデペンデント・スタディ			2			1・2	担当教員	詳細はP. 62「履修上の注意」参照	3, 4	3-④, 4-⑤
SAC300	海外短期語学講座			2			1・2	短期留学制度	詳細はP. 43「単位認定」参照	3	3-④
SAC301	韓国スタディツアー			2			1・2	スタディツアー	詳細はP. 44「単位認定」参照	3	3-④





## 上智大学短期大学部の必修英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

## 1. 目標 Goals

- 「他者のために、他者とともに」という本学の精神を持つ責任ある地球市民となるために必要な様々な問題について理解を深める
- 複眼的かつ分析的に物事を考える力をつける
- 他者の考えを理解し、自分の考えを効果的に表現する英語力をつける
- 自律した英語学習者となるための知識とスキルを身につける

## 2. 内容 Contents

## ◆英語Ⅰ 他者と共に生きる：人とのつながりと人生の意味を探究する

English I. Living with others: Exploring relationships and life values

英語Ⅰでは自分自身、身近な他者との関係、人生設計などに関する内容を扱います。

## ◆英語Ⅱ 異文化との遭遇：他者を理解し尊重する

English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others

英語Ⅱでは世界の様々な国の多様な文化について扱います。

## ◆英語Ⅲ 日本における社会問題：より良いコミュニティーを目指して

English III. Social issues in Japan: Toward a better community

英語Ⅲでは地域社会や日本全体にかかわる問題を扱います。それらの問題は必ずしも日本特有のものではないかもしれませんが、日本でどのように問題が顕在化し捉えられているかに焦点を当てます。

## ◆英語Ⅳ 日本と世界：国際社会で生きる

English IV. Japan and the world: Living in an international community

英語Ⅳでは世界が直面している重要な問題について扱います。必ずしも全ての問題が日本と大きな関係があるとは限りませんが、世界の重要な問題について日本と日本人がどのような役割を果たすことができるのかについて考えます。

科目名	ENG101: 英語 I			担当教員 永野 良博, 平野 幸治, 神谷 雅仁, Thomas, M. Lupas	
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1年		
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<b>English I. Living with others: Exploring relationships and life values</b> 英語 I 他者と共に生きる：人とのつながりと人生の意味を探究する				
	<p>This course will cover a variety of topics related to individuals, their direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English. Examples of topics that might be included:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• family, friends, interpersonal relationships;</li> <li>• love, marriage, children;</li> <li>• growing up, growing older, growing old;</li> <li>• school, work, independence, lifestyle changes;</li> <li>• illness, caring for others;</li> <li>• service learning;</li> <li>• ethical challenges faced in life;</li> <li>• life goals, aspirations, dreams;</li> <li>• the value of life, the meaning of death.</li> </ul>				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>• For students to acquire critical thinking skills</li> <li>• For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>• For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).				
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
課題等に対する フィードバック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
準備学修 の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG102: 英語Ⅱ			担当教員	神谷 雅仁, Thomas, O. Ilina, P. McQuilling, M. Wilkinson
開講期	秋	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1年		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<p><b>English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others</b> 英語Ⅱ 異文化との遭遇：他者を理解し尊重する</p> <p>In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English. Examples of topics that might be included:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• cultural traditions, myths, folklore;</li> <li>• food, clothing, housing, daily life;</li> <li>• holidays, celebrations, rituals;</li> <li>• mass media, media language, media images;</li> <li>• world religions, religious beliefs and customs;</li> <li>• stereotypes, ethnocentrism;</li> <li>• art, literature, music, popular culture;</li> <li>• cultural identity, ethnic identity, national identity.</li> <li>• humor in different countries;</li> </ul>				
達成目標(授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>• For students to acquire critical thinking skills</li> <li>• For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>• For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標(学修成果)	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).				
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
課題等に対するフィードバック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均45分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG201: 英語Ⅲ			担当教員	R. Burton, O. Ilina, 岩崎 明子, O. Massoud, P. McQuilling, M. Wilkinson, J. Zhang
開講期	春	分類	必修		
単 位	2	標準受講年次	2年		
DP 及び 学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授 業 の 概 要	<b>English III. Social issues in Japan: Toward a better community</b> 英語Ⅲ 日本における社会問題：より良いコミュニティを目指して				
	<p>In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan. Examples of topics that might be included:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Japan's aging population;</li> <li>• gender discrimination;</li> <li>• crime, youth crime;</li> <li>• homelessness;</li> <li>• Japan's high suicide rate;</li> <li>• victims of natural disasters;</li> <li>• depopulation of the countryside;</li> <li>• child abuse, elder abuse, animal abuse;</li> <li>• volunteerism.</li> </ul>				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>• For students to acquire critical thinking skills</li> <li>• For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>• For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).				
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
課題等に対する フィード バック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
準備学修 の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG202: 英語IV			担当教員	R. Burton, G. Fredde, 岩崎 明子, O. Massoud, M. Wilkinson, J. Zhang
開講期	秋	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	2年		
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<b>English IV. Japan and the world: Living in an international community</b> 英語IV 日本と世界：国際社会で生きる				
	<p>This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues. Examples of topics that might be included:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• human rights, animal rights;</li> <li>• immigration, refugees;</li> <li>• religious freedom, religious suppression;</li> <li>• environmental destruction, environmental activism;</li> <li>• NGOs, NPOs, JICA, the UN;</li> <li>• international conflicts, terrorism, war, peace;</li> <li>• overpopulation;</li> <li>• famine, poverty;</li> <li>• child labor;</li> <li>• AIDS.</li> </ul>				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>• For students to acquire critical thinking skills</li> <li>• For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>• For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.				
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
課題等に対するフィードバック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>
その他特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG101: 英語Ⅰ (1)				担当教員	M. Lupas	
開講期	春	開講時限	火金3限		研究室	4206	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English I. Living with others: Exploring relationships and life values</b> This course will cover a variety of topics related to individuals, their direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this class, students will have done large amounts of reading which is correlated to improved language skills; they will have learned vocabulary and grammar related to different life topics and used that vocabulary and grammar in written assignments; they will have used the vocabulary and grammar related to life topics in various in-class speaking activities and presentations in order to gain confidence speaking in English.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	Participation: taking part in various speaking activities during class; Homework assignments: completing unit review worksheets using the grammar and vocabulary learned in each unit and submitting them on time (15%) and reading word count (15%) as follows 75,000 words or more = 15 points, 50,000 words = 10 points, 25,000 = 5 points; Assessment: 5 presentations, 4 paragraphs, and 2 essays evaluated with the rubric included in <i>English Essentials</i> ; Independent learning: plans and results are sent on time as formal e-mails to the teacher						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course	Warm-up, lecture, pair work	Write your IL plan and send it as a formal email to the teacher
2	Topic 1 Friendship: speaking activities	Warm-up, lecture, pair work	Read in Xreading 3500 words or more
3	Topic 1 Friendship: reading activities and presentation skills	Warm-up, lecture, pair work	Prepare for short presentation and do textbook p. 16
4	Topic 1 Friendship: short presentations	Warm-up, lecture, pair work, presentation	Write the unit 1 worksheet
5	Topic 2 Technology in your life: speaking activities	Warm-up, lecture, pair work	Read in Xreading 3500 words or more



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Topic 2 Technology in your life: reading activities and presentation skills	Warm-up, lecture, pair work	Send IL email to the teacher; Do textbook p. 24
7	Topic 2 Technology in your life: short presentations	Warm-up, lecture, pair work, presentation	Write the unit 2 worksheet
8	Topic 3 Study Abroad: speaking activities	Warm-up, lecture, pair work	Read in Xreading 3500 words or more
9	Topic 3 Study Abroad: reading activities and presentation skills	Warm-up, lecture, pair work	Prepare for short presentation and do textbook p. 32
10	Topic 3 Study Abroad: short presentations	Warm-up, lecture, pair work, presentation	Write the unit 3 worksheet
11	Topic 4 Peace: speaking activities	Warm-up, lecture, pair work	Read in Xreading 3500 words or more
12	Topic 4 Peace: reading activities and presentation skills	Warm-up, lecture, pair work	Prepare for short presentation and do textbook p. 40
13	Topic 4 Peace: short presentations Introduce Essay 1	Warm-up, lecture, pair work, presentation	Write the unit 4 worksheet
14	Topic 5 Money: speaking activities	Warm-up, lecture, pair work	Send IL email to the teacher
15	Topic 5 Money: reading activities and presentation skills	Warm-up, lecture, pair work	Prepare for short presentation and do textbook p. 48
16	Topic 5 Money: short presentations Share Essay 1	Warm-up, lecture, pair work, presentation	Write the unit 5 worksheet
17	Topic 6 Technology and the future: speaking activities	Warm-up, lecture, pair work	Read in Xreading 3500 words or more
18	Topic 6 Technology and the future: reading activities and presentation skills	Warm-up, lecture, pair work	Prepare for short presentation and do textbook p. 56
19	Topic 6 Technology and the future: short presentations. Introduce Essay 2	Warm-up, lecture, pair work, presentation	Write the unit 6 worksheet
20	Topic 7 History: speaking activities	Warm-up, lecture, pair work	Read in Xreading 3500 words or more
21	Topic 7 History: reading activities and presentation skills	Warm-up, lecture, pair work	Prepare for short presentation and do textbook p. 64
22	Topic 7 History: short presentations	Warm-up, lecture, pair work, presentation	Write the unit 7 worksheet
23	Topic 8 Stories: speaking activities	Warm-up, lecture, pair work	Send IL email to the teacher
24	Topic 8 Stories: reading activities and presentation skills	Warm-up, lecture, pair work	Prepare for short presentation and do textbook p. 72
25	Topic 8 Stories: short presentations Share Essay 2	Warm-up, lecture, pair work, presentation	Write the unit 8 worksheet
26	IL presentations	Warm-up, lecture, pair work	Read in Xreading 3500 words or more
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Individual consultations	Warm-up, reading, talking with the teacher	Finish late homework
28	Reflecting on this class and feedback on late assignments	Warm-up, lecture, pair work	Finish reading for the semester word count

テキスト	Justin Harris and Paul Leeming. <i>Links</i> (XLearning Systems).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG101: 英語 I (2)				担当教員	Thomas	
開講期	春	開講時限	火金3限		研究室	4211	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English I. Living with others: Exploring relationships and life values</b> This course will cover a variety of topics related to individuals, their direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> <li>For students to acquire academic writing skills</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>express their ideas on ‘living with others’ and ‘life values’ in grammatically correct sentences</li> <li>do a short research on one’s own hometown and make PowerPoint presentation systematically</li> <li>write a paragraph and short essay academically</li> <li>deliver a short speech and engage in a discussion using simple English</li> </ul>						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	To be distributed at the first class.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭で行う／orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to syllabus and class policies Unit 1. Lesson A: Getting to know you.	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus. Do Ex. 3A & 4A on p. 3
2	Unit 1. Lesson B: Things in common, Lesson D: Making small talk, paragraph writing	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex. 3B & 3C on p. 5. Do Ex. 1C & 2A on p. 9
3	Unit 2. Lesson A: Leisure time. Lesson B: Music, paragraph writing	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1B & 2A on p. 13, Prepare for Quiz – Unit 1
4	Unit 2. Lesson C: I’m not really into it, Lesson D: Online forums, paragraph writing	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1D & 3B on p. 17. Do Ex. 1C & 2B on p. 19
5	Unit 3. Lesson A: Healthy living, Lesson B: Aches and pains	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1B & 3A on p. 23, Prepare for Quiz – Unit 2
6	Unit 3. Lesson C: Really? How come? Lesson D: Health advice	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1D & 2A on p. 27. Do Ex. 1C & 2B on p. 29



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4. Lesson A: Birthdays, Lesson B: Special days	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1D & 3B on p. 35. Prepare for Quiz – Unit 3
8	Unit 4. Lesson C: It depends, Lesson D: Traditions	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 2A & 3A on p. 39. Do Ex. 1C & 2A on p. 41
9	Unit 5. Lesson A: Childhood, Lesson B: Favorite classes	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 1C & 3B on p. 45. Prepare for Quiz – Unit 4
10	Unit 5. Lesson D: Teenage years. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 1C & 2 & 3 on p. 51. Prepare for presentation
11	Unit 6. Lesson A: Finding places. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 2A & 3B on p. 55. Prepare for Quiz – Unit 5
12	Unit 6. Lesson D: Exploring the city. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 1C on p. 61. Prepare for presentation
13	Unit 7. Lesson A: Getting ready. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 3B on p. 67. Prepare for presentation
14	Unit 7. Lesson D: Interesting places. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 2C on p. 73. Prepare for presentation
15	Unit 8. Lesson A: Spring cleaning. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, speaking, listening, pair work	Do Ex. 1C on p. 76. Prepare for presentation & Quiz- Unit 6 & 7
16	Unit 8. Lesson D: Home habits. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 2C on p. 83. Prepare for presentation
17	Unit 9. Lesson A: When things go wrong. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1C & 3B on p. 87. Prepare for presentation
18	Unit 9. Lesson D: Happy endings. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 2B on p. 93. Prepare for presentation
19	Unit 10. Lesson A: Keep in touch, Lesson B: On the phone	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1B & 2A on p. 99. Prepare for Quiz – Unit 8 & 9
20	Unit 10. Lesson C: What were you saying? Essay Writing	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1D & 3B. Read English Essentials Chapter 7
21	Unit 10. Lesson D: Texting. Essay Writing	Lecture, listening, pair work, speaking	Do Ex. 1C & D on p. 105.
22	Unit 11. Lesson A: Family traits. Essay Writing	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1C & 2A on p. 109. Prepare for Quiz – Unit 10
23	Unit 11. Lesson B: Features. Essay Writing	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1A, 2B & 3A on p. 111.
24	Unit 11. Lesson C: What’s his name? Essay Writing	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1D & 3A on p. 113.
25	Unit 11. Lesson D: Changing fashions.	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 2B on p. 115.
26	Unit 12. Lesson A: What’s next?	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1A & B on p. 118. Do Ex. 2A on p. 119.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Unit 12. Lesson B: Jobs, Lesson C: I’ll drive	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1B & 2B on p. 121. Do Ex. 1D & 3B on p. 123
28	Unit 12. Lesson D: In the future.	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1C & 2B on p. 125. submit final report
テキスト	Michael McCarthy, Jeanne McCarten, and Helen Sandiford. <i>Touchstone 2</i> (Cambridge).		
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>		

科目名	ENG101: 英語 I (3)				担当教員	Thomas	
開講期	春	開講時限	火金4限		研究室	4211	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English I. Living with others: Exploring relationships and life values</b> This course will cover a variety of topics related to individuals, their direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> <li>For students to acquire academic writing skills</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>express their ideas on ‘living with others’ and ‘life values’ in grammatically correct sentences</li> <li>do a short research on one’s own hometown and make PowerPoint presentation systematically</li> <li>write a paragraph and short essay academically</li> <li>deliver a short speech and engage in a discussion using simple English</li> </ul>						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	To be distributed at the first class.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭で行う／orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to syllabus and class policies Unit 1. Lesson A: Getting to know you.	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus. Do Ex. 3A & 4A on p. 3
2	Unit 1. Lesson B: Things in common, Lesson D: Making small talk, paragraph writing	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex. 3B & 3C on p. 5. Do Ex. 1C & 2A on p. 9
3	Unit 2. Lesson A: Leisure time. Lesson B: Music, paragraph writing	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1B & 2A on p. 13, Prepare for Quiz – Unit 1
4	Unit 2. Lesson C: I’m not really into it, Lesson D: Online forums, paragraph writing	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1D & 3B on p. 17. Do Ex. 1C & 2B on p. 19
5	Unit 3. Lesson A: Healthy living, Lesson B: Aches and pains	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1B & 3A on p. 23, Prepare for Quiz – Unit 2
6	Unit 3. Lesson C: Really? How come? Lesson D: Health advice	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1D & 2A on p. 27. Do Ex. 1C & 2B on p. 29

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4. Lesson A: Birthdays, Lesson B: Special days	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1D & 3B on p. 35. Prepare for Quiz – Unit 3
8	Unit 4. Lesson C: It depends, Lesson D: Traditions	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 2A & 3A on p. 39. Do Ex. 1C & 2A on p. 41
9	Unit 5. Lesson A: Childhood, Lesson B: Favorite classes	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 1C & 3B on p. 45. Prepare for Quiz – Unit 4
10	Unit 5. Lesson D: Teenage years. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 1C & 2 & 3 on p. 51. Prepare for presentation
11	Unit 6. Lesson A: Finding places. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 2A & 3B on p. 55. Prepare for Quiz – Unit 5
12	Unit 6. Lesson D: Exploring the city. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 1C on p. 61. Prepare for presentation
13	Unit 7. Lesson A: Getting ready. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 3B on p. 67. Prepare for presentation
14	Unit 7. Lesson D: Interesting places. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 2C on p. 73. Prepare for presentation
15	Unit 8. Lesson A: Spring cleaning. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, speaking, listening, pair work	Do Ex. 1C on p. 76. Prepare for presentation & Quiz- Unit 6 & 7
16	Unit 8. Lesson D: Home habits. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 2C on p. 83. Prepare for presentation
17	Unit 9. Lesson A: When things go wrong. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1C & 3B on p. 87. Prepare for presentation
18	Unit 9. Lesson D: Happy endings. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 2B on p. 93. Prepare for presentation
19	Unit 10. Lesson A: Keep in touch, Lesson B: On the phone	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1B & 2A on p. 99. Prepare for Quiz – Unit 8 & 9
20	Unit 10. Lesson C: What were you saying? Essay Writing	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1D & 3B. Read English Essentials Chapter 7
21	Unit 10. Lesson D: Texting. Essay Writing	Lecture, listening, pair work, speaking	Do Ex. 1C & D on p. 105.
22	Unit 11. Lesson A: Family traits. Essay Writing	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1C & 2A on p. 109. Prepare for Quiz – Unit 10
23	Unit 11. Lesson B: Features. Essay Writing	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1A, 2B & 3A on p. 111.
24	Unit 11. Lesson C: What’s his name? Essay Writing	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1D & 3A on p. 113.
25	Unit 11. Lesson D: Changing fashions.	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 2B on p. 115.
26	Unit 12. Lesson A: What’s next?	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1A & B on p. 118. Do Ex. 2A on p. 119.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Unit 12. Lesson B: Jobs, Lesson C: I’ll drive	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1B & 2B on p. 121. Do Ex. 1D & 3B on p. 123
28	Unit 12. Lesson D: In the future.	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1C & 2B on p. 125. submit final report
テキスト	Michael McCarthy, Jeanne McCarten and Helen Sandiford. <i>Touchstone 2</i> (Cambridge).		
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>		

科目名	ENG101: 英語Ⅰ (4)				担当教員	神谷 雅仁	
開講期	春	開講時限	月木3限		研究室	4215	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English I. Living with others: Exploring relationships and life values</b> This course will cover a variety of topics related to individuals, their direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	Dealing with various topics related to English I’s common theme, students will be able to improve their receptive skills including extensive and intensive reading through various assignments and exercises in the textbook and English articles from newspapers, and listening skills through various exercises in the textbook and interactions with the teacher and classmates. They will also be able to improve their productive skills including oral communication skills such as giving a speech and paragraph-writing skills. In addition, they will be able to build up their vocabulary through a TOEIC vocabulary book.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	To be distributed at the first class.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course Overview and how to study English	Lecture, reading, discussion, Q&A	Review the syllabus and check the class assignments.
2	Oral practice: talking about yourself and getting to know each other	Discussion, oral activities, Q&A	Prepare some questions to ask in class.
3	Course assignments to be explained Paragraph organization①: basic structure	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read class syllabus and Unit 6 of <i>English Essentials</i> .
4	Paragraph organization②: topic sentence and supporting sentences	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read class syllabus and Units 5 & 6 of <i>English Essentials</i> .
5	Paragraph organization③: writing paragraphs; vocab. quiz	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read Units 5 & 6 of <i>English Essentials</i> and do homework.
6	Unit 1: Roommates: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 1 of <i>New Connection 2</i> ; prepare WSR 1.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 13: Right and Wrong: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 13 of <i>New Connection 2</i> .
8	Unit 5: Close Ties: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 5 of <i>New Connection 2</i> .
9	Unit 4: Money Management: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 4 of <i>New Connection 2</i> .
10	Review of THEME① : Cover the units of THEME① that haven't been finished yet; quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 1, 13, 5, and 4 of <i>New Connection 2</i> .
11	Unit 11: Study Abroad: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 11 of <i>New Connection 2</i> .
12	Unit 14: Your Career Starts Now: practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 14 of <i>New Connection 2</i> .
13	Review of THEME② : Cover the units of THEME② that haven't been finished yet	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 11 and 14 of <i>New Connection 2</i> .
14	Unit 3: Get in Shape: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 3 of <i>New Connection 2</i> . prepare WSR 2.
15	Prep. for speech : talking about evaluation and outline, and reviewing speech organization, etc.	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read Units 2 and 5 of <i>English Essentials</i> .
16	Unit 10: Music to Our Ears: practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 10 of <i>New Connection 2</i> ; prep. for quiz.
17	Review of THEME③ : Cover the units of THEME③ that haven't been finished yet	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 3 and 10 of <i>New Connection 2</i> .
18	Speech to be given by all the students; comments and reflections	Deliver a speech, give feedback and evaluation	Write the outline; practice and rehearse for speech.
19	Unit 7: Animals in Danger: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 7 of <i>New Connection 2</i> .
20	Unit 12: Technology and You: practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 12 of <i>New Connection 2</i> .
21	Unit 2: Checking Out: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook; quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 2 of <i>New Connection 2</i> ; prep. for quiz.
22	Unit 9: Tune In: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 9 of <i>New Connection 2</i> .
23	Unit 6: Time to Celebrate: practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 6 of <i>New Connection 2</i> ; prepare WSR 3.
24	Book Report: a brief presentation about the book they read; peer review and discussion	Group work, in-class discussion, evaluation	Prepare to present what they read for Book Report.
25	Prep. for Final Presentation 1 (evaluation, outline, schedule, etc.); vocab. quiz	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read Units 2 & 5 of <i>English Essential</i> ; prep. for quiz.
26	Prep. for Final Presentation 2 (structure of a presentation to be reviewed; rehearsing)	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Write an outline for in-class group discussion.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final Presentation: GROUP 1. Deliver presentation and give feedback	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.
28	Final Presentation: GROUP 2. Deliver presentation and give feedback. Course review	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.

テキスト	①角山照彦, Andrey Dubinsky, David Edward Keane. <i>New Connection Book 2</i> (成美堂). ②ロバート ヒルキ他『新装版 TOEIC テスト スーパー英単語—5 人のエキスパートが選んだ 3000 語』(アルク)
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i> 福島範昌『英語が英語のままわかる本：頭の中に英語回路をつくる実践トレーニング』(The Japan Times)



科目名	ENG101: 英語 I (5)			担当教員	平野 幸治	
開講期	春	開講時限	火金3限		研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning					
授業の概要	<b>English I. Living with others: Exploring relationships and life values</b> This course will cover a variety of topics related to individuals, their direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.					
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>					
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students will be able to recognize and use key vocabulary and phrases from the textbook with correct pronunciation; understand and think critically about social and academic issues on relationships with family, friends and people in their community; express their opinions and deliver interesting and informative two-to-three-minute presentations; and be autonomous learners in setting their own independent learning goals.					
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).					
評価基準	Participation and performance (active participation in class activities, including discussions, group work, and oral presentations); Homework (timely completion of assignments, presentations, and independent learning reflection sheets); Testing and assessment: quizzes (correct answers demonstrating knowledge of course content using correct grammar and newly acquired vocabulary); presentations (well-organized and prepared; following the guidelines in <i>English Essentials</i> ); Independent learning (timely completion of three IL Plans with IL Reflections Sheets).					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Moodle で行う / Moodle</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>上記以外で行う Oxford University Press website</li> </ul>					
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course introduction; getting to know each other; introduce <i>Skills for Success</i> Online Study	Teacher's explanation, pair & group work	Review syllabus; prep self-introduction
2	Unit 1: Marketing; self-introductions; Independent learning guidelines	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 2-9, reading, vocab. & <i>Unit 1 Online</i>
3	Unit 1: Continue; finish self-introductions; introduce Natural English	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 10-18, reading, vocab. & <i>Unit 1 Online</i>
4	Unit 1: Continue; finish self-introductions; introduce Natural English	Discussion, pair & group work	Study pp. 19-25 & <i>English Essentials</i> pp. 6-9
5	Unit 2: Psychology; introduce Independent learning plan #1	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 26-34, reading, vocab. & <i>Unit 2 Online</i>
6	Unit 2: Continue; discuss Independent learning plan #1; practice Natural English	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 35-46, reading, vocab. & <i>Unit 2 Online</i>
7	Quiz #1 (Units 1, 2); Unit 2: Continue; discuss Independent learning Plan #1	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #1 & study pp. 47-49, reading. Write IL Plan #1

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 3: Social Psychology; reflections on Independent learning Plan #1	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 50-58, reading, vocab. & <i>Unit 3 Online</i>
9	Unit 3: Continue; return and go over Quiz #1; introduce public speaking & Presentation #1	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 59-65, reading, vocab. & <i>Unit 3 Online</i>
10	Unit 3: Continue; discuss Independent learning Plan #2; prepare Presentation #1	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 66-73 & <i>English Essentials</i> pp. 6-9
11	Unit 4: Technology; discuss Independent learning Plan #2; prepare Presentation #1	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 74-81 & <i>Unit 4 Online</i> . Write IL Plan #2
12	Unit 4: Continue; Presentation #1; reflections on Independent learning Plan #2	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 82-89 & <i>Unit 4 Online</i> & prep Presentation #1
13	Quiz #2 (Units 3, 4); Unit 4: Continue; reflections on Presentation #1	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study pp. 90-97, reading, vocab. & study for Quiz #2
14	Unit 5: Business: introduce public speaking & Presentation #2	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 98-105, reading, vocab. & <i>Unit 5 Online</i>
15	Unit 5: Continue; return Quiz #2 and go over results; prepare Presentation #2	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 106-113, reading, vocab. & <i>Unit 5 Online</i>
16	Unit 5: Continue; Presentation #2; discuss Independent learning Plan #3	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 114-121, reading, vocab. & prep Presentation #2
17	Unit 6: Brain Science; reflections on P #2; discuss Independent learning Plan #3	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 122-130 & <i>Unit 6 Online</i> & write IL Plan #3
18	Unit 6: Continue; introduce public speaking & Presentation #3; reflections on IL Plan #3	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 131-138, reading, vocab. & <i>Unit 5 Online</i>
19	Quiz #3 (Units 5, 6); Unit 6: Continue; prepare Presentation #3; discuss IL Plan #4	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study pp. 139-145, reading, vocab. & study for Quiz #3
20	Unit 7: Environmental Science; prepare P #3; discuss Independent learning Plan #4	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 146-154, reading, vocab. & <i>Unit 7 Online</i>
21	Unit 7: Continue; return Quiz #3 and go over results; Presentation #3	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 155-162 & <i>Unit 7 Online</i> & prep Presentation #3
22	Unit 7: Continue; reflections on Presentation #3; introduce public speaking & Presentation #4	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 163-169, reading, vocab. & <i>Unit 7 Online</i>
23	Unit 8: Public Health; discuss Independent learning Plan #4; prepare Presentation #4	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 170-178 & <i>Unit 8 Online</i> & write IL Plan #4
24	Unit 8: Continue; prepare Presentation #4; reflections on Independent learning Plan #4	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 179-186 & <i>Unit 8 Online</i>
25	Quiz #4 (Units 7, 8); prepare Presentation #4; discuss <i>English Essentials</i> for presentations	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study pp. 187-191 & <i>Unit 8 Online</i> & Study for Quiz #4
26	Unit 8: Continue; return Quiz #4 and go over results; Presentation #4	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 192-195 & prep Presentation #4
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Remaining presentations (if any); go over results revised & improved presentation (final)	Presentation, pair & group work, discussion	Prep Presentation #4; write IL Reflections & Final Report
28	Reflections on Presentation; return Final Report, go over results and recap of the semester	Discussion, pair & group work	Review textbook units and IL Plans & Reflections

テキスト	Joe McVeigh & Jennifer Bixby. <i>Skills for Success 2</i> (Oxford University Press).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG101: 英語Ⅰ (6)				担当教員	永野 良博	
開講期	春	開講時限	月木3限		研究室	4218	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English I. Living with others: Exploring relationships and life values</b> This course will cover a variety of topics related to individuals, their direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	This course expects students to increase vocabulary and gain grammar knowledge, to gain expressive skills in discussions, oral presentations, and Q&A, to understand paragraph writing and basic essay writing. Students will learn these skills as they deepen their understanding of English I topics. Also, students are expected to develop independent learning skills. The final goal is to write and present a discussion essay.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	Participation and performance: active and constructive involvement with conversation, discussion, and Q&A; presentation delivered with clarity of voice, eye-contact, good posture, appropriate voice inflection, readiness for Q&A, etc.. Homework assignments: essays showing significant thesis, solid structure, original thoughts, logical development, significant conclusion, etc.. Testing and assessment (Take-home exam): fully understanding vocabulary, grammar, reading, and writing skills covered in the main textbook. Independent learning: detailed study reports on the main textbook and books students choose.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course introduction. First Impressions: relationships, appearance, gender equality	Reading, listening, discussion	Read the main textbook pp.10-11
2	First Impressions: relationships, appearance, gender equality (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook pp.12-13
3	Learning presentation skills: loud and clear voice, voice inflection, eye contact, posture	Reading, reading aloud	Read English Essentials pp.19-25
4	Practicing presentation skills. First Impressions (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
5	Independent learning tasks and pronunciation practice	Lecture, Q&A	Start independent learning (special tasks)



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Getting ahead: education, relationships, culture	Reading, listening, discussion	Read the main textbook pp.22-23
7	Getting ahead: education, relationships, culture (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook pp.24-25
8	Getting ahead: education, relationships, culture (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
9	What are friends for?: friendship, relationship	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 6, pp.30-31
10	What are friends for?: friendship, relationship (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 6, pp.32-33
11	What are friends for?: friendship, relationship (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
12	Paragraph writing: topic sentence, supporting details, concluding sentence	Reading, writing	Read English Essentials pp.51-60
13	Your online past: technology, privacy	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 8, pp.38-39
14	Your online past: technology, privacy (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 8, pp.40-41
15	Take-home exam #1 Essay writing: introduction, body, conclusion	Testing, reading, writing	Prepare for a test, read English Essentials pp.61-70
16	Essay writing: time order, space order, cause and effect	Reading, writing	Read English Essentials pp.61-70 and read a handout
17	Essay writing: unity, coherence, discussion essay	Reading, writing	Read a handout
18	Taking care of father: family, aging, city life Return take-home exam #1 and go over results	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 9, pp.42-43
19	Taking care of father: family, aging, city life (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 9, pp.44-45
20	Taking care of father: family, aging, city life (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
21	My student life: education, lifestyle, future plans	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 10, pp.46-47
22	My student life: education, lifestyle, future plans (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 10, pp.48-49
23	My student life: education, lifestyle, future plans (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
24	Government control: government, social issues, Family	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 14, pp.62-65
25	Take-home exam #2. A mother's story: crime, punishment, compassion	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 20, pp.86-87
26	A mother's story: crime, punishment, compassion (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 20, pp.88-89
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final oral presentation: discussion essay	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
28	Final oral presentation: discussion essay Return take-home exam #2 and go over results	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation

テキスト	Richard R. Day, et al. <i>Impact Issues 2: Presenting Your Ideas in English</i> (Pearson Longman).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG102: 英語Ⅱ (1)				担当教員	Thomas	
開講期	秋	開講時限	火金3限		研究室	4211	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others</b> In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>• For students to acquire critical thinking skills</li> <li>• For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>• For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students should be able to (1) express their ideas critically and logically when writing, (2) listen to and understand others’ arguments and opinions during discussion, (3) separate facts from opinion while writing and speaking, (4) make a PowerPoint presentation introducing the culture of another country in English, (5) use appropriate grammar structures in written English to express themselves clearly, and (6) write well-structured paragraphs and essays.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	To be distributed at the first class.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う／orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Orientation to the course, explaining class policies. Unit 1. Lesson A: People in a hurry.	lecture, pair work, discussion	Read syllabus, Do Ex. 1B & D, 2A on pp. 2-3
2	Unit 1. Lesson B: Personality and character, Lesson C: He’s always wasting time.	lecture, pair work, listening	Do Ex. 1B & D on p. 4. Do Ex. 3A on p. 7
3	Unit 1. Lesson D: Is that a fact? Paragraph writing.	lecture, listening, pair work, pair work	Do Ex. 2A & B on p. 9. Read English Essentials Ch. 5
4	Unit 2. Lesson A: Hopes and dreams. Lesson B: Unusual experiences, Paragraph writing.	lecture, pair work, conversation practice	Do Ex. 1C on p. 12. Prepare for Quiz: Unit 1
5	Unit 2. Lesson C: I’ve heard good things, Lesson D: Travel blogs. Paragraph Writing	reading, listening, discussion	Do Ex. 1D & 3A & C on pp. 16-17. Do Ex. 2A & B on p. 19.
6	Unit 3. Lesson A: Human wonders, Lesson B: Natural wonders.	lecture, listening, pair work	Do Ex. 1B & C on p. 22. Prepare for Quiz: Unit 2
7	Unit 3. Lesson C: I had the best time, Lesson D: Is that a fact?	lecture, listening, pair work, pair work	Do Ex. 1D & 3A & B on p. 27. Do Ex. 1B & C on p. 29.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 4. Lesson A: Family gripes, Lesson B: Family memories.	lecture, pair work, student presentation	Do Ex. 1C, 2A & 3C on pp. 34-35. Prepare for Quiz: Unit 3
9	Unit 4. Lesson C: If you ask me, Lesson D: Family activities.	reading, listening, student presentation	Do Ex. 1D, 2A & 3A on p. 39. Do Ex. 1C & D & 2A.
10	Unit 5. Lesson A: Healthy food. Student presentation on culture.	listening, student presentation	Do Ex. 1C, 2A. Prepare for presentation. Quiz: Unit 4
11	Unit 5. Lesson D: The world's favorite snacks. Student presentation on culture.	lecture, listening, student presentation	Do Ex. 1C & 2B. Prepare for presentation
12	Unit 6. Lesson A: Making plans. Student presentation on culture.	pair work, student presentation	Do Ex. 1C & 3A on pp. 54-55. Prepare for presentation
13	Unit 6. Lesson B: Problems and solutions. Student presentation on culture.	reading, listening, student presentation	Do Ex. 1A, B & C on p. 56. Prepare for presentation
14	Unit 7. Lesson A: Circle of friends. Student presentation on culture.	listening, student presentation	Do Ex. 1C on p. 66. Prepare for presentation & Quiz: Unit 5 & 6
15	Unit 7. Lesson B: Dating. Student presentation on culture.	pair work, listening, student presentation	Do Ex. 1A, B & C on p. 68. Prepare for presentation
16	Unit 7. Lesson D: New friends, old friends. Student presentation on culture.	reading, listening, student presentation	Do Ex. 1C, 2B & C on p. 73. Prepare for presentation
17	Unit 8. Lesson A: Wishes. Student presentation on culture.	pair work, student presentation	Do Ex. 1C on p. 76. Prepare for presentation & Quiz: Unit 7
18	Unit 8. Lesson B: Life's little dilemmas. Student presentation on culture.	reading, listening, student presentation	Do Ex. 1B, C & 3A on pp. 78-79. Prepare for presentation
19	Unit 8. Lesson D: Any regrets? Student presentation on culture.	pair work, listening, student presentation	Do Ex. 1C & D on pp. 82-83. Prepare for presentation
20	Unit 9. Lesson A: Tech support, Lesson B: How things work.	listening, student presentation	Do Ex. 1C & 3A on pp. 86-87. Prepare for Quiz: Unit 8
21	Unit 9. Lesson C: On the other hand, Lesson D: Identity theft.	pair work, listening, student presentation	Do Ex. 3B. Do Ex. 1C
22	Unit 10. Lesson A: Catching up. Essay writing	reading, pair work, student presentation	Do Ex. 1C. Read Ch. 7 on English Essentials, Quiz: Unit 9
23	Unit 10. Lesson B: Movies. Essay writing	pair work, student presentation	Do Ex. 1C, 2 B & 3A on pp. 100-101
24	Unit 11. Lesson A: Speculating. Essay writing	listening, pair work, student presentation	Do Ex. 1C & 3A
25	Unit 11. Lesson D: Making an impression. Essay writing	pair work, student presentation	Do Ex. 1C & 2B
26	Unit 12. Lesson A: Local news	pair work, listening, student presentation	Do Ex. 1B, C & 2A on pp. 118-119
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Unit 12. Lesson C: Did you hear about...?	pair work, student presentation	Do Ex. 1D, 2A, 3A & B on pp. 122-123
28	Unit 12. Lesson D: Reporting the news.	pair work, listening, course recap	Do Ex. 1C on p. 125. Submit final report

テキスト	Michael McCarthy, Jeanne McCarten, and Helen Sandiford. <i>Touchstone 3</i> (Cambridge).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG102: 英語Ⅱ (2)			担当教員	神谷 雅仁		
開講期	秋	開講時限	月木4限		研究室	4215	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others</b> In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of "For Others, With Others"</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	Students will improve both their receptive skills including reading and listening skills, and productive skills such as speaking and writing skills with special focus on public speaking skills, as they learn about various cultural aspects of Japan and other countries. They will also build their vocabulary and understand not only sentence structures, but also paragraph / essay organizations, which will enhance their speaking and writing effectively. In the end, they will be able to become more competent users of English.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	To be distributed at the first class.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course Overview and how to study English	Lecture, reading, discussion, Q&A	Review the syllabus and check the class assignments.
2	Oral practice: talking about yourself and getting to know each other	Discussion, oral activities, Q&A	Prepare to talk about yourself by filling out an exercise sheet.
3	Course assignments to be explained Paragraph organization①: basic structure	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read class syllabus and Units 5 & 6 of <i>English Essentials</i> .
4	Paragraph organization②: topic sentence and supporting sentences	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read Units 5 & 6 of <i>English Essentials</i> and do homework.
5	Paragraph organization③: writing paragraphs; vocab. quiz	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read Units 5 & 6 of <i>English Essentials</i> ; prep. for quiz.
6	Unit 1: Roommates - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 1 of <i>New Connection 2</i> ; prepare WSR 1.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 6: Time to Celebrate - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 6 of <i>New Connection 2</i> .
8	Unit 13: Right and Wrong - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 13 of <i>New Connection 2</i> .
9	Review of units 1, 6, and 13	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 1, 6 and 13 of <i>New Connection 2</i> .
10	Unit 5: Close Ties - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 5 of <i>New Connection 2</i> ; prep. for quiz.
11	Unit 11: Study Abroad - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 11 of <i>New Connection 2</i> .
12	Review of units 5 and 11	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 5 and 11 of <i>New Connection 2</i> .
13	Unit 14: Your Career Starts Now - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 14 of <i>New Connection 2</i> .
14	Prep. for speech : talking about evaluation and outline, and reviewing speech organization, etc.	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read Units 2 and 5 of <i>English Essentials</i> .
15	Unit 8: A Fine Art - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 8 of <i>New Connection 2</i> .
16	Review of units 14 and 8; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 14 and 8 of <i>New Connection 2</i> ; prep. for quiz.
17	Speech to be given by all the students; comments and reflections	Deliver a speech, give feedback and evaluation	Write the outline; practice and rehearse for speech.
18	Unit 9: Tune In - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 9 of <i>New Connection 2</i> ; prepare WSR 2.
19	Unit 7: Animals in Danger - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 7 of <i>New Connection 2</i> .
20	Unit 4: Money Management - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 4 of <i>New Connection 2</i> ; Book Report.
21	Unit 2: Checking Out - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 2 of <i>New Connection 2</i> .
22	Unit 10: Music to Our Ears - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 10 of <i>New Connection 2</i> ; prep. for quiz.
23	Review of the textbook topics; writing practice using those topics covered in class	Lecture, group work, writing practice	Review all the topics in the textbook; prepare WSR 3.
24	Book Report: a brief presentation about the book they read; peer review and discussion	Group work, in-class discussion, evaluation	Prepare to present what they read for Book Report.
25	Prep. for Final Presentation 1 (evaluation, outline, schedule, etc.)	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read Units 2 & 5 of <i>English Essentials</i> .
26	Prep. for Final Presentation 2 (structure of a presentation to be reviewed; rehearsing); vocab.	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Write an outline for in-class group discussion; prep. for quiz.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final Presentation: deliver presentation and give feedback	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.
28	Course review: revisit the course themes & English learning	Lecture, discussion, and Q&A	Review the syllabus and course themes.

テキスト	①角山照彦, Andrey Dubinsky, David Edward Keane. <i>New Connection Book 2</i> (成美堂). ②ロバート ヒルキ他『新装版 TOEIC テスト スーパー英単語—5 人のエキスパートが選んだ 3000 語』(アルク)
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i> 福島範昌『英語が英語のままわかる本: 頭の中に英語回路をつくる実践トレーニング』(The Japan Times)



科目名	ENG102: 英語Ⅱ (3)				担当教員	M. Wilkinson	
開講期	秋	開講時限	月木4限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others</b> In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of the course students should have developed their knowledge and understanding of a number of different countries and cultures around the world. They should also be able to critically engage with different aspects of these cultures. This will involve class discussions in pairs and groups, as well as a final presentation. The course also aims to develop critical thinking, awareness of cultural differences, non-judgemental engagement with the opinions of others, self-reflection, and independent learning.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	<i>Participation:</i> Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. <i>Homework assignments:</i> Completing and submitting assignments by the deadline (Reading textbook and completing exercises). <i>Testing and assessment:</i> Final presentation (3 minutes)-fluency and paralanguage (body language, tone, eye contact, speed, loudness), content, including quality of PowerPoint slides, organization (introduction, transitions, conclusion), with bonus points for asking questions of peer presentations. <i>Independent learning:</i> Weekly journal (Impressions of different countries and contrasts to Japan)						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introductions, discuss course, On Board Chapter 1: Australia: Reading	Lecture, pair & group Discussions	Preview textbooks and prepare journal
2	On Board Chapter 1: Australia: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 1
3	Share journal, On Board Chapter 2: Indonesia: Reading	Lecture, pair & group Discussions	Review and preview vocabulary from textbook
4	On Board Chapter 2: Indonesia: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 2
5	Share journal, On Board Chapter 3: Singapore: Reading	Lecture, pair & group Discussions	Review and preview vocabulary from textbook

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	On Board Chapter 3: Singapore: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 3
7	Share journal, On Board Chapter 4: China: Reading	Lecture, pair & group Discussions	Review and preview vocabulary from textbook
8	On Board Chapter 4: China: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 4
9	Share journal, On Board Chapter 5: Argentina: Reading	Lecture, pair & group Discussions	Review and preview vocabulary from textbook
10	On Board Chapter 5: Argentina: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 5
11	Share journal, On Board Chapter 6: Mexico: Reading	Lecture, pair & group Discussions	Review and preview vocabulary from textbook
12	On Board Chapter 6: Mexico: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 6
13	Share journal, On Board Chapter 7: Germany: Reading	Lecture, pair & group Discussions	Review and preview vocabulary from textbook
14	On Board Chapter 7: Germany: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 7
15	Share journal, On Board Chapter 8: Finland: Reading, <i>English essentials</i> : Presentation	Lecture, pair & group Discussions	Review and preview vocabulary from textbook
16	On Board Chapter 8: Finland: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 8
17	Share journal, On Board Chapter 9: Poland: Reading	Lecture, pair & group Discussions	Review and preview vocabulary from textbook
18	On Board Chapter 9: Poland: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 9
19	Share journal, On Board Chapter 10: Spain: Reading, <i>English essentials</i> : Presentation	Lecture, pair & group Discussions	Review and preview vocabulary from textbook
20	On Board Chapter 10: Spain: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 10
21	Share journal, On Board Chapter 11: Greece: Reading, <i>English essentials</i> : Visuals	Lecture, pair & group Discussions	Review and preview vocabulary from textbook
22	On Board Chapter 11: Greece: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 11
23	Share journal, On Board Chapter 12: Kenya: Reading, <i>English essentials</i> : Visuals	Lecture, pair & group Discussions	Start preparing final presentation
24	On Board Chapter 12: Kenya: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, write journal 12
25	Share journal, On Board Chapter 13: Morocco: Reading	Lecture, pair & group Discussions	Prepare presentation
26	On Board Chapter 13: Morocco: Video & discussion questions	Lecture, pair & group Discussions	Finish exercises, review unit, finish preparing presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentations	Presenting, Q & A	Finish journals
28	Final presentations, check journals, feedback	Presenting, Q & A	Reflect on issues covered in class

テキスト	Scott Berlin and Megumi Kobayashi. <i>On board for more world adventures</i> (Kinseido).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG102: 英語Ⅱ (4)				担当教員	P. McQuilling	
開講期	秋	開講時限	火金3限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others</b> In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students will be able to use the key vocabulary they have learned to discuss a variety of social issues; express their ideas clearly and justify their reasons in group discussions; structure and organize written reports, speeches and presentations and deliver speeches and presentations effectively with consideration for delivery, content and visual aids.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	<b>Participation and performance:</b> active participation in class activities, worksheets will be evaluated for content and effort, discussions will be evaluated for content and contribution, presentations will be evaluated for content and delivery; <b>Homework:</b> completed thoroughly and submitted on time; <b>Testing and assessment:</b> final report (research, organization, content) final presentation (content, delivery); <b>Independent Learning:</b> background research completed thoroughly before each report, discussion or presentation.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Orientation. Course Introduction. Learner profiles.	Course orientation, pair and group work.	Complete learner profile.
2	Chapter 1. India – history, culture, landmarks.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research a wonder of Japan.
3	The Seven Wonders of the World.	Pair work, group work, discussion.	Research the Seven Wonders of the World.
4	Chapter 3. Thailand – history, festivals, tourism.	Video, comprehension, pair work, group work.	Study World Adventures (W.A.) Chap.1 & 3 (pp.2-3; 14-15).
5	Chapters 1 and 3 test, Chapter 4. Vietnam – history, food.	Test, video, Q and A, pair work, group work.	Research an international dish.



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Test return and feedback, World food.	Brainstorming, clustering, outlining.	Prepare short speech on international food.
7	Chapter 5. Korea – history, religion, culture.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review W.A. Chap. 4 and 5 for test (pp.20-21; 26-27).
8	Chapters 4 and 5 test, Korean popular culture.	Test, pair work, group work, discussion.	Write a paragraph about your favorite music.
9	Test return and feedback, Autumn Festivals.	Listening, pair work, discussion.	Write a short report on an international festival.
10	Chapter 6. France – history, culture, fashion.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research an international designer.
11	The Fashion World: history and heritage.	Pair work, group work, discussion.	Research solutions to fast fashion.
12	Fast fashion: ideas for sustainability.	Pair work, group work, discussion.	Read W.A. (pp.37-38).
13	Chapter 7. Italy – culture, landmarks, art.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap. 6 & 7 for test (pp.32-33; 38-39).
14	Chapters 6 and 7 test, World Art presentations preparation.	Test, structuring, using visuals.	Read <i>Eng. Essentials</i> (pp.31-39). Practice Presentation.
15	Test return and feedback, World Art presentations.	Presentations, Q and A.	Complete presentation self-evaluation.
16	Chapter 8. Denmark – history and folk tales.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research international folklore.
17	World folk tales and folklore.	Reading, sequencing, summarizing.	Read <i>Eng. Essentials</i> (pp.61-62).
18	Chapter 11. Egypt – ancient history, landmarks.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap. 8 & 11 for test (pp.44-45; 62-63).
19	Chapters 8 and 11 test, UNESCO discussion preparation.	Test, listening, pair work, discussion.	Research a candidate site for UNESCO world heritage status.
20	Test return and feedback, UNESCO World Heritage Sites discussions.	Group discussion, summarizing, writing.	Write a report based on the group discussion.
21	Chapter 13. Brazil – geography, festivals.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap. 12 & 13 for test (pp.68-69; 74-75).
22	Chapters 12 and 13 test, World festivals.	Test, listening, pair work, discussion.	Research international winter festivals.
23	Test return and feedback, Winter festivals.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review the lesson.
24	Review of units and topics covered in the course.	Listening, pair work, group work.	Write first draft of final report. Read <i>Eng. Essentials</i> (pp.46-50).
25	Final report preparation.	Drafting, revising, proofreading.	Submit research and outline of the final report.
26	Final presentation preparation.	Presentation practice, Peer evaluations.	Finalize and practice presentations.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentations.	Group presentations, Q and A.	Self-reflection of presentation.
28	Final report and presentation feedback and course reflection.	Listening, Q and A, pair work, discussion.	Review the course and reflect on your progress.

テキスト	Scott Berlin, Megumi Kobayashi. <i>World Adventures</i> (Kinseido).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG102: 英語Ⅱ (5)				担当教員	O. Ilina	
開講期	秋	開講時限	火金2限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others</b> In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various topics related to the theme “Crossing cultures”, use problem / solution thinking when expressing their views on these issues; write emails, CVs and cover letters; express their ideas in a short, well-organized presentation with a good delivery; utilize problem / solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one’s time to complete assigned independent learning tasks.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem / solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a “preview” in Introduction, organization, delivery, problem / solution thinking; Independent learning (IL): IL Study Plans, IL Reflection Sheets, and IL Journal completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Google Forms で行う / Loyola / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course / Our land is your land (textbook Unit 1)	Explanation by instructor, pair-work	Review Unit 1 textbook content
2	Never lost for words! (textbook Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 textbook content
3	Never lost for words! (supplementary materials), Independent learning (IL), guidelines	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 supplementary materials
4	Big business (textbook Unit 3) (Recap of Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #1
5	Big business (supplementary materials), discuss IL Study plan #1	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 3
6	Celebrity (textbook Unit 4); Recap of Unit 3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
7	Short speech #1: speech / presentation organization	Speeches, lecture	Prepare speech

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Celebrity (supplementary materials); explanation of short speech #2	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 4
9	Love is..? (textbook Unit 5); Recap of Unit 4; discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Write IL Reflection Sheet #1
10	Love is..? (supplementary materials); Discuss IL study plan #2	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Study Plan #2
11	Newspeak (textbook Unit 6); Recap of Unit 5	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
12	Newspeak (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 6
13	Short speech #2	Speeches	Prepare speech
14	Vocabulary test #1; recap of Unit 6; explanation of short speech #3; Words of wisdom (tb Unit 7)	Test, pair-work, small group discussion	Write Unit Recap
15	Words of wisdom (supplementary materials); Discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Reflection Sheet #2
16	Altered images (textbook Unit 8); Recap of Unit 7; discuss study plan #3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #3
17	Altered images (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 8
18	History lessons (textbook Unit 9); recap of Unit 8; return test #1 and go over results	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
19	History lessons (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 9
20	The body beautiful (textbook Unit 10); recap of Unit 9; explanation of final presentation	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
21	Short speech #3; Discuss IL progress	Speeches, small group discussion	Prepare speech; Write IL Reflection Sheet #3
22	The body beautiful (supplementary materials); discuss IL Study Plan #4	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Study Plan #4
23	The ends of the earth (textbook Unit 11); recap of Unit 10	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
24	The ends of the earth (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 11
25	Vocabulary test #2, Life goes on (textbook Unit 12); recap of Unit 11	Test, pair-work, small group discussion	Write Unit Recap
26	Return Test #2 and go over results; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Reflection Sheet #4; Prep. IL Journal (submit today)
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentations	Presentations	Prepare presentations
28	Final presentations	Presentations	Prepare presentations

テキスト	Lis and John Soars, Amanda Maris. <i>New Headway Advanced</i> . 4 <sup>th</sup> edition (Oxford).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG102: 英語Ⅱ (6)				担当教員	P. McQuilling	
開講期	秋	開講時限	火金2限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others</b> In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students will be able to use the key vocabulary they have learned to discuss a variety of social issues; express their ideas clearly and justify their reasons in group discussions; structure and organize written reports, speeches and presentations and deliver speeches and presentations effectively with consideration for delivery, content and visual aids.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	<b>Participation and performance:</b> active participation in class activities, worksheets will be evaluated for content and effort, discussions will be evaluated for content and contribution, presentations will be evaluated for content and delivery; <b>Homework:</b> completed thoroughly and submitted on time; <b>Testing and assessment:</b> final report (research, organization, content) final presentation (content, delivery); <b>Independent Learning:</b> background research completed thoroughly before each report, discussion or presentation.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Orientation. Course Introduction. Learner profiles.	Course orientation, pair and group work.	Complete learner profile.
2	Chapter 1. India – history, culture, landmarks.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research a wonder of Japan.
3	The Seven Wonders of the World.	Pair work, group work, discussion.	Research the Seven Wonders of the World.
4	Chapter 3. Thailand – history, festivals, tourism.	Video, comprehension, pair work, group work.	Study World Adventures (W.A.) Chap.1 & 3 (pp.2-3; 14-15).
5	Chapters 1 and 3 test, Chapter 4. Vietnam – history, food.	Test, video, Q and A, pair work, group work.	Research an international dish.
6	Test return and feedback, World food.	Brainstorming, clustering, outlining.	Prepare short speech on international food.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Chapter 5. Korea – history, religion, culture.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review W.A. Chap. 4 and 5 for test (pp.20-21; 26-27).
8	Chapters 4 and 5 test, Korean popular culture.	Test, pair work, group work, discussion.	Write a paragraph about your favorite music.
9	Test return and feedback, Autumn Festivals.	Listening, pair work, discussion.	Write a short report on an international festival.
10	Chapter 6. France – history, culture, fashion.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research an international designer.
11	The Fashion World: history and heritage.	Pair work, group work, discussion.	Research solutions to fast fashion.
12	Fast fashion: ideas for sustainability.	Pair work, group work, discussion.	Read W.A. (pp.37-38).
13	Chapter 7. Italy – culture, landmarks, art.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap. 6 & 7 for test (pp.32-33; 38-39).
14	Chapters 6 and 7 test, World Art presentations preparation.	Test, structuring, using visuals.	Read <i>Eng. Essentials</i> (pp.31-39). Practice Presentation.
15	Test return and feedback, World Art presentations.	Presentations, Q and A.	Complete presentation self-evaluation.
16	Chapter 8. Denmark – history and folk tales.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research international folklore.
17	World folk tales and folklore.	Reading, sequencing, summarizing.	Read <i>Eng. Essentials</i> (pp.61-62).
18	Chapter 11. Egypt – ancient history, landmarks.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap. 8 & 11 for test (pp.44-45; 62-63).
19	Chapters 8 and 11 test, UNESCO discussion preparation.	Test, listening, pair work, discussion.	Research a candidate site for UNESCO world heritage status.
20	Test return and feedback, UNESCO World Heritage Sites discussions.	Group discussion, summarizing, writing.	Write a report based on the group discussion.
21	Chapter 13. Brazil – geography, festivals.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap. 12 & 13 for test (pp.68-69; 74-75).
22	Chapters 12 and 13 test, World festivals.	Test, listening, pair work, discussion.	Research international winter festivals.
23	Test return and feedback, Winter festivals.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review the lesson.
24	Review of units and topics covered in the course.	Listening, pair work, group work.	Write first draft of final report. Read <i>Eng. Essentials</i> (pp.46-50).
25	Final report preparation.	Drafting, revising, proofreading.	Submit research and outline of the final report.
26	Final presentation preparation.	Presentation practice, Peer evaluations.	Finalize and practice presentations.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentations.	Group presentations, Q and A.	Self-reflection of presentation.
28	Final report and presentation feedback and course reflection.	Listening, Q and A, pair work, discussion.	Review the course and reflect on your progress.
テキスト	Scott Berlin, Megumi Kobayashi. <i>World Adventures</i> (Kinseido).		
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>		

科目名	ENG201: 英語Ⅲ (1)				担当教員	P. McQuilling		
開講期	春	開講時限	火金1限		研究室	4号館2階 講師控室		
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning							
授業の概要	<b>English III. Social issues in Japan: Toward a better community</b> In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.							
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of "For Others, With Others"</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>							
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students will be able to use the key vocabulary they have learned to discuss a variety of social issues; express their ideas clearly and justify their reasons in group discussions; structure and organize written reports, speeches and presentations and deliver speeches and presentations effectively with consideration for delivery, content and visual aids.							
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).							
評価基準	<b>Participation and performance:</b> active participation in class activities, worksheets will be evaluated for content and effort, discussions will be evaluated for content and contribution, presentations will be evaluated for content and delivery; <b>Homework:</b> completed thoroughly and submitted on time; <b>Testing and assessment:</b> final report (research, organization, content) final presentation (content, delivery); <b>Independent Learning:</b> background research completed thoroughly before each report, discussion or presentation.							
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Moodle / Google Forms</li> <li>Orally</li> <li>Comments made on returned papers</li> </ul>							
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Orientation. Introductions, Explaining evaluation criteria.	Course orientation, pair and group work.	Complete learner profiles.
2	Unit 1. Sprouting New Sushi Ideas.	Video, comprehension exercises, pair work.	Review Unit 1 vocabulary for test (p.1).
3	Japanese & International Dishes. Unit 1 test, test feedback.	Test, brainstorming, pair work, group work.	Write a short speech. Read <i>English Essentials</i> (pp.19-25).
4	Unit 2. In the Pole Position. Local Festivals.	Short speeches, Q and A, video, comprehension.	Read <i>Eng. Essentials</i> (pp.40-45). Research local festivals.
5	Unit 6. Floating on a Dream. Local festivals. Writing Process 1: Planning.	Video, comprehension, discussion.	Review Units 2 & 6 vocabulary for test (pp.7, 31).
6	Units 2 and 6 test, test feedback. Writing Process 2: Writing an Outline	Test, brainstorming, clustering, outlining.	Write an outline for the Festival Report.



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Festival Report. Writing Process 3: Paragraph Writing.	Drafting, rewriting, pair work.	Write the Festival Report.
8	Unit 3. Easing Off. Japanese Working Conditions.	Video, comprehension, discussion.	Review Unit 3 vocabulary for test (p.13).
9	Unit 4. In Memory of Monty. Unit 3 test, test feedback.	Test, pair work, group discussion.	Research natural disaster relief efforts.
10	Natural Disasters Prevention & Relief.	Pair work, group discussion.	Write outline for presentation. Read <i>Eng.Essentials</i> (pp.26-30).
11	Natural Disasters Relief Efforts. Turning an outline into a presentation.	Pair work, structuring, making visuals.	Presentation preparation. Read <i>Eng.Essentials</i> (pp.25-26).
12	Natural Disasters Presentations.	Presentations, listening, self-evaluation.	Complete self-evaluation.
13	Unit 7. Japan Adventurer Completes Grand Slam.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Units 4 & 7 vocabulary for test (pp.19, 37).
14	Unit 5. Dating the AI Way. Units 4 & 7 test, test feedback.	Test, video, pair work, group work.	Research social media issues.
15	Social Media: benefits and dangers discussion.	Brainstorming, group discussion.	Write an opinion essay on Social Media issues.
16	Unit 8. Sorting It Out.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Units 5 & 8 vocabulary for test (pp.25, 43).
17	Save the Planet. Units 5 and 8 test, test feedback.	Test, pair work, group discussion.	Research an environmental issue.
18	Environmental presentation preparation.	Pair work, structuring, making visuals.	Prepare for group presentations.
19	Environmental presentations.	Presentations, listening, self-evaluation.	Complete the listening sheet for the presentations.
20	Unit 9. Haircuts for Charity.	Video, comprehension, discussion.	Research charity organizations for the group discussion.
21	Charity Organizations & Volunteerism Discussion.	Group discussion, report.	Write a report of the group discussion.
22	Unit 10. Peer group consumption. Youth issues in Japan.	Video, comprehension, discussion.	Review Units 9 & 10 vocabulary for test (pp.49, 55).
23	Unit 14. Tanzanian students discover Japan. Units 9 & 10 test, test feedback.	Test, video, comprehension.	Research gender issues in Japanese companies.
24	Equality in Education & Employment.	Brainstorming, pair work, discussion.	Write a short report on equality in education & employment.
25	Final Report Preparation – research & outline.	Writing, drafting, revising, proofreading.	Write outline of final report. Submit research.
26	Final Report Preparation – presentation preparation.	Making visuals, writing scripts.	Prepare for presentation. Read <i>Eng.Essentials</i> (pp.46-50).
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final Presentations.	Group presentations, Q and A.	Self-reflection of presentation.
28	Feedback and reflection.	Listening, Q and A, pair work, discussion.	Review the course and reflect on your progress.
テキスト	T. Yamazaki, S.M. Yamazaki. <i>NHK NEWSLINE 2</i> (Kinseido).		
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>		



科目名	ENG201: 英語Ⅲ (2)			担当教員	岩崎 明子
開講期	春	開講時限	火金1限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<b>English III. Social issues in Japan: Toward a better community</b> In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	Each unit introduces the efforts of companies in the manufacturing, retail, telecommunications, and food service industries to create a better society. By acquiring technical vocabulary and expressions and practicing communication and writing skills, students not only can understand the true meanings of companies for society, but also explain them in their own words in English.				
評価方法	1) Participation and performance in classroom activities, including short speeches (30%); 2) Homework assignments, including “unit report” (30%); 3) Testing and assessment: four vocabulary quizzes and two review tests (15%) / final presentation (10%); 4) Independent learning (15%).				
評価基準	1) active involvement, effort to use English, use of new vocabulary, content and delivery of speeches; 2) completion, on-time-submission, logical structure; 3) correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions / length, suitable theme, good organization (from introduction to conclusion) ; 4) IL study plans, IL reflection sheets, and IL journal note submitted on time.				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Reports: returned with comments to the folder in Moodle.</li> <li>Vocabulary quizzes, review tests: Google Forms and oral feedback.</li> <li>Speeches and presentations: oral feedback and specific comment sheets.</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course	explanation by instructor	review syllabus
2	Ut.1 7-ELEVEn “community-based mobile bending truck”	pair work, small group discussion, reading	pp.8~10, submit IL plan1)
3	Ut.1 short speech, video “shopping refuge”	pair work, listening, Q&A, writing	pp.11~13
4	Ut.2 LINE “information literacy”	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.1 report, pp.14~16
5	Ut.2 short speech, video “education for SNS”	pair work, listening, Q&A, writing	pp.17~19
6	Ut.3 NISSIN FOOD	pair work, small group discussion, reading	voc. quiz (ut.1,2), submit Ut.2 report, pp.20~22
7	Ut.3 short speech, video “healthy food life?”	pair work, listening, Q&A, writing	pp.23~25

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Ut.4 McDonald's "happy meal"	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.3 report, pp.26~28
9	Ut.4 short speech, video "fast food and slow food"	pair work, listening, Q&A, writing	pp.29~31, submit IL reflection1) plan2), journals
10	Ut.5 TOYOTA "invention for others"	pair work, small group discussion, reading	Voc. quiz (ut.3,4), submit Ut.4 report, pp.32~34
11	Ut.5 short speech, video "woven city"	pair work, listening, Q&A, writing	pp.35~37
12	Ut.6 STARBUCKS "sustainable coffee waste"	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.5 report, pp.38~40
13	Ut.6 short speech, video "recycling"	pair work, listening, Q&A, writing	pp.41~43
14	Review test #1, explanation of final project	explanation by instructor pair work, reading,	prepare test#1 (Ut.1~6)
15	Ut.7 AEON "planting trees support biodiversity" feedback for test#1	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.6 report, pp.44~46
16	Ut.7 short speech, video "consumerism and food waste"	pair work, listening, Q&A, writing	pp.47~49, submit IL reflection2) plan3), journals
17	Ut.8 NIKE "for the society everyone can enjoy sport"	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.7 report, pp.50~52
18	Ut.8 short speech, video "sweat shop, child labor"	pair work, listening, Q&A, writing	pp.53~55
19	Ut.9 MUJI "building parks collaborating with local community"	pair work, small group discussion, reading	Voc. quiz (ut.7,8), submit Ut.8 report, pp.56~58
20	Ut.9 short speech, video "health and no bland name"	pair work, listening, Q&A, writing	pp.59~61
21	Ut.10 Apple "recycle robots, Daisy and Dave"	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.9 report, pp.62~64
22	Ut.10 short speech, video "e-waste"	pair work, listening, Q&A, writing	pp.65~67, submit IL reflection3) plan4), journals
23	Ut.11 Rakuten Group "inclusive work place"	pair work, small group discussion, reading	Voc. quiz (ut.9,10), submit Ut.10 report, pp.68~70
24	Ut.11 short speech, video "e-commerce, net-shopping"	pair work, listening, Q&A, writing	pp.71~73
25	Review test #2 Final presentation practice	pair work, small group discussion, reading	prepare test#2 (Ut.1~6)
26	Final presentation (1)	listening, Q&A, writing, peer assessment	prepare for the presentation, submit final draft and slides
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentation (2)	listening, Q&A, writing, peer assessment	submit final draft and slides
28	feedback for test #2, Recap the course	explanation by instructor pair work	submit all homework

テキスト	Harada, Hiroko. Tsuchiya, Maiko. Hawkins, Samantha (2024). <i>Purpose-Companies for Social Good</i> (KINSEIDO).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG201: 英語Ⅲ (3)			担当教員	M. Wilkinson
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<b>English III. Social issues in Japan: Toward a better community</b> In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	By the end of the course students should be able to discuss, ask questions, and think critically about a number of social issues facing Japanese society and the wider world. By reading, discussing, making observations, sharing thoughts and opinions, and asking questions about these issues, students will be able to engage critically with them. This will involve class discussions in pairs and groups, as well as a final presentation. The course also aims to develop critical thinking, awareness of the issues discussed, non-judgemental engagement with the opinions of others, self-reflection, and independent learning.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).				
評価基準	<i>Participation:</i> Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. <i>Homework assignments:</i> Completing and submitting assignments by the deadline (Textbook activities). <i>Testing and assessment:</i> Final presentation (4 minutes)-fluency and paralanguage (body language, tone, eye contact, speed, loudness), content, including quality of PowerPoint slides, organization (introduction, transitions, conclusion), with bonus points for asking questions of peer presentations. <i>Independent learning:</i> Weekly journal on reflections and observations of social issues in Japan.				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introductions, discuss course outline and objectives, Unit 1: Study abroad	Lecture, pair & group Discussions	Preview textbook and prepare journal
2	Unit 2: Nuclear power, Critical thinking skills (CTS): Facts and opinions, Reading skills	Lecture, pair & group Discussions	Textbook pp.12-13, write journal 1, vocabulary review
3	Unit 3: Immigration, CTS: Beliefs or Prejudice? Submit journal 1	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.18, vocabulary review
4	Unit 3: Immigration; Reading skills	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.19, write journal 2, vocabulary review
5	Unit 4: The social safety net, CTS: Supporting positions; Submit journal 2	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.24, vocabulary review

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
6	Unit 4: The social safety net, Reading skills	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.25, write journal 3
7	Unit 5: Global warming, CTS: Criteria for evaluation; Submit journal 3	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.30, vocabulary review
8	Unit 5: Global warming; Reading skills	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.31, vocabulary review
9	Unit 6: Women in the workplace, CTS: Relevant facts	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.36, vocabulary review
10	Unit 6: Women in the workplace; Reading skills	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.37, vocabulary review, write journal 4
11	Unit 7: School on Saturdays, CTS: Critiquing arguments; Submit journal 4	Lecture, pair & group Discussions	Reading comprehension: Textbook pp.40-41
12	Unit 8: Food labelling, CTS: Generalizations & assumptions	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.48, vocabulary review
13	Unit 8: Food labelling; Reading skills	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.49, vocabulary review, write journal 5
14	Unit 9: Etiquette in the digital age, CTS: Analogies; Submit journal 5	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.54, vocabulary review
15	Unit 9: Etiquette in the digital age; <i>English essentials</i> : Presentation	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.55, vocabulary review, presentation planning
16	Unit 10: Merit-based pay, CTS: Drawing inferences	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.60, vocabulary review
17	Unit 10: Merit-based pay; Reading skills	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.61, vocabulary review, write journal 6
18	Unit 11: American military bases in Japan, CTS: Logical fallacies; Submit journal 6	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.66, vocabulary review
19	Unit 11: American military bases in Japan; Reading skills	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.67, vocabulary review
20	Unit 12: Taxes, CTS: The slippery slope; <i>English essentials</i> : Presentation	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.72, vocabulary review, presentation planning
21	Unit 12: Taxes; Reading skills	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.73, vocabulary review, write journal 7
22	Unit 13: Living together before marriage, CTS: Ad Hominem; Submit journal 7	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.78, vocabulary review
23	Unit 13: Living together before marriage; <i>English essentials</i> : Presentation	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.79, vocabulary review, write journal 8
24	Unit 14: Animal rights, CTS: The straw man; Submit journal 8	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.84, vocabulary review
25	Unit 14: Animal rights; Reading skills review	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.85, vocabulary review, write journal 9
26	Unit 15: Hosting the Olympics, CTS: The red herring; Submit journal 9	Lecture, pair & group Discussions	Textbook p.90, vocabulary review, finalize presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentations	Presenting, Q & A	Textbook p.91, vocabulary review
28	Finish presentations, check and submit journals	Presenting, Q & A, feedback	Reflect on issues covered in class

テキスト	Michael Hood. <i>Think Smart</i> (Kinseido).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG201: 英語Ⅲ (4)			担当教員	O. Massoud
開講期	春	開講時限	火金1限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<b>English III. Social issues in Japan: Toward a better community</b> In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	<p>By the end of the semester students will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Participate in discussions about social issues in Japan.</li> <li>Acquire vocabulary related to social issues.</li> <li>Write coherent, grammatically correct paragraphs.</li> <li>Make a presentation about social issues in Japan.</li> <li>Learn how to do research on the targeted topic and write a final report in essay structure.</li> </ul>				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>Participation and performance: Students will be evaluated on their participation in class discussions and their performance in pair and group work.</li> <li>Homework: Students will be evaluated on their ability to complete relevant assignments on time, including textbook exercises and vocabulary sentences.</li> <li>Testing and assessment: Quizzes will be used to assess understanding of vocabulary and class discussion topics, and the final presentation will be evaluated on volume, clarity, and the incorporation of visuals. The final report, a research project paper in essay form, will be evaluated on the quality of the research, organization, and writing style.</li> <li>Independent learning: Students will be evaluated on their completion of two independent learning (IL) study plans and reflections.</li> </ol>				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>上記以外で行う / other: Google Sheets and Google Docs.</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introductions to Each Other; and How We Will Use the Text	Meeting and greeting, discuss social issues	Read <i>English Essentials</i> pp. 26-30
2	Unit 1: The Challenges of Teaching English amid Coronavirus.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 1-6
3	TED Talk 1. Vocab Set #1. Listening Log #1. The Writing Processes	Listening, group discussion, writing	Read <i>English Essentials</i> pp. 31-39
4	Unit 2: Students Keeping Memory of Shuri Castle Alive.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 7-13
5	TED Talk 2. Vocab Set #2. Listening Log #2.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read <i>English Essentials</i> pp. 40-50



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
6	Unit 3: A Bitter Taste for Healthy Fish. Research Project Report Brainstorm and Outline.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 13-15
7	Unit 4: Robots Luring Diners Back.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 19-21
8	Review. Quiz #1. Vocab Set #3. Listening Log #3.	quiz and comments, lecture, discussion	Read <i>English Essentials</i> pp. 51-60
9	Unit 5: Toilet Designs Aim to Flush Away Issues.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 25-27
10	Unit 6: Toilet Designs Aim to Flush Away Issues. Research Project Report Outline.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Choosing topics for presentations
11	Unit 7: Learning to Love Rural Japan.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 37-39
12	Unit 8: Advocate for Abduction Issue Remembered.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 43-45
13	Unit 9: Clay Artist in Touch with Tradition. Research Project Report Draft #1.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read text pp. 49-51, prepare for presentations
14	Review. How to Give Presentations: Presentation preparation.	Review, presentation preparation	Read <i>English Essentials</i> pp. 61-70
15	Presentations 1: A social issue which will impact your future.	Oral presentation, Q&A, discussion	Prepare power point for presentation
16	Presentations 1: A social issue which will impact your future.	Oral presentation, Q&A, discussion	Prepare power point for presentation
17	Unit 10: Space Development Board Game.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 55-57
18	Unit 11: Tatami Takes on New Shapes and Sizes.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 61-63
19	TED Talk 4. Vocab Set #4. Listening Log #4.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Begin the outline of Final Report
20	Unit 12: A Runway to a New Start.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 67-69
21	Unit 13: Teaching About Black Lives Matter.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Complete the outline of Final Report
22	TED Talk 5. Research Project Report Draft #2.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Write the first draft of Final Report
23	Unit 14: Tohigi Gourd Magic.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 79-81
24	Review. Quiz #2.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Revise Final Report
25	Unit 15: Lifesaver for Type 1 Diabetes Patients. Prepare for Research Report Project Presentations.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>NHK NEWSLINE 5</i> text pp. 85-87
26	Research Report Project Presentation. Submit Final Report.	Writing and Q&A	Submit Final Report, prepare for the presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Research Report Project Presentation.	Oral presentation, Q&A, comments	Presentation
28	Review the Course.	Oral presentation, comments, discussion	Presentation feedback and review the course

テキスト	T. Yamazaki and S. M. Yamazaki. <i>NHK NEWSLINE 5</i> (Kinseido). Watch NHK News (Online), TED Talks (Online), BBC (Online).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>



科目名	ENG201: 英語Ⅲ (5)			担当教員	R. Burton
開講期	春	開講時限	火金1限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<b>English III. Social issues in Japan: Toward a better community</b> In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of "For Others, With Others"</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students will have expanded their vocabulary relevant to social issues, and gained considerable practice at incorporating that vocabulary into well-structured sentences, both written and spoken. The teacher's presentations, video input and discussions will provide ample listening skills development. Paragraph writing practice should greatly improve cohesiveness, while the short presentations allow students to develop their confidence at speaking English, reinforcing realization that comprehensive preparation greatly facilitates expression, especially with carefully planned use of key expressions. In this way students should also become more resourceful and skillful as autonomous learners of English.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).				
評価基準	Participation and performance in classroom activities: vocabulary quizzes, and discussion involvement. Homework assignments: preparatory topic focus quizzes and follow-up paragraph writing evaluated for coherence, grammar correctness, and grammar variety. Final presentation: volume, clarity, and incorporation of visuals. Final report: essay structure and sentence structures. Independent learning: incorporation of key phrases from text into a learner's diary.				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>上記以外で行う / other: general comments to whole class about assignments</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introductions to each other and how we will use the text and on-line systems support	picture – caption match	read newspaper articles about disasters, and complete report
2	Unit 1 Manga Message for the Young- Japanese Manga Artist Succeeds in America	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a supplementary vocabulary task
3	Manga quiz with feedback and discussion	group discussion and paragraph writing	read a manga and then write about it as a diary entry
4	Manga quiz return and feedback Unit 2 Jumping for Victory- Team-Spirit Value	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a supplementary vocabulary task
5	Language-learning Quiz with feedback	group discussion and paragraph writing	read pp.9-12 and do exercises reviewing key expressions
6	Unit 3 Seeking Quality over Cost- If you have money are you happy to pay for refinement?	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	write summary & opinion (200 words)
7	Shopping quiz with feedback	group discussion and paragraph writing	convenience stores vs. local shops + prose argument analysis

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 4 Getting Dads Home Earlier- Should Work-Life Balance Differ for Mums and Dads?	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	read and complete text comprehension tasks pp.21-23
9	Fatherhood discussion	group discussion and paragraph writing	write an opinion paragraph on 'How involved do mothers really want fathers to be?'
10	Unit 5 Plugging Privacy-Value of Solitude outline worksheet for student mini presentation	pair work reading + mini lecture + video	read pp.26-29 comprehension tasks + presentation worksheet
11	Movie Categories Quiz	group discussion and paragraph writing	write a comparative essay, movies compared to TV drama
12	Movie Quiz return and feedback Unit 6 Recycling is a Message of Future Hope	group reading + mini lecture + video	complete a survey and check a presentation worksheet
13	Pros and Cons Quiz with feedback and discussion	group discussion and paragraph writing	read and analyze an advantages and disadvantages essay
14	Unit 7 Housing Design and Safety - Advantages and disadvantages essay	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	Complete comprehension and expressions exercises pp.39-41
15	Living environment Quiz with feedback and answers	discussion and writing presentations session 1	Writing task comparing modern interiors with trad. Japanese
16	Unit 8 A Barrier-free Welcome- Caring by and for People with Disabilities	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete p.44 vocabulary and comprehension exercises
17	Speculating about possible injuries or life if becoming disabled	group discussion and writing presentations session 2	Writing about a hypothetical scenario using conditional and subjunctive patterns
18	Unit 9 Helping in Times of Disaster- Volunteer Interpreters for Foreigners in a Disaster	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete p.50 vocabulary tasks and p.54 key expressions task
19	Writing about an experience of disaster	group discussion + 3 <sup>rd</sup> session of presentations	carry out internet search task + write problem-solution essay
20	Unit 10 Right on Track- Opportunities for Women too in Motorsports	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete p.56
21	Driving Quiz with feedback and discussion	discussion and writing presentations session 4	carry out a driving survey and analyze response data
22	return and feedback on Driving quiz and Survey Unit 11 Refining Japanese Art and Design	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	take a 'What is unique to Japan?' quiz
23	International distinctiveness is important because...? Survey of opinions	group discussion and writing for argument	write an essay arguing for art being emblematic of a nation
24	Unit 12 Japanese Conbini Comes to Dubai- Saturation of Japanese Market Prompts Exports	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	analyze a pros and cons of 'conbini' essay
25	Conbini Quiz	pair work planning paragraph writing	write pros and cons paragraphs working in Japan or, abroad
26	return and feedback for Conbini quiz Unit 13 Mix Masters- Chefs' Machines	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a food quiz
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Food quiz answers and feedback Robots	discussion and paragraph writing	reading task about job loss
28	Unit 14 Virtual Connections- Useful Applications for Virtual-Reality Headsets	pre-reading vocabulary + video comprehension	write about your favorite smartphone app

テキスト	Tatsuroh Yamazaki, Stella M. Yamazaki, Erika C. Yamazaki. <i>What's on Japan 11</i> (Kinseido). ISBN9784764740303
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG201: 英語Ⅲ (6)			担当教員	O. Ilina
開講期	春	開講時限	火金1限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<b>English III. Social issues in Japan: Toward a better community</b> In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various issues related to “Toward a better community”, use problem / solution thinking when expressing their views on these issues; write postcards and emails; express their ideas in a short, well-organized presentation with good delivery; utilize problem / solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one’s time to complete assigned independent learning tasks.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, including vocabulary tests and final presentation (25%); Independent learning (15%).				
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem / solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a “preview” in Introduction, organization, delivery, problem / solution thinking; Independent learning (IL): IL Study Plans, IL Reflection Sheets, and IL Journal completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course / World of difference	Explanation by instructor, pair-work	Review Unit 1 textbook content
2	The working week (textbook Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 textbook content
3	The working week (supplementary materials), Independent learning (IL), guidelines	Pair-work, small group discussion	Review Unit 2 supplementary materials
4	Good times, bad times (textbook Unit 3) (Recap of Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #1
5	Good times, bad times (supplementary materials), discuss IL Study plan #1	Pair-work, small group discussion	Review Unit 3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Getting it right (textbook Unit 4); Recap of Unit 3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
7	Short speech #1: speech / presentation organization	Speeches, lecture	Prepare speech
8	Getting it right (supplementary materials); explanation of short speech #2	Pair-work, small group discussion	Review Unit 4
9	Our changing world (textbook Unit 5); Recap of Unit 5; discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Write IL Reflection Sheet #1
10	Our changing world (supplementary materials); Discuss IL study plan #2	Pair-work, small group discussion	Write IL study Plan #2
11	What matters to me (textbook Unit 6); Recap of Unit 5	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
12	What matters to me (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion	Review Unit 6
13	Short speech #2	Speeches	Prepare speech
14	Vocabulary test #1; recap of Unit 6; Passions and fashions (textbook Unit 7)	Test, pair-work, small group discussion	Write Unit Recap; prepare a test
15	Passions and fashions (supplementary materials); explanation of short speech #3	Pair-work, small group discussion	Prepare speech
16	No fear! (textbook Unit 8); Recap of Unit 7; discuss study plan #3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #3
17	No fear! (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion	Review Unit 8
18	It depends how you look at it (textbook Unit 9); recap of Unit 8; return test #1 and go over results	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
19	It depends how you look at it (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion	Review Unit 9
20	All things high tech (textbook Unit 10); recap of Unit 9; explanation of final presentation	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
21	Short speech #3; Discuss IL progress	Speeches, small group discussion	Prepare speech; Write IL Reflection Sheet #2
22	All things high tech (supplementary materials); discuss IL Study Plan #4	Pair-work, small group discussion	Write IL Study Plan #4
23	Seeing is believing (textbook Unit 11); recap of Unit 10	Pair-work, small group discussion	Write Unit Recap
24	Seeing is believing (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion	Review Unit 11
25	Vocabulary test #2 Telling is how it is (textbook Unit 12); recap of Unit 11	Pair-work, small group discussion	Write Unit Recap
26	Return Test #2 and go over results; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.	Pair-work, small group discussion	Write IL Reflection Sheet #4; Prep. IL Journal (submit today)
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentations	Presentations	Prepare presentation
28	Final presentations	Presentations	Prepare presentation

テキスト	Lis and John Soars, Amanda Maris. <i>New Headway Intermediate</i> 4 <sup>th</sup> edition (Oxford).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG201: 英語Ⅲ (7)			担当教員	J. Zhang
開講期	春	開講時限	火金1限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<b>English III. Social issues in Japan: Toward a better community</b> In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of "For Others, With Others"</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students should be able to discuss and write about several social issues faced in and out of Japan. Also, students will be able to think about these issues critically by watching videos, listening to world news, studying vocabulary, having group discussions, giving presentations, writing paragraphs, and acquiring knowledge about them. Additionally, students will be able to conduct research and give presentations collaboratively and individually. In this way, students will build the confidence to speak out in public.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>Participation in class: active participation in everyday class activities;</li> <li>Homework assignments: completing and submitting assignments on time; showing quality and effort;</li> <li>Testing and assessment: presentation#1 (5%); presentation#2 (5%); a final report (15%)</li> <li>Independent learning: effort to study outside of class (e.g., preview; review)</li> </ul>				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Moodle で行う / Moodle</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course overview; self-introduction; explain the evaluation criteria; ice-breaking	Course orientation; pair / group work	Buy textbook; prepare for [plus + Media]; buy a notebook
2	Unit 1 The Challenges of Teaching English amid Coronavirus: vocabulary; watch the news	Lecture; video; exercise; discussion	Review Unit 1; vocabulary note 1
3	Unit 1: watch the news and take dictation; lecture: presentation skills (1)	Listening; exercise; pair / group work; lecture	Review textbook pp. 1~6
4	Unit 2 Students Keeping Memory of Shuri Castle Alive: vocabulary; watch the news	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 2; vocabulary note 2
5	Unit 2: watch the news and take dictation; lecture: presentation skills (2)	Listening; exercise; pair / group work; lecture	Review textbook pp. 7~12; find a topic for Presentation#1 (P#1)
6	Unit 3 A Bitter Taste for Healthy Fish: vocabulary; watch the news	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 3; vocabulary note 3



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
7	Unit 3: watch the news and take dictation; lecture: presentation skills (3)	Listening; exercise; pair / group work; lecture	Review textbook pp. 13~18 prepare for P#1: doing research
8	Unit 4 Robots Luring Diners Back: vocabulary; watch the news	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 4; vocabulary note 4
9	Unit 4: watch the news and take dictation; lecture: presentation skills (4)	Listening; exercise; pair / group work; lecture	Review textbook pp. 19~24; prepare for P#1: PowerPoint
10	Unit 5 Toilet Designs Aim to Flush away Issues: vocabulary; watch the news	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 5; vocabulary note 5
11	Unit 5: watch the news and take dictation; practice: prepare for P#1	Listening; exercise; pair / group work; lecture	Review textbook pp. 25~30; Rehearse P#1
12	Presentation # 1; discuss the final report (FR)	Lecture; presentation; Q & A; discussion	Review Units 1~5
13	Feedback to P#1; review Units 1~5; academic writing (1) the structure of a paragraph	Lecture; pair / group work; exercise	Review Units 1~5; think about Presentation # 2
14	Unit 6 Teleworking Encourages Tokyo Exodus: vocabulary; watch the news	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 6; vocabulary note 6; find a topic for P#2
15	Unit 6: watch the news and take dictation; academic writing (2) writing outline	Lecture; writing tasks; pair / group work	Review textbook pp. 31~36; doing research for P#2
16	Unit 7 Learning to Love Rural Japan: vocabulary; watch the news	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 7; vocabulary note 7
17	Unit 7: watch the news and take dictation; academic writing (3) supporting sentences	Lecture; writing tasks; pair / group work	Review textbook pp. 37~42; prepare for P#2
18	Unit 8 Advocate for Abduction Issue Remembered: vocabulary; watch the news	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 8; prepare for P#2; vocabulary note 8
19	Unit 8: watch the news and take dictation; academic writing (4) the structure of an essay	Lecture; writing tasks; pair / group work	Review textbook pp. 43~48; think about Final Report (FR)
20	Unit 9 Clay Artist in Touch with Tradition: vocabulary; watch the news	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 9; prepare for final report; vocabulary note 9
21	Unit 9: watch the news and take dictation; academic writing (5) thesis statement	Lecture; writing tasks; pair / group work	Review textbook pp. 49~54; write an outline for FR
22	Unit 10 Space Development Board Game: vocabulary; watch the news	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 10; start writing FR; vocabulary note 10
23	Unit 10: watch the news and take dictation; academic writing (6) introduction & conclusion	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review textbook pp. 55~60; continue with FR
24	Unit 11 Tatami Takes on New Shapes and Sizes: vocabulary; watch the news	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 11; continue with FR; vocabulary note 11
25	Unit 11: watch the news and take dictation; academic writing (7) body	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review textbook pp. 61~66; revise and submit FR
26	Final presentations (P#2); feedback to FR	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Revise FR
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentations (P#2) on social issues in Japan	Oral presentation; comments; discussion	Prepare for self-report of independent learning
28	Summarizing the course; Discuss independent learning	Self-report; comments; discussion	Review the course

テキスト	T. Yamazaki & S. M. Yamazaki. <i>NHK Newslines 5</i> (KINSEIDO).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>



科目名	ENG202: 英語Ⅳ (1)			担当教員	岩崎 明子
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<b>English IV. Japan and the world: Living in an international community</b> This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	By using the Content Language Integrated Learning (CLIL) approach, students can learn to engage in formal discussions. By learning vocabulary and expressions related to the topic in each unit, students not only gain knowledge about the evolving world and guidelines for effective discussion, but also become accustomed to thinking logically, developing ideas, and drawing conclusions both in speech and writing.				
評価方法	1) Participation and performance in classroom activities, including short speeches and presentations (30%); 2) Homework assignments, including “unit reports” (30%); 3) Testing and assessment: four vocabulary quizzes and two review tests (15%) / final presentation (10%); 4) Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.				
評価基準	1) active involvement, effort to use English, use of new vocabulary, content and delivery of speeches; 2) completion, on-time-submission, logical structure; 3) correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions / length, suitable theme, good organization (from introduction to conclusion) ; 4) IL study plans, IL reflection sheets, and a few IL journals submitted on time / taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Reports: returned with comments to the folder in Moodle.</li> <li>Vocabulary quizzes, review tests: Google Forms and oral feedback.</li> <li>Speeches and presentations: oral feedback and specific comment sheets.</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course	explanation by instructor	review syllabus
2	Ut.1 Artificial Intelligence: How Will Humans Live with AI?	pair work, small group discussion, reading	pp.13~17, submit IL plan1)
3	Ut.1 short speech, agree or disagree (A or D): AI benefits human life	pair work, listening, Q&A, writing	pp.18~20
4	Ut.2 Business: The Sharing Economy	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.1 report, pp.21~25
5	Ut.2 short speech, A or D: furima-apps will create a huge recycling market	pair work, listening, Q&A, writing	pp.26~28
6	Ut.3 Food Waste: Food Waste and Consumers	pair work, small group discussion, reading	voc. quiz (ut.1, 2), submit Ut.2 report, pp.29~33
7	Ut.3 short speech, A or D: Sushi restaurants should stop offering sushi on a conveyor belt	pair work, listening, Q&A, writing	pp.34~36

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Ut.4 Environmental Problems: Plastic Waste	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.3 report, pp.37~41
9	Ut.4 short speech, (A or D): We should live without using plastic products	pair work, listening, Q&A, writing	pp.42~44, submit IL reflection1) and plan
10	Ut.5 The Japanese Mentality: Do They Have Good Manners?	pair work, small group discussion, reading	Voc. quiz (ut.3,4), submit Ut.4 report, pp.45~49
11	Ut.5 short speech, (A or D): Good manners should be taught in moral education class at school	pair work, listening, Q&A, writing	pp.50~52
12	Ut.6 Space Exploration: Will Space Benefit Our Future?	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.5 report, pp.53~57
13	Ut.6 short speech, (A or D): Japan should promote more private-sector space ventures	pair work, listening, Q&A, writing	pp.58~60
14	Review test #1, explanation of final project	explanation by instructor pair work, reading,	prepare test#1 (Ut.1~6)
15	Ut.7 Immigration: Foreign Residents in Japan feedback for test#1	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.6 report, pp.61~65
16	Ut.7 short speech, (A or D): Japan is a convenient place to work and live for foreign residents	pair work, listening, Q&A, writing	pp.66~68, submit IL reflection2) and plan3)
17	Ut.8 Education: Online learning should be used	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.7 report, pp.69~73
18	Ut.8 short speech, (A or D): More online video lectures should be used at schools for higher education	pair work, listening, Q&A, writing	pp.74~76
19	Ut.10 Science: The New Agricultural Revolution	pair work, small group discussion, reading	Voc. quiz (ut.7,8), submit Ut.8 report, pp.85~89
20	Ut.10 short speech, (A or D): Japan should grow GMO crops	pair work, listening, Q&A, writing	pp.90~92
21	Ut.11 The Aging Society: Elderly Drivers	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.10 report, pp.93~97
22	Ut.11 short speech, (A or D): We should require the elderly to give up their driver's license	pair work, listening, Q&A, writing	pp.98~100, IL reflection 3) and plan 4)
23	Ut.14 Religions: Changes in Islam	pair work, small group discussion, reading	Voc. quiz (ut.10,11), submit Ut.11 report, pp.117~121
24	Ut.14 short speech, (A or D): We should change some of religious rules suitable for modern society	pair work, listening, Q&A, writing	pp.122~124
25	Review test #2 Final presentation practice	pair work, small group discussion, reading	prepare test#2 (Ut.7,8,10,11,14)
26	Final presentation (1)	listening, Q&A, writing, peer assessment	prepare for the presentation, submit final draft and slides
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentation (2)	listening, Q&A, writing, peer assessment	submit final draft and slides, IL reflection 4), journals
28	Feedback for test #2, Recap the course	explanation by instructor pair work	submit all unsubmitted homework

テキスト	Nakaya, Miyako. Yukita, Miyuki. Yamazaki, Masaru. Godfrey, Chad L. (2020) <i>CLIL: Discuss the Changing World</i> (SEIBIDO).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語Ⅳ (2)				担当教員	J. Zhang	
開講期	秋	開講時限	火金2限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English IV. Japan and the world: Living in an international community</b> This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students should be able to think critically about several issues confronting the world today such as environmental destruction, food waste, AI development, and animal rights; remember and use the keywords and expressions to discuss and express their views on these issues; do research about some of the issues they are interested in and provide constructive advice to solve these issues in well-organized presentations; compose essays to express their ideas about these issues.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>Participation and performance in class: attend the course on time and actively participate in everyday class activities;</li> <li>Homework assignments: complete and submit assignments on time, showing quality and effort;</li> <li>Testing and assessment: presentation#1 (5%); presentation#2 (5%); a final report (15%)</li> <li>Independent learning: effort to study outside of class (e.g., preview; review; keep diaries)</li> </ul>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Moodle で行う / Moodle</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course; ice-breaking; explaining the evaluation criteria	Lecture; discussion; self-introduction	Buy textbook and vocabulary notebook
2	Unit 3 The Meaning of a Healthy Lifestyle: background information; vocabulary; reading	Lecture; watching video; discussion; exercise	Vocabulary notebook 1; review textbook pp. 21~23
3	Unit 3: reading exercise; watching video and answering questions; output task	Lecture; watching video; discussion; pair work	Review textbook pp. 24~26; prepare for Vocabulary Quiz 1
4	Unit 4 Keys to a Successful Job Interview: background information; vocabulary; reading	Lecture; watching video; discussion; exercise	Vocabulary notebook 2; review textbook pp. 27~29
5	Unit 4: reading exercise; watching video and answering questions; output task	Lecture; watching video; discussion; pair work	Review textbook pp. 30~32; prepare for Vocabulary Quiz 2
6	Unit 12 Women’s Rights and AI Development: background information; vocabulary; reading	Lecture; watching video; discussion; exercise	Vocabulary notebook 3; review textbook pp. 75~77

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 12: reading exercise; watching video and answering questions; output task	Lecture; watching video; discussion; pair work	Review textbook pp. 78~80; prepare for Vocabulary Quiz 3
8	Unit 10 Lively Learning about Food Waste: background information; vocabulary; reading	Lecture; watching video; discussion; exercise	Vocabulary notebook 4; review textbook pp. 63~65
9	Unit 10: reading exercise; watching video and answering questions; output task	Lecture; watching video; discussion; pair work	Review textbook pp. 66~68; prepare for Vocabulary Quiz 4
10	Presentation Skills; Talk about Presentation#1	Lecture; watching video; discussion; pair work	Download and review the teaching material
11	Unit 2 The Road to a Carbon-Free World: background information; vocabulary; reading	Lecture; watching video; discussion; exercise	Vocabulary notebook 5; review textbook pp. 15~17
12	Unit 2: reading exercise; watching video and answering questions; output task	Lecture; watching video; discussion; pair work	Review textbook pp. 18~20; prepare for Vocabulary Quiz 5
13	Unit 5 The Healing Power of Animals: background information; vocabulary; reading	Lecture; watching video; discussion; exercise	Vocabulary notebook 6; review textbook pp. 33~35
14	Unit 5: reading exercise; watching video and answering questions; output task	Lecture; watching video; discussion; pair work	Review textbook pp. 36~38; prepare for Vocabulary Quiz 6
15	Presentation#1	Presentation; discussion	Reflect on Presentation#1
16	Unit 13 Fighting Hair Discrimination and Racism: background; vocabulary; reading	Lecture; watching video; discussion; exercise	Vocabulary notebook 7; review textbook pp. 81~83
17	Unit 13: reading exercise; watching video and answering questions; output task	Lecture; watching video; discussion; pair work	Review textbook pp. 84~86; prepare for Vocabulary Quiz 7
18	Unit 14 Ways to Get Out of Business Trap: background information; vocabulary; reading	Lecture; watching video; discussion; exercise	Vocabulary notebook 8; review textbook pp. 87~89
19	Unit 14: reading exercise; watching video and answering questions; output task	Lecture; watching video; discussion; pair work	Review textbook pp. 90~92; prepare for Vocabulary Quiz 8
20	Academic Writing (1); Unit 7: background information; vocabulary; reading	Lecture; watching video; discussion; exercise	Vocabulary notebook 9; review textbook pp. 45~47
21	Academic Writing (2); Unit 7: reading; watching video and answering questions	Lecture; watching video; discussion; pair work	Review textbook pp. 48~49
22	Academic Writing (3); Unit 7: output task	Lecture; discussion; pair work	Review textbook pp. 49~50; prepare for Vocabulary Quiz 9
23	Academic Writing (4); talk about Presentation#2 (P#2)	Lecture; discussion; pair work	Download and review the teaching material; Prepare P#2
24	Academic Writing (5); Unit 1: background information; vocabulary; reading	Lecture; watching video; discussion; exercise	Vocabulary notebook 10; review textbook pp. 9~10
25	Academic Writing (6); Unit 1: reading; watching video and answering questions	Lecture; watching video; discussion; pair work	Review textbook pp. 10~11
26	Talk about Final Essay; Unit 1: output task; Presentation#2	Presentation; lecture; discussion	Review textbook pp. 11~12; prepare for Vocabulary Quiz 10
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Presentation#2	Presentation; discussion	Reflect on Presentation#2
28	Course overview; report independent learning orally	Lecture; self-report; discussion	Review the textbook; keep on learning

テキスト	O. Takeuchi, T. Yabukoshi, Y. Shinhara & B. Cotsworth. <i>Integrity (Intermediate)</i> (KINSEIDO).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語Ⅳ (3)				担当教員	R. Burton	
開講期	秋	開講時限	火金1限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English IV. Japan and the world: Living in an international community</b> This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students will have expanded their vocabulary relevant to being able to bring polite enquiry to their participation in discussions addressing international issues, as seen from a Japanese and international perspective. They will have learned methods of writing clearly, and in well-structured sentences that combine cohesively. They will have broadened their understanding, and thereby their tolerance, of diverging opinions on social issues, and gained ability to incorporate that vocabulary into their written and spoken sentences. Teacher presentations and follow-up discussions will provide ample listening-skills development. In this way students should also become more resourceful and skillful as autonomous learners of English.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	<b>Participation and performance:</b> There will be regular text comprehension exercises to gauge grasp of cultural contents, including vocabulary; contributions to discussions will be evaluated on frequency and pertinence. <b>Homework:</b> Paragraph writings will be scrutinized and evaluated for critical enquiry and clarity in politely putting forward alternative views and general cohesiveness. <b>Assessment:</b> Text Comprehension & Vocabulary Quizzes (20%), Final Report (5%) and <b>Independent learning</b> which will be evaluated with a quiz and summary task.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>上記以外で行う / other: comments made generally to the whole class</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course Introduction through example of Unit 1 SNS and Identity theft- SNS Security Risks	mini-lecture on topic + pair work discussion	Read page 7 “Identity theft” & vocabulary check
2	Identity theft examined through readings from 4 different sources plus x2 pro & x2 con opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 13 “Women-only train cars” & vocabulary check
3	Unit 2 Women’s Protection or Gender Equality?	mini lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
4	Does disproportionate empathy = sexism? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 19 “Where have eco-caps gone” & vocabulary check
5	Unit 3 Eco or Ego?- Recycling Industry Integrity Mini reading comprehension / vocabulary quiz	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
6	Distinguishing broken promises from bogus claims Readings from 4 different sources	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 25 “Online High School” & vocabulary check



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4 Rewarding Pastime? Online Education	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
8	What makes a pastime NOT a waste of time? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 31 “Japan’s press freedom” & vocabulary check
9	Unit 5 Democracy- How Free is the Press?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
10	The 4 essentials for a ‘full democracy’ + Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 37 “Casino gambling in Japan” & vocabulary check
11	Unit 6 Hopes and Fears around Casinos	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
12	Is gambling a pastime, an industry of hope, or a ruin? + Readings from 4 different sources	group discussion + vocab of betting and chance	Read page 43 “Exploitative employment” & vocab. check
13	Unit 7 Should High Schoolers Work Part-time?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
14	Balancing studies and having to earn a living Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 49 “TPP negotiators” & vocabulary check
15	Unit 8 Globalization- Who Really Benefits?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
16	Are large wealth gaps an insult to humanity? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 55 “AI beats shogi master” & vocabulary check
17	Unit 9 Humans or AI? Will AI take our jobs?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
18	Can AI learn human values? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 61 “Gap year” & vocabulary check
19	Unit 10 Gap Year- Advantage or Disadvantage for Job Hunting?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
20	Does military conscription count as a ‘gap year’? Readings from 4 different sources	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 67 “Privatization of universities” & vocab. check
21	Unit 11 Big Government or Limited Government?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
22	Dangers of too big or too little tax. Is there an Optimum? Readings from 4 different sources	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 73 “Homelessness Responsibility” & vocab. check
23	Unit 12 Are the Homeless Responsible for Their Own Homelessness?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
24	Mental health and human vulnerability - Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	group discussion + vocab. check
25	Unit 13 Severe Crimes: Punishment, Restitution or Rehabilitation?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
26	Forgiveness: guilt cultures versus shame cultures Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 85 “Foreign workers in Japan” & vocabulary check
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Unit 14 Open Borders or Closed Societies? How far open?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
28	Appropriate degrees of pity, mercy, and charity - Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 91 “Tax burden”

テキスト	Ichizo Ueda et al. <i>Take a Stance</i> (Cengage / National Geographic). ISBN9784863123335
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>



科目名	ENG202: 英語Ⅳ (4)			担当教員	M. Wilkinson
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<b>English IV. Japan and the world: Living in an international community</b> This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	By the end of the course students should be able to engage with a number of social issues facing Japanese society and the wider world. Students will be able to think critically about these issues and apply the skills they study in discussions, such as problem solving and responding appropriately to opinions. These skills be applied when giving a presentation and asking and answering questions. Independent learning skills are also developed by writing a weekly journal.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.				
評価基準	<p><i>Participation:</i> Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks.  <i>Homework assignments:</i> Completing and submitting assignments by the deadline (Textbook activities).  <i>Testing and assessment:</i> Talk giving summary of TED talk of choice-fluency (tone, eye contact, loudness, speed), content (clarity); final presentation (5 minutes)- fluency and paralanguage (body language, tone, eye contact, speed, loudness), content, including clarity and quality of PowerPoint slides, organization (introduction, transitions, conclusion), with bonus points for asking questions of peer presentations; peer summary of four presentations (accuracy in summarising key points).  <i>Independent learning:</i> Weekly journal giving thoughts on current global news and events.</p>				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course Introduction and Explanation, introductions, Unit 1: Free Therapy	Lecture, group work, discussions	Preview textbook and prepare journal
2	Unit 1: Free Therapy Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 1
3	Unit 1: Free Therapy Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
4	Unit 1: Free Therapy; Listening (video), Critical thinking, <i>English Essentials</i> Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 2
5	Unit 2: The Right to Know Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
6	Unit 2: The Right to Know Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 3
7	Unit 2: The Right to Know Listening (video), Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 3: Listen Up! Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 4
9	Unit 3: Listen Up! Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
10	Unit 3: Listen Up! Listening (video), Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 5
11	Unit 4: Big Data Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
12	Unit 4: Big Data Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 6
13	Unit 4: Big Data; Listening (video), Critical thinking, <i>English Essentials</i> Speech	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
14	Talk based on TED Q & A	Talks, Q & A	Finish textbook exercises, write journal 7
15	Unit 5: Fear Factor Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
16	Unit 5: Fear Factor Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 8
17	Unit 5: Fear Factor Listening (video), Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
18	Unit 6: Food for Thought Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 9
19	Unit 6: Food for Thought Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
20	Unit 6: Food for Thought Listening (video), Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 10
21	Unit 7: A Good Reputation Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
22	Unit 7: A Good Reputation Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 11
23	Unit 7: A Good Reputation; Listening (video), Critical thinking, <i>English Essentials</i> Presentation	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
24	Unit 8: Life Hacks Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 12
25	Unit 8: Life Hacks Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, prepare presentation
26	Unit 8: Life Hacks; Listening (video), Critical thinking, <i>English Essentials</i> Visuals	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, prepare presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentations Q & A	Presentations with Q & A after each, peer summaries	Complete peer summaries
28	Final presentations Q & A, submit summaries	Presentations with Q & A after each, peer summaries	Review the course and reflect on progress.

テキスト	Christian Lee. <i>21<sup>st</sup> Century Communication: Listening Speaking and Critical Thinking</i> (Cengage).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語Ⅳ (5)				担当教員	G. Freddes	
開講期	秋	開講時限	火金1限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English IV. Japan and the world: Living in an international community</b> This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students should be able to make effective plans for independent learning; individually conduct research; separate facts from opinions; discuss the topic with others; write an essay including facts and a personal point of view; create and deliver a five to seven-minute PowerPoint presentation that includes an effective story message, visual message, and physical message. By making three presentations, students will build the confidence to speak-out in public forums.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	Participation and performance (active involvement in text exercises, discussions, group work and Q&A); Homework (effort in thoroughly completing assignments & timely submission); Assessment: Two Essays 5% each (including facts and a personal point of view; and follow guidelines in English Essentials); and three presentations 5% each (depth and quality of research, separation of facts from opinions, the story message, visual message, physical message, follow guidelines in English Essentials); Independent Learning (15%) 5% for submission IL Plan, two Progress Reports, and Final Report						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>上記以外で行う / other : Google Docs</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course introduction: Japanese / Global issues Mingle / Network	Meeting and greeting, Discuss social issues	Write two paragraphs; Read Inspiring Voices pp. 11-12, DVD
2	Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology, Nadiem Makarim (CEO, Gojek)	Networking, form groups, discussion	Read English Essentials pp. 40 - 45, Begin research
3	The Writing Process	Brainstorming, Clustering, Outlining	Outline; I.V. text pp. 17-18 DVD Independent Learning (IL) plan
4	Bringing Medicine to the African Backcountry: Eri Machii (Chairperson, AfriMedico)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read English Essentials (E.E) pp. 46-50; Continue research
5	Outlining and revising an essay: organization and content	Reading, revising an essay outline	Complete Outline; Read I.V. text pp. 23-24 and watch DVD

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
6	Saving Children in Poverty Through Music Margaret Martin (Founder, Harmony Project)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read E.E. text pp. 61-64. Write a paragraph
7	Essay writing: thesis statement, E.E. text pp. 19-23 Speech	Oral presentation, listening, discussion	I.V. text pp. 29-30 and watch the DVD; First draft of essay
8	The Matcha Business: A Maverick Spirit Takeo Sugita (President, Aiya)	Oral presentation, listening, discussion	Submit First Draft of Essay. E.E. text pp. 19-30 (skim)
9	E.E. text Speech; Visuals: Making them outstanding and effective	Vocabulary, listening, discussion, writing	I.V. text pp. 35-36 DVD; begin preparing visuals; (IL Report)
10	French Refugee Integration Ayyam Sureau (Founder, Pierre Claver)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Essay and prepare for Presentation #1
11	Presentation preparation and practice with your group	Integration of skills, group work	Practice for presentation and submit Essay
12	Presentation #1. Women with Others: A Japanese / Global Issue of Personal Interest	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; I.V. text pp. 41-42, DVD
13	The Power of Biologging: Yuuki Watanabe (Marine Biologist: National I. of Polar Research)	Listening, discussion, Form new groups	I.V. text pp. 47-48 and watch the DVD
14	Farming is the Future: Cherrie Atilano (Founding Farmer and CEO, AGREA)	Listening, discussion, topics for Presentation 2	I.V. text pp. 53-54 and watch the DVD
15	New Challenges for a Fashion Giant Luciano Benetton (Co-founder, Benetton Group)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Outline Presentation #2; I.V. text pp. 59-60 and DVD
16	Helping the Socially Vulnerable: Viola Cheng (Entrepreneur, Good Food Enterprise)	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); Prepare 11 visuals for Presentation #2
17	Final preparations and practice for Presentation #2	Concise writing, peer review, practice timing	Practice for presentation, Check your timing
18	Presentation #2. Women for Others: A Positive Contribution Toward Solving a Global Issue	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; I.V. text pp. 65-66, DVD
19	The Danish Recipe for Happiness: Meik Wiking (CEO, Happiness Research Institute)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Begin Outline of your Final Report; I.V. text pp. 71-72, DVD
20	Knitting the Future by Hand: Tamako Mitarai (CEO, Kesenuma Knitting)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Outline of your Final Report; I.V. text pp. 77-78, DVD
21	Towards a Zero-Waste Future Sun Xiaolong (Scientist, Zerowaste Asia)	Vocabulary, listening, discussion, writing	I.V. text pp. 83-84 and watch the DVD
22	The Healing Power of Dogs: Toru Oki (Chairman, International Therapy Dog Assc.)	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); First Draft of Final Report; I.V. text pp. 89-90, DVD
23	Uncovering Our Hidden Biases: Mahzarin Banji (Social Psychologist, Harvard University)	Vocabulary, listening, discussion, writing	I.V. text pp. 95-96, watch DVD. Revise your Final Report
24	Space Exploration: Can Private Citizens Play a Role? Bill Nye (CEO, The Planetary Society)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Revise your Final Report
25	Preparations for Presentation #3, present to your group	Integration of skills, group work	Practice for Presentation #3
26	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue... Your Future (Group 1)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Final Report; Self- Evaluation Form and P.A.R
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue... Your Future (Group 2)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit late homework, Prepare for Interview
28	Interview and Portfolio Review	Interviewing skills	Submit late homework

テキスト	Kobayashi, Fujita, Collins. <i>Inspiring Voices</i> (Kinseido).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i> Watch TEDTalks, NHK World News, BBC and CNN (all online)

科目名	ENG202: 英語Ⅳ (6)			担当教員	O. Massoud
開講期	秋	開講時限	火金1限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	<b>English IV. Japan and the world: Living in an international community</b> This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	<p>By the end of this course, the students will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>clearly express their opinion on world topics or issues</li> <li>deliver an interesting and informative two to three-minute presentation</li> <li>comprehend the topics or events by answering questions</li> <li>recognize and use key vocabulary and phrases from the textbook</li> <li>utilize the key phrases and appropriate grammar forms in their presentations</li> <li>use key vocabulary in sentences as their homework</li> </ul>				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>Participation and performance: Students will be evaluated on their participation in class discussions, their performance in pair and group work, and the quality of their oral presentations.</li> <li>Homework: Students will be evaluated on their ability to complete relevant assignments on time, including textbook exercises, grammar tasks and vocabulary sentences.</li> <li>Testing and assessment: Quizzes will be used to assess understanding of vocabulary and class discussion topics, and the final presentation will be evaluated on interesting and informative topics. The final report, a research project paper in essay form, will evaluate the demonstration of grammatical accuracy, and articulation of a particular global issue.</li> <li>Independent learning: Students will be evaluated on their completion of two independent learning (IL) study plans and reflections.</li> </ol>				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>上記以外で行う / other: Google Sheets and Google Docs.</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course.	Meeting and greeting, course overview	Review the syllabus. Buy the textbook. Read pp.1-10.
2	Unit 1: Living for Work- An interview with Annie Griffiths (with slide show).	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.10-20.
3	Unit 1: Living for work- Becoming a Butler. Vocab Set #1. Listening Log #1. Report.	Listening, group discussion, writing	Read pp.20-30.
4	Unit 2: Good Times, Good Feelings- Laughter Yoga. Study Plan #1.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.30-40.
5	Unit 2: Good Times, Good Feelings- A Talk about City Parks.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read pp.40-50.



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 3: The Marketing Machine- A Newscast about marketing. Report Outline.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.50-60.
7	Unit 3: The Marketing Machine- Mascots: Fun for everyone! Vocab Set #2. Listening Log #2.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Quiz preparation.
8	Review, Quiz and Presentation Preparation.	quiz and comments, lecture, discussion	Presentation preparation.
9	Presentation.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.60-70.
10	Unit 4: Wild Weather- A Podcast about Strange Weather.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.70-80.
11	Unit 4: Wild Weather- A Conversation about Greenland. Research Project Report Draft #1.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.80-90.
12	Unit 5: Focus on Food- A radio Show about Ugly Food.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.90-100.
13	Unit 5: Focus on Food- A Lecture about Feeding the World.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.100-110.
14	Unit 6: Housing for the Future- A Lecture about Housing Solutions. Vocab Set #3. List. Log #3.	Review, presentation preparation	Read pp.110-120.
15	Unit 6: Housing for the Future- Livable Spaces of Steel.	Oral presentation, Q&A, discussion	Check your notes.
16	Review. Research Project Report Draft #2.	Oral presentation, Q&A, discussion	Read pp.120-130.
17	Unit 7: Exploring Space- A Class Presentation about Space Travel.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.130-140.
18	Unit 7: Exploring Space- How to Choose a mars Landing Site. Vocab Set #4.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.140-150.
19	Unit 8: Creative Arts- A Lecture about Temporary Art.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read pp.150-160.
20	Unit 8: Creative Arts- Making Art from recycled Glass.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.150-160.
21	Unit 9: Our Relationship with Nature- A Lecture about ethics. Vocab Set #5. Listening Log #4.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.160-170.
22	Unit 9: Our Relationship with Nature- A Conversation about a Town in Zimbabwe.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read pp.170-180.
23	Unit 10: How we Communicate- A report about Communication Software. Report Final Draft.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.180-190.
24	Unit 10: How we Communicate- Elephants Communicate while at Play.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read pp.190-200. Quiz preparation.
25	Quiz, Review and Research Project Presentation Preparation.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Presentation preparation.
26	Research Project Presentation.	Writing and Q&A	Presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Research Project Presentation.	Oral presentation, Q&A, comments	Presentation preparation.
28	Wrap-Up.	Oral presentation, comments, discussion	Wrap-up.

テキスト	Becky Tarver Chase. <i>Pathways: Listening, Speaking, and Critical Thinking 1</i> (2 <sup>nd</sup> Ed.) (Heinle & Heinle Pub).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>
その他特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.



科目名	ENG202: 英語Ⅳ (7)				担当教員	岩崎 明子	
開講期	秋	開講時限	火金1限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-①	
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	<b>English IV. Japan and the world: Living in an international community</b> This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By using the Content Language Integrated Learning (CLIL) approach, students can learn to engage in formal discussions. By learning vocabulary and expressions related to the topic in each unit, students not only gain knowledge about the evolving world and guidelines for effective discussion, but also become accustomed to thinking logically, developing ideas, and drawing conclusions both in speech and writing.						
評価方法	1) Participation and performance in classroom activities, including short speeches and presentations (30%); 2) Homework assignments, including “unit reports” (30%); 3) Testing and assessment: four vocabulary quizzes and two review tests (15%) / final presentation (10%); 4) Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	1) active involvement, effort to use English, use of new vocabulary, content and delivery of speeches; 2) completion, on-time-submission, logical structure; 3) correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions / length, suitable theme, good organization (from introduction to conclusion) ; 4) IL study plans, IL reflection sheets, and a few IL journals submitted on time / taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Reports: returned with comments to the folder in Moodle.</li> <li>Vocabulary quizzes, review tests: Google Forms and oral feedback.</li> <li>Speeches and presentations: oral feedback and specific comment sheets.</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course	explanation by instructor	review syllabus
2	Ut.1 Artificial Intelligence: How Will Humans Live with AI?	pair work, small group discussion, reading	pp.13~17, submit IL plan1)
3	Ut.1 short speech, agree or disagree (A or D): AI benefits human life	pair work, listening, Q&A, writing	pp.18~20
4	Ut.2 Business: The Sharing Economy	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.1 report, pp.21~25
5	Ut.2 short speech, A or D: furima-apps will create a huge recycling market	pair work, listening, Q&A, writing	pp.26~28
6	Ut.3 Food Waste: Food Waste and Consumers	pair work, small group discussion, reading	voc. quiz (ut.1,2), submit Ut.2 report, pp.29~33

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Ut.3 short speech, A or D: Sushi restaurants should stop offering sushi on a conveyor belt	pair work, listening, Q&A, writing	pp.34~36
8	Ut.4 Environmental Problems: Plastic Waste	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.3 report, pp.37~41
9	Ut.4 short speech, (A or D): We should live without using plastic products	pair work, listening, Q&A, writing	pp.42~44, submit IL reflection1) and plan
10	Ut.5 The Japanese Mentality: Do They Have Good Manners?	pair work, small group discussion, reading	Voc. quiz (ut.3,4), submit Ut.4 report, pp.45~49
11	Ut.5 short speech, (A or D): Good manners should be taught in moral education class at school	pair work, listening, Q&A, writing	pp.50~52
12	Ut.6 Space Exploration: Will Space Benefit Our Future?	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.5 report, pp.53~57
13	Ut.6 short speech, (A or D): Japan should promote more private-sector space ventures	pair work, listening, Q&A, writing	pp.58~60
14	Review test #1, explanation of final project	explanation by instructor pair work, reading,	prepare test#1 (Ut.1~6)
15	Ut.7 Immigration: Foreign Residents in Japan feedback for test#1	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.6 report, pp.61~65
16	U.7 short speech, (A or D): Japan is a convenient place to work and live for foreign residents	pair work, listening, Q&A, writing	pp.66~68, submit IL reflection2) and plan3)
17	Ut.8 Education: Online learning should be used	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.7 report, pp.69~73
18	Ut.8 short speech, (A or D): More online video lectures should be used at schools for higher education	pair work, listening, Q&A, writing	pp.74~76
19	Ut.10 Science: The New Agricultural Revolution	pair work, small group discussion, reading	Voc. quiz (ut.7,8), submit Ut.8 report, pp.85~89
20	Ut.10 short speech, (A or D): Japan should grow GMO crops	pair work, listening, Q&A, writing	pp.90~92
21	Ut.11 The Aging Society: Elderly Drivers	pair work, small group discussion, reading	submit Ut.10 report, pp.93~97
22	Ut.11 short speech, (A or D): We should require the elderly to give up their driver's license	pair work, listening, Q&A, writing	pp.98~100, IL reflection 3) and plan 4)
23	Ut.14 Religions: Changes in Islam	pair work, small group discussion, reading	Voc. quiz (ut.10,11), submit Ut.11 report, pp.117~121
24	Ut.14 short speech, (A or D): We should change some of religious rules suitable for modern society	pair work, listening, Q&A, writing	pp.122~124
25	Review test #2 Final presentation practice	pair work, small group discussion, reading	prepare test#2 (Ut.7,8,10,11,14)
26	Final presentation (1)	listening, Q&A, writing, peer assessment	prepare for the presentation, submit final draft and slides
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentation (2)	listening, Q&A, writing, peer assessment	submit final draft and slides, IL reflection 4), journals
28	Feedback for test #2, Recap the course	explanation by instructor pair work	submit all unsubmitted homework

テキスト	Nakaya, Miyako. Yukita, Miyuki. Yamazaki, Masaru. Godfrey, Chad L. (2020) <i>CLIL: Discuss the Changing World</i> (SEIBIDO).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座 I			担当教員	C. Oliver, 神谷 雅仁, Thomas, M. Lupas
開講期	春	分類	必修		
単 位	1	標準受講年次	1年		
DP 及び 学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-②
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning				
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals.  In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.				
達成目標 (授業の目的)	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: <ul style="list-style-type: none"> <li>• better understanding of the TOEIC test and its various parts;</li> <li>• better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam;</li> <li>• developing effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• learning effective test-taking strategies for each part of the exam.</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.  In addition, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>				
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.  In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.				
課題等に対する フィード バック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
準備学修 の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1-	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。		
14	Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course.</li> <li>• Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.</li> </ul>

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ			担当教員	O. Ilina, P. McQuilling, J. Zhang
開講期	秋	分類	必修		
単 位	1	標準受講年次	1年		
DP 及び 学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-②
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning				
授業の 概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals.  In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.				
達成目標 (授業の目的)	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: <ul style="list-style-type: none"> <li>• learning how to overcome one's own weaknesses on the exam;</li> <li>• applying effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• increasing one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• applying effective test-taking strategies for each part of the exam.</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.  In addition, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>				
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.  In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.				
課題等に対する フィード バック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
準備学修 の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1-	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。		
14	Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course.</li> <li>• Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.</li> </ul>

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座 I (A)				担当教員	C. Oliver	
開講期	春	開講時限	月1限		研究室	4205	
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-②	
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning						
授業の概要	<p>Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals.</p> <p>In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.</p>						
達成目標 (授業の目的)	<p>The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• better understanding of the TOEIC test and its various parts;</li> <li>• better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam;</li> <li>• developing effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• learning effective test-taking strategies for each part of the exam</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	<p>Through taking this course, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• demonstrate knowledge of basic features of the TOEIC test (test sections, question types, etc.);</li> <li>• correctly answer questions about TOEIC-related vocabulary studied during the semester;</li> <li>• demonstrate understanding of skills and strategies covered in class;</li> <li>• use skills and strategies learned to correctly answer TOEIC Listening and Reading questions;</li> </ul> <p>In addition, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class: active involvement in everyday class activities</li> <li>• Homework: completed thoroughly, according to instructions, and on time; homework may not be submitted more than 2 weeks after the due date</li> <li>• Quizzes: correct answers to questions about TOEIC-related vocabulary, knowledge, skills, and/or strategies covered in class; quizzes may be given at random dates during the semester</li> <li>• Assessment (two tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions; correct answers to questions about TOEIC-related vocabulary, knowledge, skills, and/or strategies covered in class</li> <li>• Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).</li> </ul> <p>In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.</p>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course; how to access audio files for the textbooks; explanation of Study Goals sheet; explanation of 問題集 homework	lecture, pair work, textbook activities	Get textbook; download all audio files (mp3 files)
2	Unit 1: Traveling	lecture, textbook activities, pair work	Complete Study Goals sheet; study Unit 1 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
3	Unit 2: Daily Life & Shopping	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 2 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
4	Unit 3: At Restaurants	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 3 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
5	Unit 4: Job Hunting & Unit 5: At the Office 1	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 4 & Unit 5 vocab. in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
6	Unit 6: At the Office 2	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 6 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
7	Test #1; Unit 8: Doing Business Online	test, lecture, textbook activities, pair work	Study for test; study Unit 8 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
8	Unit 9: Housing	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 9 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
9	Unit 10: Making Deals & Contracts; return Test #1 and go over results	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 10 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
10	Unit 11: Public Service	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 11 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
11	Unit 12: Banking & Finance	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 12 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
12	Unit 13: At Seminars & Workshops	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 13 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
13	Test #2; explanation of Summer Break Study Plan	test, lecture, pair work	Study for test; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Return Test #2 and go over results; Summer Break Study Plan follow-up	lecture, pair work	Complete Summer Break Study Plan

テキスト	① Michiko Ueki et al. <i>Illuminating the Path to the TOEIC L&amp;R Test</i> (Kinseido). ② 『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 3』 (国際ビジネスコミュニケーション協会)
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course.</li> <li>Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.</li> </ul>



科目名	ENG111: TOEIC 対策講座 I (B)				担当教員	神谷 雅仁		
開講期	春	開講時限	月1限		研究室	4215		
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-②	
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning							
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.							
達成目標 (授業の目的)	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: <ul style="list-style-type: none"> <li>• better understanding of the TOEIC test and its various parts;</li> <li>• better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam;</li> <li>• developing effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• learning effective test-taking strategies for each part of the exam</li> </ul>							
到達目標 (学修成果)	Through this course, students will be able to do the following: <ul style="list-style-type: none"> <li>• to understand various types of texts, especially reading texts;</li> <li>• to further build vocabulary necessary to understand various types of texts;</li> <li>• to gain finer points of grammatical knowledge;</li> <li>• to understand and strengthen strategies to find correct answers by closely examining the tendencies and patterns of questions; and</li> <li>• to be independent learners of English</li> </ul> In addition, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>							
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class: active involvement in class activities.</li> <li>• Homework: listening and reading exercises in designated chapters in the textbook and Book Check on the vocabulary training book to find out one's strengths and weaknesses.</li> <li>• Quizzes: understanding of vocabulary items learned through the vocabulary training book.</li> <li>• Assessment: scores of two in-class tests. They test students' understanding of various types of text, of grammar points in the textbook, and of listening and reading strategies learned in the class.</li> <li>• Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).</li> </ul> In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.							
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>							
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; introducing basic TOEIC strategies; Lesson 2: The Internet 動詞	Lecture and do exercises	Read Introduction part and explanations of Ch.2
2	Lesson 2: The Internet 動詞（後半の内容）；Lesson 1: Headhunting 消える音（1）	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 11-16)
3	Lesson 4: Corporate Culture 時制 Lesson 3: Weddings 消える音（2）；Quiz ①	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 17-22)
4	Lesson 6: Movies 形容詞 Lesson 5: Music 応答の予測	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 23-28)
5	Lesson 8: Recruiting 名詞 Lesson 7: Sightseeing 1つになる音	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 29-34)
6	Lesson 10: Forecasts 分詞構文; Lesson 9: Shopping 音の短縮; review for test ①; Quiz ②	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 35-40)
7	In-class test ① Lesson 12: Crime 不定詞	Do the review and take the test	Read lessons from 1 to 10 again and prepare for the test
8	Return test ① and go over results; Lesson 12: Crime 不定詞; Lesson 11: Customs つながる音（1）	Review the test. Lecture and exercise check.	Read explanations and do exercises (pp. 41-46)
9	Lesson 14: Global Matters 動名詞 Lesson 13: New Products つながる音（2）	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 47-52)
10	Lesson 16: Parties 主語と動詞の一致 Lesson 15: Health 無声化する音	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 53-58)
11	Lesson 18: Travel 関係詞 Lesson 17: Skiing 有声化する音; Quiz ③	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 59-64)
12	Lesson 20: Hospitals 接続詞; Lesson 19: Dating 弱くなる音; review for test ②	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 71-76)
13	In-class test ② Lesson 22: Opportunities 仮定法	Do the review and take the test	Read lessons from 11 to 20 again and prepare for the test
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Quiz ④; return the test ② and go over results; Course Review	Review the test. Wrap-up of the course	Study for Quiz; prepare for test review

テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Donald Beaver, Michael Walker, &amp; Kei Mihara. <i>Navigator for the TOEIC Test</i>（南雲堂）.</li> <li>• 『TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー』（ETS 国際ビジネスコミュニケーション協会）</li> </ul>
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit（単位）for the course.</li> <li>• Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.</li> </ul>

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座 I (C)				担当教員	M. Lupas	
開講期	春	開講時限	木1限		研究室	4206	
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-②	
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning						
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.						
達成目標 (授業の目的)	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: <ul style="list-style-type: none"> <li>• better understanding of the TOEIC test and its various parts;</li> <li>• better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam;</li> <li>• developing effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• learning effective test-taking strategies for each part of the exam</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• master over 400 high-frequency TOEIC vocabulary words and phrases.</li> <li>• know the names and features of the different parts of the test and the number of questions in each part.</li> <li>• be aware of common strategies for approaching each part of the test.</li> <li>• work through and correctly answer past TOEIC questions.</li> </ul> In addition, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class: responding to the teacher's questions in class, active participation in group work and pair work.</li> <li>• Homework and quizzes: completion of homework problem sets and vocabulary quizzes.</li> <li>• Assessment: score on test 1 (10%) and test 2 (20%). The tests include questions about the TOEIC test format (information about the parts of the test and possible strategies for answering questions in each part) and past TOEIC questions.</li> <li>• Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).</li> </ul> In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the class. How to learn and study in view of the TOEIC L&R, e-learning, vocab, past questions. Part 1 photos	Whole group lecture, pair work	After the class do e-learning, review vocab pp. 91-97 and do the quizzes in Moodle
2	Part 2 Short questions, Past questions 1.2 Strategy: beware of distractors	Whole group lecture, pair work	Review day 2 PPT; do vocab pp. 1-29 quizzes in Moodle
3	Part 3 Conversations, Past questions 1.3 Strategy: Skimming the questions, predicting	Whole group lecture, pair work	Review day 3 PPT; do vocab pp. 30-49 quizzes in Moodle
4	Part 4 One-speaker talk, Past questions 1.4 Strategy: Questions follow the order the information is given	Whole group lecture, pair work	Review day 4 PPT; do vocab pp. 50-69 quizzes in Moodle
5	Part 5 Incomplete Sentences, Past questions 1.5 Parts of speech, SV agreement, Verb tenses	Whole group lecture, pair work	Review day 5 PPT; do vocab pp. 173-74 quizzes in Moodle
6	Part 7 Reading Comprehension questions 1.7, Strategy: do the easy questions first; scanning	Whole group lecture, pair work	Review day 6 PPT; do vocab pp. 70-89 quizzes in Moodle
7	Part 6 Text completion Adverbs, gerunds, infinitives, pronouns	Whole group lecture, pair work	Study for test 1; do vocab pp. 108-127 quizzes in Moodle
8	Parts 1 and 2, Past questions 2.1 and 2.2, Test 1	Test, pair work	Review day 8 PPT; do vocab pp. 98-106 quizzes in Moodle
9	Part 5 Incomplete Sentences, Past questions 2.5	Whole group lecture, pair work	Review day 9 PPT; do vocab pp. 108-127 quizzes in Moodle
10	Part 7 Reading Comprehension, Past questions 2.7 (a), Return test 1 and go over the test results	Whole group lecture, pair work	Review day 10 PPT; do vocab pp. 128-147 quizzes in Moodle
11	Parts 3 and 4, Past questions 2.3 and 2.4	Whole group lecture, pair work	Review day 11 PPT; do vocab pp. 168-171 quizzes in Moodle
12	Part 7 Reading Comprehension Questions with graphs and charts	Whole group lecture, pair work	Study for test 2. Review day 12 PPT; do vocab pp. 148-167 quizzes in Moodle
13	Part 6 Text completion. Test 2	Test, pair work	Review day 13 PPT; do vocab pp. 168-171 quizzes in Moodle
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Word study games Return test 2 and go over the test results	Whole group lecture, pair work	Review vocabulary and find official TOEIC test dates

テキスト	①T. 加藤『TOEIC L&R Test 出る単特急 金のフレーズ』（Asahi Shimbun） ②『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 4』（2018, IIBC）
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit（単位） for the course.</li> <li>Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.</li> </ul>

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座 I (D)			担当教員	Thomas		
開講期	春	開講時限	木2限		研究室	4211	
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-②	
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning						
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.						
達成目標 (授業の目的)	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: <ul style="list-style-type: none"> <li>• better understanding of the TOEIC test and its various parts;</li> <li>• better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam;</li> <li>• developing effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• learning effective test-taking strategies for each part of the exam</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of course, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• improve their knowledge of the features of TOEIC test;</li> <li>• improve their knowledge of vocabulary and grammar to answer correctly in TOEIC test;</li> <li>• learn more test taking strategies for TOEIC test;</li> <li>• improve their ability to comprehend the main ideas of a paragraph in TOEIC test;</li> </ul> In addition, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>						
評価基準	To be distributed at the first class.  In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う／orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to syllabus, teaching materials and class policies.	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1 Travel: TOEIC vocabulary, 'WH' questions, TOEIC phrase and collocation	Lecture, pair work, reading	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 1
3	Unit 2 Dining out: TOEIC vocabulary, questions using 'Where', understanding long sentences	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 2
4	Unit 3 Media: TOEIC vocabulary, questions using 'when', TOEIC expressions	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 3
5	Unit 4 Entertainment: TOEIC vocabulary, part 1 activities of persons, questions using 'why'. Assessment test 1	Lecture, pair work, reading	Prepare for Assessment test 1, do listening exercises in Unit 4
6	Unit 5 Purchasing: TOEIC vocabulary, return Assessment test 1 with feedback	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 5
7	Unit 6 Clients: TOEIC vocabulary, use of how often, how long, how many etc.,	Lecture, pair work, reading, quiz	Do listening exercises in Unit 6
8	Unit 7 Recruiting: TOEIC vocabulary, TOEIC conversations, TOEIC expressions	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do all listening exercises in Unit 7
9	Unit 8 Personnel: TOEIC vocabulary, Yes/No questions	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 8
10	Unit 9 Advertising: TOEIC vocabulary, TOEIC phrases & collocations, comparison. Assessment test 2	Lecture, pair work, reading	Prepare for Assessment test 2, do listening exercises in Unit 9
11	Unit 10 Meetings: TOEIC vocabulary, return Assessment test 2 with feedback	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 10
12	Unit 11 Finance: TOEIC vocabulary, negative question	Lecture, pair work, reading, quiz	Do listening exercises in Unit 11
13	Unit 12 Offices: TOEIC vocabulary, use of pronoun	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 12
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Unit 13 Daily life, TOEIC vocabulary, conclusion, feedback	Lecture, pair work, reading, discussion	Prepare for feedback

テキスト	Koji Hayakawa, Nobuko Nakamura, Naoyuki Bamba, and Ken Suzuki. <i>The High Road to the TOEIC Listening and Reading Test</i> (Kinseido).		
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course.</li> <li>• Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.</li> </ul>		



科目名	ENG111: TOEIC 対策講座 I (E)				担当教員	C. Oliver	
開講期	春	開講時限	月 2 限		研究室	4205	
分類	必修	単 位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-②	
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning						
授業の概要	<p>Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals.</p> <p>In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.</p>						
達成目標 (授業の目的)	<p>The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• better understanding of the TOEIC test and its various parts;</li> <li>• better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam;</li> <li>• developing effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• learning effective test-taking strategies for each part of the exam</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	<p>Through taking this course, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• demonstrate knowledge of basic features of the TOEIC test (test sections, question types, etc.);</li> <li>• correctly answer questions about TOEIC-related vocabulary studied during the semester;</li> <li>• demonstrate understanding of skills and strategies covered in class;</li> <li>• use skills and strategies learned to correctly answer TOEIC Listening and Reading questions;</li> </ul> <p>In addition, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class: active involvement in everyday class activities</li> <li>• Homework: completed thoroughly, according to instructions, and on time; homework may not be submitted more than 2 weeks after the due date</li> <li>• Quizzes: correct answers to questions about TOEIC-related vocabulary, knowledge, skills, and / or strategies covered in class; quizzes may be given at random dates during the semester</li> <li>• Assessment (two tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions; correct answers to questions about TOEIC-related vocabulary, knowledge, skills, and / or strategies covered in class</li> <li>• Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).</li> </ul> <p>In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.</p>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course; how to access audio files for the textbooks; explanation of Study Goals sheet; explanation of 問題集 homework	lecture, pair work, textbook activities	Get textbook; download all audio files (mp3 files)
2	Unit 1: Traveling	lecture, textbook activities, pair work	Complete Study Goals sheet; study Unit 1 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
3	Unit 2: Daily Life & Shopping	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 2 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
4	Unit 3: At Restaurants	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 3 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
5	Unit 4: Job Hunting & Unit 5: At the Office 1	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 4 & Unit 5 vocab. in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
6	Unit 6: At the Office 2	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 6 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
7	Test #1; Unit 8: Doing Business Online	test, lecture, textbook activities, pair work	Study for test; study Unit 8 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
8	Unit 9: Housing	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 9 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
9	Unit 10: Making Deals & Contracts; return Test #1 and go over results	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 10 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
10	Unit 11: Public Service	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 11 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
11	Unit 12: Banking & Finance	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 12 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
12	Unit 13: At Seminars & Workshops	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 13 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
13	Test #2; explanation of Summer Break Study Plan	test, lecture, pair work	Study for test; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Return Test #2 and go over results; Summer Break Study Plan follow-up	lecture, pair work	Complete Summer Break Study Plan

テキスト	① Michiko Ueki et al. <i>Illuminating the Path to the TOEIC L&amp;R Test</i> (Kinseido). ② 『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 3』 (国際ビジネスコミュニケーション協会)
その他 特記事項	・ Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・ Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ (A)				担当教員	J. Zhang	
開講期	秋	開講時限	火1限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-②	
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning						
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.						
達成目標 (授業の目的)	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: <ul style="list-style-type: none"> <li>• learning how to overcome one's own weaknesses on the exam;</li> <li>• applying effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• increasing one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• applying effective test-taking strategies for each part of the exam.</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of the semester, each student should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• better understand TOEIC test features (7 parts of the test, question types, etc.);</li> <li>• understand and effectively use the skills and strategies learned in class to answer TOEIC questions;</li> <li>• pace themselves when taking the Reading section;</li> <li>• form a better habit of independent learning.</li> </ul> In addition, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class: active participation in everyday class activities;</li> <li>• Homework and quizzes: completing homework thoroughly and submitting it on time; reflecting an effort to improve study habits; reflecting an understanding of skills and strategies learned in class; answering vocabulary quizzes correctly; Homework: 15%; Quizzes: 15%.</li> <li>• Assessment (two mini mock tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions by applying knowledge and strategies learned in class; Test 1: 15%; Test 2: 15%.</li> <li>• Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).</li> </ul> In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Moodleで行う/Moodle</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; introduction; explaining the evaluation criteria	Lecture; individual / pair / group tasks	Buy textbook; read pp. 10-11; log in Kinseido Checklink
2	Unit 1 Shopping: vocabulary 1; listening section (Part 1~4)	Lecture; exercise; dictation	Do e-learning; review what you learn; listen to the mp3 again
3	Unit 1 Shopping: reading section (Part 5~7); grammar: 名詞	Lecture; exercise	Do e-learning; complete the remaining exercise in Unit 1
4	Review Quiz 1; Unit 2 Dining Out: vocabulary 2; listening section (Part 1~4)	Lecture; exercise; dictation	Do e-learning; review what you learn; listen to the mp3 again
5	Unit 2 Dining Out: reading section (Part 5~7); grammar: 代名詞	Lecture; exercise	Do e-learning; complete the remaining exercise in Unit 2
6	Review Quiz 2; Unit 3 Daily Life: vocabulary 3; listening section (Part 1~4)	Lecture; exercise; dictation	Do e-learning; review what you learn; listen to the mp3 again
7	Unit 3 Daily Life: reading section (Part 5~7); grammar: 形容詞	Lecture; exercise	Do e-learning; complete the remaining exercise in Unit 3
8	Test 1; Unit 4 Travel: vocabulary 4; listening section (Part 3~4)	Test; lecture; exercise; dictation	Do e-learning; review what you learn; listen to the mp3 again
9	Review Quiz 3; feedback on Test 1; Unit 4 Travel: reading section (Part 5); grammar: 副詞	Lecture; exercise	Do e-learning; complete the remaining exercise in Unit 4
10	Unit 5 Entertainment: vocabulary 5; listening section (Part 1~4)	Lecture; exercise; dictation	Review what you learn; listen to the mp3 again
11	Unit 5 Entertainment: reading section (Part 5~7); grammar: 時制（現在・過去・未来）	Lecture; exercise	Complete the remaining exercise in Unit 5
12	Review Quiz 5; Unit 6 News & Media: vocabulary 6; listening section (Part 1~4)	Lecture; exercise; dictation	Review what you learn; listen to the mp3 again
13	Test 2; Unit 6: reading section (Part 5); grammar: 進行形・現在完了形	Test; lecture; exercise	Complete the remaining exercise in Unit 6
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Feedback on Test 2; discussing self-study plan; course review	Lecture; self-report; group discussion	Review the textbook; continue to study

テキスト	R. Hickling, <i>First Try for the TOEIC L&amp;R Test</i> (KINSEIDO).
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit（単位） for the course.</li> <li>Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.</li> </ul>

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ (B)				担当教員	J. Zhang	
開講期	秋	開講時限	金1限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-②	
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning						
授業の概要	<p>Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals.</p> <p>In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.</p>						
達成目標 (授業の目的)	<p>The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• learning how to overcome one's own weaknesses on the exam;</li> <li>• applying effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• increasing one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• applying effective test-taking strategies for each part of the exam.</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	<p>By the end of the semester, each student should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• better understand TOEIC test features (7 parts of the test, question types, etc.);</li> <li>• understand and effectively use the skills and strategies learned in class to answer TOEIC questions;</li> <li>• pace themselves when taking the Reading section;</li> <li>• form a better habit of independent learning.</li> </ul> <p>In addition, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class: active participation in everyday class activities;</li> <li>• Homework and quizzes: completing homework thoroughly and submitting it on time; reflecting an effort to improve study habits; reflecting an understanding of skills and strategies learned in class; answering vocabulary quizzes correctly; Homework: 15%; Quizzes: 15%.</li> <li>• Assessment (two mini mock tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions by applying knowledge and strategies learned in class; Test 1: 15%; Test 2: 15%.</li> <li>• Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).</li> </ul> <p>In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.</p>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Moodleで行う/Moodle</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; introduction; explaining the evaluation criteria	Lecture; individual / pair / group tasks	Buy textbook; read pp. 10-11; log in Kinseido Checklink
2	Unit 1 Shopping: vocabulary 1; listening section (Part 1~4)	Lecture; exercise; dictation	Do e-learning; review what you learn; listen to the mp3 again
3	Unit 1 Shopping: reading section (Part 5~7); grammar: 名詞	Lecture; exercise	Do e-learning; complete the remaining exercise in Unit 1
4	Review Quiz 1; Unit 2 Dining Out: vocabulary 2; listening section (Part 1~4)	Lecture; exercise; dictation	Do e-learning; review what you learn; listen to the mp3 again
5	Unit 2 Dining Out: reading section (Part 5~7); grammar: 代名詞	Lecture; exercise	Do e-learning; complete the remaining exercise in Unit 2
6	Review Quiz 2; Unit 3 Daily Life: vocabulary 3; listening section (Part 1~4)	Lecture; exercise; dictation	Do e-learning; review what you learn; listen to the mp3 again
7	Unit 3 Daily Life: reading section (Part 5~7); grammar: 形容詞	Lecture; exercise	Do e-learning; complete the remaining exercise in Unit 3
8	Test 1; Unit 4 Travel: vocabulary 4; listening section (Part 3~4)	Test; lecture; exercise; dictation	Do e-learning; review what you learn; listen to the mp3 again
9	Review Quiz 3; feedback on Test 1; Unit 4 Travel: reading section (Part 5); grammar: 副詞	Lecture; exercise	Do e-learning; complete the remaining exercise in Unit 4
10	Unit 5 Entertainment: vocabulary 5; listening section (Part 1~4)	Lecture; exercise; dictation	Review what you learn; listen to the mp3 again
11	Unit 5 Entertainment: reading section (Part 5~7); grammar: 時制（現在・過去・未来）	Lecture; exercise	Complete the remaining exercise in Unit 5
12	Review Quiz 5; Unit 6 News & Media: vocabulary 6; listening section (Part 1~4)	Lecture; exercise; dictation	Review what you learn; listen to the mp3 again
13	Test 2; Unit 6: reading section (Part 5); grammar: 進行形・現在完了形	Test; lecture; exercise	Complete the remaining exercise in Unit 6
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Feedback on Test 2; discussing self-study plan; course review	Lecture; self-report; group discussion	Review the textbook; continue to study

テキスト	R. Hickling, <i>First Try for the TOEIC L&amp;R Test</i> (KINSEIDO).
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit（単位）for the course.</li> <li>Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.</li> </ul>



科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ (C)				担当教員	P. McQuilling	
開講期	秋	開講時限	火1限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-②	
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning						
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.						
達成目標 (授業の目的)	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: <ul style="list-style-type: none"> <li>• learning how to overcome one's own weaknesses on the exam;</li> <li>• applying effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• increasing one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• applying effective test-taking strategies for each part of the exam.</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of the course students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• implement TOEIC test reading and listening strategies to improve their TOEIC score;</li> <li>• raise their awareness of TOEIC related grammatical structures;</li> <li>• increase their knowledge of TOEIC related vocabulary in reading and listening contexts.</li> </ul> In addition, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class: active participation in classroom activities, on worksheets and textbook exercises.</li> <li>• Homework: homework assignments on TOEIC related vocabulary, grammar and practice test questions. Homework should be completed thoroughly and submitted on time (20%).</li> <li>• Quizzes: correct answers to questions about TOEIC related vocabulary on four vocabulary tests conducted during class (10%).</li> <li>• Assessment: correct answers to questions on 2 full mock TOEIC tests – i) Listening test (15%) ii) Reading test (15%).</li> <li>• Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).</li> </ul> In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation & Course Overview. Listening part 1 Predicting from photographs.	Lecture, individual, pair & group tasks.	Homework Sheet 1. Contracts & Marketing Vocabulary.
2	Listening part 2 Factual questions. Part 3 Skimming to predict context.	Lecture, individual, pair & group tasks.	HW Sheet 2. Conferences. Study HW sheets 1-2 for Quiz.
3	Vocabulary Quiz 1. Answer check & feedback. Listening part 4 Paraphrasing and predicting.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	HW Sheet 3. Internet & Technology.
4	Listening part 1 Listen for the correct verb. Part 2 Direct questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	HW Sheet 4. Correspondence. Study HW sheets 3-4 for Quiz.
5	Vocabulary Quiz 2. Quiz feedback. Listening part 3 Distractors. Part 4 “What” questions.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	HW Sheet 5. Job Recruiting.
6	Listening test content and strategy review. Mock Test 1: Listening Test.	Lecture, pair work. Listening test.	HW Sheet 6. Salaries & Benefits.
7	Test review and feedback. Reading part 5 Parts of speech & time management. Part 6 Context clues.	Lecture, individual, pair & group tasks.	HW Sheet 7. Ordering Supplies.
8	Reading part 5 Gerunds, infinitives, phrasal verbs. Part 7 Scanning the questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	HW Sheet 8. Shipping & Invoices. Study HW Sheets 5-6 for Quiz.
9	Vocabulary Quiz 3. Quiz feedback. Reading part 6 Parts of speech. Part 7 Inferring meaning.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	HW Sheet 9. Banking & Accounting.
10	Reading part 5 Suffixes & Prefixes. Part 6. Clues from the questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	HW Sheet 10. Investments & Taxes.
11	Reading part 5 Pronouns. Part 6 “Not” questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	HW Sheet 11. Board Meetings. Study HW sheets 7-10 for Quiz.
12	Vocabulary Quiz 4. Quiz feedback. Reading part 6 Prepositions, conjunctions. Part 7 Charts.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	HW Sheet 12. Product Development.
13	Mock Test 2: Reading test.	Reading test.	HW Sheet 13. Travel.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Test feedback. TOEIC strategies and course review.	Pair work, group work & discussion.	Make a plan for future learning.

テキスト	G.Trew. <i>Tactics for TOEIC Listening and Reading Test</i> (Oxford University Press).		
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course.</li> <li>• Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.</li> </ul>		

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ (D)				担当教員	O. Ilina	
開講期	秋	開講時限	金1限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-②	
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning						
授業の概要	<p>Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals.</p> <p>In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.</p>						
達成目標 (授業の目的)	<p>The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• learning how to overcome one's own weaknesses on the exam;</li> <li>• applying effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• increasing one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• applying effective test-taking strategies for each part of the exam.</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• demonstrate solid knowledge of features of the TOEIC test (test sections, question types, etc.);</li> <li>• demonstrate understanding of skills and strategies covered in class;</li> <li>• use skills and strategies learned to correctly answer TOEIC Listening and Reading questions;</li> <li>• effectively pace themselves on the Reading section;</li> <li>• better understand and make improvements to their own study habits.</li> </ul> <p>In addition, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class: active involvement in everyday class activities</li> <li>• Homework and quizzes: completed thoroughly, according to instructions, and on time; reflects understanding of and effort to improve study habits, correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class.</li> <li>• Assessment: (four tests) correct answers to TOEIC Listening and Reading questions; correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class.</li> <li>• Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12 % total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).</li> </ul> <p>In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.</p>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, Introduction Unit 1 Career: Listening and Reading section.	Talk about the course, lecture, exercise	Do exercises: Unit 1 (pp. 9-16)
2	Vocabulary quiz Unit 2 Workplaces: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 2 (pp. 17-24)
3	Vocabulary quiz Unit 3 Communications: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 3 (pp. 25-32)
4	Test #1 Unit 1-3 Unit 4 Retailing: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 4 (pp. 39-46)
5	Vocabulary quiz Unit 5 Industry: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 5 (pp. 47-54)
6	Return Test #1 go over results Unit 6 Trade: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Do exercises: Unit 6 (pp. 55-62)
7	Test #2 Unit 4-6 Unit 7 Leisure: Vocabulary, Listening section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
8	Return test #2 go over results Unit 7 Leisure: Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
9	Vocabulary quiz Unit 8 Money: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 8 (pp. 77-84)
10	Vocabulary quiz Unit 9 Travel: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 9 (pp. 85-92)
11	Test #3 Unit 7-9 Unit 10 Environment: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 10 (pp. 99-106)
12	Return Test #3 go over results Unit 11 Health: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Do exercises: Unit 11 (pp. 107-114)
13	Unit 12 Society: Vocabulary, Listening section. Test #4 Unit 10-12	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 12 (pp. 115-122)
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Vocabulary quiz; Unit 12 Society: Reading section; Return Test #4 go over results	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do ex-s: Unit 12 (pp. 115-122)

テキスト	Charles Talkott, Graham Tullis. <i>Target Score A Communicative Course for TOEIC Test preparation</i> (2 <sup>nd</sup> edition) (Cambridge).
参考書	松本茂『速読速聴・英単語 Core1900 ver.5』(Z-Kai)
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course.</li> <li>Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.</li> </ul>

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ (E)				担当教員	O. Ilina	
開講期	秋	開講時限	火1限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-②	
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning						
授業の概要	<p>Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals.</p> <p>In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.</p>						
達成目標 (授業の目的)	<p>The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• learning how to overcome one's own weaknesses on the exam;</li> <li>• applying effective study skills and study habits for the exam;</li> <li>• increasing one's TOEIC-related vocabulary; and</li> <li>• applying effective test-taking strategies for each part of the exam.</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• demonstrate solid knowledge of features of the TOEIC test (test sections, question types, etc.);</li> <li>• demonstrate understanding of skills and strategies covered in class;</li> <li>• use skills and strategies learned to correctly answer TOEIC Listening and Reading questions;</li> <li>• effectively pace themselves on the Reading section;</li> <li>• better understand and make improvements to their own study habits.</li> </ul> <p>In addition, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester;</li> <li>• increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.</li> </ul>						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class (25%)</li> <li>• Homework and quizzes (30%)</li> <li>• Assessment (30%)</li> <li>• Independent learning (15%): study using e-learning</li> </ul>						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation in class: active involvement in everyday class activities</li> <li>• Homework and quizzes: completed thoroughly, according to instructions, and on time; reflects understanding of and effort to improve study habits, correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class.</li> <li>• Assessment: (four tests) correct answers to TOEIC Listening and Reading questions; correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class.</li> <li>• Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12 % total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).</li> </ul> <p>In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.</p>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, Introduction Unit 1 Career: Listening and Reading section.	Talk about the course, lecture, exercise	Do exercises: Unit 1 (pp. 9-16)
2	Vocabulary quiz Unit 2 Workplaces: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 2 (pp. 17-24)
3	Vocabulary quiz Unit 3 Communications: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 3 (pp. 25-32)
4	Test #1 Unit 1-3 Unit 4 Retailing: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 4 (pp. 39-46)
5	Vocabulary quiz Unit 5 Industry: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 5 (pp. 47-54)
6	Return Test #1 go over results Unit 6 Trade: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Do exercises: Unit 6 (pp. 55-62)
7	Test #2 Unit 4-6 Unit 7 Leisure: Vocabulary, Listening section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
8	Return test #2 go over results Unit 7 Leisure: Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
9	Vocabulary quiz Unit 8 Money: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 8 (pp. 77-84)
10	Vocabulary quiz Unit 9 Travel: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 9 (pp. 85-92)
11	Test #3 Unit 7-9 Unit 10 Environment: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 10 (pp. 99-106)
12	Return Test #3 go over results Unit 11 Health: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Do exercises: Unit 11 (pp. 107-114)
13	Unit 12 Society: Vocabulary, Listening section. Test #4 Unit 10-12	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 12 (pp. 115-122)
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Vocabulary quiz; Unit 12 Society: Reading section; Return Test #4 go over results	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do ex-s: Unit 12 (pp. 115-122)

テキスト	Charles Talkott, Graham Tullis. <i>Target Score A Communicative Course for TOEIC Test preparation</i> (2 <sup>nd</sup> edition) (Cambridge).		
参考書	松本茂『速読速聴・英単語 Core1900 ver.5』(Z-Kai)		
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course.</li> <li>• Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.</li> </ul>		



科目名	ENG121: 基礎英語スキルズ (生活の英語)			担当教員	O. Ilina
開講期	春	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-③
キーワード	Casual talk, daily conversation, content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	Social issues in Japan and in the world: Facing a global community In this course we will explore the challenges facing the modern world and Japan. We will discuss global trends and issues in the global community, touch on today's current agenda, and try to understand Japan's place and role in the global community.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to take part in meaningful conversations and acquire spark critical thinking skills</li> <li>For students to organize their thinking, examine other points of view and draw richer understanding from the topics read and written</li> <li>For students to develop confidence and may acquire logical and critical thinking skills.</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various topics related to the theme "Facing a global community", use problem / solution thinking when expressing their views on these issues; do short speeches about common topics; utilize problem / solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one's time to complete assigned independent learning tasks.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (40%); Homework assignments (20%); Testing and assessment, including vocabulary tests and final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).				
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem / solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a "preview" in Introduction, organization, delivery, problem / solution thinking; Independent learning (IL) completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course / Friends, modern popular culture (textbook Unit 1)	Explanation by instructor, pair-work, discussion, listening	Review Unit 1 textbook content
2	Short oral presentations (popular culture); Modern popular culture (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 1 supplementary materials
3	Sports (textbook Unit 2) Recap of Unit 1	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 2
4	Short oral presentations (sports activities); Sports (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 supplementary materials
5	Family. Relationships (textbook Unit 3) Recap of Unit 2	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 3
6	Family. Relationships (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 3 supplementary materials
7	Test #1 Festivals. Party (textbook Unit 4)	Pair-work, small group discussion, listening	Prepare the test; Review Unit 4

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Short oral presentations (traditions, festivals); Festivals (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 4 supplementary materials
9	Cuisines of the World (textbook Unit 5) Recap of Unit 4; Return test #1	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 5
10	Short oral presentations (food); Cuisines of the World (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 5 supplementary materials
11	Time and modern civilization (Unit 6) Recap of Unit 5	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 6
12	Time and modern civilization (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion	Review Unit 6 supplementary materials
13	Test #2 News (textbook Unit 7)	Pair-work, small group discussion, listening	Prepare the test; Review Unit 7
14	Short oral presentations about mass media; News (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 7 supplementary materials
15	Journey (textbook Unit 8) Recap of Unit 7; Return test #2	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 8
16	Short oral presentations (traveling); Journey (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 8 supplementary materials
17	Opinions (books, movies, music) (Unit 9) Recap of Unit 8	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 9
18	Opinions (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 9 supplementary materials
19	Test #3 Childhood (textbook Unit 10)	Pair-work, small group discussion, listening	Prepare the test; Review Unit 10
20	Short oral presentations about relationships; Childhood (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 10 supplementary materials
21	Age, wishes and regrets (textbook Unit 11) Recap of Unit 10; Return test #3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 11
22	Age (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 11 supplementary materials
23	Style, fashion (textbook Unit 12) Recap of Unit 11	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 12
24	Short oral presentations about fashion; Style (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 12 supplementary materials
25	Test #4; group discussions	Pair-work, group discussion	Prepare the test
26	Discuss the role of Japan in the global community; Return test #4; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.	Pair-work, group discussion	Prepare the discussion materials
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final presentations	Presentations	Prepare presentations
28	Final presentations	Presentations	Prepare presentations

テキスト	Sue Kay and Vuaghan Jones. <i>New Inside Out Intermediate</i> (Macmillan).
------	--

科目名	ENG123: 基礎英語スキルズ (ライティング・文法)			担当教員	J. Zhang	
開講期	春	開講時限	火金2限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-③
キーワード	English writing, grammar, sentence, paragraph, writing skills, independent learning					
授業の概要	This course aims at developing students' writing ability and grammatical knowledge. The course will offer a step-by-step approach to developing skills and knowledge in sentence, paragraph, and essay writing. Based on interesting topics closely related to students' daily life, they will engage in practicing English writing through diverse writing tasks and pair / group work. Course activities will include brainstorming, pair / group discussion, pair editing, and writing assignments. In this way, students will learn effective writing skills, widen their vocabulary, and master practical grammatical knowledge.					
達成目標 (授業の目的)	This course is designed to engage students in English writing and improve their English writing skills and grammatical knowledge. It will help students develop writing strategies, learn grammatical knowledge and vocabulary frequently used in essay writing, and use what they learn effectively to communicate and express themselves in written form.					
到達目標 (学修成果)	By the end of the semester, each student should be able to understand the structure of a paragraph and the structure and mechanics of quality writing. Also, students will be able to understand and effectively use the writing skills, grammatical knowledge, and vocabulary learned in class to create an essay. Simultaneously, students will be able to avoid making common errors highlighted in class. Overall, students will become independent writers.					
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Writing assignments (30%: 5 writing assignments, 6%×5=30%); Final assignment (an essay) (30%); Independent learning (10%)					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>Participation in class: active participation in everyday class activities; effort to write in English</li> <li>Writing assignments: completing and submitting on time; showing quality and effort; reflecting an understanding of writing skills, grammatical knowledge, and vocabulary learned in class;</li> <li>Final assignment: completing the assignment thoroughly and submitting it on time; reflecting an effort to engage in the writing process, rather than just focusing on the final product;</li> <li>Independent learning: effort to study outside of class (e.g., preview; review; keep error notebook)</li> </ul>					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Moodle で行う / Moodle</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course overview; self-introduction; ice-breaking; explaining the evaluation criteria	Lecture; discussion; pair / group tasks	Buy textbook; read syllabus; prepare a writing notebook
2	Unit 1 Building the Sentence; grammar: independent clauses & common fragment errors	Lecture; exercise; pair tasks	Review Unit 1: pp. 10-15; establish error notebook
3	Unit 2 Combining Sentences; grammar: using conjunctions to combine sentences	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review Unit 2: pp. 16-21; update error notebook
4	Unit 3 Building the Paragraph: structure of a paragraph & topic sentences	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review Unit 3: pp. 22-26; update error notebook
5	Unit 3 + 4 Building the Paragraph: concluding & supporting sentences	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review Unit 3: pp. 27-29; update error notebook
6	Unit 4 Building the Paragraph: major and minor support; grammar: fragments	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review Unit 4: pp. 30-34; update error notebook

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Review Units 1~4: analyze the structure of a paragraph	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review Unit 4: pp. 34-37; update error notebook
8	Extra 1: writing & formatting your document; approaches to writing; the writing process	Lecture; exercise; group tasks; writing tasks	Review pp. 40-43; E. Essentials: pp. 40-45; Writing Assignment1
9	Comments on WA1; Unit 5 The Process Paragraph (1); chronological ordering	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 46-52; prepare for WA2 (outline→draft)
10	Unit 6 The Process Paragraph (2); grammar: using modals; getting readers' attention	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 53-58; revise and complete the first draft of WA2
11	Review Units 5 & 6; pair editing WA2; Unit 7 The Descriptive Paragraph (1)	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Submit WA2; update error notebook; prepare for WA3
12	Unit 8 The Descriptive Paragraph (2); adjective order; specific language; sensory details	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 59-70; revise and complete the first draft of WA3
13	Review Units 7 & 8; pair editing WA3; Extra 2: Comparison and Contrast	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Submit WA3; download the PDF from Moodle and review
14	Unit 9 The Narrative Paragraph (1); grammar: simple past; past progressive; complex sentences	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 71-77; update error notebook; prepare for WA4
15	Unit 10 The Narrative Paragraph (2); emotional details; direct and indirect quotes	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 78-83; revise and complete the first draft of WA4
16	Review Units 9 & 10; pair editing WA4; Unit 11 The Opinion Paragraph (1): convince the readers	Lecture; exercise; pair tasks	Submit WA4; review pp. 84-90; update error notebook
17	Unit 11 The Opinion Paragraph (1): opposing opinions; prepare for WA5	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 91-93; update error notebook
18	Unit 12 The Opinion Paragraph (2): logical ordering; irrelevant sentences	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 94-99; revise and complete the first draft of WA5
19	Review Units 11 & 12; pair editing WA5; review Units 5~12	Lecture; group discussion; pair tasks	Submit WA5; review Units 1~12; update error notebook
20	Academic writing (1): paragraph length; transition words; revise your paragraph	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	E. Essentials: pp. 56-59; prepare for the final essay—topic
21	Academic writing (2): make your writing formal / academic; proofreading your paragraph	Lecture; exercise; peer proofreading	E. Essentials: pp. 48-50; prepare for the final essay—outline
22	Academic writing (3) essay writing: structure of an essay; thesis statement	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	E. Essentials: pp. 61-65; prepare for the final essay—start writing
23	Academic writing (4) essay writing: introduction & conclusion	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	E. Essentials: pp. 65, 66, 69; prep for the final essay—continue
24	Academic writing (5) essay writing: how to write the body of an essay	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	E. Essentials: pp. 67-68; prepare for the final essay—complete
25	Academic writing (6): show connections between paragraphs	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	E. Essentials: p. 68; prepare for the final essay—revise
26	Academic writing (7): appreciate a good essay; pair editing the final essay	Lecture; exercise; pair tasks	Review what you learn; prepare for the final essay—revise
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Review academic writing; peer proofreading the final essay	Lecture; exercise; pair tasks	Submit the final essay
28	Course review; self-evaluation; comments on the final essay; future study plan	Lecture; pair tasks; writing tasks; discussion	Review the book; continue to practice writing skills.

テキスト	J. Kenney. <i>Essential Writing 1—From Sentence to Paragraph</i> (KINSEIDO).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG124: 基礎英語スキルズ (リーディング・語彙)			担当教員	J. Zhang
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-③
キーワード	ボキャブラリースキル、リーディングスキル、文法、クリティカルシンキング				
授業の概要	<p>本科目は英語の語彙力と読解力向上を主な目的とし、以下のことを行います。</p> <p>1. 各ユニットに設定された様々な分野の基本的なボキャブラリーに触れ、その意味と使い方を理解する。2. 各ユニット 2 つの文章を読み、正確に読む力を養う。3. 段落の構成 (topic sentence, supporting sentences, details) を理解し、効率的に読む方法について学ぶ。4. 基本的な文法事項を復習する。5. 文章をクリティカル (批判的) に読む方法について学ぶ。</p>				
達成目標 (授業の目的)	この授業は、正確に様々な分野の文章を英語で読むために、各ユニットで異なる分野の文章に触れ、読む練習を積み重ねることを目的とします。また、その過程で、段落の構成に沿って効率的に読む方法やクリティカル (批判的) に読む方法を学び、語彙力を増強し、基本的な文法事項を復習することによりリーディング力を補強することを目指します。				
到達目標 (学修成果)	<p>1. 様々な分野の基本的なボキャブラリーを運用できる。</p> <p>2. 段落の構成に沿ってより効率的に読むことができる。</p> <p>3. 読解力向上に必要な基本文法を理解する。</p> <p>4. 文章をクリティカル (批判的) に読む方法を理解し、実際に使うことができる。</p> <p>5. 1-4 を踏まえ、様々な分野の文章を正確に読むことができる。</p>				
評価方法	積極的な授業参加 (30%) オンライン課題 (25%) リーディングテスト (25%) ボキャブラリーテスト (20%)				
評価基準	<p>積極的な授業参加：授業中に練習問題やペアワーク等に積極的に取り組む姿勢を評価する。</p> <p>オンライン課題：提出期限を守っているか、指示に従って解答しているかを評価する。</p> <p>リーディングテスト：既習トピックに関連した長文を読み、制限時間内に正確に英文を読み取る力を評価する。</p> <p>ボキャブラリーテスト：オンライン課題各ユニット Activity 3, 7 から出題。語句の意味、用法を正しく理解しているかを評価する。</p>				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle で行う / Moodle</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> <li>・ 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>・ 上記以外で行う / other: iQ ONLINE (教科書付属のオンライン教材)</li> </ul>				
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。				

## 授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course overview; ice-breaking; explaining the evaluation criteria and how to use iQ ONLINE	Lecture; discussion	Buy textbook; read syllabus; preview Unit 1
2	Unit 1: Marketing Reading 1, Critical Thinking Strategy	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 1 Activity 3
3	Unit 1: Marketing Reading 2, Reading Skill	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 1 Activity 7
4	Unit 1: Marketing Vocabulary Skill, Grammar	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 1 Activity 11; preview Unit 2



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Unit 2: Psychology Reading 1, Critical Thinking Strategy	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 2 Activity 3
6	Unit 2: Psychology Reading 2, Reading Skill	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 2 Activity 7
7	Unit 2: Psychology Vocabulary Skill, Grammar	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 2 Activity 11; preview Unit 3
8	Unit 3: Social Psychology Reading 1, Critical Thinking Strategy	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 3 Activity 3
9	Unit 3: Social Psychology Reading 2, Reading Skill	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 3 Activity 7
10	Unit 3: Social Psychology Vocabulary Skill, Grammar	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 3 Activity 10; preview Unit 4
11	Unit 4: Technology Reading 1, Critical Thinking Strategy	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 4 Activity 3
12	Unit 4: Technology Reading 2, Reading Skill	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 4 Activity 7
13	Unit 4: Technology Vocabulary Skill	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 4 Activity 11; review Units 1-4
14	Unit 4: Technology Grammar Mid-term exam (reading & vocabulary)	Lecture; test	Preview Unit 5
15	Unit 5: Business Reading 1, Critical Thinking Strategy	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 5 Activity 3
16	Unit 5: Business Reading 2, Reading Skill	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 5 Activity 7
17	Unit 5: Business Vocabulary Skill, Grammar Return exam and go over results	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 5 Activity 11; preview Unit 6
18	Unit 6: Brain Science Reading, Critical Thinking Strategy	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 6 Activity 3
19	Unit 6: Brain Science Reading 2, Reading Skill	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 6 Activity 7
20	Unit 6: Brain Science Vocabulary Skill, Grammar	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 6 Activity 11; preview Unit 7
21	Unit 7: Environmental Science Reading 1, Critical Thinking Strategy	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 7 Activity 3
22	Unit 7: Environmental Science Reading 2, Reading Skill	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 7 Activity 7
23	Unit 7: Environmental Science Vocabulary Skill, Grammar	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 7 Activity 9; preview Unit 8
24	Unit 8: Public Health Reading 1, Critical Thinking Strategy	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 8 Activity 3
25	Unit 8: Public Health Reading 2, Reading Skill	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 8 Activity 7
26	Unit 8: Public Health Vocabulary Skill	Lecture; exercise; pair tasks	Submit ONLINE Unit 8 Activity 11; review Units 5-8
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Unit 8: Public Health Grammar; end-of-term exam (reading & vocabulary)	Lecture; test	Review the vocabulary learned in the book
28	Return exam and go over results Course review	Lecture; discussion	Review the book

テキスト	<i>Q Skills for Success 1 Reading and Writing (3rd ed.)</i> (Oxford). 付属のオンライン教材を使用するので中古本を購入しないこと（各教科書固有の番号をサイトに登録する必要あり）
------	--



科目名	ENG125: 基礎英語スキルズ (旅行の英語)			担当教員	O. Massoud		
開講期	春	開講時限	火金2限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-③	
キーワード	Tourism, Speaking, Culture, Listening, Communication						
授業の概要	<b>Basic English Skills (Travel English)</b> This course is designed to enhance students' English communication skills for travel purposes. Emphasis will be on developing speaking abilities, practicing English conversation relevant to travel scenarios, and understanding the various aspects of English-speaking cultures in travel contexts. Students will also enhance their listening skills and learn techniques for effective communication in diverse travel settings. Through class discussions, travel-focused activities, and homework, students will gain the confidence and proficiency needed for successful English communication during their travels.						
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>To improve students' ability to understand and express themselves in English.</li> <li>To engage students in meaningful conversations and develop their communication skills.</li> <li>To help students focus on key grammar points, understand lesson outcomes, and avoid basic errors.</li> <li>To provide students with regular pronunciation practice.</li> <li>To help students develop fluency and confidence in their English-speaking abilities.</li> <li>To further develop students' conversation strategies.</li> </ul>						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, the students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>utilize and practice textbook phrases in conversations and writing relevant to travel.</li> <li>expand vocabulary for travel contexts, using new words correctly with accurate grammar.</li> <li>clearly articulate travel-related perspectives.</li> <li>deliver a confident, well-prepared four-minute presentation on a travel topic.</li> <li>demonstrate fluency and precise grammar in responses during a travel-focused one-on-one interview.</li> <li>effectively use expressions and grammar for casual travel-related conversations.</li> </ul>						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (25%); Assessments, including one-to-one interview, quizzes, final presentation and final report (30%); Independent learning (15%).						
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>Participation and performance in classroom activities: Students will be evaluated on their level of engagement in class discussions. This includes their willingness to contribute to the discussion, their ability to articulate their thoughts clearly and concisely, and their ability to listen actively to their classmates.</li> <li>Homework: Evaluation of timely completion of textbook exercises including grammar tasks and vocabulary sentences.</li> <li>Assessments: One-to-one interviews for course material understanding, quizzes on vocabulary and topics, and final presentation evaluation focusing on delivery and visual aids. Final report project paper in essay form, will be evaluate the demonstration of grammatical accuracy, and articulation of a travel-related perspective.</li> <li>Independent learning: Graded on two independent learning plans and reflections, with a focus on key phrase usage.</li> </ol>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>上記以外で行う / other: Google Sheets and Google Docs.</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course.	Meeting and greeting, course overview	Review the syllabus. Buy the textbook. Read pp.2-16.
2	Unit 1: People- Meet people.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.2-16.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	Unit 1: People- Describe different occupations. Vocab Set #1. L. Log #1. Writing Pro. Report.	Listening, group discussion, writing	Read pp.16-30.
4	Unit 2: A Day in the Life- Talk about a typical day. Study Plan #1.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.16-30.
5	Unit 2: A Day in the Life- Describe a special celebration or festival - term plans.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read pp.30-44.
6	Unit 3: Going Places- Identify possessions. Travel Project Report Outline.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.30-44.
7	Unit 3: Going Places- Give travel advice. Vocab Set #2. Listening Log #2.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Quiz preparation.
8	Review, Quiz and Presentation Preparation.	quiz and comments, lecture, discussion	Presentation preparation.
9	Presentation.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.44-58.
10	Unit 4: Food- Give a recipe.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.44-58.
11	Unit 4: Food- Talk about diets. Travel Project Report Draft #1.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.58-72.
12	Unit 5: Sports- Describe activities happening now.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.58-72.
13	Unit 5: Sports- Talk about favorite sports.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.72-86.
14	Unit 6: Destination- Discuss past vacations. Vocab Set #3. Listening Log #3.	Review, presentation preparation	Read pp.72-86.
15	Unit 6: Destination- Use was / were to describe a personal experience.	Oral presentation, Q&A, discussion	Review notes.
16	Review. Travel Project Report Draft #2.	Oral presentation, Q&A, discussion	Read pp.86-100.
17	Unit 7: Communication- Talk about personal communication.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.86-100.
18	Unit 7: Communication- Describe characteristics and qualities. Vocab Set #4.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.100-114.
19	Unit 8: Making Plans- Talk about plans.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read pp.100-114.
20	Unit 8: Making Plans- Make weather predictions.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.114-128.
21	Unit 9: Types of Clothes- Make comparisons. Vocab Set #5. Listening Log #4.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.114-128.
22	Unit 9: Types of Clothes- Talk about clothing materials.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read pp.128-142.
23	Unit 10: Lifestyle- Give advice on healthy habits. Travel Project Report Final Draft.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read pp.128-142.
24	Unit 10: Lifestyle- Ask about lifestyles.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read pp.142-156. Quiz preparation.
25	Unit 11: Achievements- Talk about today's chores. Quiz, Review and Presentation Prep.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Presentation preparation.
26	Unit 12: Decisions- Talk about managing your money. Travel Project Presentation.	Writing and Q&A	Read pp.156-170. Presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Travel Project Presentation.	Oral presentation, Q&A, comments	Presentation preparation.
28	Wrap-Up.	Oral presentation, comments, discussion	Wrap- up.

テキスト	John Hughes. <i>World English 1: American English</i> (Heinle & Heinle).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG150: 標準英語スキルズ (職場の英語)			担当教員	狩野 晶子	
開講期	春	開講時限	月木3限		研究室	4203
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-③
キーワード	business English, workplace, global business, email, presentation skills					
授業の概要	This course will prepare students to use English in a variety of workplace environments. Students will also explore cultural differences in workplace etiquette and language use; as well as practice reading and responding to email for global business situations. Students will also fully utilize and learn through an interactive self-learning program 'English Central' associated with the textbook.					
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Students will be aware of the differences between formal and informal registers of English (business English vs. conversational English) through practical activities and case studies.</li> <li>Gain practice in writing professional emails.</li> <li>Learn and practice business presentation techniques.</li> </ul>					
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students will be able to express their ideas in a professional manner in both speaking and writing, communicate effectively across cultures, and learn essential presentation skills.					
評価方法	Presentations (25%), Assignments (25%), Participation in class (30%), e-learning (20%)					
評価基準	Presentations: Grades will be based on business appropriate delivery and content. Assignments: Must be submitted within deadline, follow the required format, fulfilling the task. Participation: Active participation in class activities based on intercultural workplace norms. E-learning: Grades will be based on achievement of 'English Central' program content.					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Moodle で行う / Moodle</li> <li>口頭で行う / orally</li> </ul>					
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction Textbook Unit 1 (Introducing Yourself)	Self-introductions; Discussion, group work	Read syllabus; check Moodle, Textbook Unit 1
2	Textbook Unit 1 (Introducing Yourself) 'English Central' Check-up 1	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 1: review Unit 1 'English Central'
3	Textbook Unit 2 (Introducing Companies)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 2 Unit 2 'English Central'
4	Textbook Unit 2 (Introducing Companies) Textbook Unit 3 (Explaining Your Role)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 2: review Textbook Unit 3
5	Textbook Unit 3 (Explaining Your Role)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 3 Unit 3 'English Central'
6	Textbook Unit 4 (Introducing Products) 'English Central' Check-up 2	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 4, 'English Central' Unit 1-3 review
7	Textbook Unit 4 (Introducing Products) Textbook Unit 5 (Checking Information)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 4 Unit 4 'English Central'
8	Textbook Unit 5 (Checking Information)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 5 Unit 5 'English Central'
9	Textbook Unit 6 (Giving Your Opinion)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 6 Unit 6 'English Central'

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	Textbook Unit 6 (Giving Your Opinion) Textbook Unit 7 (Making Requests)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 6, 'English Central' Unit 4-6 review
11	Textbook Unit 7 (Making Requests) 'English Central' Check-up 3	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 7 Unit 7 'English Central'
12	Textbook Unit 8 (Asking Permission)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 8 Unit 8 'English Central'
13	Textbook Unit 8 (Asking Permission) Textbook Unit 9 (Making Invitations)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 9 Unit 9 'English Central'
14	Textbook Unit 9 (Making Invitations) Textbook Unit 10 (Making Appointments)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 10 Unit 10 'English Central'
15	Textbook Unit 10 (Making Appointments)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 10, 'English Central' Unit 7-10 review
16	Textbook Unit 10 (Making Appointments) 'English Central' Check-up 4	Discussion, group work, pair work, presentation	Review: Textbook Units 1-10 & 'English Central' 1-10
17	Textbook Mid-term Review Units 1-10 Textbook Unit 11 (Cancelling & Rescheduling)	Discussion, group work, pair work, presentation	Review: Textbook Units 1-10 Textbook Unit 11
18	Textbook Unit 11 (Cancelling & Rescheduling)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 11: review Unit 11 'English Central'
19	Textbook Unit 12 (Describing Locations)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 12 Unit 12 'English Central'
20	Textbook Unit 12 (Describing Locations) Textbook Unit 13 (Looking after a Visitor)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 12: review Textbook Unit 13
21	Textbook Unit 13 (Looking after a Visitor)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 13: review Unit 13 'English Central'
22	Textbook Unit 14 (Making a Phone Call) 'English Central' Check-up 5	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 14 Unit 14 'English Central'
23	Textbook Unit 14 (Making a Phone Call) Textbook Unit 15 (Taking Messages)	Discussion, group work, pair work, presentation	Textbook Unit 14 & 15 Unit 15 'English Central'
24	Textbook Unit 15 (Taking Messages) Role-play practice 1	Discussion, group work, pair work, presentation	Review: Textbook Units 11-15 Prepare for role-play
25	Role-play practice 2 Textbook Review Units 1-15	Discussion, group work, pair work, presentation	Prepare for role-play, 'English Central' Unit 11-15 review
26	Role-play performance Preparation for Case-study Presentation	Discussion, group work, pair work, presentation	Reflections for role-play; Prepare for Presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Reflection & Feedback on Role-play Case-study Presentation 1	Discussion, group work, pair work, presentation	Reflections for presentation; Prepare for presentation
28	Case-study Presentation 2, Course Review, Feedback Essay (via Moodle)	Discussion, group work, pair work, presentation	Review textbook, 'English Central' study, and assignments

テキスト	Garry Pearson, Graham Skerritt, Hiroshi YOSHIZUKA. <i>Go Global</i> (Seibido).
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>

科目名	ENG160: 標準英語スキルズ (メディアの英語)			担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4206
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-③
キーワード	media literacy, visual grammar, news, points of view				
授業の概要	This course will introduce topics about media literacy and the English vocabulary and grammar used to talk about them. Throughout the semester students will have chances to follow the news and also become aware of the messages transmitted by visual media (images). In addition, by looking at how different media report on the same issue, students will become more aware of media biases and so increase their own media literacy.				
達成目標 (授業の目的)	To acquire specific English vocabulary and grammar used in the media To develop a deeper interest in national and international news To better understand the messages and power of images To get in the habit of asking critical questions when getting information				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students will be able: -to regularly follow news stories and make short presentations about the news stories in English -describe images in words and comment on the message the images try to express -become familiar with specialized vocabulary and grammar used when talking about the media and participate in discussions in English on media-related topics -make a presentation showcasing how different media have differing perspectives on current news				
評価方法	Participation in class activities and discussions (30%); Quizzes (20%); Homework (40%); Final presentation (10%).				
評価基準	Participation in class activities and discussions: effort to use English and to use textbook vocabulary and grammar; Quizzes: 5 short quizzes on the textbook vocabulary and grammar; Homework: regular submission of news reports and image description reports; Final presentation: the content is well researched and well organized, the visuals are well suited to the content, and the delivery engages the audience.				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle で行う / Moodle</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course. Self-introductions and resources for the news and for discussion.	Lecture, self-introductions	Review the course syllabus and class content.
2	Waking up to the Media. What is media literacy? The importance of asking questions.	Reading, discussion	Prepare news report 1.
3	The Media Jungle. How to learn which kinds of media are helpful for us.	Share reports, review, reading	Review textbook, pp. 8-13.
4	Different ways we see the world. Difficulties to know the truth. Bias and prejudice.	Reading, discussion	Prepare news report 2.
5	Review of textbook lessons 1-3. Discussions.	Share reports, review	Review for the quiz.
6	In Praise of Books. What can we learn from books? The future of books.	Quiz 1, reading, discussion	Prepare news report 3.



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Newspaper – its parts and language. Types of newspapers.	Review, share reports, reading	Review textbook, pp. 27-31.
8	Watching Television: Is Seeing Believing? The advantages and disadvantages of TV.	Reading, discussion	Prepare news report 4.
9	Review of textbook lessons 4-6. Discussions.	Review, share reports, discussion	Review for the quiz.
10	Advertisers and the Power of Persuasion. Examples of some commercials.	Review, quiz 2, reading	Prepare news report 5.
11	Language of advertising. Impressive ads / CMs chosen by students. Elements of visual grammar.	Review, share reports, reading	Review textbook, pp. 41-46.
12	The Internet and the Information Age. Pros And cons of the Internet.	Reading, discussion	Prepare image report 1.
13	Bullies, Mobile Phones and the Internet. Responsible use of the electronic media.	Review, share reports, reading	Review textbook, pp. 54-59.
14	Review of textbook lessons 7-9. Discussions.	Review, discussion	Prepare image report 2, review for the quiz.
15	Different points of view. Reading British newspapers.	Quiz 3, share reports, reading	Review textbook, pp. 60-66.
16	Lies, Half-Truth and Propaganda. Understanding the meaning of propaganda.	Reading, discussion	Prepare news report 6.
17	Freedom and Censorship. The gatekeepers and their role.	Review, share reports, reading	Review textbook, pp. 73-79.
18	Review of textbook lessons 10-12. Discussions.	Review, discussion	Prepare news report 7, review for the quiz.
19	NGOs and Campaign Groups. Amnesty International, Friends of Earth.	Quiz 4, review, share reports	Review textbook, pp. 80-86.
20	Bridging the Digital Divide. Understanding the Digital Divide and the problems it brings.	Reading, discussion	Prepare news report 8.
21	Global Communications, Global Citizenship and the Future. Changes in our future life.	Review, share reports, reading	Review textbook, pp. 94-100.
22	Japan in the foreign media. What kinds of news stories are reported?	Review, discussion	Prepare news report 9.
23	Review of textbook lessons 13-15. Discussions.	Review, discussion, share reports	Review for the quiz.
24	Review of presentations from <i>English Essentials</i> .	Quiz 5, reading	Prepare image report 3.
25	Preparing the final presentation. Outline.	Share reports, working on presentations	Prepare final presentation.
26	Preparing the final presentation. Revising.	Working on presentations	Prepare news report 10.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Presentation sessions.	Individual presentations	Prepare final presentation or news report.
28	Presentation sessions (if needed). Class celebration.	Share report 10, language games	Review the course content.

テキスト	Bray, John, et al. <i>Cutting Through the Media Jungle</i> (Seibido).
参考書	Riechers, Angela. <i>The Elements of Visual Grammar</i> (Princeton University Press, 2024).



科目名	ENG159: 標準英語スキルズ (パブリックスピーキング)			担当教員	R. Burton
開講期	春	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-③
キーワード	Practicing the skill set for giving presentations and for public speaking				
授業の概要	This class will direct and practice the skill set required for public speaking and for giving meaningful presentations. It will start with the shortest possible speeches and gradually extend them as confidence builds. Classroom time will mostly be devoted to discussions and making speeches, while language development tasks, writing speeches and preparing visuals will be regular homework tasks. Students of any ability level are equally welcome.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• For students to gain confidence addressing an audience</li> <li>• For students to learn the skills of speech preparation</li> <li>• For students to practice the skills of speech presentation</li> <li>• For students to acquire knowledge and practice of the processes involved in preparing a speech</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course each student will have performed over 20 mini speeches, and at least one much longer speech. They will have learned why some speeches are easier to follow, and how some speeches manage to keep an audience's attention more than others. The use of cue cards as prompts, ways to aid memorization, stage manner, intonation and voice projection will all be guided. Completing the course will mean that each student has gained considerable self-confidence in this daunting skill area that is so important for teachers, public office and senior business executives.				
評価方法	Participation and performance in classroom discussions (25%), mini presentations (25%), homework assignments (25%), final speech (25%).				
評価基準	<b>Participation and performance:</b> Classroom discussions will be graded for participation. <b>Homework:</b> includes the language development tasks in the textbook "Presentable". Although speech writing is a homework task, it is considered as integral to the giving of presentations (whether mini or final), and is included as a component part of assessment. <b>Assessment:</b> For mini presentations and final presentations (together comprising 50% of the overall evaluation) the breakdown of scoring is written content (20%), written language style (20%), voice / clarity (20%), stage gesture and visuals (20%), and composure (20%).				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>• 上記以外で行う / other: comments made after speeches are given</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course and Unit 1 of the textbook: Self Introduction	Discussion about your lives so far	Mini presentations self-intro Presentable pp.11-14
2	Unit 1 First Impressions	Extended discussion about posture	Extended self-introductions Presentable pp.15-18
3	Unit 2 Hometown	Discussion about hometowns	Mini presentations with overview. Presentable pp.19-22
4	Unit 2 No Place Like Home	Extended discussion about eye contact	Extended presentations on hometown Presentable pp.23-26

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Unit 3 Family	Discussion on family and speech content details	Mini presentations about family Presentable pp.27-30
6	Unit 3 All in the Family	Extended discussion on gestures and eye contact	Extended presentations with gestures. Presentable pp.31-34
7	Unit 4 Interests	Discussion about hobbies	Mini presentations on hobbies Presentable pp.35-38
8	Unit 4 Pastimes Prove Personality	Extended discussion on stage position options	Extended presentation - conclusion Presentable pp.39-42
9	Review 1	Putting it all together	Selected longer presentations Presentable pp.43-46
10	Unit 5 Education	Discussion on techniques of voice projection	Projected mini presentation on education Presentable pp.47-50
11	Unit 5 An 'A' for Effort	Extended discussion on education	Using rhythm and voice projection Presentable pp.51-54
12	Unit 6 Culture Shock	Discussion about types of culture shock	Going outside for voice projection Presentable pp.55-58
13	Unit 6 When in Rome	Discussion - enunciation versus pronunciation	From enunciation to intonation Presentable pp.59-62
14	Unit 7 Stereotypes	Extended discussion of facts versus opinions	Practice stress on content words Presentable pp.63-66
15	Unit 7 What's Your Blood type?	Rebutting a preposterous claim	Presenting a rebuttal of an opinion Presentable pp.67-70
16	Unit 8 Population	Discussing a sophisticated speech	Mini presentation with chunking Presentable pp.71-74
17	Unit 8 What's This World Coming To?	Discussing data, details, expert opinion, examples	Chunks to help convey evidence Presentable pp.75-78
18	Review 2	Putting it all together for longer presentations	Select from the choice on p.61 Presentable pp.79-82
19	Unit 9 Events	Discussing wedding, concert, festival events	Mini presentation at an event Presentable pp.83-86
20	Unit 9 A Special Occasion	Discuss ability to anticipate question types	Presenting realia or visual aids Presentable pp.87-90
21	Unit 10 Places	Reading static descriptive pieces	Mini presentations about place with mood Presentable pp.91-94
22	Unit 10 Location, Location, Location	Incorporating description into dynamic narrative	Presentations with adjectives & adverbs Presentable pp.95-98
23	Unit 11 Processes	Constructing a process or how-to narrative	Mini process presentations Presentable pp.99-102
24	Unit 11 As Easy as One, Two, Three	Building in language of encouragement + caution	Presentation questions in real-time Presentable pp.103-106
25	Unit 12 Opinions	Language expansion task for giving opinions	Presenting opinions, reasons evidence Presentable pp.107-110
26	Unit 12 The Way I See It Is	Language for politeness Final Presentations	Presenting rebuttals, contrary view Presentable pp.111-114
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Review 3	Prompts for memory Final Presentations	Individual p.89 full-length presentations Presentable pp.115-118
28	Review 3	Final Presentations	Individual p.89 full-length presentations Presentable pp.119-122

テキスト	Mark D. Stafford. <i>Successful Presentations – An Interactive Guide</i> (Cengage Learning). Robert Hickling, J. Yashima. <i>Presentable – Writing Clear Opinions</i> (Cengage Learning).
------	--

科目名	ENG158: 標準英語スキルズ (ディスカッション)			担当教員	O. Massoud
開講期	春	開講時限	月木1限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-③
キーワード	Speaking, Argumentation, Domestic and International Topics, Cultures, Stories				
授業の概要	The objective of this course is to help students develop their speaking skills and ability to engage in argumentation on a variety of contemporary issues confronting our lives. Through discussions of cultural differences and the use of the text, students will learn to express their opinions clearly and respectfully, and to consider multiple perspectives on complex issues.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• To enhance students' English proficiency and effective self-expression.</li> <li>• To foster meaningful conversations, critical thinking, and diverse perspectives.</li> <li>• To deepen understanding of course topics through integrated skills.</li> <li>• To build confidence and logical thinking.</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	<p>By the end of this course, the students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Answer and discuss assigned topics with peers in small groups, demonstrating increased knowledge of these topics.</li> <li>• Respond to questions fluently and with appropriate grammar during discussions.</li> <li>• Utilize, demonstrate, and expand upon topics discussed in group discussions, engaging in meaningful conversations about a wide range of contemporary issues confronting our lives.</li> <li>• Employ argumentation skills to present and defend opinions effectively.</li> <li>• Incorporate engaging storytelling into discussions, enhancing the depth and interest of conversations.</li> </ul>				
評価方法	Participation and performance in classroom activities and discussions (40%); Homework assignments (25%); Testing and assessment, such as in-class quizzes and leading discussions (20%); Independent learning (15%).				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation and performance: Students will be evaluated on their level of engagement in class discussions. This includes their willingness to contribute to the discussion, their ability to articulate their thoughts clearly and concisely, and their ability to listen actively to their classmates.</li> <li>• Homework: Students will be evaluated on their ability to complete relevant assignments on time, including textbook exercises and vocabulary sentences.</li> <li>• Testing and assessment: Quizzes will be used to assess understanding of vocabulary and class discussion topics. Leading discussions, students will be evaluated on their demonstration of effective discussion techniques during class, including the ability to respond to questions fluently and with good grammar. This includes the ability to facilitate discussions, guide the conversation in a productive direction, and engage all participants in the discussion.</li> <li>• Independent learning: Students will be evaluated on their completion of two independent learning (IL) study plans and reflections.</li> </ul>				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 上記以外で行う / other: Google Sheets and Google Docs.</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introductions to Each Other. Course Overview. Setup Google and Moodle.	meeting and greeting, course overview	Read the syllabus and course handbook.
2	Points of View. Unit 1: Which is better for a holiday, camping or staying at a hotel?	vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 9-16. Write your opinion.
3	Asking Questions to Deepen Understanding. TED Talk 1. Listening Log #1.	listening, group discussion, writing	Prepare Listening Log #1.
4	Asking for Clarification. Unit 2: Which is better for your health, tea or coffee?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 17-24. Write your opinion.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Debate I. TED Talk 2.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Prepare for Debate I.
6	Agreeing with an Opinion. Unit 3: Which class style is more effective, face-to-face or online?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 25-32. Write your opinion.
7	Expressing (Dis)Agreement. Unit 4: Which do you prefer, buying clothes or renting them?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 33-40. Write your opinion.
8	Expressing Personal Opinion. Unit 5: Should eSports be in the Olympic Games?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 41-48. Write your opinion.
9	Giving Reasons or Evidence. Unit 6: Should food companies abandon best-before dates?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 49-56. Write your opinion.
10	Paraphrasing an Idea. Unit 7: Where do you like to watch movies, at a theater or at home?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 57-64. Write your opinion.
11	Asking for Opinions. Unit 8: Should homeowners install solar panels?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 65-72. Write your opinion.
12	Quiz #1. Review.	quiz and comments, lecture, discussion	Review Units 1-8. Prepare for Quiz #1.
13	Quiz feedback. Listening Log #2.	Review, discussion preparation	Prepare Listening Log #2.
14	Interrupting Politely. Unit 9: Should Japan ban the sale of pets?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 73-80. Write your opinion.
15	Prepare Discussion I.	Q&A, discussion	Prepare a discussion topic.
16	Lead Discussion I.	Q&A, discussion	Lead a discussion.
17	Correct Misunderstanding. Unit 10: Should Japan introduce a four-day workweek?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 81-88. Write your opinion.
18	Starting Something as Fact. Unit 11: Should children's video game time be limited by law?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 89-96. Write your opinion.
19	Debate II. Listening Log #3.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Prepare for Debate II. Prepare Listening Log #3.
20	Contrasting Points of View. Unit 12: Should cashless payment be promoted further in Japan?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 97-104. Write your opinion.
21	Make a Counterargument. Unit 13: Should social media companies censor their platforms?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 105-112. Write your opinion.
22	Debate III. Listening Log #4.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Prepare for Debate III. Prepare Listening Log #4.
23	Speculating / Hypothesizing. Unit 14: Should Japan invest more in space development?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 113-120. Write your opinion.
24	Drawing Conclusions. Unit 15: Should public baths and hot springs accept people with tattoos?	Lecture, listening, writing, group discussion	Read <i>Voice Your Opinion</i> , pp. 121-128. Write your opinion.
25	Quiz #2. Review.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Review Units 9-15. Prepare for Quiz #2.
26	Quiz feedback. Prepare for Discussion II.	Q&A, discussion	Prepare a discussion topic.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Lead Discussion II.	Q&A, discussion	Lead a discussion.
28	Review the Course.	comments, discussion	Review the course content.

テキスト	Atsushi Iino / Sayo Nakamura / Brian Wistner / Toshihiko Wada / Yukiko Yabuta. <i>Voice Your Opinion</i> (Kinseido). ISBN: 978-4-7647-4179-9. TED Talks (Online).
参考書	<i>English essentials: An Academic Skills Handbook.</i>

科目名	ENG162: 標準英語スキルズ (ライティング・文法)			担当教員	J. Zhang
開講期	春	開講時限	火金3限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-③
キーワード	パラグラフ、エッセイ、ボキャブラリー、文法、エッセイを書く				
授業の概要	<p>本科目は英文法の理解、ライティング力の向上を主な目的とし以下のことを行います。</p> <p>1. ライティングモデル (手本の段落・エッセイ) を読み、その章で目標とする段落・エッセイの内容、構成を理解する。2. 段落・エッセイを書く際に必要な文法事項、ボキャブラリーを理解し、運用できるよう練習する。3. 段落・エッセイの構成要素を学ぶ。4. ライティングのフォーマット (形式) に従って書けるように練習する。5. 実際に段落・エッセイを書く。</p>				
達成目標 (授業の目的)	この授業では、正確で説得力のある5段落構成のエッセイを書くことを目指します。エッセイを書くためには、まずきちんと構成された段落を書く練習が不可欠です。また文法の知識や語彙力も必要です。学期の前半では文法の復習や語彙力の強化を行いながら様々なタイプの段落を実際を書くことを目標とします。ここで学んだ内容を応用し、学期の後半は文法の復習や語彙力の強化を続けながら5段落構成のエッセイを書くことを目標とします。				
到達目標 (学修成果)	<p>1. 様々な種類の段落・エッセイに触れ、特徴を理解する。</p> <p>2. 様々な段落・エッセイに必要な文法事項、語彙を実際に使うことができる。</p> <p>3. 段落・エッセイの構成要素 (序論, 本論, 結論, Thesis Statement, Topic Sentence, Supporting Sentences, Concluding Sentence) を理解する。</p> <p>4. フォーマット (形式) のルールを把握し、運用できる。</p> <p>5. 1-4 を踏まえ、様々なトピックについて、段落・エッセイを書くことができる。</p>				
評価方法	積極的な授業参加 (30%) パラグラフ課題 (50%) エッセイ課題 (20%)				
評価基準	<p>積極的な授業参加: 授業中に演習、ディスカッションに積極的に取り組む姿勢を評価する。</p> <p>パラグラフ課題: Ch. 3, 4, 5, 7, 8 の最終回に実施。指示 (トピック等) に従っているか、学修内容 (段落の構成要素、文法、語彙、形式等) が的確に使用されているかを評価する。</p> <p>エッセイ課題: Ch. 9, 10 の最終回に実施。指示 (トピック等) に従っているか、学修内容 (エッセイ・段落の構成要素、文法、語彙、形式等) が的確に使用されているかを評価する。</p>				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle で行う / Moodle</li> <li>・ 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>				
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course overview; ice-breaking; explaining the evaluation criteria	Lecture; discussion	Buy textbook; read syllabus; preview Ch. 3 pp. 51-53
2	Ch. 3 Basic Paragraph Structure: Introduction	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 3 pp. 54-60
3	Ch. 3 Basic Paragraph Structure: Organization	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 3 p. 72; review Ch. 3
4	Ch. 3 Basic Paragraph Structure: Vocabulary; 授業内ライティング課題 ①: Ch. 3	Lecture; exercise; paragraph writing	Preview Ch. 4 pp. 79-84
5	Ch. 4 Logical Division of Ideas: Introduction	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 4 pp. 88-98



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Ch. 4 Logical Division of Ideas: Organization, Sentence Structure; 課題 ① 返却、結果確認	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 4 p. 99; review Ch. 4
7	Ch. 4 Logical Division of Ideas: Vocabulary; 授業内ライティング課題 ②: Ch. 4	Lecture; exercise; paragraph writing	Preview Ch. 5 pp. 102-106
8	Ch. 5 Process Paragraphs: Introduction	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 5 pp. 107-112
9	Ch. 5 Process Paragraphs: Organization, Sentence Structure	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 5 pp. 113-117
10	Ch. 5 Process Paragraphs: Vocabulary; 課題 ② 返却、結果確認	Lecture; exercise; pair tasks	Review Ch. 5
11	授業内ライティング課題 ③: Ch. 5	Lecture; paragraph writing	Preview Ch. 7 pp. 148-152
12	Ch. 7 Cause / Effect Paragraphs: Introduction	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 7 pp. 154-158
13	Ch. 7 Cause / Effect Paragraphs: Organization, Sentence Structure	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 7 pp. 159-167
14	Ch. 7 Cause / Effect Paragraphs: Vocabulary; 課題 ③ 返却、結果確認	Lecture; exercise; pair tasks	Review Ch. 7
15	授業内ライティング課題 ④: Ch. 7	Lecture; paragraph writing	Preview Ch. 8 pp. 171-176
16	Ch. 8 Comparison / Contrast Paragraphs: Introduction	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 8 pp. 177-187
17	Ch. 8 Comparison / Contrast Paragraphs: Organization, Sentence Structure	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 8 pp. 188-190
18	Ch. 8 Comparison / Contrast Paragraphs: Vocabulary; 課題 ④ 返却、結果確認	Lecture; exercise; pair tasks	Review Ch. 8
19	授業内ライティング課題 ⑤: Ch. 8	Lecture; paragraph writing	Preview Ch. 9 pp. 198-202
20	Ch. 9 Essay Organization: Introduction	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 9 pp. 203-208
21	Ch. 9 Essay Organization: Organization	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 9 pp. 209-214
22	Ch. 9 Essay Organization: Vocabulary; 課題 ⑤ 返却、結果確認	Lecture; exercise; pair tasks	Review Ch. 9
23	授業内ライティング課題 ⑥: Ch. 9	Lecture; paragraph writing	Preview Ch. 10 pp. 222-225
24	Ch. 10 Opinion Essays: Introduction	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 10 pp. 226-230
25	Ch. 10 Opinion Essays: Organization	Lecture; exercise; pair tasks	Preview Ch. 10 pp. 230-235
26	Ch. 10 Opinion Essays: Vocabulary; 課題 ⑥ 返却、結果確認	Lecture; exercise; pair tasks	Review Ch. 10
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	授業内ライティング課題⑦: Ch. 10	Lecture; paragraph writing	Read model paragraphs and essays in each chapter
28	Course review; 課題 ⑦ 返却、結果確認	Lecture; discussion	Review the book; continue to practice writing

テキスト	A. Oshima, & A. Honne. <i>Longman Academic Writing Series 3 with Digital Enhancement (Student Book with MyEnglishLab &amp; app (2nd Edition))</i> (Pearson).
------	--



科目名	ENG163: 標準英語スキルズ (リーディング・語彙)			担当教員	小林 美文		
開講期	秋	開講時限	月木1限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-③	
キーワード	ボキャブラリースキル、リーディングスキル、文法、クリティカルシンキング						
授業の概要	<p>本科目は英語の語彙力と読解力向上を主な目的とし、以下のことを行います。</p> <p>1. 各ユニットに設定された様々な分野のボキャブラリーに触れ、その意味と使い方を理解する 2. 各ユニット2つの文章を読み、速く正確に読む力を養う 3. 英単語の仕組み（接頭辞、接尾辞等）を理解し、丸暗記に頼らずに語彙力を伸ばす方法について学ぶ 4. 読解力向上に必要な文法事項を復習する 5. 文章をクリティカル（批判的）に読む方法について学ぶ</p>						
達成目標 (授業の目的)	この授業は、より速く正確に様々な分野の文章を英語で読むために、各ユニットで異なる分野の文章に触れ、読む練習を積み重ねることを目的とします。また、その過程で、語彙力を効率的につける方法や文章をクリティカル（批判的）に読む方法を学び、語彙力を増強し、必要な文法事項を復習することによりリーディング力を補強することを目指します。						
到達目標 (学修成果)	<ol style="list-style-type: none"> <li>多様な分野のボキャブラリーを運用できる</li> <li>英単語の仕組み（接頭辞、接尾辞等）を理解し、語彙力を増強できる</li> <li>読解力向上に必要な文法を理解する</li> <li>文章をクリティカル（批判的）に読む方法を理解し、実際に使うことができる</li> <li>1-4を踏まえ、より速く正確に様々な分野の文章を読むことができる</li> </ol>						
評価方法	積極的な授業参加 (30%) オンライン課題 (25%) リーディングテスト (25%) ボキャブラリーテスト (20%)						
評価基準	<p>積極的な授業参加：授業中に練習問題やペアワーク等に積極的に取り組む姿勢を評価する。</p> <p>オンライン課題：提出期限を守っているか、指示に従って解答しているかを評価する。</p> <p>リーディングテスト：既習トピックに関連した長文を読み、制限時間内に正確に英文を読み取る力を評価する。</p> <p>ボキャブラリーテスト：オンライン課題各ユニット Activity 3, 7 から出題。語句の意味、用法を正しく理解しているかを評価する。</p>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Moodleで行う/Moodle</li> <li>・口頭で行う/orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers</li> <li>・上記以外で行う/other: iQ ONLINE (教科書付属のオンライン教材)</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回 (100分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	シラバス説明, iQ ONLINE (オンライン教材。以下、ONLINE とする) 説明、登録	講義 ディスカッション	Unit 1 Reading 1 予習
2	Unit 1: Business Reading 1, Critical Thinking Strategy	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 1 Activity 3 提出, Unit 1 Reading 2 予習
3	Unit 1: Business Reading 2, Reading Skill	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 1 Activity 7 提出
4	Unit 1: Business Vocabulary Skill, Grammar	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 1 Activity 11 提出, Unit 2 Reading 1 予習
5	Unit 2: Cognitive Skill Reading 1, Critical Thinking Strategy	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 2 Activity 3 提出, Unit 2 Reading 2 予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 2: Cognitive Skill Reading 2, Reading Skill	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 2 Activity 7 提出
7	Unit 2: Cognitive Skill Vocabulary Skill, Grammar	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 2 Activity 11 提出, Unit 3 Reading 1 予習
8	Unit 3: Sociology Reading 1, Critical Thinking Strategy	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 3 Activity 3 提出, Unit 3 Reading 2 予習
9	Unit 3: Sociology Reading 2, Reading Skill	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 3 Activity 7 提出
10	Unit 3: Sociology Vocabulary Skill, Grammar	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 3 Activity 10 提出, Unit 4 Reading 1 予習
11	Unit 4: Physiology Reading 1, Critical Thinking Strategy	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 4 Activity 3 提出, Unit 4 Reading 2 予習
12	Unit 4: Physiology Reading 2, Reading Skill	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 4 Activity 7 提出
13	Unit 4: Physiology Vocabulary Skill, Grammar	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 4 Activity 11 提出, Unit 1-4 復習
14	Unit 4: Physiology Grammar 中間テスト (リーディング&ボキャブラリー)	講義 テスト	Unit 5 Reading 1 予習
15	Unit 5: Sports Science Reading 1, Critical Thinking Strategy	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 5 Activity 3 提出, Unit 5 Reading 2 予習
16	Unit 5: Sports Science Reading 2, Reading Skill	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 5 Activity 7 提出
17	Unit 5: Sports Science Vocabulary Skill, Grammar 中間テスト返却および解説	講義 演習 テストフィードバック	ONLINE Unit 5 Activity 11 提出, Unit 6 Reading 1 予習
18	Unit 6: Communication Reading, Critical Thinking Strategy	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 6 Activity 3 提出, Unit 6 Reading 2 予習
19	Unit 6: Communication Reading 2, Reading Skill	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 6 Activity 7 提出
20	Unit 6: Communication Vocabulary Skill, Grammar	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 6 Activity 11 提出, Unit 3 Reading 1 予習
21	Unit 7: Behavioral Science Reading 1, Critical Thinking Strategy	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 7 Activity 3 提出, Unit 7 Reading 7 予習
22	Unit 7: Behavioral Science Reading 2, Reading Skill	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 7 Activity 7 提出
23	Unit 7: Behavioral Science Vocabulary Skill, Grammar	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 7 Activity 9 提出, Unit 8 Reading 1 予習
24	Unit 8: Psychology Reading 1, Critical Thinking Strategy	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 8 Activity 3 提出, Unit 8 Reading 2 予習
25	Unit 8: Psychology Reading 2, Reading Skill	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 8 Activity 7 提出
26	Unit 8: Psychology Vocabulary Skill	講義 演習 ペアワーク	ONLINE Unit 8 Activity 11 提出, Unit 5-8 復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Unit 8: Psychology Grammar 期末テスト (リーディング&ボキャブラリー)	講義 テスト	学期中に学んだボキャブラリーを復習する
28	期末テスト返却および解説 学期のまとめ	講義 テストフィードバック	学期中に学んだ文法を復習する

テキスト	<i>Q Skills for Success 2 Reading and Writing (3rd ed.)</i> (Oxford). 付属のオンライン教材を使用するので中古本を購入しないこと（各教科書固有の番号をサイトに登録する必要あり）
------	--

科目名	ENG161: 標準英語スキルズ (編入対策)			担当教員	岩崎 明子	
開講期	春	開講時限	火金2限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-③
キーワード	vocabulary, grammar, reading, test-taking strategies					
授業の概要	大学編入学試験に対応できる英語力を身につけるために、前半は英検準1級の総合問題を解き、後半は試験の過去問題の演習とその解説を中心に授業を進める。Vocabulary & grammar, 長文の Reading, Translation, Summary, Writing エクササイズを繰り返す。また、最後のプレゼンテーションでは、過去問を客観的に分析し解説する課題を行う。					
達成目標 (授業の目的)	編入学試験の英語問題を解くために必要な教養と表現力を身につける。英語の読解力を高めるのに必要なスキルを習得し、試験の得点をあげる。英文を翻訳する力を伸ばし、日本語で要約する力をつける。編入学試験に向けて、過去問を分析し自律学修ができる力を養う。					
到達目標 (学修成果)	英検準1級程度の英文を読める単語力、文法力、読解力を習得する。多様な専門分野のトピックの英文を読み、翻訳や要約ができるようになる。過去問を分析できるようになる。自分で学修計画を立て、計画に沿って学修できる習慣と力が身につくようになる。					
評価方法	授業への積極的参加・課題 50%、Review Test2回 20%: #1 (9回目)、Test #2 (17回目)、プレゼンテーション 3回 30%					
評価基準	①Text 演習を必ず予習し、授業内での質疑や解答分析の話し合いに積極的に参加し、課題の内容とそれを期日内に提出したかを評価。②Review Test では、授業でやったところをよく復習して身につけたかを評価する。③プレゼンテーションでは、試験問題の構造や難易度、トピックについての的確に分析しているかを評価する。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle / Google Forms で行う / Moodle / Google Forms</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> <li>・ 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course overview, 大学編入試験とは	Lecture	p.35
2	1. 自然・環境 Reading 1, 2, 3B	Vocabulary, reading	pp.44-51 予習
3	1. 自然・環境 Listening, Writing	Listening, writing	pp.52-57 予習
4	2. 教育・心理 Reading 1, 2, 3A	Vocabulary, reading	pp.80-84 予習
5	2. 教育・心理 Listening, Writing	Listening, writing	pp.86-89 予習
6	3. 健康・医療 Reading 1, 2, 3C	Vocabulary, reading	pp.114-118 予習
7	3. 健康・医療 Listening, Writing	Listening, Writing	pp.122-125 予習
8	自然・環境・教育・心理・健康・医療 まとめ、Terminology, Grammar	Review, exercise, Q&A	プリント

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	ReviewTest#1、Review Test 返却、講評、大学入試問題 Exercise	Test, lecture, exercise	プリント
10	4. 科学・技術 Reading1, 2, 3B	Vocabulary, reading	pp.152-157 予習
11	4. 科学・技術 Listening, Writing	Listening, Writing	pp.158-161 予習
12	5. 社会・ビジネス Reading1, 2, 3C	Vocabulary, reading	pp.188-195 予習
13	5. 社会・ビジネス Listening, Writing	Listening, Writing	pp.196-199 予習
14	6. 政治・文化 Reading1, 2, 3A	Vocabulary, reading	pp.226-231 予習
15	6. 政治・文化 Listening, Writing	Listening, Writing	pp.232-235 予習
16	科学・技術・社会・ビジネス・政治・文化 まとめ Terminology, Grammar	Review, exercise, Q&A	プリント
17	Review Test #2、Review Test 返却、講評、大学入試問題 Exercise	Test, lecture, exercise	プリント
18	過去問演習（長文読解、空所補充） Review Test 返却、講評	lecture, exercise	プリント配布 予習
19	過去問演習（翻訳、作文）	lecture, exercise	プリント配布 予習
20	過去問演習（要約、作文）	lecture, exercise	プリント配布 予習
21	過去問総合 1)	lecture, exercise	プリント配布 予習
22	過去問総合 2)	lecture, exercise	プリント配布 予習
23	過去問総合 3)	lecture, exercise	プリント配布 予習
24	試験問題解説プレゼンテーション①	Presentation, Q&A	Prepare presentation
25	試験問題解説プレゼンテーション②	Presentation, Q&A	Prepare presentation
26	試験問題解説プレゼンテーション③	Presentation, Q&A	Prepare presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	試験問題解説プレゼンテーション④	Presentation, Q&A	Prepare presentation
28	まとめ	Lecture, Q&A	

テキスト	著者：西真理子、他『よく出る6テーマ別 英検総合トレーニング準1級』（三修社）
参考書	2021年度版『英検準1級過去6回全問題集』（旺文社） 中原道喜（2000年）『英語長文問題精講 新装版』（旺文社） 瓜生豊他『英文法・語法問題 Next Stage 4th』（桐原書店） 風早寛『速読英単語 必修編（改訂第7版）』（Z-KAI）
履修条件、前提科目	学期中に英検準1級の単語本1冊をマスターする

科目名	ENG164: 標準英語スキルズ (アメリカの文化と社会)			担当教員	M. Wilkinson
開講期	春	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-③
キーワード	American society, movies, character study, culture, news				
授業の概要	This course aims to engage students with various voices from within American society, plus one or two outside America, through movie characters, the issues they face, and their perspectives on life.				
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “Men and Women for Others, With Others”</li> <li>For students to acquire critical thinking skills</li> <li>For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English</li> <li>For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English</li> </ul>				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students will be able to express ideas and opinions in English on socio-cultural topics, both in writing and speech; link newly acquired knowledge to issues covered in class; reflect on the lives of others and how this influences the decisions they make.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Essay (30%); Homework assignments (20%); Independent learning (20%)				
評価基準	<p><i>Participation:</i> Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks, sharing thoughts</p> <p><i>Homework assignments:</i> Preparing thoughts on movies clips, finish textbook activities</p> <p><i>Essay:</i> Essay (Character Study) -organization (introduction with thesis statement, body, conclusion), content (including showing critical thinking and objectivity), language (vocabulary usage, grammar, etc.)</p> <p><i>Independent learning:</i> Read a recent news article (in English) on America each week that is related to unit topics and be prepared to talk about it in class</p>				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introductions and course explanation, Unit 1: United by Desperation	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
2	Unit 1: United by Desperation, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises
3	Unit 2: Assigning a Label	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
4	Unit 2: Assigning a Label, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit
5	Unit 3: Prejudice and Egocentrism	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
6	Unit 3: Prejudice and Egocentrism, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4: Human vs. Property	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
8	Unit 4: Human vs. Property, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit
9	Unit 5: Choosing a Home	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
10	Unit 5: Choosing a Home, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit
11	Unit 6: Be an Intercultural Interpreter	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
12	Unit 6: Be an Intercultural Interpreter, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit
13	Unit 7: An Illegal Life	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
14	Unit 7: An Illegal Life, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit
15	Unit 8: Foreign Language and Self-Confidence	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
16	Unit 8: Foreign Language and Self-Confidence, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit
17	Unit 9: Frame of Mind	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
18	Unit 9: Frame of Mind, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit
19	Unit 10: An Individual or A Number	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
20	Unit 10: An Individual or A Number, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit
21	Unit 11: Pushing Past Boundaries	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
22	Unit 11: Pushing Past Boundaries, share thoughts, <i>English Essentials</i> : Research	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit
23	Unit 12: Does It Divide or Unite?	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
24	Unit 12: Does It Divide or Unite?, share thoughts, <i>English Essentials</i> : Essay	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit
25	Unit 13: Finding a Cure	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
26	Unit 13: Finding a Cure, share thoughts, <i>English Essentials</i> : Essay	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Unit 14: Is Your World Peaceful?	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
28	Unit 14: Is Your World Peaceful?, share thoughts Submit essay	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises
テキスト	Joseph Tabolt & Koji Morinaga. <i>Our Society, Our Diversity, Our Movies</i> (Kinseido).		
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>		



科目名	ENG166: 標準英語スキルズ (ホスピタリティの英語)			担当教員	G. Freddes
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-③
キーワード	hospitality, tourism, <i>omotenashi</i> , content-based learning, theme-based learning				
授業の概要	This course aims to help students considering a career in the hospitality industry develop the skills necessary for success in a variety of tourism fields. Although the textbook focuses mainly on the tour, airline and hotel sectors, the vocabulary and expressions learned can be applied to all areas of tourism. During the semester, each student will do three short presentations and a longer final presentation.				
達成目標 (授業の目的)	Through this course, students will build up their English vocabulary, improve their ability to listen to, understand and communicate effectively with customers. They will develop skills in writing, verbal communication, research and presentation in relation to their individual sector of the industry.				
到達目標 (学修成果)	By the end of the semester, students should be able to do the following: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Vocabulary: understand and use key English vocabulary and expressions provided in the textbook.</li> <li>• Reading: grasp the main ideas and details in the textbook.</li> <li>• Writing: make simple, easy to understand travel plans for tourists.</li> <li>• Communication: engage in simple, natural dialogue with travelers.</li> <li>• Research: gather information from actual travel websites to meet specific customer needs.</li> <li>• Presentation: attract and politely sell your itinerary / accommodations / travel, plan to customers.</li> </ul>				
評価方法	Participation and performance, including 3 short presentations (40%); Homework (35%); Three Quizzes (15%); Final presentation (10%)				
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, engagement in role-play and all small-group tasks, use of key vocabulary studied; content, organization and understandability of short presentations. Homework: submitted on time and according to instructions, use of key vocabulary studied. Quizzes: understanding / use of key vocabulary and expressions. Final Presentation: Topic related to a hospitality field, use of general and specific information / details / examples, organization, easy to understand, length.				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>• 上記以外で行う / other: Google Docs</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course introduction: Syllabus, text, explanation of Short Presentations; Mingle / Network	Meeting and greeting, Discuss hospitality	Write two paragraphs. Text p. 13. Vocabulary - Expressions
2	Unit 1. Recommending a tour: vocabulary, listening, discussion; Form small groups	Discuss your area of interest with group	Unit 1. Traveling Further p. 16
3	Unit 1. Traveling Further: research, writing, Presenting	Individual, group work, listening, discussion	Text pp. 18-19 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
4	Unit 2. Taking a tour booking: vocabulary, role-play, reading	Pair / small-group work, listening, discussion	Unit 2. Traveling Further p. 22
5	Unit 2. Traveling Further: research, writing, Presenting	Individual, group work, listening, discussion	Text pp. 24-25 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
6	Unit 3. Escorting a tour: vocabulary, role-play, reading	Pair / small-group work, listening, discussion	Prepare presentation

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Short Presentation #1	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete Self-Evaluation Form Unit 3. Traveling Further
8	Unit 3. Traveling Further: research, writing, Presenting	Individual, group work, listening, discussion	Text pp. 30-31 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
9	Unit 4. Welcoming international tourists: vocabulary, role-play, reading	Pair / small-group work, listening, discussion	Unit 4. Traveling Further p. 34; Review Units 1 ~ 4 Vocabulary
10	Unit 4. Traveling Further: research, writing, Presenting; Quiz #1: Vocabulary - Expressions	Individual, group work, listening, discussion	Text pp. 36-37 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
11	Unit 5. Taking an airline reservation: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 42-43 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
12	Unit 6. Giving flight information: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 48-49 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
13	Unit 7. Helping passengers check in: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Prepare presentation
14	Short Presentation #2	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete Self-Evaluation Form Text pp. 54-55 Dialogue, vocab.
15	Unit 8. Working at the boarding gate: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 60-61 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
16	Unit 9. Offering in-flight services: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 66-67 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
17	Unit 10. Giving CIQ information: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 72-73 Dialogue, vocab. Review Units 5 ~ 10 Vocabulary
18	Unit 11. Taking a room reservation: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 78-79 Dialogue Study, Review Units 5 ~ 10 Vocabulary
19	Unit 12. Welcoming guests: vocabulary, role-play, reading; Quiz #2: Vocabulary - Expressions	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 84-85 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
20	Unit 13. Helping guests: vocabulary, role-play, reading	Pair / small-group work, listening, discussion	Prepare presentation
21	Short Presentation #3	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete Self-Evaluation Form Unit 13. Traveling Further p. 88
22	Unit 13. Traveling Further: research, writing, Presenting	Individual, group work, listening, discussion	Text pp. 90-91 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
23	Unit 14. Dealing with complaints: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 96-97 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
24	Unit 15. Sending guests off: vocabulary, role-play, reading	Pair / small-group work, listening, discussion	Unit 13. Traveling Further p. 88 Review Units 11 ~ 15 Vocab.
25	Unit 15. Traveling Further: research, writing, Presenting; Quiz #3 Vocabulary - Expressions	Pair / small-group work, listening, discussion	Begin planning for Final Presentation
26	Textbook review; Discuss ideas for Final Presentation	Individual guidance from instructor; pair work	Prepare for Final Presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final Presentations	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete Self-Evaluation Form Submit late homework
28	Final Presentations Interview / Portfolio review	Presenting... Q & A Interviewing skills	Complete Self-Evaluation Form

テキスト	Reiko Fujita. <i>English for Tourism Professionals</i> (National Geographic Learning - Cengage).
参考書	Travel Japan – Japan National Tourism Organization: <a href="https://www.japan.travel/en/us/">https://www.japan.travel/en/us/</a> JTB Tourist Information Center: <a href="https://www.tourist-information-center.jp/en/">https://www.tourist-information-center.jp/en/</a>

科目名	ENG167: 標準英語スキルズ (日本の文化)			担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	月木5限		研究室	4217
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-③
キーワード	茶の湯、日本文化、総合芸術					
授業の概要	この授業では、茶の湯を切り口に、日本の文化を語る語彙、会話力、プレゼンテーション力、読解力を学ぶ。茶の湯が総合芸術と言われるのはなぜか、日本において喫茶の習慣がどのように始まり今に至るのかなどを理解するとともに、茶道の点前を実際に習得する。SJ 祭や海外の大学生とのメール交換やオンラインでの交流も行う。					
達成目標 (授業の目的)	この授業では、学生は海外の人々に対し、英語で茶の湯や茶の湯と関係の深い美術や工芸、喫茶の歴史等について説明できるようになることを目的とする。裏千家の作法で盆略点前という基本の点前で抹茶の点て方を習得する。					
到達目標 (学修成果)	① 茶の湯の歴史やその精神について日英両言語で理解し説明できるようになる。 ② 英語で茶の飲み方など客の作法について説明できるようになる。 ③ 盆略点前で茶を点てて、人をもてなすことができるようになる。					
評価方法	① クイズ：20% ② 授業への積極参加：30% ③ プレゼンテーション (個人)：10% ④ プレゼンテーション (グループ)：10% ⑤ レポート 30%					
評価基準	① クイズ：茶の湯に関連する語彙や表現を習得しているかを評価する。 ② 授業への積極参加：ディスカッションや点前の習得に積極的に参加するかを評価する。 ③ プレゼンテーション (個人)：日本文化 (陶磁器、鋳物、漆器、数寄屋、和菓子) などについて英語で説明できるかを評価する。 ④ プレゼンテーション：グループで行う茶道のデモンストレーションを評価する。 ⑤ レポート：日英バイリンガルで提出し、茶の湯についての理解と表現力を評価する。					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally					
準備学修の時間	本科目の一回 (100分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	茶の湯とはなぜ海外の人々にも知られているのか、Tea ceremony と Chanoyu の違い	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト目次をみて、内容を想像する
2	床の間の設え、掛け軸と茶花 ウィスコンシン大学学生との交流について	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	ウィスコンシン大学について調べる
3	抹茶の点て方、イリノイ大学 Japan House の活動	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	イリノイ大学 Japan House について調べる
4	テキスト A 「点前座」は和の美術館 割り稽古 (帛紗さばき)	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 6-11 の予習
5	テキスト A 和菓子について 割り稽古 (棗を清める)	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 42-45 の予習
6	テキスト A 道具を清める 割り稽古 (茶杓を清める)	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 50-53 の予習
7	テキスト A 茶碗の扱い 割り稽古 (茶筌通し)	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 54-57 の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	テキスト A 英語でプレゼンテーション 割り稽古（茶巾の扱い）	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト A pp. 12-13 の予習
9	テキスト A 日本のお辞儀の意味と違い ハワイ大学「寂庵」紹介	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト A pp. 66-69 の予習
10	テキスト A 稽古とは テキスト B : Why is tea the master key to the Japanese culture	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト A pp. 70-73 の予習 テキスト B pp. 4-14 の予習
11	テキスト B 茶の湯と伝統工芸（陶芸、漆 器、竹細工）、プレゼンテーション	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 42-45 の予習 プレゼンテーション準備
12	テキスト B 茶の湯と伝統工芸（金物、染 色）、プレゼンテーション	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 46-47 の予習 プレゼンテーション準備
13	テキスト B 茶の湯と抹茶、着物、数寄屋建 築、プレゼンテーション	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 48-49 の予習 プレゼンテーション準備
14	テキスト B 茶の湯の歴史（平安～室町時 代）、プレゼンテーション	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 78-79 の予習 プレゼンテーション準備
15	テキスト B 茶の湯と歴史（安土・桃山～現 代）、プレゼンテーション	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 80-83 の予習 プレゼンテーション準備
16	テキスト B Chanoyu and Japanese spirits ウィスコンシン大学学生への動画作成計画	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 84-87 の予習
17	テキスト B Chanoyu has an international flavor ウィスコンシン大学学生への動画作成	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 40 の予習
18	古伊万里再生プロジェクト	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	古伊万里再生プロジェクトに ついて調べまとめる
19	上智大学「紀尾井亭（福田屋）」の歴史	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	「紀尾井亭」について調べる
20	テキスト B 大寄せ茶会とは	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 56-57 の予習
21	テキスト B 茶会と茶事の違い	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 53-59 の予習
22	テキスト B 懐石について	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 60-65 の予習
23	テキスト B 日本の季節感、和菓子の銘を例 に考える	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 66-73 の予習
24	テキスト B 茶の湯と禅	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	テキスト B pp. 90-92 の予習
25	初釜 新年の道具の取り合わせ	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	リアクションペーパーを書く
26	プレゼンテーション 茶会を企画し、英語でもてなす 1	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	プレゼンテーションの準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	プレゼンテーション 茶会を企画し、英語でもてなす 2	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	プレゼンテーションの準備
28	まとめ	講義、質疑応答、実 技、ペアワーク	期末レポートを書く

テキスト	A ランディー・チャネル宗榮『バイリンガル茶の湯 BOOK The book of Chanoyu』（淡交社） B 保科眞智子『英語 DE 茶の湯 こんなとき、どうする?!』（淡交社）
その他 特記事項	盆略点前に必要な次の道具は各自が用意する（茶碗、棗、茶筌、茶巾、帛紗など。5000 円程 度、自宅にあるもので代用も可）。抹茶と授業で使うお菓子代は別途徴収。希望者には学期中 に上智大学が所有する「紀尾井亭」にて茶の湯体験を行う予定。

科目名	ENG182: 準上級英語スキルズ (TOEICスピーキング・ライティング対策)			担当教員	P. McQuilling
開講期	春	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-②, 3-③
キーワード	TOEIC preparation skills, critical thinking, test item formatting, self-directed learning				
授業の概要	This class will provide a structured format to prepare for the TOEIC Speaking and Writing Test. In this course students will explore a range of test content and language usage that are common in TOEIC tests and also in daily life. Original test items will be made by the students based on TOEIC test question formatting.				
達成目標 (授業の目的)	This course aims to help students develop an understanding of test item formatting and the topics presented on the TOEIC Speaking and Writing Test. Students will learn the formatting of each question type and will work with their peers to critically analyze the answers they provide. TOEIC test strategies will also be discussed with peers and the instructor. English language skills will be developed in parallel to a greater understanding of TOEIC test content.				
到達目標 (学修成果)	By the end of the course, each student should be able to identify and provide answers for all question types on the TOEIC Speaking and Writing Test. Students will then be able to create original test questions in the appropriate format. Participation will include test item creation (TIC), critical thinking and test strategy activities that will help prepare students for a set of 3 mock TOEIC tests. Preparation for each class will include both homework and TIC tasks.				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (20%); Homework assignments drawn from the textbook and worksheets (25%); Test Item Creation, focusing on the creation of properly formatted test questions and performance on student created questions (25%); Testing and assessment, including 3 mock-TOEIC tests – i) Speaking test ii) Writing test & iii) Speaking & Writing tests combined (30%).				
評価基準	Participation and performance: active involvement, participation and performance on critical thinking activities which reference TOEIC test question formats, performance on TOEIC test questions in class, effort to use English; Homework: worksheets & assignments completed thoroughly and on time, use of test formatting; Test Item Creation (TIC): completed thoroughly and on time for use in class, performance on student created questions using the strategies studied; Mock-Tests: completion of each test and response to feedback from teacher and peers.				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Moodle / Google Forms</li> <li>• Orally</li> <li>• Comments made on returned papers</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course introduction & orientation. Learner profiles, course goal setting.	Explanation by instructor, pair work.	Read syllabus, complete learner profile.
2	TOEIC Speaking Test overview. Qs.1-2 Reading Announcements practice.	Pair work, group work, peer evaluations	Speaking Test Qs.1-2 practice worksheet.
3	Speaking Test Qs.3-4 Describing Photos explanation and practice.	Presentation, pair work, group work.	Speaking Test Qs.3-4 practice worksheet.
4	Speaking Test Qs.5-7 Responding to Questions explanation and practice.	Pair work, group work & discussion.	Speaking Test Qs.5-7 practice worksheet.
5	Speaking Test Qs.8-10 Responding to Questions using Provided Information.	Pair work, group work, self-recordings.	Speaking Test Qs.9-10 practice worksheet.



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Speaking Test Q11. Expressing your opinion organization tactics and practice.	Pair work, discussion, peer evaluations.	Speaking Test Q.11 practice worksheet.
7	Speaking Test Review – review & practice, self-evaluations, self-improvement strategies.	Peer evaluations, self-recordings.	Review test questions and strategies.
8	Speaking Mock Test explanation – test practice, peer evaluations	Peer evaluations, self-recordings.	Review test questions and strategies for Mock Test 1.
9	Mock Test 1. Speaking Test.	Test, record answers, self-evaluation.	Review answers. Identify areas for improvement.
10	Test feedback & Writing Test overview. Writing Test Qs.1-5. Photo descriptions.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Qs.1-5 practice worksheet.
11	Writing Test. Qs.6-7. Responding to emails. Organizing responses.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Qs.6-7 practice worksheet.
12	Writing Test Q.8 Writing an opinion essay. Organization and supporting opinions.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Q.8 practice worksheet. Essay organization.
13	Writing Test Q.8 Writing an opinion essay. Cohesion and coherence strategies.	Pair work, feedback, self-evaluation.	Writing Test Q.8. Cohesion & coherence worksheet.
14	Writing Test review – review & practice, self-evaluations, self-improvement strategies.	Pair work, group work, peer evaluations.	Review test questions and strategies for Mock Test 2.
15	Mock Test 2 Writing Test.	Test, self-evaluations.	Review answers. Identify areas for improvement.
16	Test feedback & Test Item Creation overview. Test Item Creation: Speaking test Qs.1-2.	Teacher feedback, pair work, research.	Research suitable items for Speaking test Qs.1-2.
17	Test Item Creation: Speaking test. Qs.3-4. Student created question practice.	Pair work & research. Self-recordings.	Record two sets of answers for Speaking test Q.3-4.
18	Test Item Creation: Writing Test Qs.1-5. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Answer two sets of student created Writing Test Qs.1-5.
19	Test Item Creation: Speaking test Qs.5-7. Student created question practice.	Pair work & research. Self-recordings.	Create a situation and questions for Speaking test Qs.5-7
20	Test Item Creation: Speaking test Qs.8-10. Student created question practice.	Pair work & research. Self-recordings.	Answer two sets of student created Speaking test Qs.8-10.
21	Test Item Creation: Writing test Qs.6-7. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Write 2 appropriate emails for Writing test Qs.6-7.
22	Test Item Creation: Speaking test. Q11. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Record one answer for Speaking test Q.11.
23	Test Item Creation: Writing test. Q8. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Create two appropriate questions for Speaking test Q.8.
24	Q8. Opinion Essay Review. Question Type Practice.	Brainstorming, organizing, writing.	Write an opinion essay.
25	TOEIC self-evaluations, self-improvement strategies.	Pair work, group work & discussion.	Review test questions and strategies for Mock Test 3.
26	Mock Test 3. Speaking & Writing tests.	Test, record answers, self-evaluations.	Review answers. Identify areas for improvement.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Test feedback. TOEIC strategies and independent learning review.	Pair work, group work & discussion.	Make a plan for future learning.
28	Feedback and course reflection.	Pair work, group work & discussion.	Review the class and reflect on your progress.

テキスト	Educational Testing Service 『公式 TOEIC Speaking & Writing ワークブック』 (IIBC)
------	---

科目名	ENG183: 準上級英語スキルズ (多読速読)			担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	火金5限	研究室	4206
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-③
キーワード	extensive reading, rapid reading, speed reading, skimming, scanning, levelled readers, graded readers				
授業の概要	Reading improves through reading. This skills course is designed to make reading an enjoyable habit by allowing students to read many books in English at a level they feel comfortable with and about content which interests them. Students will have access to a virtual library of adventure, mystery, humor, biography, romance, true stories, and social issues books which they can read on their devices or borrow in paper format from the school library. They will also practice rapid reading techniques in class.				
達成目標 (授業の目的)	Course Goals: For students to improve their general English reading ability by reading large quantities of texts at a comfortable level. For students to express their understanding of what they have read to others in a clear way. For students to understand written content faster by mastering several common writing patterns. For students to increase their English vocabulary.				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students will acquire the habit of weekly reading of longer texts and books in English; will be able to write a report about non-fiction and fiction books; will be able to orally communicate about what they read by doing book presentations; will be able to use the SQ3R method to read faster; will have learned and be able to recognize 500 common reading vocabulary words; will reflect on how they read, different ways of reading, and on the process of reading.				
評価方法	Participation 20%; Homework 60%; Vocabulary Quizzes 15%; Presentation 5%				
評価基準	1. Participation: active participation in class activities including group book presentation sharing (20%) 2. Homework: 12 book reports evaluated on completeness and timely submission (24%), and total number of words read (36%): 180,000 words = 36pts; 150,000 words = 30pts; 125,000 words = 25 pts; 100,000 words = 20 pts; 75,000 words = 15 pts; 50,000 words = 10pts; 25,000 words = 5pts; 5,000 words = 1 point 3. Vocabulary Quizzes: Moodle quizzes based on the textbook vocabulary lists (15%) 4. Presentation: 1 presentation on “How I Read” evaluated on organization, delivery, and content (5%)				
課題等に対するフィードバック方法	・ Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Class introduction. Introduction to rapid reading (RR), extensive reading (ER), and resources	lecture, video	Choose books for extensive reading.
2	RR: readings 42-44 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz.
3	RR: readings 45-47 ER: book report 1	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
4	RR: readings 48-50 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
5	RR: readings 51-53 ER: book report 2	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	RR: readings 54-56 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
7	RR: readings 57-59 ER: book report 3	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
8	RR: readings 60-62 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
9	RR: readings 63-65 ER: book report 4	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
10	RR: readings 66-68 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
11	RR: readings 69-71 ER: book report 5	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
12	RR: readings 72-74 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
13	RR: readings 77-79 ER: book report 5	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
14	RR: readings 80-82 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
15	RR: readings 83-85 ER: book report 6	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
16	RR: readings 86-88 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
17	RR: readings 89-91 ER: book report 7	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
18	RR: readings 92-94 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
19	RR: readings 95-97 ER: book report 8	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
20	RR: readings 98-100 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
21	RR: readings 101-103 ER: book report 9	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
22	RR: readings 104-106 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
23	RR: readings 107-109 ER: book report 10	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
24	RR: readings 110-112 ER: student presentations	review, RR drills, reading	Read your book(s); Do the vocab; Prepare presentations
25	RR: readings 113-115 ER: book report 11	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
26	RR: readings 116-118 ER: student presentations	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	RR: readings 119-121 ER: book report 12	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
28	RR: readings 122-124 ER: reading celebration	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz

テキスト	(1) 松本茂『TOEIC TEST 速読速聴・英単語 STANDARD 1800 ver.2』(Z-Kai) (2) “Xreading.com” 6-month student subscription.
参考書	Day, R., and Julian Bamford. <i>Extensive Reading in the Second Language Classroom</i> (Cambridge). Nation, I. S. P., and Rob Waring. <i>Teaching Extensive Reading in Another Language</i> (Routledge).

科目名	ENG184: 準上級英語スキルズ (アカデミックライティング)			担当教員	R. Burton
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-③
キーワード	Academic writing through reading and language analysis, referenced to academic concepts				
授業の概要	This course will give students substantial practice of reading texts analytically, such that the concepts and details within those texts can then be used to help create academic essays. Obviously, this means a regular routine of reading and writing. Less obviously, it also means learning the procedures necessary to develop analytical thinking appropriate to each written section of an academic essay, or research paper. Perhaps not obvious at all, is the fact that this course will involve a great deal of discussion, as students must nurture and exercise the spirit of shared rational enquiry that is essential to research.				
達成目標 (授業の目的)	This course will provide students with the conceptual framework of the key rhetorical modes involved in academic writing. The reading texts also serve as input for language development of vocabulary and grammar. However, none of the many language practice exercises is merely a language analysis. Instead, it is preparation guiding students to incorporate that vocabulary and those items of grammar into conceptual and analytical writing. As such, students' general writing abilities will evolve and gain the extra competence and precision that characterizes academic writing and thinking.				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students will have gained vast language practice in reading and writing as used to enable core conceptual frameworks to serve academic inquiry. This means they will be able to set about writing academic essays on any topic involving such rhetorical modes as Explanation, Comparison and Contrast, Opinion, Problem and Solution, Persuasion, Argumentation, and Analysis (of data). Moreover, by combining this range of abilities, students will have gained the ability to write a Research Paper with its added requirements of Attribution, Citation, and Referencing. As such, students should find themselves sufficiently practiced in discussion, and scrutiny, to participate effectively in seminar presentations, dialectic and debate.				
評価方法	Participation and performance in classroom / Zoom discussions (30%); Homework (20%); x7 final drafts of Written Essays (35%); Individual 5-minute Presentation of Essay (15%) – each student to choose one of their own, already submitted essays to present to the class.				
評価基準	Participation and performance in classroom / Zoom discussions: The amount of participation and performance in classroom / Zoom discussions will depend on a student's language level, but it is also dependent on how much preparation students do. Homework: The Homework is either language development exercises, or provisional planning for essays and discussions. Some preparation exercises must be submitted for grading. Written Essays: grading criteria being x4 equal proportions of marks for vocabulary choice, sentence variety, paragraph cohesion & essay structure. Presentation of Essay: with assessment 50% based on pronunciation (clarity and continuity), and 50% based on effective paraphrasing from formal written register to more approachable / social spoken register.				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> <li>・ 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>・ 上記以外で行う / other: general comments made to the whole class for each task</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course and textbook. Unit 1 "Paragraphs"	Group Discussion – What is a paragraph?	Reading 1.1- topic sentences and controlling ideas tasks
2	"Paragraphs" - Reading Analysis check reading 1.1, "Types of Explorers"	Lecture / Readings 1.2-1.4 Focus on topic sentences	Brainstorming exercises 8 & 9 supporting sentence writing
3	"Paragraphs" - deriving supporting sentences from question forms	Group + pair work tasks- sentences vs fragments	Grammar task on noun forms & transition phrases for conclusion
4	"Paragraphs" - Analysis of paragraph purpose, and keeping to it	Paragraph / essay purpose: analysis & discussion	Activities 27 & 28 paragraph writing and peer editing

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Unit 2 “Features of Good Writing” - clarity, cohesion, purpose and audience	Group Discussion, with paragraph example 2.1	Writing conclusions with transition phrases
6	“Features of Good Writing” - unity through clear pronoun reference	Lecture / Readings 2.2-2.3 Focus on pronoun use	Paragraph 2.4 editing a paragraph
7	“Features of Good Writing” - word forms	Group + pair work tasks word forms activity 18	Building better sentences and combining them - activity 21/22
8	“Features of Good Writing” - the importance of proofreading and how to do it in 5 steps	Paragraph / essay-analysis & discussion	Activity 23 paragraph writing peer editing, and proofreading
9	Unit 3 “Types of Paragraphs” - cause-effect	Group Discussion, with paragraph example 3.1	Analysis of cause-effect paragraph with activities 1 & 2
10	“Types of Paragraphs” - comparison-contrast	Lecture / Readings 3.2 similarities / differences	Analysis of comparison-contrast paragraph with activities 3 & 4
11	“Types of Paragraphs” - classification	Lecture / Readings 3.3 categories	Analysis of classification paragraph 3.3 activity 5
12	“Types of Paragraphs” - problems-solutions	Paragraph / essay- 3.6 brainstorming solutions	Activity 20 paragraph writing one of each type
13	Unit 4 “Classification Essays - Moving from Paragraph to Essay”	Discussion, paragraphs compared to essays	Activities 1& 2 paragraph analysis if transformed to essay
14	“Classification Essays” - the introduction has a hook and a thesis statement	Lecture / Readings 4.1 Focus on outlining	Activity 3 is a comprehensive outlining task
15	“Classification Essays” - subject adjective clauses	Group + pair work tasks-on essay writing process	Activity 7 the five-paragraph essay
16	“Classification Essays”	Paragraph / essay-analysis & discussion	Activities 20-23 writing a classification essay
17	Unit 5 “Cause-Effect Essays”	Group Discussion, how to organize cause-effect	Activity 1-3 outlining a cause-effect essay
18	“Cause-Effect Essays” compared to a cause-effect paragraph	Lecture / Readings 5.1 Focus on connectors	Activities 9-11 ways of expressing past events
19	“Cause-Effect Essays” - hooks	Group + pair work tasks-choosing a hook	Activity 15 using connectors and transitions
20	“Cause-Effect Essays” - using connectors and transitions	Paragraph / essay- 5.2 Student presentations 1	Activity 26-28 writing a cause-effect essay
21	Unit 6 “Comparison-Contrast Essays” Across time, space, point of view, etc.	Group Discussion, Student presentations 2	Activity 1 is an exercise in constructing a block method
22	“Comparison-Contrast Essays” - more than one outline is available	Outlining options Student presentations 3	Activity 2 is an exercise in constructing a point-by-point
23	“Comparison-Contrast Essays” - paragraph expanded and compared with 5-paragraph essay	Group + pair work tasks-analyzing essay 6.1	Activity 4 is an exercise in writing a point-by-point essay
24	“Comparison-Contrast Essays” - parallel structures	Essay- analysis & discussion of features	Activities 6-8 superlative and writing of a comparison essay
25	Unit 7 “Problem-Solution Essays” - what are they exactly?	Discussion to define problem solution essays	Activity 1 coming up with possible solutions
26	“Problem-Solution Essays”	Lecture / Readings Focus on topic sentences	Activity 2 using subordinating conjunctions
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	“Problem-Solution Essays” - development from paragraph to essay	Pair work task analyzing essay 7.1 and conclusion	Activity 6 involves identifying sentence types and conclusions
28	“Problem-Solution Essays”	Paragraph / essay-analysis & discussion	Activity 17 writing a problem-solution essay.

テキスト	Keith S. Folse, Elena Vestri, David Clabeaux. <i>Great Writing 3 – From Great Paragraphs to Great Essays</i> (Cengage). ISBN 978-0-357-02107-1
------	---



科目名	ENG185: 準上級英語スキルズ (翻訳演習)			担当教員	飯田 純也	
開講期	春	開講時限	火金4限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-③
キーワード	英語の発想、意味はイメージ、名詞中心、動詞中心、関係代名詞、間接話法、無生物主語					
授業の概要	安西徹雄『英語の発想』を基に翻訳の理論と実践を学ぶ。授業の出発点は、機械翻訳の限界を意識しつつ、翻訳を言語の問題ではなくイメージの問題であると捉え、先ず英語の文章のイメージを読み取り、次に読み取ったイメージを日本語に移す。この作業の繰り返しにより英語力及び国語力を鍛える。授業では、学生が授業で扱うのにふさわしい英文を選び、学生の翻訳と合わせ、授業で検討、議論、添削、評価する。					
達成目標 (授業の目的)	英語と日本語それぞれの特性を理解した上で、さらに翻訳の作業を繰り返すことで言語の意味を把握する英語力及び国語力を鍛錬する。学生は短大及び短大以降の専攻分野の専門書を理解する英語力と国語力の向上を狙う。					
到達目標 (学修成果)	1. 言語の意味はイメージであると考えられる習慣ができる 2. 英語と日本語の発想の違いを説明することができる 3. 英語を日本語らしい日本語に翻訳することができる 4. 日本語を英語らしい英語に翻訳することができる					
評価方法	① 課題提出は全体の40% (前半12回12%、後半14回28%) ② 授業参加は全体の30% ③ フィードバックは全体の30%					
評価基準	① 締切期限内の提出か、後半の提出は質と量を考慮 ② 発言の頻度、問題の把握、創意工夫の程度 ③ 授業内の討論、議論、評価を取り込んだフィードバックか					
課題等に対するフィードバック方法	・ Moodleで行う ・ 口頭で行う ・ 提出物にコメントをつけて返却する					
準備学修の時間	本科目の一回 (100分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均45分が求められる。					

## 授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	授業紹介 (テキストの概要、課題提出、機械翻訳の取り扱い)	講義、アンケート記入	テキストを入手し、テキスト予習
2	「名詞中心と動詞中心」	学生の翻訳文の検討と質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳を Moodle に提出
3	「関係代名詞という大敵」	学生の翻訳文の検討と質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳提出
4	「実体中心に分析するか、状況をすくい取るか」	学生の翻訳文の検討と質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳提出
5	「『無生物主語』の構文」	学生の翻訳文の検討と質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳提出
6	「動作主としての人間・感受する人間」	学生の翻訳文の検討と質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳提出
7	「日本語に主語はいらない」	学生の翻訳文の検討と質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	「日本語では間接話法は不可能である」	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳 提出
9	「代名詞と時制の問題」	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳 提出
10	「夢とうつつの合間を縫う」	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳 提出
11	「受動態をどう訳すか」	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳 提出
12	「受身の主観性、状況性」	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳 提出
13	「受身のパラダイム」	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	テキスト予習、課題文の翻訳 提出
14	英語マニュアルの翻訳	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
15	英語歌詞の翻訳 Popular songs in the 1900s	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
16	英語歌詞の翻訳 Popular songs in the 2000s	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
17	英語歌詞の翻訳 Popular songs in the 2010s	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
18	英語歌詞の翻訳 Popular songs in the 2020s	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
19	英語字幕ナレーションの翻訳 映画の英語を日本語訳	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
20	英語字幕ナレーションの翻訳 映画の日本語を英語訳	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
21	英語字幕ナレーションの翻訳 News の英語を日本語訳	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
22	英語字幕ナレーションの翻訳 News の日本語を英語訳	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
23	英語論文の翻訳 人文科学（哲学等）	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
24	英語論文の翻訳 人文科学（歴史等）	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
25	英語論文の翻訳 社会科学（政治経済等）	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
26	英語論文の翻訳 社会科学（国際関係等）	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	英語論文の翻訳 自然科学	学生の翻訳文の検討と 質疑応答	英文と翻訳を合わせ Moodle に提出、フィードバック提出
28	学習のふりかえり	フィードバックにコメ ントして返却	

テキスト	安西徹雄『英語の発想』（ちくま学芸文庫）
参考書	駒宮俊友『翻訳スキルハンドブック～英日翻訳を中心に』（アルク）、安西徹雄『英文翻訳術』『英文読解術』（ちくま学芸文庫）

科目名	ENG188: 準上級英語アカデミックスキルズ (諸学問分野)			担当教員	C. Oliver		
開講期	秋	開講時限	火金4限		研究室	4205	
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-③	
キーワード	academic English, academic fields, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	This course aims to help students develop skills needed to understand, write, and speak effectively about academic topics in English. Each textbook unit is about a different academic field, such as sociology, linguistics, psychology, etc. Lessons will be based on the main video / audio passage (about 7 minutes) of each textbook unit. During the semester, each student will do three short presentations and a longer final presentation.						
達成目標 (授業の目的)	Through this course, students will be able to build up their academic English vocabulary, improve their ability to listen to and understand passages on topics related to various academic fields, and develop their skills in writing, discussion, and presentation in relation to such topics.						
到達目標 (学修成果)	By the end of the semester, students should be able to do the following: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Vocabulary: understand and use key English vocabulary provided by the textbook;</li> <li>• Reading: grasp main ideas and details in moderately difficult passages using academic vocabulary;</li> <li>• Writing: summarize passage content and express one's own views on the topics covered;</li> <li>• Discussion: engage in discussion of topics covered in the textbook, using key vocabulary;</li> <li>• Presentation: present both general ideas and specific information / details / examples on a topic related to an academic field in an organized, easy-to-understand way.</li> </ul>						
評価方法	Participation and performance, including 3 short presentations (35%); Homework (35%); Tests (20%); Final Presentation (10%).						
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, engagement in discussions, use of key vocabulary studied; content, organization and understandability of short presentations. Homework: submitted on time and according to instructions, understanding / use of key vocabulary, summarizing of passage content, expression of own views. Tests: understanding / use of key vocabulary, grasp of main ideas / details in passages. Final Presentation: topic related to an academic field, use of general ideas and specific information / details / examples, organization, easy to understand, length.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course; explanation of Short Presentation #1	explanation by instructor, pair-work	Review syllabus carefully
2	Unit 1 (sociology): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Study Unit 1 vocabulary in advance
3	Unit 1 (sociology): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 1 passage thoroughly
4	Recap of Unit 1; Unit 2 (linguistics): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 2 vocabulary in advance
5	Unit 2 (linguistics): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 2 passage thoroughly

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Recap of Unit 2; Unit 3 (psychology): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 3 vocabulary in advance
7	Short Presentations #1 (about a scholar); explanation of Short Presentation #2	presentations	Prepare presentation
8	Unit 3 (psychology): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 3 passage thoroughly
9	Recap of Unit 3; Unit 4 (business): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 4 vocabulary in advance
10	Unit 4 (business): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 4 passage thoroughly
11	Recap of Unit 4; Unit 5 (education): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 5 vocabulary in advance
12	Unit 5 (education): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 5 passage thoroughly
13	Short Presentations #2 (about a mini survey project)	presentations	Prepare presentation
14	Test #1 (Units 1, 2, 3, 4, 5); explanation of Short Presentation #3	test, explanation by instructor	Study for test
15	Recap of Unit 5; Unit 6 (history): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 6 vocabulary in advance
16	Unit 6 (history): comprehension, practice, discussion; return Test #1 and go over results	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 6 passage thoroughly
17	Recap of Unit 6; Unit 7 (social psychology): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 7 vocabulary in advance
18	Unit 7 (social psychology): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 7 passage thoroughly
19	Recap of Unit 7; Unit 8 (architecture): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 8 vocabulary in advance
20	Unit 8 (architecture): comprehension, practice, discussion; explanation of Final Presentation	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 8 passage thoroughly
21	Short Presentations #3 (about a mini-interview project)	presentations	Prepare presentation
22	Recap of Unit 8; Unit 9 (public health): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 9 vocabulary in advance
23	Unit 9 (public health): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 9 passage thoroughly
24	Recap of Unit 9; Unit 10 (urban planning): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 10 vocabulary in advance
25	Test #2 (Units 6, 7, 8, 9, 10); Unit 10: compre- hension, practice, discussion; Final Pres. prep.	test, pair / small-group work, listening, discuss.	Study for test; listen to & read Unit 10 passage thoroughly
26	Unit 10 (finish, as needed); return Test #2 & go over results; recap of Unit 10; Final Pres. prep.	individual guidance from instructor; pair work	Prepare Recap homework; begin working on Final Presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Final Presentations	presentations	Prepare presentation
28	Final Presentations	presentations	Prepare presentation

テキスト	Ellen Kisslinger. <i>Contemporary Topics 2: 21<sup>st</sup> Century Skills for Academic Success</i> (Pearson).
------	--

科目名	ENG225: 上級英語スキルズ (編入対策)			担当教員	平野 幸治	
開講期	秋	開講時限	火金4限		研究室	4210
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-③
キーワード	holistic view, analytic attitude, schema for comprehension and expression, critical thinking					
授業の概要	編入試験に使われた過去問を用いて授業を進める。毎授業に約 500 単語くらいの reading passage を読み、設問に対し日本語による論述と約 150 単語くらいで英語の文章を書く。一つのトピックを5回位の授業単位で扱う。授業の終わりに学生と対話し、適切な発問能力と適切な回答を生み出す力について事例を提示し考える。schema を付した解題を配布する。					
達成目標 (授業の目的)	編入学試験の過去問を用いて学生は大学入試と編入学試験の相違や編入学試験が求める学力や表現力の水準を理解することが出来る。TOEFL の設問に慣れて英語外部試験によって試験の趣旨や目的が異なることを理解できる。自己の目標を適切に具体的に設定する習慣と、過去問に関連したトピックの文献を自ら探し読み解く意志と力を身につけ、志望する学科について自分で判断できるようになる。					
到達目標 (学修成果)	学期末には学生は、大学の編入試験に必要とされる英語力と知識の水準を把握することができる。①指定の時間内に 140 単語から 175 単語くらいの英語で文章が書けるようになる。②指定の時間内に約 500 単語の reading passage を読み、設問に解答できるようになる。TOEFL の設問に慣れ、求められる vocabulary が身に付くようになる。③短時間に英語で意見をまとめ記述する習慣と力が身に付くようになる。					
評価方法	①英語の writing (30%: 10%×3回)。②授業内に行われる試験 2回 (20%: 10%×2回)。③定期試験 (22%)。④毎回の授業の終了時に回収する shuttle card form に授業に関する質問や意見および計画を適切な英語で記述 (28%: 1%×28回)。					
評価基準	評価基準は授業の初回に詳しく説明しますが、基本的には以下のようです。 ① 英語の writing は、準備学習の成果を踏まえ、冗長でない英語で、パラグラフで構成された英文になっているか。 ② 授業内に行われる試験は、授業で獲得した知識を活用して展開しているか。 ③ 定期試験は、きちんとした日本語で論述、また的確な英文で構成されているか。 ④ 上記 shuttle card form に英語で記述。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Moodleで行う</li> <li>・口頭で行う</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	イントロダクション: 論述・記述問題に対応する schema、総合的視点と分析的態度	講義・配布物の説明 および CD の聴取	can-do リスト作成
2	TOEFL TEST iBT リーディング (1): English 101&102	講義・配布物の説明	テキスト Section 1・2 を解答しておく
3	TOEFL TEST iBT リーディング (2): Color & Bats	講義・配布物の説明	テキスト Section 3・4 を解答しておく
4	TOEFL TEST iBT リーディング (3): Painting & Energy and Energy Sources	講義・配布物の説明	テキスト Section 5・6 を解答しておく
5	TOEFL TEST iBT リーディング (4): The Elements of Fiction and Drama & The Hoax	講義・配布物の説明	テキスト Section 7・8 を解答しておく
6	TOEFL TEST iBT リーディング (5): Philosophy & Mysterious Forces	講義・配布物の説明	テキスト Section 9・10 を解答しておく
7	TOEFL TEST iBT リーディング (6): Lie and Lie Detection & Sociology and Religion	講義・配布物の説明	テキスト Section 11・12 を解答しておく



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	TOEFL TEST iBT リーディング (7) : PTSD & Zoos: For and Against	講義・配布物の説明	テキスト Section 13・14 を解答しておく
9	TOEFL TEST iBT リーディング (8) : John Dewey's Laboratory School	講義・配布物の説明	テキスト Section 15・16 を解答しておく
10	TOEFL TEST iBT リーディング (9) : The End of Apartheid	講義・配布物の説明	テキスト Section 17・18 を解答しておく
11	TOEFL TEST iBT リーディング (10) :まとめ Transformation Business	②-1 授業内試験と講評・配布物の説明	テキスト Section 19・20 を解答しておく
12	経済学・経営学・国際関係論・法学を読む・書く (1) : ガバナンス系の学部の過去問	試験返却と講評・講義	Write summary & opinion. Read <i>Economics</i> (Oxford UP) p.16.
13	経営学の topics を読む・書く (2) : グローバル系の学部の過去問	講義・配布物の説明	Read <i>Management</i> (Oxford UP) pp.107-115.
14	国際関係論の topics を読む・書く (3) : グローバル・ガバナンス系の過去問	講義・配布物の説明	Read <i>International Relations</i> (Oxford UP) pp.56-59.
15	国際関係論の topics を読む・書く (4) : グローバル・文化学系の過去問	①-1 英語の writing の講評・配布物の説明	Read <i>International Relations</i> (Oxford UP) pp.120-23.
16	法学の topics を読む・書く (5) : グローバル・文化学系の過去問	writing の返却と講評・配布物の説明	Write summary & opinion (100 wds). Read <i>Politics</i> (Oxford UP) p.52.
17	法哲学の topics を読む・書く (6) : 法学部系の過去問	講義・配布物の説明	Read <i>Political Philosophy</i> . (Oxford UP) pp.38-40.
18	社会学の topics を読む・書く (1) : The Status of Sociology	②-2 授業内試験と講評・配布物の説明	Read <i>Sociology</i> (Oxford UP) pp.3-10.
19	社会学の topics を読む・書く (2) : Social Constructions	試験返却と講評・講義	Read <i>Sociology</i> (Oxford UP) pp.18-22.
20	社会学の topics を読む・書く (3) : The Modern World	講義・配布物の説明	Read <i>Sociology</i> (Oxford UP) pp.60-63.
21	社会学の topics を読む・書く (4) : The Impostors	①-2 英語の writing の講評・配布物の説明	Read <i>Sociology</i> (Oxford UP) pp.48-50.
22	教育学と心理学の topics を読む・書く (1) : Big Ideas from the 20 <sup>th</sup> Century	Writing の返却と講評・講義	Read <i>Education</i> (Oxford UP) pp.45-47.
23	教育学の topics を読む・書く (2) : The Curriculum	講義・配布物の説明	Read <i>Education</i> (Oxford UP) pp.88-92.
24	心理学の topics を読む・書く (3) : Learning & Memory	①-3 英語の writing と講義・配布物の説明	Read <i>Psychology</i> (Oxford UP) pp.28-30.
25	心理学の topics を読む・書く (4) : Developmental Psychology	writing の返却と講評・講義	Read <i>Psychology</i> (Oxford UP) pp.70-75.
26	人文学、哲学の topics を読む・書く (1) : Plato's <i>Crito</i>	講義・配布物の説明	Read <i>Philosophy</i> (Oxford UP) p.12.
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	人文学、文学の topics を読む・書く (2) : Poetics	定期試験返却と講評・講義	Read <i>Shakespeare</i> (Oxford UP) pp.24-27.
28	人文学、歴史学の topics を読む・書く (3) : The Telling of Truth	講義と配布物の説明	Read <i>History</i> (Oxford UP) pp.112-116.

テキスト	Jim Knudsen, 生井健一編『TOEFL TEST iBT リーディング 実践編』(南雲堂書店) およびプリント配布		
参考書	江川泰一郎『英文法解説』(金子書房) 毎授業の準備学修で指摘している文献		
その他特記事項	実際の編入試験の過去問を用いるため、一年生には授業内容は大変難しい。予習が十分できる学生が前提。試験は暗記型と立論・論述型である。学生のニーズに合う授業を展開する。		

科目名	ENG226: 上級英語スキルズ (TOEICスピーキング・ライティング対策)			担当教員	O. Massoud
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。			3-②, 3-③
キーワード	TOEIC test speaking and writing practice with language development explanations				
授業の概要	In this course will give students as much TOEIC test practice and analysis as possible, providing focus questions and exercises on speaking and writing skills. The ETS textbook contains the full range of question types and cover the vast majority of TOEIC question types and vocabulary range. Also, the learning will be carried out with time constraints so that students become habituated to the pace of the real test situation.				
達成目標 (授業の目的)	The course will provide students with a lot of TOEIC practice and analysis of techniques. Every part of the test is visited and explored with a view to better or quicker understanding. Since TOEIC is itself a test, tasks are not graded for difficulty. There will be a final test to allow students an accurate evaluation of likely authentic TOEIC scores.				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students will have: <ul style="list-style-type: none"> <li>Improved their knowledge of speaking and writing skills, handling different question types and vocabulary.</li> <li>Learnt to write concisely and clearly with well-structured, cohesive sentences.</li> <li>Developed a strong understanding and tolerance for different opinions, distinguishing facts from opinions in essays.</li> <li>Enhanced the use of different vocabulary in well-structured sentences, both in writing and speaking.</li> </ul>				
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing comprises a mid-term test (15%) and a final exam (25%).				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>Participation and Performance: Regular in-class TOEIC exercises to grasp of speaking and writing skills (writing 15% and speaking 15%).</li> <li>Homework: Considerable time should be devoted to question 8 of the writing test which require the writing of an opinion essay (30%).</li> <li>Testing: The mid-term test (15%) and Final exam (25%) will contribute to the overall assessment. Listening and reading tasks are objectively evaluated directly by correct answer scores. Speaking and writing assessments follow TOEIC's subjective "analytical scoring guidelines" described in detail in the overview for each skill in the speaking and writing textbook.</li> </ul>				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>上記以外で行う / other: Google Sheets and Google Docs.</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course introduction with overview.	Describe photographs & Match responses to wh?s	Skim through pp.7-38 in speaking / writing text
2	Speaking unit 1, Q.1 & 2, stress & intonation.	Locating word and sentence stress	Read units 1 & 2.
3	Speaking unit 7, Q.1 & 2, recitation & diction	Locating word and sentence stress	Read units 1 & 2.
4	Speaking units 2 & 8, question 3 Describe a picture's scene, people, action, and speculation	Describing what you see, locations, and actions	Read units 2 & 8.
5	Speaking units 2 & 8, question 3 Describe a picture's scene, people, action, and speculation	Describing what you see, locations, and actions	Read units 2 & 8.
6	Speaking units 3 & 9 questions 4-6, Respond to questions about habits, experience + opinions	Rephrasing common question types	Read units 3 & 9.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Speaking units 3 & 9 questions 4-6, Respond to questions about habits, experience + opinions	Rephrasing common question types	Read units 3 & 9.
8	Review Units 1-3 and 8-9	Talk about difficulties with Units 1-3 and 8-9	Review Units 1-3 and 8-9
9	Speaking units 4 & 10 Q's 7-9 Responding to Q's using information in agenda, schedule, etc.	Correcting pauses with a suitable filler	Read units 4 & 10.
10	Speaking units 4 & 10 Q's 7-9 Responding to Q's using information in agenda, schedule, etc.	Correcting pauses with a suitable filler	Read units 4 & 10.
11	Speaking unit 5 & 11 question 10 Proposing a solution to a complaint or problem	Learn ways problems & solutions are explained	Read units 5 & 11. Quizzes 7 & 8
12	Speaking unit 5 & 11 question 10 Proposing a solution to a complaint or problem	Learn ways problems & solutions are explained	Read units 5 & 11. Quizzes 7 & 8
13	Review. Prepare for Mid-Term Test.	Talk about difficulties with Units 4-5 and 10-11	Review Units 4-5 and 10-11
14	Mid-term test & Speaking units 6 & 12 (q.11) Express an opinion and gauge (dis)agreements	Match responses to Q's Extend sentences	Read units 6 & 12. Quizzes 11 & 12
15	Return Mid-term test and go over results. Overview of entire writing paper pp.135-161	Work through writing instructions pp.135-161	Read units 13 & 17.
16	Writing units 13 & 17, questions 1-3, Write a sentence based on the picture	Join sentence parts with a suitable conjunction	Read units 13 & 17.
17	Writing units 13 & 17, questions 1-3, Write a sentence based on the picture	Join sentence parts with a suitable conjunction	Read units 13 & 17.
18	Writing units 14 & 18, questions 4-5, Write a sentence based on the picture	Build into subordinate clauses, time & location	Read units 14 & 18. Quizzes 15 & 16
19	Writing units 14 & 18, questions 4-5, Write a sentence based on the picture	Build into subordinate clauses, time & location	Read units 14 & 18. Quizzes 15 & 16
20	Writing units 15 & 19, questions 6-7, Responding to a written request	Learn structure & vocab. polite message writing	Read units 15 & 19. Quizzes 19 & 20
21	Writing units 15 & 19, questions 6-7, Responding to a written request	Learn structure & vocab. polite message writing	Read units 15 & 19. Quizzes 19 & 20
22	Writing units 15 & 19, questions 6-7, Responding to a written request	Learn structure & vocab. polite message writing	Read units 15 & 19. Quizzes 19 & 20
23	Writing unit 16- writing an opinion essay, pre-writing draft, & language of opinions	Constructing an essay from its parts	Read units 16.
24	Writing unit 16- writing an opinion essay, pre-writing draft, & language of opinions	Constructing an essay from its parts	Read units 16.
25	Writing unit 16- writing an opinion essay, pre-writing draft, & language of opinions	Constructing an essay from its parts	Read units 16.
26	Writing unit 20- writing an opinion essay, pre-writing language to give reasons & examples	Building conditional sentences to show reason	Read units 20. Quizzes 21 & 22
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Writing unit 20- writing an opinion essay, pre-writing language to give reasons & examples	Building conditional sentences to show reason	Read units 20. Quizzes 21 & 22
28	Return Final Exam and go over results. Set up remaining homework tasks	Work through answers and go over results	Read through units 26, 27, and 28. Do the exercises and check your answers.

テキスト	Grant Trew. <i>Tactics for TOEIC Speaking and Writing Tests</i> (Oxford).
------	---

科目名	ENG229: 上級英語スキルズ (SDGs)			担当教員	G. Freddes		
開講期	春	開講時限	火金2限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。				3-③	
キーワード	Sustainable Development Goals, The United Nations, critical thinking, theme-based learning						
授業の概要	In this course students will explore a range of issues relevant to the SDGs. They will improve their reading, discussion, critical thinking and academic essay writing skills. Additionally, with the aim of students becoming autonomous learners, emphasis will be place on development of presentation skills.						
達成目標 (授業の目的)	Through the SDGs text, students will build up their vocabulary, better understand the SDGs though reading, listening and discussing a range of issues. Through the English Essentials text, they will develop their academic essay writing and presentation skills. Through independent research for the essays and presentations, they will develop critical think skills by analyzing / evaluating online sources.						
到達目標 (学修成果)	By the end of this semester, students should be able to do the following: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Vocabulary: understand and use key English vocabulary provided by the textbook.</li> <li>• Reading: grasp main ideas and details in moderately difficult text passages and brief news stories.</li> <li>• Discussion: engage in discussion of topics covered in the textbook, using key vocabulary.</li> <li>• Writing: create a properly formatted problem-solution academic essay.</li> <li>• Research: critically analyze and evaluate credible online sources, separating facts from opinions.</li> <li>• Presentation: deliver a (3-5 min.) PowerPoint presentation with an effective physical, story and visual message.</li> </ul>						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (40%); Homework assignments (35%); Testing and assessment (25%)						
評価基準	Participation and performance: active involvement in text exercises, discussions, group work and Q&A. Homework: efforts in thorough completion of assignments and on-time submissions. Assessment: Two Essays 5% each (including use of key vocabulary, quality / depth of research, facts and a personal point of view, following the guidelines in English Essentials); and three presentations 5% each (clear separation of facts from opinions, the story message, visual message, physical message, following the guidelines in English Essentials).						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Google Forms / Docs で行う / Google Forms / Docs</li> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course introduction: Syllabus, SDGs, Textbook. Mingle / Network	Meeting and greeting Discuss the SDGs	Write two paragraphs; Read SDGs text pp. 10-11
2	Unit 1. Waste and Recycling (SDG 12): vocabulary, listening, discussion	Networking, form groups, discussion	Read English Essentials (E.E) pp. 40-45, Begin research
3	Unit 1. Read and share, research, discuss. The Writing Process: brainstorming, clustering	Small-group work, Individual work	Outline; SDGs text pp. 18-19
4	Unit 2. Sustainable Cities (SDG 11): vocabulary, listening, discussion	Pair / Small-group work, listening, discussion	Read E.E. pp. 46-50; Continue research
5	Unit 2. Sustainable Cities (SDG 11); Read and share; Outlining and revising an essay	Individual, group work, listening, discussion	Complete Outline; Read SDGs text pp. 26-27

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
6	Unit 3. Energy (SDG 1) vocabulary, listening, discussion	Small-group work, listening, discussion	Read E.E. text pp. 61-64.
7	Unit 3. Energy (SDG 1) Read and Share. Essay writing: thesis statement	Small-group work, Individual work	Read SDGs text pp. 34-35. First draft of Essay
8	Unit 4. Climate Change (SDG 13) vocabulary, listening, discussion	Pair / Small-group work, listening, discussion	E.E. text pp. 19-30 (skim)
9	Unit 4. Climate Change: Read and Share. E.E. text Speech; Visuals	Pair / Small-group work, listening, discussion	SDGs text pp. 42-43. Begin preparing visuals
10	Unit 5. Endangered Species (SDG 14, 15) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Complete Essay and prepare for Presentation #1
11	Presentation preparation and practice with your group	Integration of skills, group work	Practice for presentation and submit Essay
12	Presentation #1: Issues and SDGs of personal interest.	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; SDGs text pp. 50-51
13	Unit 6. Tropical Rainforests (SDG 15) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	SDGs text pp. 56-57
14	Unit 7. Tourism (SDG 8) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	SDGs text pp. 64-65
15	Unit 8. Developing Countries (SDG 1, 2, 3, 4, 8 and 17) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Script Presentation #2. SDGs text pp. 74-75
16	Unit 9. Peace and Conflict (SDG 16) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Prepare 11 visuals for Presentation #2
17	Final preparations and practice for Presentation #2. ½ Pecha-kucha format (3:20)	Concise writing, peer review, practice timing	Practice for presentation, Check your timing
18	Presentation #2: Positive contributions though the SDGs	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; SDGs text pp. 84-85
19	Unit 10. Refugees and Migrants (SDG 8, 10) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Begin Outline of your Final Report; SDGs text pp. 92-93
20	Unit 11. The United Nations (SDG 17) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Complete Outline of your Final Report; SDGs text pp. 100-101
21	Unit 12. Human Rights (SDG 16) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	SDGs text pp. 106-107
22	Unit 13. Gender Issues (SDG 5) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	First Draft of Final Report SDGs text pp. 112-113
23	Unit 14. Health and Longevity (SDG 3) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Revise your Final Report; Select a current news story.
24	Current Issues: read and share current news stories of interest to you	Small-group work, listening, discussion	Revise your Final Report
25	Preparations for Presentation #3, present to your group	Integration of skills, group work	Practice for Presentation #3
26	Presentation #3. Problem / Solution	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Final Report. Submit Self-Evaluation Form
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Presentation #3. Problem / Solution	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Self-Evaluation Form
28	Interview and Portfolio Review	Interviewing skills	Submit late homework

テキスト	David Peaty. <i>You, Me and the World: 3<sup>rd</sup> Edition featuring SDGs</i> (Kinseido). <i>English Essentials: An Academic Skills Handbook.</i>
------	---



科目名	SCH100: 人間学 I			担当教員 丹木 博一, 小林 宏子, 島村 絵里子	
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1年		
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点 1-①, 2-①
	1, 2	キリスト教ヒューマンイズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。			

担当教員の連絡情報	担当教員	研究室	オフィスアワー
		丹木 博一	4214
	小林 宏子	4204	履修要覧 P.19 を参照のこと
	島村 絵里子	4号館 2階 講師控室	授業前後

キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマンイズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者ととともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現するための道しるべを探究する。
達成目標 (授業の目的)	「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、家族、他者、社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、「人格的主体」として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。併せて今後の研究のための基礎学力を養う。
到達目標 (学修成果)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① テキストを正確に理解する読解力と、自分の考えを分かりやすく筋道立てて表現する文章力を身につけることができる。</li> <li>② 人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。</li> <li>③ 人間の中に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。</li> <li>④ 社会や自然、そして神とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。</li> <li>⑤ 生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。</li> </ol>
評価方法	①毎回の事前課題の提出 (20%)、②授業毎のリアクションペーパー (28%)、③理事長による講演へのリアクションペーパー (2%)、④中間課題 (1,000~1,200 字の小レポート) (20%)、⑤期末課題 (1,800~2,000 字の小論文) (30%)
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 毎回の事前課題の提出：課題となる準備学修を行い成果物を毎回提出する。以下の「準備学修」欄に記載の「要約」の課題を授業前日までに Moodle にて提出。(2%×10回)</li> <li>② リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。(2%×14回)</li> <li>③ 理事長による講演へのリアクションペーパー：講演を聞き、重要なポイントを指摘して、その意味を説明できること。(2%)</li> <li>④ 中間課題：1,000~1,200 字のレポート。「他者との共生」について人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。執筆に際し、配布資料に記した指示に従うこと。(20%)</li> <li>⑤ 期末課題：1,800~2,000 字の小論文。人間に「生老病死」の苦しみがあることを踏まえ、「希望の在り処」について、事前に最低一冊の「参考文献」(書誌データを明記)を読み、内容のポイントを簡潔に要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。執筆に際し、配布資料に記した指示に従うこと。(30%)</li> </ol>
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle で行う / Moodle</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> </ul>
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	人間学Ⅰの概要・目的・進め方・評価法 キリスト教的人間観の特徴・「愛」	講義・グループ分け・リアクションペーパー	事前に教科書 pp.1～27 を通読しておく。
2	テーマ1 いのちを支えるものとのかかわり ① 私たちのいのちは何によって支えられているか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.29～44 を通読し、「人間のいのちを尊重すべき理由」に関する筆者の意見を400字程度で要約する。
3	テーマ1 いのちを支えるものとのかかわり ② 生きるために必要なことを満たすために私たちは何をなすべきか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.45～50 を通読し、「マズローの5段階ニード論」を400字程度で要約。
4	テーマ2 成長発達を促すものとのかかわり ① 成長の過程にはどのようなかかわりがあるだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.51～66 を通読し、「大人になるための発達課題」に関する筆者の意見を400字程度で要約する。
5	テーマ2 成長発達を促すものとのかかわり ② かかわりをとおして自分はどのような成長を遂げたのだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.67～71 を通読し、「アドラーの共同体感覚」の意義を400字程度で要約。
6	テーマ3 他者へのかかわりと自己理解の形成 ① 私たちのアイデンティティはどのように形成されるのだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.73～84 を通読し、「ジェンダーアイデンティティ」に関する筆者の意見を400字程度で要約する。
7	テーマ3 他者へのかかわりと自己理解の形成 ② 差別にどう向き合えばよいのだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.85～96 を通読し、「差別撤廃に関する議論」を400字程度で要約する。
8	テーマ4 他者へのかかわりににおける自由と責任 ① 自由にはどのような種類があるか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.97～102 に基づき、「自由の種類」について400字程度で要約。 中間課題（レポート）提出。
9	テーマ4 他者へのかかわりににおける自由と責任 ② 自由と責任はいかなる関係にあるか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.102～104 に基づき、「ギョメの自由」について400字程度で要約する。
10	テーマ4 他者へのかかわりににおける自由と責任 ③ 人間は環境に対していかなる責任を持つのか？ 中間課題（レポート）に対する講評	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.114～117 を通読し、「環境に対する責任」について400字程度で要約。
11	テーマ5 人生の苦しみの意味と希望 ① 人間は、いかなる苦しみに対し、どのように向き合っているか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.119～131 を通読し、「死に対する態度」について400字程度で要約する。
12	テーマ5 人生の苦しみの意味と希望 ② 人生に苦しみがあることは何を意味するのだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.132～138 を通読し、「苦しみの経験の意味」を400字程度で要約する。
13	テーマ5 人生の苦しみの意味と希望 ③ 希望を持って生きていく可能性はどこに求められるだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	期末課題（小論文）提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	総まとめ ※期末課題（小論文）に対するコメント	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.8～27 をもう一度ていねいに読んでおく。

テキスト	上智大学短期大学部編『かかわりの人間学』
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）
その他 特記事項	14回の授業に加え、上智学院理事長による講演が行われるので、必ず出席すること。

科目名	SCH100: 人間学Ⅰ（再）				担当教員	丹木 博一	
開講期	秋	開講時限	月2限		研究室	4214	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要				学修成果獲得の観点	
	1,2	キリスト教ヒューマンイズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				1-①, 2-①	
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味						
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマンイズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現するための道しるべを探求する。						
達成目標 (授業の目的)	「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、家族、他者、社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、「人格的主体」として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。併せて今後の研究のための基礎学力を養う。						
到達目標 (学修成果)	① テキストを正確に理解する読解力と、自分の考えを分かりやすく筋道立てて表現する文章力を身につけることができる。 ② 人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ③ 人間の間生まれ、人間によって生まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ④ 社会や自然、そして神とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。 ⑤ 生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。						
評価方法	①毎回の事前課題の提出（22%）、②授業毎のリアクションペーパー（28%）、③中間課題（1,000～1,200字の小レポート）（20%）、④期末課題（1,800～2,000字の小論文）（30%）						
評価基準	① 毎回の事前課題の提出：課題となる準備学修を行い、成果物を毎回提出する。以下の「準備学修」欄に記載の「要約」の課題を授業前日までに Moodle にて提出。（2%×11回） ② リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。（2%×14回） ③ 中間課題：1,000～1,200字のレポート。「他者との共生」について人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。執筆に際し、配布資料に記した指示に従うこと。（20%） ④ 期末課題：1,800～2,000字の小論文。人間に「生老病死」の苦しみがあることを踏まえ、「希望の在り処」について、事前に最低一冊の「参考文献」（書誌データを明記）を読み、内容のポイントを簡潔に要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。執筆に際し、配布資料に記した指示に従うこと。（30%）						
課題等に対するフィードバック方法	・ Moodle で行う / Moodle ・ 口頭で行う / orally						
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	人間学Ⅰの概要・目的・進め方・評価法 キリスト教的人間観の特徴・「愛」	講義・グループ分け リアクションペーパー	事前に教科書 pp.1～27 を通読しておく。
2	テーマ1 いのちを支えるものとのかかわり ① 私たちのいのちは何によって支えられているか？	講義・グループ分け・ リアクションペーパー	教科書 pp.29～44 を通読し、「人間のいのちを尊重すべき理由」に関する筆者の意見を400字程度で要約する。
3	テーマ1 いのちを支えるものとのかかわり ② 生きるために必要なことを満たすために私たちは何をなすべきか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.45～50 を通読し、「マズローの5段階ニード論」を400字程度で要約。
4	テーマ2 成長発達を促すものとのかかわり ① 成長の過程にはどのようなかかわりがあるだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.51～66 を通読し、「大人になるための発達課題」に関する筆者の意見を400字程度で要約する。
5	テーマ2 成長発達を促すものとのかかわり ② かかわりをとおして自分はどのような成長を遂げたのだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.67～71 を通読し、「アドラーの共同体感覚」の意義を400字程度で要約。
6	テーマ3 他者へのかかわりと自己理解の形成 ① 私たちのアイデンティティはどのように形成されるのだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.73～84 を通読し、「ジェンダーアイデンティティ」に関する筆者の意見を400字程度で要約する。
7	テーマ3 他者へのかかわりと自己理解の形成 ② 差別にどう向き合えばよいのだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.85～96 を通読し、「差別撤廃に関する議論」を400字程度で要約する。
8	テーマ4 他者へのかかわりにおける自由と責任 ① 自由にはどのような種類があるか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.97～113 を通読しておく。 中間課題（レポート）提出。
9	テーマ4 他者へのかかわりにおける自由と責任 ② 自由と責任はいかなる関係にあるか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.102～104 に基づき、「ギョメの自由」について400字程度で要約する。
10	テーマ4 他者へのかかわりにおける自由と責任 ③ 人間は環境に対していかなる責任を持つのか？ 中間課題（レポート）に対する講評	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.114～117 を通読し、「環境に対する責任」について400字程度で要約。
11	テーマ5 人生の苦しみの意味と希望 ① 人間は、いかなる苦しみに対し、どのように向き合っているか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.119～131 を通読し、「死に対する態度」について400字程度で要約する。
12	テーマ5 人生の苦しみの意味と希望 ② 人生に苦しみがあることは何を意味するのだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.132～138 を通読し、「苦しみの経験の意味」を400字程度で要約する。
13	テーマ5 人生の苦しみの意味と希望 ③ 希望を持って生きていく可能性はどこに求められるだろうか？	講義・視聴覚教材・ディスカッション・リアクションペーパー	期末課題（小論文）提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	総まとめ ※期末課題（小論文）に対するコメント	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書 pp.8～27 をもう一度ていねいに読んでおく。

テキスト	上智大学短期大学部編『かかわりの人間学』
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）



科目名	SCH101: 人間学Ⅱ			担当教員	小林 宏子	
開講期	秋	開講時限	火4限	研究室	4204	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	1,2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				1-①, 2-①
キーワード	神の似姿としての人間、自己概念、優越感と劣等感、使命感、隣人愛、信頼、希望、愛					
授業の概要	人間学Ⅰに引き続きかかわりの中で成長する人間の諸側面を、キリスト教人間観に照らして考察する。競争原理が強く働く社会において、「他者のために、他者とともに」というモットーの下で隣人愛の実践を目指す本学の建学精神の根本には、どのような生命観や人間観があるのか。自分とのかかわり、他者とのかかわり、人生とのかかわり、神とのかかわりについて教科書からの問いかけとディスカッション、及び、動画の視聴を通して考察する。					
達成目標(授業の目的)	キリスト教を信仰する立場の人にとっての人生の意味や人間の価値に関する理解の仕方と、社会一般の考え方を対照させながら、自分自身の生き方の方向性を定める上で必要となる価値観や選択基準に関する問いを見直し、人が生きる上で欠かせない信頼、希望、愛についての考察を深めることができる。					
到達目標(学修成果)	①キリスト教信仰の基本にある生命観・人間観について理解したことを言葉で表現できる。 ②キリスト教信仰に照らした自分自身及び他者とのかかわり方、及び、社会が抱える課題を論理的な文章にまとめ、発表し、議論に参加することができる。 ③キリスト教信仰に基づく人生観を踏まえ、自分の人生に向き合う際の信念を論理的、かつ分かりやすく述べることができる。					
評価方法	①事前課題 (3%×11=33%) の提出 ②授業内での発表 (6%×2=12%)、ディスカッションへの積極的参加 (2%×14=28%) ③期末課題 (20%) と発表 (7%)					
評価基準	①指定されたテキストの箇所を読み、事前課題を Moodle 上に提出する。 ②担当箇所についての発表を行い、毎回のディスカッションに積極的に参加する。 ③テキストと参考書を読み、「何を信じて生きるのか」という問いに対して、キリスト教人間観を踏まえて考察し、自分なりの見解を 2,000～2,200 字の小論文にまとめ、発表する。					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	講義の概要 テキスト① 一. 自分を信じる 1～4	講義、ディスカッション、発表	テキスト①pp.5-41 を読み、考察のまとめを提出する。
2	一. 自分を信じる 5～6 二. 人を信じる 1～3	講義、ディスカッション、発表	テキスト①pp.41-73 を読み、考察のまとめを提出する。
3	二. 人を信じる 4～6 三. 明日を信じる 1～2	講義、ディスカッション、発表	テキスト①pp.74-102 を読み、考察のまとめを提出する。
4	三. 明日を信じる 3～6 四. 信じる心を育てる 1	講義、ディスカッション、発表	テキスト①pp.103-134 を読み、考察のまとめを提出する。
5	四. 信じる心を育てる 2～6	講義、ディスカッション、発表	テキスト①pp.134-169 を読み、考察のまとめを提出する。



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	テキスト②プロローグ、第一部 見るとき (1) 周辺に追いやられた人々の視点	講義、ディスカッション、発表	テキスト②pp.14-48を読み、 考察をまとめる
7	第一部 見るとき (2) インテグラル・エコロジー	講義、ディスカッション、発表	テキスト②pp.48-68を読み 考察をまとめる
8	第二部 選ぶとき (1) 二つの声の識別	講義、ディスカッション、発表	テキスト②pp.69-101を読み 考察をまとめる。
9	第二部 選ぶとき (2) シノドス的アプローチ	講義、DVD 視聴、ディスカッション、発表	テキスト②pp.101-130を読み 考察をまとめる。
10	第三部 行動するとき (1) 民の尊厳	講義、DVD 視聴、ディスカッション、発表	テキスト②pp.131-160を読み 考察をまとめる。
11	第三部 行動するとき (2) 民の尊厳の回復	講義、DVD 視聴、ディスカッション、発表	テキスト②pp.160-182を読み 考察をまとめる。
12	エピローグ	講義、DVD 視聴、ディスカッション、発表	テキスト②pp.183-206を読む 期末課題の提出準備
13	期末課題の発表 (1)	発表、質疑応答、ディスカッション	期末課題発表の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	期末課題の発表 (2)、期末課題及び発表の講評、まとめ	発表、質疑応答、ディスカッション、講評	期末課題発表の準備

テキスト	①片柳弘史『何を信じて生きるのか』（PHP 研究所） ②教皇フランシスコ『コロナの世界を生きる』（PHP 研究所）
参考書	渡辺和子『「ひと」として大切なこと』（PHP 研究所） 岸見一郎『アドラー 人生の意味の心理学』（NHK 出版）

科目名	HST201: 歴史学 A				担当教員	森下 園	
開講期	春	開講時限	木3限		研究室	4202	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①	
キーワード	歴史学の歴史、近代歴史学の成立、歴史理論						
授業の概要	学問としての「歴史学」が近代にどのように成立したのか、「歴史学」は西欧の哲学や思想とどのような関係にある学問なのかを学ぶ。歴史はどのように記録され活用されてきたのか、歴史を記述するとはどういうことかを考えていく。「世界史」の講義ではないので、注意すること。						
達成目標 (授業の目的)	①歴史学とはどのような学問でありどのように成立したのかを理解するために予習し、積極的に質問・発言できる。 ②指定したテーマについてのレポートを適切な資料をつかってまとめることができる。						
到達目標 (学修成果)	①次回授業プリントや参考資料を読み、事典・参考書で調べ、不明な点の質問や意見表明を授業でできるようになる。 ②専門用語・学問的な概念・適切な資料を用いてレポートを書くことができるようになる。						
評価方法	①授業内での質問・発言 (最終回を除く) : 4%×13回=52% ②Moodle 提出の期末レポート (約 2000 字) : 48%						
評価基準	①授業内での質問・発言 : 予習の上で質問をしているか、積極的に意見を述べているか ②期末レポート : 提出期限と書式を守っているか、適切な資料を用いてまとめているか						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	歴史学の歴史 (1) 前近代のヨーロッパの歴史記述、研究倫理について	講義、質疑応答	Moodle 登録、 第 2 回授業プリントの予習
2	歴史学の歴史 (2) 中国の史書	講義、質疑応答	第 3 回授業プリントの予習
3	歴史学の歴史 (3) 日本の史書	講義、質疑応答	第 4 回授業プリントの予習
4	歴史学の歴史 (4) ランケ史学	講義、質疑応答	第 5 回授業プリントの予習
5	歴史学の歴史 (5) アナール派と社会史	講義、質疑応答	第 6 回授業プリントの予習
6	歴史学の作法－史料と先行研究の使い方、レポートについて	講義、質疑応答	第 7 回授業プリントの予習
7	研究紹介 網野善彦『異形の王権』レポートの書き方	講義、質疑応答	第 8 回授業プリントの予習
8	理論 (1) 構造主義とポスト構造主義－西欧は世界をどうとらえてきたか	講義、質疑応答	第 9 回授業プリントの予習
9	理論 (2) 言語論的転回が歴史学につきつめたもの	講義、質疑応答	第 10 回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	理論（3）文学とポストコロニアリズム－記述する権力は誰にあるのか	講義、質疑応答	第11回授業プリントの予習
11	理論（4）歴史修正主義と社会構築主義－「私たちの歴史」はどうあるべきなのか	講義、質疑応答	第12回授業プリントの予習
12	理論（5）ジェンダーと歴史学－歴史記述者のジェンダーギャップ	講義、質疑応答	第13回授業プリントの予習 レポート（定期試験期間に提出）の準備
13	研究紹介 マルク・ブロック『王の奇跡』とナタリー・Z・デーヴィス『帰ってきたマルタン・ゲール』	講義、質疑応答	レポート（定期試験期間に提出）の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	歴史学の諸問題のまとめ、レポートの講評	講義、質疑応答	これまでの復習

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2024 短大部 歴史学 A」にアップロードする。なお、希望者には印刷したプリントを用意する。		
参考書	リン・ハント『なぜ歴史を学ぶのか』（岩波書店）		

科目名	HST202: 歴史学 B				担当教員	森下 園	
開講期	春	開講時限	火 5 限		研究室	4202	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①	
キーワード	歴史学、史料論、メディアと歴史、国際歴史認識問題、歴史教育						
授業の概要	学問としての「歴史学」が近代にどのように成立したのか、「歴史学」はどんな史料をどのように用いて研究されるのか、歴史認識をめぐりどんな問題がおきているのか、歴史教育はどうあるべきかなどについて学ぶ。特に近代国家のための「物語」として創出された「他者を排除する歴史」の問題について考えていく。「世界史」の講義ではないので、注意すること。						
達成目標 (授業の目的)	①歴史学とはどのような学問であるのかを理解するために予習し、積極的に質問・発言できる。 ②史料を読み込むために何が必要なか理解し、史料の解読を試みることができる。						
到達目標 (学修成果)	①次回授業プリントや参考資料を読み、事典・参考書で調べ、授業で不明な点の質問や意見表明をできるようになる。 ②近世日本または近世英国の手書き史料 (トランスクリプト付き) について、時代背景や史料の性質を調べ、自分なりの解釈をつけて発表できるようになる。						
評価方法	①授業内での質問・発言 (最終回を除く) : 4%×13 回=52% ②史料についての口頭発表とレジュメ提出 (日本史・英米史から選択して行う) : 48%						
評価基準	①授業内での質問・発言 : 予習の上で質問をしているか、積極的に意見を述べているか ②史料についての発表 : 割り当てられた史料の性質や時代背景を調べ、何が書かれているのか説明したうえで、この史料から何がわかるかを説明できているか。史料と活字にされたトランスクリプトをもとに自分で調べる力をみるものである。						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	歴史学とはどんな学問か、研究倫理について	講義、質疑応答	Moodle 登録、 第 2 回授業プリントの予習
2	史料を読むために (1) 古書体学 発表する史料の選択	講義、質疑応答	第 3 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
3	史料を読むために (2) 古書冊学、文書形式学、史料を読む練習	講義、質疑応答	第 4 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
4	史料を読むために (3) 暦について	講義、質疑応答	第 5 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
5	史料を読むために (4) 図像解釈学と絵画資料	講義、質疑応答	第 6 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
6	史料を読むために (5) オーラルヒストリーの問題	講義、質疑応答	第 7 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
7	歴史とメディア (1) 写本からマス・メディアの登場まで、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第 8 回授業プリントの予習 史料についての発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	歴史とメディア（2）現代メディアがもたらす問題点、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第9回授業プリントの予習 史料についての発表準備
9	歴史教育（1）国際歴史教科書問題－ヨーロッパ、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第10回授業プリントの予習 史料についての発表準備
10	歴史教育（2）国際歴史教科書問題－日本と韓国、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第11回授業プリントの予習 史料についての発表準備
11	歴史教育（3）英国の歴史教育史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第12回授業プリントの予習 史料についての発表準備
12	震災と歴史史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第13回授業プリントの予習 史料についての発表準備
13	史料紹介 『ジャンヌ・ダルク処刑裁判』 『ジャンヌ・ダルク復権裁判』 記録を読む	講義、質疑応答	期末レポート（定期試験期間に提出）準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	歴史学と史料および歴史教育問題のまとめ、レポートの講評	講義、質疑応答、期末レポートの講評	授業の振り返り、まとめ

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2024 短大部 歴史学 B」にアップロードする。なお、希望者には印刷したプリントを用意する。
参考書	森安彦『古文書を読もう』（講談社） リン・ハント『なぜ歴史を学ぶのか』（岩波書店）



科目名	PHL203: 哲学 A			担当教員	丹木 博一	
開講期	春/秋	開講時限	火 5 限	研究室	4214	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	世界の始原、存在と生成、魂への配慮、アイデアと世界、自然のロゴス、徳、習慣					
授業の概要	西洋古代・中世哲学の基本について理解を深めるとともに、古典的テキストを一つ取り上げ、意見交換を行いながら正しい読み進めることで哲学的思考に慣れ親しむ。					
達成目標 (授業の目的)	西洋古代・中世における哲学的思考の多様な展開を理解することによって、世界と自己に対する哲学的問いを自覚できるようになる。					
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>西洋古代・中世哲学の多様な思想について、その基本を理解し、表現できる。</li> <li>トマス・アキナスのテキストに関心を持ち、テキストの意味を探究できる。</li> <li>自ら哲学的問いを提起し、その問いについて論理的に考察を進めることができる。</li> </ul>					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事前課題 (20%=2%×10 回)</li> <li>② 授業毎のリアクションペーパー (14%=1%×14 回)</li> <li>③ 中間レポート (30%)</li> <li>④ 期末レポート (36%)</li> </ul>					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事前課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。</li> <li>② リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。</li> <li>③ 中間レポート：1,200 字～1,400 字。アリストテレスの「自然観」について哲学的問いを提起し、その問いに対しアリストテレスがどのように考えているかを自分の言葉で論理的に論述展開できるかどうかを基準に評価する。</li> <li>④ 期末レポート：2,000 字～2,200 字。トマス・アキナス『神学大全』について哲学的な問いを提起し、その問いについてトマスがどう考えているかを自分の言葉で考察する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうかを基準として評価する。</li> </ul>					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle で行う / Moodle</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	世界の始原への問い タレスの「水」	講義・DVD 視聴・リアクションペーパー	教科書①pp.1-14 をていねいに読んでおく。
2	世界の現れに潜む謎 ヘラクレイトスの「火」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.15-28 をていねいに読み、要約を提出。
3	自己を形成する知の意味 ソクラテスの「無知の知」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.58-76 をていねいに読み、要約を提出。
4	存在と知の根拠への問い プラトンの「アイデア」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.77-96 をていねいに読み、要約を提出。
5	生成変化をめぐる謎 アリストテレスの「自然とエートス」	講義・絵本朗読・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.97-116 をていねいに読み、要約を提出。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	時間への問い アウグスティヌスの「内面への還帰」	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書①pp.166-184 をていねいに読み、要約を提出。
7	存在の分有 トマス・アキナスの「理性と信仰」	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書①pp.218-236 をていねいに読み、要約を提出。
8	『神学大全』講読第1回 第49問「習慣は質であるか」	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書②pp.23-49 をていねいに読んでおく。 中間レポート提出。
9	『神学大全』講読第2回 第50問「習慣の基体について」	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書②pp.50-84 についてポイントを整理し、提出。
10	『神学大全』講読第3回 第51問「習慣生成の原因について」 中間レポートの講評	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書②pp.118-151 についてポイントを整理し、提出。
11	『神学大全』講読第4回 第55問「徳の本質について」	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書②pp.167-187 についてポイントを整理し、提出。
12	『神学大全』講読第5回 第56問「徳の基体について」	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書②pp.189-217 についてポイントを整理し、提出。
13	『神学大全』講読第6回 第63問「徳の原因について」	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書①pp.372-391 をていねいに読んでおく。 期末レポート提出。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	『神学大全』講読第7回 第65問「諸々の徳の結合について」 期末レポートに対するコメント	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書①pp.411-438 についてポイントを整理し、提出。

テキスト	① 熊野純彦『西洋哲学史―古代から中世へ』（岩波新書） ② トマス・アキナス『精選 神学大全（1）』（稲垣良典訳）（岩波文庫）
参考書	荻野弘之『哲学の饗宴―ソクラテス・プラトン・アリストテレス』（NHK ライブラリー） 山本芳久『トマス・アキナス―理性と神秘』（岩波新書）
その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	PHL204: 哲学 B				担当教員	丹木 博一		
開講期	春	開講時限	金 5 限		研究室	4214		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①	
キーワード	私と世界、主観と客観、経験と理性、原因と自由							
授業の概要	西洋近代哲学の基本的特徴について理解を深めるとともに、古典的テキストを一つ取り上げ、意見交換を行いながらいねい読み進めることで哲学的思考に慣れ親しむ。							
達成目標 (授業の目的)	西洋近代における哲学的思考の多様な展開を理解することによって、世界と自己に対する哲学的問いを自覚できるようになる。							
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>西洋近代哲学の多様な思想について、その基本を理解し、表現できる。</li> <li>スピノザのテキストに関心を持ち、テキストの意味を探求できる。</li> <li>自ら哲学的問いを提起し、その問いについて論理的に考察を進めることができる。</li> </ul>							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事前課題 (20%=2%×10回)</li> <li>② 授業毎のリアクションペーパー (14%=1%×14回)</li> <li>③ 中間レポート (30%)</li> <li>④ 期末レポート (36%)</li> </ul>							
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事前課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。</li> <li>② リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。</li> <li>③ 中間レポート：1,200～1,400 字。デカルトとロックの哲学的立場の違いについて正しく論述できるかどうかを基準に評価する。</li> <li>④ 期末レポート：2,000 字～2,200 字。スピノザ『エチカ』で議論されている事柄について哲学的な問いを提起し、その問いについてスピノザがどのように考えているかを自分の言葉で展開する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうかを基準にする。</li> </ul>							
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Moodle で行う / Moodle</li> <li>・口頭で行う / orally</li> </ul>							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	導入：近代と哲学への問い	講義・DVD 視聴・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.1-20 をていねいに読んでおく。
2	私と世界はいかに関係しているか？ (1) デカルトの「コギト」	講義・絵本・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.1-20 をていねいに読み、要約を提出。
3	私と世界はいかに関係しているか？ (2) スピノザの「様態」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.21-38 をていねいに読み、要約を提出。
4	私と世界はいかに関係しているか？ (3) ロックの「タブラ・ラサ」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.39-56 をていねいに読み、要約を提出。
5	私と世界はいかに関係しているか？ (4) ライプニッツの「モナド」	講義・写真鑑賞・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.57-74 をていねいに読み、要約を提出。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	スピノザ『エチカ（下）』講読第1回 善悪の認識と感情の力	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書②pp.7-35をていねいに読んでおく。
7	スピノザ『エチカ（下）』講読第2回 自己保存の努力と徳	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書②pp.35-62についてポイントを整理し、提出。
8	スピノザ『エチカ（下）』講読第3回 感情の分類	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書②pp.62-87を読んでおく。中間レポート提出。
9	スピノザ『エチカ（下）』講読第4回 理性と自由 中間レポートに対するコメント	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書②pp.88-115についてポイントを整理し、提出。
10	スピノザ『エチカ（下）』講読第5回 精神の認識による感情の制御	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書②pp.117-140についてポイントを整理し、提出。
11	スピノザ『エチカ（下）』講読第6回 第三種認識と神への愛	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書②pp.140-167についてポイントを整理し、提出。
12	私と世界はいかに関係しているか？（5） ヒュームの「知覚の束」と「習慣」	講義・DVD視聴・デ ィスカッション・リア クションペーパー	教科書①pp.91-106をていねいに読み、要約を提出。
13	私と世界はいかに関係しているか？（6） カントの「因果性のカテゴリー」	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書①pp.123-133を読んでおく。期末レポート提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	私と世界はいかに関係しているか？（7） カントの「自由」論 期末レポートに対するコメント	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	教科書①pp.123-133をていねいに読み、要約を提出。

テキスト	① 熊野純彦『西洋哲学史—近代から現代へ』（岩波新書） ② スピノザ『エチカ（下）』（畠中尚志訳）（岩波文庫）
参考書	國分功一郎『スピノザ—読む人の肖像』（岩波新書） 小林道夫編『哲学の歴史 第5巻 デカルト革命』（中央公論新社）
その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	REL201: 宗教学 A				担当教員	小林 宏子		
開講期	春/秋	開講時限	(春) 火 4 限 (秋) 月 5 限		研究室	4204		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	1, 2	キリスト教ヒューマンイズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					1-①, 2-①	
キーワード	聖書、創造、神の似姿、原罪、契約、信仰、約束の地、過越、バビロン捕囚、メシア待望							
授業の概要	旧約聖書と呼ばれる部分に記されたイスラエル民族の歴史を、イエス・キリストの到来を準備する神の救いの働きかけの展開として理解する立場から学ぶ。神の語りかけを信じ、その成就に人生を賭ける人々が切り拓いた信仰共同体の歩みは、どのような困難や誘惑を乗り越えて続いてきたのかを考察する。							
達成目標 (授業の目的)	キリスト教における旧約聖書理解の基礎的知識を得る。西洋キリスト教文化圏においては常識として語られることの多い聖書の登場人物や用語について、その社会的背景や聖書思想上の解釈を学ぶことによって、時として発想の転換を必要とする異文化理解の障壁に気づくことができる。							
到達目標 (学修成果)	①旧約聖書における有名な人物や出来事に関する基礎的知識を得られる。 ②聖書の言葉をその字面だけではなく歴史的、文化的背景を含めて理解し、神概念や信仰にまつわる事柄を自分の言葉で表現できる。 ③聖書中の人物や出来事について、人間の本質的傾向とその救いの意味について考察した事柄と自分の意見を、聖書解釈に関連づけながら分かりやすく論述できる。							
評価方法	①授業参加における積極性 (1%×14回=14%) ②リアクションペーパー (3%×10回=30%) と復習課題 (4%×4回=16%) の提出 ③期末課題：設問への解答 (20%) と小論文 (20%)							
評価基準	①準備学修として指定されたテキスト及び聖書箇所を予習したうえで授業に臨み、授業において積極的に発言できること。 ②授業を通して深めた理解を反映させた形でリアクションペーパーに自分の見解を記述できること。また、旧約聖書に登場する人物や用語を正しく理解した上で、復習課題のテーマについて自分の意見を記述できること。 ③テキストと聖書に関する設問に答えられること、及び「旧約聖書の登場人物やエピソードの中で、神への信仰の観点からもっとも興味を引く人物や出来事」について 1000 字以内の小論文が書けること。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	講義の概要と旧約聖書の基礎知識	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.10-12, 76-79 の予習、配布プリントの復習
2	創世記 1 章 天地創造と人間の召命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.34-37, 80-85 と該当聖書箇所の予習
3	創世記 2-3 章 人間の創造、禁断の実と人間の罪	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.50-51, 86-87 と該当聖書箇所の予習
4	創世記 4 章 カインとアベルの物語	講義、意見交換、復習課題①	テキスト pp.88-89 と該当聖書箇所の予習



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	創世記 6-11 章 ノアの箱舟の物語、バベルの塔の物語	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.90-93 と該当聖書箇所 の予習
6	創世記 12、15、17 章 アブラハムの召命、契約の思想	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.94-95 と該当聖書 箇所 の予習
7	創世記 18、21 章 信仰の試練	講義、意見交換、復習課題②	テキスト pp.44-45、14-17 と該 当聖書 箇所の予習
8	出エジプト記 1-3 章 モーセの召命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 96-97 と該当聖 書 箇所の予習
9	出エジプト記 12 章 過越祭	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.98-99 と該当聖書 箇所の予習
10	出エジプト記 20 章 十戒	講義、意見交換、復習課題③	テキスト pp.100-101 と該当聖 書 箇所の予習
11	サムエル記上 8 章 王たちの物語、サムエル記下 11-12 章 ウリヤの妻バト・シェバ	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.102-107 と該当聖 書 箇所の予習
12	列王記上 21 章 土地の意味と王の権力、アモス書 預言者の社会批判	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.108-109 と該当聖 書 箇所の予習
13	イザヤ書 52-53 章 預言者の苦しみ	講義、意見交換、復習課題④	テキスト pp.110-111 と該当聖 書 箇所の予習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	エルサレムへの帰還、メシアニズムの成長 期末課題の講評	講義、意見交換、リアクションペーパー	科目のまとめ、授業資料の復習

テキスト	月本昭男（監修）『超図解 一番わかりやすいキリスト教入門』（東洋経済新報社）
参考書	雨宮慧『(図解雑学) 旧約聖書』（ナツメ社） 越川弘英『旧約聖書の学び』（キリスト教新聞社）

科目名	REL202: 宗教学 B			担当教員	小林 宏子		
開講期	春	開講時限	木 4 限	研究室	4204		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				1-①, 2-①	
キーワード	ローマ・カトリック、聖書、契約、神の国、信仰、救い、罪の赦し、隣人愛、永遠の生命						
授業の概要	新約聖書の中の福音書を中心に講読し、1 世紀のユダヤ社会に登場したイエスの生涯とそのメッセージの意味を学ぶ。なぜ、イエスが救い主と信じられたのか、どのような人々がイエスの中に神の救いの意思を見出したのか、イエスの十字架上での死に、神の愛が現われているとはどのような意味なのかなど、キリスト教信仰を理解するための基礎知識を学ぶ。						
達成目標 (授業の目的)	福音書の講読を通して、キリスト教信仰を理解するための基本的な用語とエピソードの知識を得る。特に、西洋文化圏において常識的に使用される聖書起源の用語やたとえ話が、聖書の中ではどのような文脈において語られているのか、そして、その背景にはどのような社会状況や救いへの希求が存在していたのかを考察することを通して、現代社会において信仰を持つ人びとを理解する助けとする。						
到達目標 (学修成果)	①新約聖書やキリスト教の基本的用語やエピソードの意味内容を理解できる ②聖書の記述をその字面だけでなく歴史的・文化的背景を含めて理解し、信仰の視点からのイエスの宣教内容の意味やエピソードの解釈を自分の言葉で表現できる ③福音書に描かれたイエスの行動や態度の選択が当時の民族や社会に与えた影響について、人間の本質的傾向と神が備えている救いへの道の内容を踏まえて考察し、分かりやすく論述できる						
評価方法	①授業参加における積極性 (1%×14 回=14%) ②リアクションペーパー (3%×10 回=30%) と復習課題 (4%×4 回=16%) の提出 ③期末課題：設問への解答 (20%) と小論文 (20%)						
評価基準	①準備学修として指定されたテキストと聖書の該当箇所を読んだ上で授業に臨み、授業において積極的に発言できること。 ②授業を通して深めた理解を反映させた形でリアクションペーパーに自分の見解を記述できること。また、福音書に書かれた出来事やたとえ話の解釈を正しく理解した上で、復習課題のテーマについて自分の意見を記述できること。 ③テキストと授業内容を正しく理解した上で設問に答えられることと、「新約聖書の登場人物或いは、たとえ話やエピソードの中で最も興味を引く事柄」について、1,200 字以内の小論文が書けること。						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	講義の概要 新約聖書の基礎知識	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.114-117 の予習、配布プリントの復習
2	新約聖書の世界 (1) ユダヤ教の宗派、神の国の宣教	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.118-123 及びマタイ 20 : 1-16 の予習
3	新約聖書の世界 (2) イエスの弟子たち、ファリサイ派と徴税人	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.124-125 及びルカ 18 : 9-14 の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	イエスの宣教（1）奇跡物語、罪の赦し	講義、意見交換、復習 課題①	テキスト pp.126-127 及びマタイ 8：23-9：8 の予習
5	イエスの宣教（2）山上の説教	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.128-129 及びマタイ 5 章、6：25-7：12 の予習
6	イエスの宣教（3）慈しみ深い神、放蕩息子のたとえ話、主の祈り	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.130-131 及びルカ 15：1-32 の予習
7	イエスの宣教（4）永遠の命、隣人愛の掟、善きサマリア人のたとえ	講義、意見交換、復習 課題②	マタイ 25：31-46、ルカ 10：25-37 の予習
8	イエスの受難（1）エルサレム入城、最後の晩餐、新しい契約	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.132-135 及びマタイ 21 章、26 章の予習
9	イエスの受難（2）死刑判決、十字架の道行き	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.136-138 及びルカ 23 章の予習
10	イエスの受難（3）十字架上の死、イエスの受難と死の意味	講義、意見交換、復習 課題③	テキスト p.139 及びヨハネ 19 章の予習
11	イエスの復活（1）復活者イエスとの出会い	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.140-141 及びマタイ 28 章、ルカ 24 章の予習
12	イエスの復活（2）使徒たちに受け継がれる宣教の使命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.142-143 及びヨハネ 20 章の予習
13	イエスの復活（3）パウロの召命	講義、意見交換、復習 課題④	テキスト pp.144-146 及び使徒言行録 8-9 章の予習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	キリスト教の広まり 期末課題の講評	講義、意見交換、講評、リアクションペーパー	科目のまとめ、授業資料の復習

テキスト	月本昭男（監修）『超図解 一番わかりやすいキリスト教入門』（東洋経済新報社）
参考書	越川弘英『新約聖書の学び』（キリスト教新聞社） 秋山憲兄（監修）『聖書辞典』（新教出版社）

科目名	MUS201: 音楽 A				担当教員	北村 さおり
開講期	秋	開講時限	木 2 限		研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	西洋音楽史、音楽、美術、ヨーロッパ、クラシック、音楽鑑賞、歌唱、クリスマス 讃美歌、聖歌、聖書					
授業の概要	「クリスマスを歌う」というテーマで、クリスマスにちなんだ聖歌・讃美歌を学ぶ。まずは古典派以前の西洋音楽の成り立ちを知り、教会音楽についての知識を深める。楽典の知識を用いた専門的な分析は行わず、歌が作曲された背景や歌詞にまつわる知識を深め、実際に歌唱を行い、最終的にはキリスト誕生を描いた「聖劇」を歌唱を交えながら体験する。					
達成目標 (授業の目的)	西洋音楽の歴史は美術、文学、演劇、社会、政治などと絡み合っており、音楽をひとつの切り口とした「西洋史」でもある。そして、現在のあらゆるジャンルの音楽の源でもある。音楽史の推移を成り立ちから理解し、現代に生きる我々の美学的観点におけるアイデンティティを考察するきっかけとする。歌唱や朗読劇をとおして、コミュニケーション能力を高め、音楽の持つ「伝える・感じる」力を体験する。					
到達目標 (学修成果)	音楽史を理解し、作品の解釈・演奏を試みることにより、自己と芸術との関わりを考え、自己の感性を磨き、表現の幅を広げる。					
評価方法	① 実技への積極的参加 20% ② 授業課題提出 20% ③ 授業内試験 50% ④ 期末レポート課題 10%					
評価基準	① 歌唱、聖劇への参加と貢献。 ② 予習・復習を目的とした授業内・または宿題の課題提出。 ③ テキスト、ノート、資料類の持ち込みを可とする。テキストと授業の内容を的確に理解しているかどうか。 ④ 任意のテーマについてのレポート提出。調べ学習にとどまらず、授業を踏まえた内容で、自身の考えを比較や考察を加えて論述すること。(引用や参考文献など、レポートの形式が整っているもののみ採点対象とする)					
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う/orally					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	音楽の始まり: 「リベラルアーツの音楽〜その役割と重要性」	講義、ノート記入	資料を読み、用語等は調べておく
2	中世: 「抽象性と教会音楽」 「グレゴリオ聖歌」	講義、鑑賞、ノート記入	資料を読み、用語等は調べる。ノートをまとめる
3	聖書の中の「アヴェ・マリア」 グレゴリオ聖歌「アヴェ・マリア」歌唱	講義、鑑賞、歌唱、ノート記入	資料を読み、用語等は調べる。ノートをまとめる
4	ルネサンス: 「美の発見と多声音楽」 絵画で見る「受胎告知」	講義、鑑賞、ノート記入	資料を読み、用語等は調べる。ノートをまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	バロック：ヘンデル「劇化する音楽」「オペラの誕生と器楽の興隆」	講義、鑑賞、ノート記入	資料を読み、用語等は調べる。ノートをまとめ試験準備
6	バロック：バッハ「ルター派の教会音楽」 授業内試験①	講義、鑑賞、ノート記入、試験	資料を読み、用語等は調べる。ノートをまとめる
7	クリスマス聖歌考察と歌唱 聖劇①	講義、鑑賞、歌唱実演、ノート記入	資料を読み、用語等は調べる。ノートをまとめる
8	聖書の中の「クリスマス」 聖劇の朗読	講義、朗読実演、ノート記入	資料を読み、用語等は調べる。ノートをまとめる
9	バッハ/グノー等の「アヴェ・マリア」の比較、考察と歌唱	講義、鑑賞、実演、ノート記入	資料を読み、用語等は調べる。ノートをまとめる
10	クリスマス聖歌考察と歌唱 聖劇②	講義、鑑賞、実演、ノート記入	資料を読み、用語等は調べる。ノートをまとめる
11	クリスマス聖歌考察と歌唱 聖劇③	講義、鑑賞、実演、ノート記入	資料を読み、用語等は調べる。ノートをまとめる
12	クリスマス聖歌考察と歌唱 聖劇④	講義、鑑賞、実演、ノート記入	資料を読み、用語等は調べる。ノートをまとめ試験準備
13	授業内試験②	試験	自己採点と見直し
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	まとめ 試験の返却、および、講評	講義、鑑賞、実演、ノート記入	授業のふりかえり

テキスト	Moodle 等を利用し配布。
参考書	長沼由美／二藤宏美『大人の音楽史入門 CD 付』（ヤマハミュージックメディア） 岡田暁生『西洋音楽史』（NHK 出版） 田村和紀夫『クラシック音楽の世界』（新星出版社）
その他特記事項	初回授業の前に必ず Moodle に登録。毎授業の前に Moodle で課題を確認してから授業に臨むこと。



科目名	MUS202: 音楽 B			担当教員	北村 さおり	
開講期	秋	開講時限	木 3 限		研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	西洋音楽史、芸術、音楽、舞台、オペラ、クラシック、ヨーロッパ					
授業の概要	映像資料を用いてオペラを鑑賞する。受講生それぞれの視点で作曲家や作品の背景、演出や出演者などについてのレポートを作成し、授業中にレジュメやパワーポイントを使って発表する。レポートを共有、討論を行うことで知識を深める。					
達成目標 (授業の目的)	総合芸術と言われるオペラ作品を、音楽、文学、美術、歴史など様々な視点を通して学ぶ。楽典の知識を用いた専門的な分析にこだわらない。「好き・嫌い」といった趣向に左右された感想に終始せず、多角的な視点から考察や討論を試みて、必要な情報を端的にまとめ、発表し、討論を導く。最終的に、発表した内容で期末レポート (小論文) が書けることを目標とする。					
到達目標 (学修成果)	鑑賞の楽しみ方を知り、芸術に関心を持てるようになる。自己と芸術との関わりを考え、自己の感性を磨き、表現の幅を広げることができるようになる。					
評価方法	①発表の評価：30% ②他者の発表に対するリアクションペーパーや鑑賞の感想などの提出：40% ③発表に対する質問や発言など授業内の評価：10% ④期末レポート (小論文)：20%					
評価基準	①必要な情報を正しく収集し、端的にまとめ、自身の考察、論述ができていないか。(ネット検索や辞書を1つだけ参照し、丸写しすることは認めない。レポート作成のルールに準じる) ②他の発表を精査して聞き、疑問点などをまとめることができていないか。能動的に鑑賞できているか。 ③授業の進行に有意義な発言や相手の考えを引き出すような質問ができていないか。 ④発表したテーマについて、授業を踏まえた考察を深め、小論文の形式に従って論述できているか。(引用や参考文献など、レポートの形式が整っているもののみ採点対象とする)					
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う/orally					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	講義概要 オペラとは	講義、リアクションペーパー	予習・復習：西洋史の概要
2	オペラの成り立ち	講義、鑑賞、リアクションペーパー	予習：授業課題-1 復習：オペラ史
3	モーツァルト「フィガロの結婚」1 鑑賞 1 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-1
4	モーツァルト「フィガロの結婚」2 鑑賞 2 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-2
5	モーツァルト「フィガロの結婚」3 鑑賞 3 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	モーツァルト「フィガロの結婚」4 発表①	講義、発表、鑑賞、リ アクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-4
7	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」1 鑑賞1幕	講義、発表、鑑賞、リ アクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-5
8	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」2 鑑賞2幕	講義、発表、鑑賞、リ アクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-6
9	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」3 発表②	講義、発表、鑑賞、リ アクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-7
10	ヴェルディ「椿姫」1 鑑賞1幕	講義、発表、鑑賞、リ アクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-8
11	ヴェルディ「椿姫」2 鑑賞2幕	講義、発表、鑑賞、リ アクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-9
12	ヴェルディ「椿姫」3 鑑賞3幕	講義、発表、鑑賞、リ アクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-10
13	ヴェルディ「椿姫」4 発表③	講義、発表、鑑賞、リ アクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-11
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	現在のオペラシーンについて。まとめ	講義	予習・復習：期末レポートの 準備

テキスト	授業に関する資料は Moodle にアップする。
参考書	水谷彰良『新イタリア・オペラ史』（音楽の友社） 加藤浩子『オペラでわかるヨーロッパ史』（平凡社新書）
履修条件、 前提科目	授業準備のために自宅で DVD やブルーレイを鑑賞できると望ましい。機材を持っていない者は、学校の施設を利用して映像の鑑賞等の自習を行うこと。
その他 特記事項	基礎的な西洋（音楽）史の知識がある方が望ましいが、足りない者は予習を入念に行うこと。楽典の専門知識は必要としない。初回授業の前に必ず Moodle に登録すること。

科目名	SOC201: 社会学 A			担当教員	李 侖姫	
開講期	春/秋	開講時限	金 3 限		研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	社会学の基本概念、社会学理論、社会構造、個人と社会					
授業の概要	本講義では、社会学理論を中心に「社会学とは何か」について考察する。社会学的想像力、社会構造、文化、ネットワーク、権力、機能、社会的相互作用、地位と役割などの社会学の基本的な概念について学ぶ。そして、身近な社会現象をどのように理解するのか、すなわち、個人的な経験がどのようにして社会過程によって作られるのかについて学習する。本講義は、配布資料を解説する講義形式で進める。					
達成目標 (授業の目的)	社会学の基本概念と考え方に慣れ親しみ、日常生活で経験する個人的な出来事を社会学的な視点で読み解く力を学習することを目的とする。日々の生活の中で、様々な社会現象を社会学的に考えてみるという訓練、そして、社会関係を構築するための実践的な思考力を身につけることを達成目標とする。					
到達目標 (学修成果)	1. 学生が日常生活で経験する身近な社会現象を社会学的な視点で考えることができる。 2. 学生が社会学の基本概念を理解し、様々な社会現象に対する社会学的視点を身に付けることができる。 3. 学生が社会学理論の様々なアプローチを学習し、様々な社会問題に適用できる。					
評価方法	1. 課題提出 (12 回) 36% 2. 定期試験 64%					
評価基準	1. 毎回、提出される課題をみて講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 2. 定期試験 (①選択式問題: 適切な解答を選択する問題、②記述式問題: 提示された問題について簡潔に記述し、授業で習ったことを応用する問題) を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。					
課題等に対するフィードバック方法	・ Moodle で行う (Moodle に提出された課題に対し、コメントのフィードバックを行う)					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション: 社会学的想像力	講義、1 回目の課題の提起	テキストの序章 (pp.1-19) を読んでおくこと
2	理論とは何か: 社会学と科学、理論、概念、命題、仮説	講義、2 回目の課題の提起	テキストの 2 章 (pp.41-53) を読んでおくこと
3	社会学理論: ①機能理論	講義、3 回目の課題の提起	テキストの 3 章 (pp.55-62) を読んでおくこと
4	社会学理論: ②紛争理論	講義、4 回目の課題の提起	テキストの 3 章 (pp.62-67) を読んでおくこと
5	社会学理論: ③象徴的相互作用理論	講義、5 回目の課題の提起	テキストの 3 章 (pp.67-75) を読んでおくこと
6	社会学理論: ④交換理論	講義、6 回目の課題の提起	テキストの 3 章 (pp.75-87) を読んでおくこと

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	文化：文化の特性、文化の基本的要素、文化遅滞、エスノセントリズム、下位文化	講義、7回目の課題の提起	テキストの4章（pp.89-101）を読んでおくこと
8	文化と経済：プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神	講義、8回目の課題の提起	テキストの14章（pp.31-33, 268-273）を読んでおくこと
9	地位と役割：地位群と役割群、役割葛藤	講義、9回目の課題の提起	テキストの5章（pp.119-127）を読んでおくこと
10	組織：官僚制の特徴	講義、10回目の課題の提起	テキストの9章（pp.182-196）を読んでおくこと
11	ネットワーク：ネットワークとは何か、紐帯の内容と強さ、密度	講義、11回目の課題の提起	テキストの6章（pp.129-141）を読んでおくこと
12	ネットワークの構造と機能：閉鎖型と開放型ネットワーク	講義、12回目の課題の提起	テキストの6章（pp.141-149）を読んでおくこと
13	社会学のまとめ	授業内容の復習を行う	テキストの復習
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	試験の解説	試験問題の解説	試験の振り返り

テキスト	李侖姫・渡辺深著（2022）『入門 社会学』（ミネルヴァ書房）
参考書	高根 正昭（1979）『創造の方法学』（講談社現代新書）
その他特記事項	講義は、パワーポイントを用いて行う。授業の終了後に、課題を提出すること。

科目名	SOC202: 社会学 B				担当教員	李 侖姫	
開講期	春/秋	開講時限	金 4 限		研究室	4号館 2階 講師控室	
分類	選択	単 位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①	
キーワード	社会学の基本概念、社会調査法、個人と社会						
授業の概要	本講義では、様々な社会現象を社会学的視点から理解する。例えば、社会化、ジェンダー、ライフコース、文化と消費、逸脱、宗教、社会変動など、社会現象の各領域について考察する。また、本講義では、基本的な調査法（サーベイ、実験、観察、文書分析）について理解し、どのようにして社会現象を観察し分析するのかを学習する。本講義は、配布資料を解説する講義形式で進める。						
達成目標 (授業の目的)	日々の生活の中で、様々な社会現象を社会的に考えてみるという訓練、そして、社会関係を構築するための実践的な思考力を身につけることを目的とする。本講義では、特に社会学の各領域に関する基本的な概念によって具体的な内容を理解し、そして、調査方法全般について勉強する。						
到達目標 (学修成果)	1. 学生が日常生活で経験する身近な社会現象を社会的な視点で考えることができる。 2. 学生が社会学の各領域に関する基本概念を理解し、様々な社会現象に対する社会的視点を身に付けることができる。 3. 学生が調査方法の全般について学習し、様々な社会問題を分析し、考察することができる。						
評価方法	1. 課題提出 (12 回) 36% 2. 定期試験 64%						
評価基準	1. 毎回、提出される課題をみて講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 2. 定期試験 (①選択式問題：適切な解答を選択する問題、②記述式問題：提示された問題について簡潔に記述し、授業で習ったことを応用する問題) を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。						
課題等に対するフィードバック方法	・ Moodle で行う (Moodle に提出された課題に対し、コメントのフィードバックを行う)						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション：社会学的視点	講義、1 回目の課題の提起	テキストの 1 章 (pp.21-39) を読んでおくこと
2	社会化：生まれか育ちか？社会階層と社会化、社会化のエージェント	講義、2 回目の課題の提起	テキストの 7 章 (pp.151-164) を読んでおくこと
3	ジェンダー：性とジェンダー、ジェンダー役割と社会化	講義、3 回目の課題の提起	テキストの 10 章 (pp.197-215) を読んでおくこと
4	ライフコース：個人の人生と歴史的出来事、社会構造との関係	講義、4 回目の課題の提起	テキストの 11 章 (pp.217-229) を読んでおくこと
5	文化と消費：準拠集団と消費、地位と消費	講義、5 回目の課題の提起	テキストの 4 章 (pp.101-112) を読んでおくこと



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	逸脱：デュルケム、マートンのアノミー概念、ラベリング理論	講義、6回目の課題の提起	テキストの12章（pp.231-247）を読んでおくこと
7	宗教：宗教の定義、基本要素、宗教と社会秩序、宗教と近代化	講義、7回目の課題の提起	テキストの14章（pp.263-283）を読んでおくこと
8	社会変動：古典理論（マルクス、ウェーバー、デュルケム）と現代の理論	講義、8回目の課題の提起	テキストの15章（pp.285-300）を読んでおくこと
9	社会調査法1：調査過程とサーベイ法	講義、9回目の課題の提起	テキストの16章（pp.301-316）を読んでおくこと
10	社会調査法2：実験法	講義、10回目の課題の提起	テキストの16章（pp.316-323）を読んでおくこと
11	社会調査法3：観察法	講義、11回目の課題の提起	テキストの16章（pp.323-332）を読んでおくこと
12	社会調査法4：文書分析法	講義、12回目の課題の提起	テキストの16章（pp.332-345）を読んでおくこと
13	社会学のまとめ	授業内容の復習を行う	テキストの復習
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	試験の解説	試験問題の解説	試験の振り返り

テキスト	李侖姫・渡辺深著（2022）『入門 社会学』（ミネルヴァ書房）
参考書	高根 正昭（1979）『創造の方法学』（講談社現代新書）
その他 特記事項	講義は、パワーポイントを用いて講義を行う。授業の終了後に、課題を提出すること。

科目名	LAW211: 日本国憲法 A			担当教員	牧 耕太郎
開講期	春	開講時限	金 4 限	研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。			2-①
キーワード	日本国憲法、統治機構、天皇、立法、行政、司法、地方自治、平和主義				
授業の概要	本講義は、日本国憲法のうち、主に統治機構論と呼ばれる部分について講じる。統治機構論は、国家の政治を実現するために設置されている様々な機関にまつわる諸問題やその関係を論じるものであるが、本講義は、わが国における統治機構の法的位置づけを日本国憲法という法規範を基に講じるものである。 なお、本講義では、講師作成のレジュメを基に、受講生との対話型にて進行する。				
達成目標 (授業の目的)	本講義では、受講生諸君が、日本の統治機構の構造を理解し、その固有の任務や機関の相互関係について正確に説明ないし描写することができるようになることを第一の目的とする。併せて、現実の政治について、自ら憲法的観点からの分析が可能となることを目指す。				
到達目標 (学修成果)	まず、日本の統治機構の各部について、誤りなく理解している。また、それぞれの機関やその関係について、自らの言葉で正確に説明・描写することができる。その上で、学習したことに照らし、憲法と現状の政治の位置関係を日本語で説明し、かつその問題点を指摘できる。				
評価方法	①授業時の参加態度：30% ②中間レポート（第6回から7回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：40%				
評価基準	①授業時の参加態度：問いに対して真摯に向き合っているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>				
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 憲法とは	講義、質疑応答	第1回レジュメの検討
2	日本憲法史 焼け落ちた帝国のあとに	講義、質疑応答	第2回レジュメの検討
3	統治機構の諸原則 マジョリティとマイノリティの関係	講義、質疑応答	第3回レジュメの検討
4	国会（1）—二院制と議員の地位— 国会議員がたくさんいる理由	講義、質疑応答	第4回レジュメの検討
5	国会（2）—会議体としての国会— 会議をする方法	講義、質疑応答	第5回レジュメの検討
6	内閣（1）—議院内閣制— 国会との関係	講義、質疑応答	第6回レジュメの検討
7	内閣（2）—内閣の組織と運営— 内閣総理大臣の仕事とは	講義、質疑応答	第7回レジュメの検討 中間レポートの作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	裁判所 憲法の砦・法の番人としての裁判所	講義、質疑応答	第8回レジュメの検討
9	地方自治 「民主主義の学校」	講義、質疑応答	第9回レジュメの検討
10	中間レポート返却・講評／参政権・国務請求権 ——国に関わっていくということ	講義、質疑応答	第10回レジュメの検討
11	天皇制・皇室 憲法の飛び地	講義、質疑応答	第11回レジュメの検討
12	平和主義 敗戦から何を学んだのか	講義、質疑応答	第12回レジュメの検討
13	憲法保障 —違憲審査制と憲法変遷— 移り変わってゆく「憲法」という風景	講義、質疑応答	第13回レジュメの検討 期末レポートの作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	期末レポート課題の再検討	ディスカッション・質疑応答	統治機構の理論と現在の政治状況の距離を確認する

テキスト	長谷部恭男『憲法講話 24の入門講義〔第2版〕』（有斐閣） 講師作成レジュメ
参考書	安西文雄ほか『憲法学読本〔第3版〕』（有斐閣） 長谷部恭男ほか編『憲法判例百選Ⅱ〔第7版〕』（有斐閣）
その他 特記事項	本講義は、教員による発問とそれに対する学生の応答を基に展開されるので、自らが講義を作る意識をもって参加することが強く望まれる。

科目名	LAW212: 日本国憲法 B				担当教員	牧 耕太郎	
開講期	秋	開講時限	金 3 限		研究室	4号館 2階 講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①	
キーワード	日本国憲法、人権、憲法上の権利、自由、平等、公共の福祉						
授業の概要	本講義は、日本国憲法のうち、主に人権論と呼ばれる部分について講じる。人権や自由、平等というものは、ある種の誤解を招きやすい概念でもある。本講義は憲法学における人権の概念を、実際の裁判例なども参照しながら講じるものである。 なお、本講義は、講師作成のレジュメを基に、受講生との対話型にて進行する。						
達成目標 (授業の目的)	本講義では、受講生諸君が、人権・自由の概念を理解し、なぜ法的・社会的に重要視されているのかを深く理解することを第一の目標とする。併せて、身の回りの出来事について、自ら憲法的観点からの分析が可能となることも目指す。						
到達目標 (学修成果)	まず、人権がなぜ重要であるのかを本質的に理解している。その上で、それぞれの人権の保障根拠を正確に理解できている。さらに、人権の衝突状況などが生じたときに、適切な交通整理をする力を身につけている。						
評価方法	①授業時の参加態度：30% ②中間レポート（第6回から7回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：40%						
評価基準	①授業時の参加態度：問いに対して真摯に向き合っているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 憲法とは	講義、質疑応答	第1回レジュメの検討
2	基本的人権総論 人権のある「人」の範囲	講義、質疑応答	第2回レジュメの検討
3	思想・良心の自由、信教の自由 あなたの「世界」を成すもの	講義、質疑応答	第3回レジュメの検討
4	表現の自由（1）—基本理解— なぜ「表現」は大事なのか	講義、質疑応答	第4回レジュメの検討
5	表現の自由（2）—現代における表現— マスメディア、インターネット、結社	講義、質疑応答	第5回レジュメの検討
6	学問の自由 ガリレオはなぜ処罰されたのか	講義、質疑応答	第6回レジュメの検討
7	職業選択、居住移転、国籍離脱の自由 「仕事」を選べるといふことの価値	講義、質疑応答	第7回レジュメの検討 中間レポートを作成する
8	財産権の保障 「既得権を打ち破れ！」？	講義、質疑応答	第8回レジュメの検討

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	中間レポート返却・講評／人身の自由 警察官はゴミ集積所すら漁る	講義、質疑応答	第9回レジュメの検討
10	包括的基本権 プライバシーとペルソナ、あるいは環境	講義、質疑応答	第10回レジュメの検討
11	平等原則 「平等に扱われていない」とは	講義、質疑応答	第11回レジュメの検討
12	生存権 「生きる権利」がなぜ書いてあるのか	講義、質疑応答	第12回レジュメの検討
13	教育を受ける権利、労働に関する権利 ツラくても「権利」であるわけ	講義、質疑応答	第13回レジュメの検討 期末レポートを作成する
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	期末レポート課題の再検討	ディスカッション・質疑応答	「人権」の法的限界について 考えてみる

テキスト	長谷部恭男『憲法講話 24の入門講義〔第2版〕』（有斐閣） 講師作成レジュメ
参考書	安西文雄ほか『憲法学読本〔第3版〕』（有斐閣） 長谷部恭男ほか編『憲法判例百選Ⅱ〔第7版〕』（有斐閣）
その他 特記事項	本講義は、教員による発問とそれに対する学生の応答を基に展開されるので、自らが講義を作る意識をもって参加することが強く望まれる。



科目名	LAW201: 法学 A				担当教員	牧 耕太郎	
開講期	春	開講時限	金 5 限		研究室	4号館 2階 講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①	
キーワード	法学、基礎法、法哲学、法制史、比較法、法社会学						
授業の概要	本講義は、法学のうち、特に基礎法と呼ばれる分野を概観する。基礎法とは現実の法の根底をなす諸分野を意味するが、本講義ではその中からいくつかのものをトピック的に取り扱う。したがって、講義全体としては緩やかな流れをもちながらも、体系性にはこだわらないものとなっている。 なお、本講義は、講師作成のレジюме・設問を基に、受講生との対話型にて展開される。						
達成目標 (授業の目的)	現在の法制度の根底に流れている思想や価値判断が身につくことを目指す。また、現在の日本の法制度が唯一・最良のものではないということを理解する。その上で、未知の問題にぶつかったとき、自ら考え、解決策を提示することができるようになることを目標とする。						
到達目標 (学修成果)	第1に、「法」が他の「ルール」とどう異なるかを理解している。その上で、「法」固有の価値判断がどのようなものかを日本語で論理的に説明できる。さらに、そのような大局的視野に立って、現在の社会問題について論評することができる。						
評価方法	①授業時の参加態度：30% ②中間レポート（第6回から7回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：40%						
評価基準	①授業時の参加態度：問いに対して真摯に向き合っているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> <li>・ 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 法学と基礎法学	講義、質疑応答	第1回レジюмеの検討
2	裁判に関わる人々 裁判の人的側面	講義、質疑応答	第2回レジюмеの検討
3	法に対する2つの見方 —西洋と東洋？— 法に何を求めるのか	講義、質疑応答	第3回レジюмеの検討
4	日本法の出自 日本の法は日本人が考え出したのか	講義、質疑応答	第4回レジюмеの検討
5	いわゆる「神判」と魔女裁判 裁きは誰の手に握られているのか	講義、質疑応答	第5回レジюмеの検討
6	法とルールの異同 —権利と義務— チェスのルールと法は何が違うのか	講義、質疑応答	第6回レジюмеの検討
7	法と慣習 法律は「書かれている」とは限らない	講義、質疑応答	第7回レジюмеの検討 中間レポートの作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	自然法と法実証主義 法は「誰が」作ったのか	講義、質疑応答	第8回レジュメの検討
9	レポート返却・講評／英米法と大陸法 信頼すべきは大衆？それともエリート？	講義、質疑応答	第9回レジュメの検討
10	正義論 「セイギの味方」はどんな人？	講義、質疑応答	第10回レジュメの検討
11	いわゆる「隣人訴訟」 昨日の友は今日の敵？	講義、質疑応答	第11回レジュメの検討
12	動物、AI、そして人 アンドロイドは「友達」になれるか	講義、質疑応答	第12回レジュメの検討
13	法と文学 夏目漱石『坊っちゃん』に潜む法的思考	講義、質疑応答	第13回レジュメの検討 期末レポートの作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、 質疑応答	法の基本的な発想がどのようなものか、振り返る。

テキスト	講師作成のレジュメ 第13回のみ：夏目漱石『坊っちゃん』（角川文庫）
参考書	木庭頭『誰のために法は生まれた』（朝日出版社） 三ヶ月章『法学入門』（弘文堂）
その他 特記事項	本講義は、教員による発問とそれに対する学生の応答を基に展開されるので、自らが講義を作る意識をもって参加することが強く望まれる。

科目名	LAW202: 法学B			担当教員	牧 耕太郎	
開講期	秋	開講時限	金4限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	法学、法解釈学、実定法、民法、刑法、裁判					
授業の概要	本講義は、法学のうち、実定法学(法解釈学)と呼ばれる分野を取り扱う。その中でも、基本的な法分野である、市民間の権利関係を規律する民法と、犯罪と刑罰に関する刑法を中心的に取り扱い(本講義では憲法は扱わないので注意されたい)、その実現である裁判や法の執行の仕組みや法についての概論も行う。 なお、本講義では、講師作成のレジュメを基に、受講生との対話型の講義を行う。					
達成目標(授業の目的)	まず、現実に運用されている条文を適切に摘示して根拠として示すことができ、また裁判手続が紛争解決手続としてどのような性質をもつものかを正確に理解していることを目指す。それを踏まえて、民・刑法の観点から社会問題を分析・思考し、それに基づいた基本的な解決の方向性を提示することができるようになる。					
到達目標(学修成果)	当該事実に適切な条文を見つけ、摘示することができる。 裁判・執行という制度・現象について理解し、説明することができる。 日本の民法と刑法の基本的な考え方を正確に理解し、説明することができる。					
評価方法	①授業時の参加態度:30% ②中間レポート(第6回から7回辺りに課題を示す):30% ③期末レポート:40%					
評価基準	①授業時の参加態度:問いに対して真摯に向き合っているか(正答かどうかは問わない)。 ②中間レポート・③期末レポート:課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola/Moodle/Google Formsで行う/Loyola/Moodle/Google Forms</li> <li>・口頭で行う/orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	ガイダンス・イントロダクション 六法の扱い方	講義、質疑応答	第1回レジュメの検討
2	法の分類 犬も歩けば「法」に当たる	講義、質疑応答	第2回レジュメの検討
3	法という「体系」と、その「解釈」 「このはし牛馬渡るべからず」の意味	講義、質疑応答	第3回レジュメの検討
4	裁判手続法 一法の宣言— 「裁判所は法を語る口である」	講義、質疑応答	第4回レジュメの検討
5	民法総論 一私人間規律に関する諸原則— 人々の間の法的関係を作るもの	講義、質疑応答	第5回レジュメの検討
6	契約法 誰かに何かをしてもらうために	講義、質疑応答	第6回レジュメの検討
7	不法行為法 地獄の沙汰も金次第	講義、質疑応答	第7回レジュメの検討 中間レポートの作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	親族法 「家族になろうよ」？	講義、質疑応答	第8回レジュメの検討
9	レポート返却・講評／相続法 人は「幽霊」と合体する！	講義、質疑応答	第9回レジュメの検討
10	犯罪と刑罰 なぜ人を「悪者」扱いして処罰するのか	講義、質疑応答	第10回レジュメの検討
11	犯罪の成立を否定するもの 「やったのに無罪！」なのはなぜ？	講義、質疑応答	第11回レジュメの検討
12	犯罪の特殊な形 犯罪の範囲が広がってゆく場合	講義、質疑応答	第12回レジュメの検討
13	裁判の執行 法の「果実」としての執行	講義、質疑応答	第13回レジュメの検討 期末レポートの作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、 質疑応答	民・刑法の基本的な発想がど のようなものか振り返る。

テキスト	池田真朗ほか編『法学六法'25』（信山社） 講師作成のレジュメ		
参考書	宍戸常寿・石川博康編『法学入門』（有斐閣） 市川正人ほか『現代の裁判〔第8版〕』（有斐閣）		
その他 特記事項	本講義は、教員による発問とそれに対する学生の応答を基に展開されるので、自らが講義を作る意識をもって参加することが強く望まれる。		

科目名	EDU201: 教育学 A			担当教員	櫛桁 祐哉	
開講期	春	開講時限	火3限	研究室	4号館2階 講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	教育の歴史、教育の思想、人間学、学校と社会					
授業の概要	教育思想および教育の歴史を探究しながら、「教育とは何か」「教育学とは何か」を問うことで、教育学の基礎理論を学ぶ。とりわけ、「よい教育とは何か」「子どもが育つとは何か」などの教育の背後にある基盤となる考えを問い直ししながら、西洋および日本での子ども観、教育観の変遷、今日の教育問題を批判的に検討する。					
達成目標(授業の目的)	教育という営みを、思想的、歴史的側面から探究することを通じて、教育学の基礎的な理論、歴史を理解し、教育学の事象をその背後にある思想を含めて論理的、批判的に問い直すための視点を獲得することを目標とする。					
到達目標(学修成果)	①教育の歴史およびその背後にある思想を理解し、概要を説明し、それらを用いて教育学的な問いに取り組むことができるようになる。 ②教育学についてのレポートを作成し、教育の事象について論理的、批判的に検討することができるようになる。					
評価方法	①授業内で課すリアクション・ペーパー (50%) ②レポート (50%)					
評価基準	①リアクション・ペーパー：授業の内容を理解し、学んだ概念や用語を用いながら、与えられた問いについて自分の言葉で論述されているか。 ②期末レポート：問題設定に対して、授業および参考文献の内容を用いながら、論理的および教育学的な論述が行えているか。					
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	本講義の目的と概要—教育学とは何を問うのか—	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習
2	教育と人間への問い(I)—「よい教育とは何か」を問うということ—	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.41-49(第3節は除く)
3	教育と人間への問い(II)—「人間とはいかなる存在か」を問うということ—	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.41-49(第3節は除く)
4	教育と人間への問い(III)—「子どもとはいかなる存在か」を問うということ—	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.45-46, 51-54
5	教育と人間への問い(IV)—「学習するとはいかなることか」を問うということ—	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.55-67



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	西洋教育思想史（Ⅰ）－古代ギリシア－	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.49-51
7	西洋教育思想史（Ⅱ）－中世から近世－	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.110-117
8	西洋教育思想史（Ⅲ）－公教育と近代思想－	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.117-120
9	西洋教育思想史（Ⅳ）－新教育と子ども中心主義－	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.120-123
10	日本教育史（Ⅰ）－江戸時代の教育－	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.96-97
11	日本教育史（Ⅱ）－近代学校の成立－	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.97-100
12	日本教育史（Ⅲ）－戦時中の教育－	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.100-104
13	日本教育史（Ⅳ）－学習指導要領の変遷－	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.68-81, 104-109
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	総括		配布プリントの復習

テキスト	内海崎貴子 編著『新・教職のための教育原理』（八千代出版）
参考書	勝野正章・庄井良伸『問いからはじめる教育学』（有斐閣）

科目名	EDU201: 教育学 A				担当教員	杉村 美佳	
開講期	秋	開講時限	金 4 限		研究室	4220	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①	
キーワード	発達と教育、発達心理、教育の思想、教育の歴史						
授業の概要	人間や社会にとって「教育とは何か」を問い、教育という営みについて心理学的、思想的、歴史的なアプローチから探究することを通して、教育学の基礎理論を学ぶ。具体的には、人間の発達と教育、子ども観と教育観の変遷、教育の歴史等について、今日の教育問題との関連を考察しながら検討する。						
達成目標 (授業の目的)	教育という営みについて心理学的、思想的、歴史的視点から探究することを通して、教育学の基礎理論を理解し、教育事象を教育学的視点から論理的、批判的に考察することができるようになることを目的とする。						
到達目標 (学修成果)	①教育学の諸分野や基礎理論についての的確に理解し、概要を説明することができる。 ②現代の教育を取り巻く諸問題の背景や現状を理解し、課題を論述することができる。 ③教育事象に関するレポートの作成を通して、教育学の視点から教育事象を論理的、批判的に考察し、その結果を効果的に発表することができる。						
評価方法	①授業参画 (10%)、②授業時に課すリアクション・ペーパー (30%)、③授業内試験 (30%)、④レポート (30%)						
評価基準	①授業参画：積極的に発言や質問を行っているか。 ②リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。 ④レポート：参考文献の内容を理解し、教育学の観点から論理的に論述できているか。						
課題等に対するフィードバック方法	・ Moodle で行う / Moodle ・ 口頭で行う / orally						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	教育学とは—教育学の諸分野—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.38-41 の一読 配布プリントの復習
2	子どもを取り巻く社会の変化 —少子化・情報化・子どもの貧困—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.45-49 の一読 配布プリントの復習
3	人間の発達と教育 (1) 幼児期	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.41-45 の一読 DVD の内容の要約・考察
4	人間の発達と教育 (2) 児童期	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.27-31 の一読 DVD の内容の要約・考察
5	道徳性の発達と教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.6-12 の一読 配布プリントの復習
6	発達障害と特別支援教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.120-125 の一読 配布プリントの復習
7	子ども観・教育観の変遷 (1) コメニウス・ロック	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.77-80 の一読 配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	子ども観・教育観の変遷（2）ルソー	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.81-84 の一読 配布プリントの復習
9	子ども観・教育観の変遷（3）デューイ	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.85-87 の一読 DVD の内容の要約・考察
10	幼児教育の思想―フレーベル・モンテッソーリ	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.87-88 の一読 DVD の内容の要約・考察
11	教育の歴史（1）戦争と教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.96-103 の一読 DVD の内容の要約・考察
12	教育の歴史（2）学歴主義社会の形成と改革	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.104-109 の一読 DVD の内容の要約・考察
13	小括・授業内試験	講義・質疑応答・ 授業内試験	12 回目までの授業内容の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	試験の返却と解説	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布レジュメの復習

テキスト	内海崎貴子 編著『新・教職のための教育原理』（八千代出版）
参考書	田嶋一他著『やさしい教育原理』（有斐閣アルマ）

科目名	EDU202: 教育学 B			担当教員	杉村 美佳	
開講期	春	開講時限	金 3 限		研究室	4220
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2, 5	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				2-①, 5-①
キーワード	教育格差と学力格差、いじめ、不登校、ジェンダー、グローバル化と教育、教育改革					
授業の概要	人間や社会にとって「教育とは何か」を問い、教育という営みについて、教育社会学や比較教育学、教育方法学等の視点から探究することを通して教育学の基礎理論を学ぶ。具体的には、教育格差による学力格差、いじめや不登校、外国籍児童の教育、ジェンダーと教育、今日の教育改革など、現代の子どもや学校教育を取り巻く諸問題を取り上げ、その要因や社会的背景、課題解決の方途を探る。					
達成目標 (授業の目的)	教育という営みについて、教育社会学や比較教育学、教育方法学等の視点から探究することを通して、教育学の基礎理論を理解し、教育事象を教育学的視点から論理的、批判的に考察することができるようになることを目的とする。					
到達目標 (学修成果)	①教育学の諸分野や基礎理論についての的確に理解し、概要を説明することができる。②現代の教育を取り巻く諸問題の背景や現状を理解し、課題を論述することができる。③教育事象に関するレポートの作成を通して、教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に考察し、その結果を効果的に発表することができる。					
評価方法	①授業参画 (10%)、②授業時に課すリアクション・ペーパー (30%)、③授業内試験 (30%)、④レポート (30%)					
評価基準	①授業参画：積極的に発言や質問を行っているか。②リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。④レポート：参考文献の内容を理解し、教育学的観点から論理的に論述できているか。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Moodle で行う / Moodle</li> <li>・口頭で行う / orally</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	教育学とは－教育学の諸分野－	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.42-50 の一読 配布プリントの復習
2	子どもを取り巻く社会の変化 (1) －少子化・情報化－	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.2-10 の一読 配布プリントの復習
3	子どもを取り巻く社会の変化 (2) －子どもの貧困－	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.11-15 の一読 配布プリントの復習
4	学校教育の今日的課題 (1) 階層と学力	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.23-27 の一読 配布プリントの復習
5	学校教育の今日的課題 (2) 学力格差の是正策	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.34-40 の一読 配布プリントの復習
6	学校教育の今日的課題 (3) いじめ	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.21-24 の一読 配布プリントの復習
7	学校教育の今日的課題 (4) 不登校・学級崩壊	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.16-20 の一読 配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	学校教育の今日的課題（5）ジェンダーと教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.157-164 の一読 配布プリントの復習
9	グローバル化と教育（1）外国につながる子どもと国際理解教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.151-156 の一読 配布プリントの復習
10	グローバル化と教育（2）小学校の英語教育	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	日本の英語教育改革を調べる 配布プリントの復習
11	カリキュラム論（1）一戦後の学習指導要領の変遷―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.68-76 の一読 配布プリントの復習
12	小括・授業内試験	講義・ディスカッション リアクションペーパー	11回目までの授業内容の復習
13	カリキュラム論（2）―資質・能力の育成とアクティブ・ラーニング―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.77-81 の一読 配布プリントの復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	教育方法論―教育方法の日米比較― 試験の返却と解説	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.106-110 の一読 配布プリントの復習

テキスト	内海崎貴子 編著『新・教職のための教育原理』（八千代出版）
参考書	田嶋一他著『やさしい教育原理』（有斐閣アルマ）



科目名	EDU202: 教育学 B			担当教員	黒田 協子	
開講期	秋	開講時限	月 4 限		研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2, 5	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				2-①, 5-①
キーワード	外国につながる児童生徒、貧困と教育格差、教育格差と学力格差、不登校、教師の役割					
授業の概要	人間や社会にとって「教育とは何か」を問う。教育社会学を中心に、教育現場の視点を様々な角度から探究することで、教育学の基礎理論を学ぶ。具体的には、外国につながる児童生徒の実態、貧困が教育に与える影響、いじめや不登校、ジェンダーと教育、今日の教育改革や教員を取り巻く環境などの諸問題を取り上げ、その要因や社会的背景、さらには課題解決の方途を探る。					
達成目標 (授業の目的)	教育という営みについて、教育社会学を中心に、様々な学問領域や教育現場等の視点から探究することを通して、教育学の基礎理論を理解し、教育現場の諸問題を教育学的視点から客観的かつ論理的、批判的に考察することができるようになることを目的とする。					
到達目標 (学修成果)	①教育学の諸分野や基礎理論についての的確に理解し、概要を説明することができる。 ②現代の教育を取り巻く諸問題の背景や現状を理解し、課題を論述することができる。 ③教育事象に関するレポートの作成を通して、教育学的視点から教育事象を客観的かつ論理的、批判的に考察し、その結果を効果的に発表することができる。					
評価方法	①授業参画 (30%)、②授業時に課すリアクション・ペーパーあるいはミニレポート (40%)、③授業内試験 (30%)					
評価基準	①授業参画：積極的に発言や質問を行っているか。 ②リアクション・ペーパー、ミニレポート：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	教育とはなにか・教育学とはなにか — 学問としての教育を捉える —	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布プリントの復習
2	教育をめぐる現代的課題 (家庭教育) (1) — 家族とは —	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.2-7 の一読 配布プリントの復習
3	教育をめぐる現代的課題 (家庭教育) (2) — 家庭の貧困と教育 —	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.7-15 の一読 配布プリントの復習
4	教育をめぐる現代的課題 (家庭教育) (3) — 家庭の DV と教育 —	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.7-15 の一読 配布プリントの復習
5	教育をめぐる現代的課題 (学校) (1) — 学校は何をする場所か —	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト p.16 の一読 配布プリントの復習
6	教育をめぐる現代的課題 (学校) (2) — 不登校といじめ — ミニテスト	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.17-24 の一読 配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	教育をめぐる現代的課題（学校）（3） —いじめ— 試験の返却、および解説	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.17-24 の一読 配布プリントの復習
8	教育をめぐる今日的課題（1） 外国につながる児童生徒（1）学校文化	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）配布プリントの一読 配布プリントの復習
9	教育をめぐる今日的課題（2） 外国につながる児童生徒（2）・学習	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）プリントの一読 配布プリントの復習
10	教育をめぐる今日的課題（3） ジェンダー問題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.157-164 の一読 配布プリントの復習
11	教育をめぐる今日的課題（4） 性教育のとらえ方	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）プリントの一読 配布プリントの復習
12	教育をめぐる今日的課題（5） コロナ禍が第四次産業に与えたもの	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）プリントの一読 配布プリントの復習
13	「教師の役割」を問う ミニテスト	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.126-130 の一読 配布プリントの復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	生徒指導の煩雑さと教職 総括 試験の返却、および解説	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.130-137 の一読 配布プリントの復習

テキスト	内海崎貴子 編著『新・教職のための教育原理』（八千代出版）
参考書	酒井朗編著『アクティベート教育学 03 現代社会と教育』（ミネルヴァ書房） 東洋館出版社編『ポスト・コロナショックの学校で教師が考えておきたいこと』（東洋館出版社）

科目名	ECN201: 経済学 A			担当教員	孫 明超	
開講期	春	開講時限	月 5 限		研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単 位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	経済学、ミクロ経済学、機会費用、比較優位、需要と供給、余剰、外部性					
授業の概要	「経済学はどんなものか?」、「経済学は何の役に立つか?」というシンプルな質問に答えるため、ミクロ経済学の視点からまず基礎的な概念を学ぶ。その後に経済学の考え方を分析ツールとして、現実社会の経済現象をどのように理解すべきか、自身の経済活動をどのように行うべきかについて学ぶ。					
達成目標 (授業の目的)	自分が暮らしている社会における日常生活や社会問題を経済学的な考え方で理解する。さらに、日常の消費、貯蓄や投資などの個人の経済活動をより賢く行えるようになることを目的とする。					
到達目標 (学修成果)	① 教科書の該当部分を予習した上、講義を通して経済学の基礎的な概念を理解し、毎回の小テストの問題を解くことができるようになる。(評価①) ② 授業、予習または復習を通して身につけた経済学的な考え方で積極的かつ的確に発言できるようになる。(評価②) ③ 世界で起こる経済現象を授業で学んだ経済学用語や理論を用いて、自分の言葉で分析・説明し、考察や自分の考えも踏まえて論述できるようになる。(評価③)					
評価方法	① 授業毎の小テスト：授業終了時まで提出 (4%×14回=56%) ② 授業内での発言：授業中の質問に的確に答えられる (5%×3回=15%) ③ 期末レポート：1,200～1,500字のレポート (29%)					
評価基準	① 授業毎の小テスト：授業毎に実施する小テスト (選択式 3～4 問) を授業終了時まで提出する。 ② 授業内での発言：14回の授業のうち、最大3回分の点数が取れる。 ③ 期末レポート：教科書、講義中で紹介された事例を参考にした上、経済現象の事例を自らで考え、授業で扱った経済学の専門用語を使って説明できる。その上、自身の考えや考察を論述できる。(自分の論点を述べる際に、関連論文、政府報告書または新聞記事などの引用は認められるが、自分の言葉ではなく、コピペまたは引用の割合が全体の2割以上を占める場合、0点となる)					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	ガイダンス 経済学の十大原理 (1) 人間の意思決定	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習 (第1章 第1節)
2	経済学の十大原理 (2) 市場と政府	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習 (第1章 第2-3節)
3	経済学者らしく考える (1) 科学者の立場から	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習 (第2章 第1節)
4	経済学者らしく考える (2) 政策アドバイザーの立場から	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習 (第2章 第2-3節)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	相互依存と交易（貿易）からの利益（1） 機会費用と比較優位	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第3章 第1-2節）
6	相互依存と交易（貿易）からの利益（2） 比較優位の応用例	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第3章 第3節）
7	市場における需要と供給の作用（1） 市場と競争、価格と需要量の関係	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第4章 第1-2節）
8	市場における需要と供給の作用（2） 価格と供給量の関係、需要と供給の関係	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第4章 第3-4節）
9	需要、供給、及び政府の政策（1） 価格規制の効果	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第5章 第1節）
10	需要、供給、及び政府の政策（2） 税金の効果	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第5章 第2節）
11	消費者、生産者、市場の効率性（1） 消費者余剰、生産者余剰	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第6章 第1-2節）
12	消費者、生産者、市場の効率性（2） 市場の効率性と失敗	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第6章 第3-4節）
13	外部性 正の外部性と負の外部性、公共政策	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第7章）
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ミクロ経済学のまとめ	講義、質疑応答、講評、返却	授業の振り返り

テキスト	マンキュー・N・グレゴリー著、足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆訳『マンキュー入門経済学（第3版）』（東洋経済新報社）
参考書	① 日経ビジネス編集『日本経済入門 第2版（日経ビジネス）』（日経BP） ② 神取道宏 著『ミクロ経済学の力』（日本評論社）（微分などの数学を使ってしっかりミクロ経済学の基礎を学びたい人にはおすすめ）
その他 特記事項	① 難しい数学を使わず、ミクロ経済学の入門レベルの講義を行う。 ② 教科書のすべての内容を解説しきれないので、無理のない範囲で予習または復習を望む。

科目名	ECN202: 経済学 B			担当教員	孫 明超	
開講期	秋	開講時限	月 5 限		研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	経済学、マクロ経済学、国民所得、経済成長、貯蓄と投資、総需要と総供給、輸出と輸入					
授業の概要	「経済学はどんなものか?」、「経済学は何の役に立つか?」というシンプルな質問に答えるため、マクロ経済学の視点からまず基礎的な概念を学ぶ。その後に経済学の考え方を分析ツールとして、現実社会の経済現象をどのように理解すべきか、自身の経済活動をどのように行うべきかについて学ぶ。					
達成目標 (授業の目的)	自分が暮らしている社会における日常生活や社会問題を経済学的な考え方で理解する。さらに、日常の消費、貯蓄や投資などの個人の経済活動をより賢く行えるようになることを目標とする。					
到達目標 (学修成果)	① 教科書の該当部分を予習した上、講義を通して経済学の基礎的な概念を理解し、毎回の小テストの問題を解くことができるようになる。(評価①) ② 授業、予習または復習を通して身につけた経済学的な考え方で積極的かつ的確に発言できるようになる。(評価②) ③ 世界で起こる経済現象を授業で学んだ経済学用語や理論を用いて、自分の言葉で分析・説明し、考察や自分の考えも踏まえて論述できるようになる。(評価③)					
評価方法	① 授業毎の小テスト：授業終了時まで提出 (4%×14回=56%) ② 授業内での発言：授業中の質問に的確に答えられる (5%×3回=15%) ③ 期末レポート：1,200～1,500字のレポート (29%)					
評価基準	① 授業毎の小テスト：授業毎に実施する小テスト (選択式 3～4 問) を授業終了時まで提出する。 ② 授業内での発言：14回の授業のうち、最大3回分の点数が取れる。 ③ 期末レポート：教科書、講義中で紹介された事例を参考にした上、経済現象の事例を自らで考え、授業で扱った経済学の専門用語を使って説明できる。その上、自身の考えや考察を論述できる。(自分の論点を述べる際に、関連論文、政府報告書または新聞記事などの引用は認められるが、自分の言葉ではなく、コピーまたは引用の割合が全体の2割以上を占める場合、0点となる)					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	ガイダンス 国民所得の測定 (1) 国内総生産の測定	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習 (第 8 章 第 1-2 節)
2	国民所得の測定 (2) GDP の構成要素、名目 GDP と実質 GDP	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習 (第 8 章 第 3-5 節)
3	生計費の測定 (1) 消費者物価指数	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習 (第 9 章 第 1 節)
4	生計費の測定 (2) インフレーション	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習 (第 9 章 第 2 節)



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	生産と成長（1） 生産性、経済成長と公共政策	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第10章 第1-3節）
6	生産と成長（2） 失業	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第10章 付論）
7	貯蓄、投資と金融システム（1） 金融市場、貯蓄と投資	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第11章 第1-2節）
8	貯蓄、投資と金融システム（2） 貸付資金市場、貨幣システム	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（11章, 3節, 付論1）
9	総需要と総供給（1） 短期の経済変動	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第12章 第1-2節）
10	総需要と総供給（2） 総需要曲線と総供給曲線	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第12章 第3-4節）
11	総需要と総供給（3） 経済変動の原因	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第12章 第5節）
12	開放マクロ経済学（1） 輸出、輸入	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第13章 第1-2節）
13	開放マクロ経済学（2） 購買力平価、為替市場	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第13章 第3節）
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	マクロ経済学のまとめ	講義、質疑応答、講評、返却	授業の振り返り

テキスト	マンキュー・N・グレゴリー著、足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆訳『マンキュー入門経済学（第3版）』（東洋経済新報社）
参考書	① 日経ビジネス編集『日本経済入門 第2版（日経ビジネス）』（日経BP） ② 齊藤誠、岩本康志、太田聰一、柴田章久著『マクロ経済学 新版』（有斐閣） （数学を使ってしっかりマクロ経済学の基礎を学びたい人にはおすすめ）
その他 特記事項	① 難しい数学を使わず、マクロ経済学の入門レベルの講義を行う。 ② 教科書のすべての内容を解説しきれないので、無理のない範囲で予習または復習を望む。

科目名	BUS201: 経営学 A				担当教員	杉山 章	
開講期	春	開講時限	木 5 限		研究室	4号館 2階 講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①	
キーワード	マネジメント、ステークホルダー、戦略と組織、国際経営						
授業の概要	ビジネスを取り巻く様々な事例を題材にして、経営学の基礎を幅広く取り扱い、社会と企業の関係、企業活動の意義と責任、マネジメントの重要性について『企業の戦略と組織の視点』から学ぶ。複雑に見える社会の動きを、シンプルに何がどのようになっているのかを理解する力は、就職活動だけでなく、将来の社会人（ビジネスパーソン）にとって重要な資質の1つであり、これらが身につけられるように積極的に考える参加型の授業を展開する。						
達成目標 (授業の目的)	経営学の視点から社会全体と経済活動、会社組織などが、どのような関係になっているのか、様々な仕組みを理解し、自ら考察する事ができるようになる。						
到達目標 (学修成果)	1、経営学を中心に多角的な視点から、社会と経済活動や企業を理解する事ができるようになる。 2、さまざまな経営学の基礎的な用語について説明できるようになる。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内テスト：60% (1) 前半試験：30% (2) 後半試験：30%</li> <li>授業態度、取り組み姿勢 (主にリアクションペーパー)：40%</li> </ul>						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内テスト：講義で学んだ経営学の理論、用語など使って説明できているか、理解度を評価する。</li> <li>授業態度、取り組み姿勢：授業毎に行う小課題 (リアクションペーパー) を評価する。また講義への参加意識や受講姿勢は、状況に応じて成績評価の加点、減点の対象になる場合がある。</li> </ul>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭で行う / orally</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	ガイダンス、イントロダクション 『経営学って役に立つの?』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	経営学に関連した問題意識の整理
2	マネジメントとは何か? 『組織の機能と構造について』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
3	株式会社とは何か? 『企業の形態、種類、コーポレート・ガバナンス』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
4	ステークホルダーとは何か? 『さまざまな利害関係者と企業の関係』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
5	企業のさまざまな戦略と組織について 『フレームワークを使ってみよう』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
6	マーケティング：消費者は何を求めているか? 『儲かるとは? 損益分岐点とマーケティング・リサーチ』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	第1回～6回までのまとめ ＜前半試験アナウンス＞	講義、質疑応答 WEB 試験の実施	プリントやノートで授業内容を復習、学修成果を把握し、試験に取り組む
8	前半試験の振り返り 日本的経営の特徴と組織について	回答例の説明、講義 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
9	国際経営と多国籍企業 『グローバルブランドと企業理念』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
10	企業倫理と情報セキュリティー 『企業のあるべき姿とは』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
11	企業の社会的責任 『CSR、CSV とは何か？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
12	持続可能な社会の実現に向けて 『SDGs と、これからの企業と社会』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
13	第8回～12回までのまとめ ＜後半試験アナウンス＞	講義、質疑応答 WEB 試験の実施	プリントやノートで授業内容を復習、学修成果を把握し、試験に取り組む
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	後半試験の振り返り 本講義全体のまとめ	回答例の説明、講義 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を復習し授業全体の学修成果を整理する。

テキスト	教科書は特に定めない。必要な資料は授業毎に配布する。 (事前にアップロードしている場合は、各自ダウンロードして授業に持参のこと)
参考書	高橋 伸夫『大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる』(KADOKAWA) 榎原 清則『経営学入門 (上) 第2版』(日本経済新聞出版社)

科目名	BUS202: 経営学 B				担当教員	杉山 章	
開講期	秋	開講時限	木 5 限		研究室	4号館 2階 講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①	
キーワード	グローバル、モチベーション、リーダーシップ、ダイバーシティ、サステナビリティ						
授業の概要	ビジネスを取り巻く様々な事例を題材にして、経営学の基礎を幅広く取り扱い、社会と企業の関係、企業活動の意義と責任、マネジメントの重要性について『企業の人と組織の視点』から学ぶ。複雑に見える社会の動きを、シンプルに何がどのようにになっているのかを理解する力は、就職活動だけでなく、将来の社会人（ビジネスパーソン）にとって重要な資質の1つであり、これらが身につけられるように積極的に考える参加型の授業を展開する。						
達成目標 (授業の目的)	経営学の視点から社会全体と経済活動、会社組織などが、どのような関係になっているのか、様々な仕組みを理解し、自ら考察する事ができるようになる。						
到達目標 (学修成果)	1、経営学を中心に多角的な視点から、社会と経済活動や企業を理解する事ができるようになる。 2、さまざまな経営学の基礎的な用語について説明できるようになる。						
評価方法	・授業内テスト：60% (1) 前半試験：30% (2) 後半試験：30% ・授業態度、取り組み姿勢：40% (主にリアクションペーパー)						
評価基準	・授業内テスト：講義で学んだ経営学の理論、用語など使って説明できているか、理解度を評価する。 ・授業態度、取り組み姿勢：授業毎に行う小課題（リアクションペーパー）を評価する。また講義への参加意識や受講姿勢は、状況に応じて成績評価の加点、減点の対象になる場合がある。						
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally						
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、イントロダクション 『経営学って役に立つの？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	経営学に関連した問題意識の整理
2	組織で働く、とは何か？ 『組織と個人の関係について』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
3	人はなぜ働くのか？：『モチベーション、やりがい、やる気』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
4	グローバルマネジメントとは？ 『企業文化とグローバル人材』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
5	キャリア形成について：『ビジネスパーソンのあるべき姿とは』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
6	顧客の心理を考える：『消費者行動とマーケティング』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
7	第1回～6回までのまとめ <前半試験のアナウンス>	講義、質疑応答 WEB 試験の実施	プリントやノートで授業内容を復習、学修成果を把握し、試験に取り組む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	前半試験の振り返り 日本の経営の特徴と人について	回答例の説明、講義 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
9	人材開発とリーダーシップ：『今日的なリーダーシップとは？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
10	人的資源管理、とは何か？：『人材とは人財である』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
11	ダイバーシティ：『女性活躍とイノベーション』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
12	サステナビリティについて：『SDGsの実現に向けて』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
13	第8回～12回までのまとめ <後半試験のアナウンス>	講義、質疑応答 WEB試験の実施	プリントやノートで授業内容を復習、学修成果を把握し、試験に取り組む
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	後半試験の振り返り 本講義全体のまとめ	回答例の説明、講義 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を復習し授業全体の学修成果を整理する。

テキスト	教科書は特に定めない。必要な資料は授業毎に配布する。 (事前にアップロードしている場合は、各自ダウンロードして授業に持参のこと)
参考書	高橋 伸夫『大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる』(KADOKAWA) 榊原 清則『経営学入門(上)第2版』(日本経済新聞出版社)



科目名	SWF201: 社会福祉入門 A				担当教員	西牧 由起		
開講期	春	開講時限	木 5 限		研究室	4号館 2階 講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①	
キーワード	教養としての社会保障と社会福祉 (シチズンシップの観点からの社会福祉・社会保障)							
授業の概要	我が国の社会保障や社会福祉の問題を幅広い見方でもとらえていく。特に諸外国の社会福祉を学ぶことで、日本のあり方を考える。市民として知っておくべき社会保障や社会福祉について国際比較の視点を持ちながら学んでいく。							
達成目標 (授業の目的)	本講は、社会福祉を専門としている学生の理解する社会福祉よりも、より幅広い視点をもって、福祉や生活を考えることができるようにすることを目標とする。また、市民として知っておくべき社会保障や社会福祉について理解し、自分自身で説明できるようにする。							
到達目標 (学修成果)	学生が新聞やテレビを見る際に、現代の社会問題に関わる記事やニュースを、社会政策の観点から、より正確に、深く理解できるとともに、正しく説明できるようになる。							
評価方法	①授業毎のリアクションペーパー (30%) ②授業への積極的参加 (20%) ③レポート課題 (2回) (50%)							
評価基準	①テキストや授業の内容を的確に理解し、要約できているかどうか。 ②授業内容の質疑応答、議論に参加しているかどうか。(特に、教員からの質問や意見について求められた際に、応えることができる。) ③社会問題について、参考文献等を用いてきちんと調べた上で自分の意見を論理的に記述できているかどうか。							
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	講義の概要 -社会福祉とは何か	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書序章を予習 Moodle の掲載資料を復習
2	社会福祉の基礎概念について -アルムス、アリメント、カリタス	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 1 章 1、3、4 節を予習、配布資料の復習
3	日本における社会福祉の歴史の変遷	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 1 章 2 節を予習 配布資料の復習
4	諸外国における社会福祉の歴史の変遷 -日本の福祉の仕組みを客観的に考える	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 1 章 5 節を予習 配布資料の復習
5	認知症に関する映像を通じて、日本の福祉について考える	講義、意見交換、リアクションペーパー	Moodle の掲載資料を予習、復習
6	社会福祉の動向について -少子高齢社会、人口減少社会	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 2 章 1、2、3 節を予習、配布資料の復習
7	幸福・豊かさと福祉 (Q.O.L、Q.o.Death& Dying) 安心の基盤とは	講義、意見交換、リアクションペーパー	Moodle の掲載資料を予習 配布資料の復習、レポート課題①提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	ヤングケアラーに関する映像を通じて、日本の福祉について考える	講義、意見交換、リアクションペーパー	Moodleの掲載資料を予習、復習
9	社会福祉に関する法制度 -社会保障、社会保障制度の体系、社会政策	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第3章1、2節を予習 配布資料の復習
10	福祉行財政 -社会福祉の行政、社会保障の財源と費用	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第3章3、4節を予習 配布資料の復習
11	社会福祉制度 -低所得者に対する支援と生活保護制度	講義、意見交換、リアクションペーパー	Moodleの掲載資料を予習、復習
12	社会福祉を支える組織と担い手 -社会福祉専門職	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第5章1、2、3節を予習、配布資料の復習
13	社会福祉を支える組織と担い手 -供給体制作り	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第4章1、2、4節を予習、配布資料の復習、レポート課題②提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	まとめ、レポート課題への講評	講義、意見交換、リアクションペーパー	第1回～13回の授業の復習

テキスト	栃本一三郎編『新しい視点で学ぶ社会福祉－保育士を志す人のために』（光生館）
参考書	岩田正美・上野谷加代子・藤村正之『ウェルビーイング・タウン 社会福祉入門改訂版』（有斐閣アルマ）

科目名	SWF202: 社会福祉入門 B				担当教員	西牧 由起		
開講期	秋	開講時限	木 5 限		研究室	4号館 2階 講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①	
キーワード	社会福祉の広がりや深さ、社会政策、主体としての社会福祉、客体としての社会福祉							
授業の概要	社会福祉についての基礎的理解のための入門的な授業を行う。テキストに沿って基本的な概念や枠組みを理解していくことが中心となるが、正確で確実な知識の取得、およびその取得方法、そして社会で生活していく上で必須となる社会福祉、社会保障についての知識を身につける。							
達成目標 (授業の目的)	社会保障も視野においた広義の社会福祉についての現状、制度、法律について基礎的知識を得る。自己と社会との関係を自分の言葉で説明できるようになる。新聞で取り上げられる社会福祉や社会保障、社会問題の記事について、専門的な視点からある程度読み解くことができるようになる。							
到達目標 (学修成果)	授業および教科書に書かれている事柄を、新聞記事を利用して自分で調べ、理解し、さらに他者に説明出来るようになる。また、社会福祉や社会保障を自分や家族の生活に結びつけて自分の言葉で語れるようになる。							
評価方法	①毎回の新聞の切り抜きとコメント (20%)、②授業毎のリアクションペーパー (30%)、③期末課題 (2,000 字以上のレポート) (50%)							
評価基準	①国内外の社会福祉や社会保障、社会問題の新聞記事を切り抜いて提出、かつコメント (200 字以上) を付ける。提出回数とコメントの妥当性によって評価する。②自分なりにその回の学習内容やキーワードが何であったかを確認しながら記述する。③配布資料や紹介した文献をもとに、自身が関心を寄せるテーマについて、講義を通じて学んだことを生かしながら自分の考えを論理的に述べることを判断し評価する。							
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	イントロダクション -講義の進め方、社会福祉とは	講義、意見交換 リアクションペーパー	教科書序章を予習 Moodle の掲載資料を復習
2	社会福祉とは何か① -社会福祉の基礎概念について	講義、新聞切り抜き提出 (以下「新聞」)	教科書第 1 章 1、3 節を予習、配布資料の復習
3	社会福祉とは何か② -現金給付と現物給付、普遍主義と選別主義	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第 1 章 4、5 節を予習、配布資料の復習
4	社会福祉とは何か③ -日本における社会福祉の歴史的変遷	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第 1 章 2 節を予習、配布資料の復習
5	社会福祉の動向① -少子高齢社会、人口減少社会	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第 2 章 1 節を予習、配布資料の復習
6	社会福祉の動向② -地域福祉の推進	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第 2 章 2、3、4 節 配布資料の復習
7	豊かさと福祉について (Q.O.L、Q.o.Death&Dying)	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	Moodle の掲載資料を予習 配布資料の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	社会福祉の法と行財政① -社会福祉の法制度、社会保障、社会政策	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第3章1、2節を予習 配布資料の復習
9	社会福祉の法と行財政② -社会福祉の行政、社会保障の財源と費用	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第3章3、4節を予習 配布資料の復習
10	社会福祉制度 -低所得者に対する支援制度	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	Moodleの掲載資料を予習、 復習
11	社会福祉制度 -児童福祉に関する制度	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	Moodleの掲載資料を予習、 復習
12	社会福祉を支える担い手 -社会福祉の人材	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第5章1、2、3節を予 習、配布資料の復習
13	社会福祉の供給体制	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第4章1、2、4節を予 習、配布資料の復習、期末課 題提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	まとめ、期末課題への講評	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	第1回～13回の授業の復習

テキスト	栃本一三郎編『新しい視点で学ぶ社会福祉－保育士を志す人のために』（光生館）
参考書	岩田正美・上野谷加代子・藤村正之編『社会福祉入門』（有斐閣アルマ）

科目名	JRN202: マスメディア論 A			担当教員	吉武 希	
開講期	春/秋	開講時限	月3限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	コミュニケーション論、マスコミュニケーション論、ジャーナリズム史					
授業の概要	現在まで、メディアがどのように発展してきたか、社会的にどのような役割を担ってきたかといったマスメディアに関する歴史とコミュニケーション研究の基礎的な概説を行う。その上で、現代社会における新聞・出版・放送・通信といったメディア別の特徴やその役割、影響について検証する。					
達成目標(授業の目的)	メディアの歴史や基礎的な理論、現代社会におけるメディアの役割や影響について理解する。その上で、メディアが関係する現代社会の諸問題について、分析を行い、批判的に考えることができるようになる。					
到達目標(学修成果)	本科目を通じて、メディアの歴史や理論を理解することで、客観的視点から現代社会における諸問題の批判的思考と考察能力を身につける。					
評価方法	①Reaction Paper (20%) ②授業への積極的参加 (20%) ③期末レポート (30%) ④授業内試験2回 (30%)					
評価基準	①講義内容を踏まえて自分の意見を論理的に述べられているか。②グループワーク等に積極的に参加し、グループでの意見をまとめて発表できているか。③講義内容でもあるマスメディア論を題材としたテーマについて、参考文献を用いる等、データに基づいて論理的に述べられているか。④授業内容を理解し、設問に対して適切に回答ができているか。					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	イントロダクション マスメディア論の概論	講義、Reaction Paper	第1回授業内容の復習
2	マス・コミュニケーション・メディアの進化	講義	第2回授業内容の復習
3	メディアの日本史①:近代	講義、Reaction Paper	第3回授業内容の復習
4	メディアの日本史②:戦後	講義	第4回授業内容の復習
5	メディアの日本史③:まとめ(映像学習)	ディスカッション、 Reaction Paper	第5回授業内容の復習
6	第1回 授業内試験 解答・解説 メディア理論への導入	授業内試験 講義	第1~5回授業内容の総復習
7	メディア理論①:メディア効果論	講義	授業内試験の振り返り 第7回授業内容の復習



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	メディア理論②：メディアと政治	講義、Reaction Paper	第8回授業内容の復習
9	メディア理論③：カルチュラルスタディーズ	講義	第9回授業内容の復習 グループワークの準備
10	グループワーク：「メディア理論について」	グループワーク、 Reaction Paper	グループワーク振り返り
11	第2回 授業内試験 解答・解説 メディアの現在への導入	授業内試験 講義	第7～9回授業内容の総復習 期末レポート準備
12	メディアの現在①：新聞・出版	講義	第12回授業内容の復習
13	メディアの現在②：放送（テレビ・ラジオ）と通信（インターネット）・SNS	講義、Reaction Paper	第13回授業内容の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	「メディアの現在」まとめ、期末レポート提出、総括	講義	振り返りアンケート調査 まとめ学習

テキスト	特定のテキストを指定しない。講義内容によっては参考書や講義中に紹介する追加の参考書を基に作成したレジュメを公開する。
参考書	春原昭彦・武市武雄 [編] 『ゼミナール 日本のマス・メディア第3版』（日本評論社） 水越伸 『21世紀メディア論』（放送大学大学院教材） 田中正人（編） 『社会学用語図鑑』（プレジデント社）

科目名	JRN203: マスメディア論 B			担当教員	吉武 希	
開講期	春/秋	開講時限	月 4 限		研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単 位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	コミュニケーション論、マスコミュニケーション論、メディア・リテラシー					
授業の概要	マスコミュニケーション論の基礎的な概論と、メディアやインターネットの普及がもたらした社会問題等を概説する。その上で、現代社会における諸課題についてマスメディアが社会に対して果たす、または果たすべき責任と役割について考察する。					
達成目標 (授業の目的)	メディアの発展と社会のコミュニケーションの関係性を理解し、現代におけるマスメディアやグローバルメディアの社会的責任について、意識し批判的に考えることができるようになる。					
到達目標 (学修成果)	本科目を通じて、メディアとコミュニケーションの関係を理解することで、マスメディアやインターネット上に流れている情報について、正確な情報を読み取る能力や、批判的思考を身に付ける。					
評価方法	① Reaction Paper (30%) ② 授業への積極的参加 (20%) ③ テーマ発表評価 (20%) ④ 期末レポート (30%)					
評価基準	①講義内容を踏まえて自分の意見を論理的に述べられているか。②グループワーク等に積極的に参加しているか。③指定テーマについて学術的なプレゼンテーションができているか。④講義内容でもあるマスメディア論を題材としたテーマについて、参考文献を用いる等、根拠のあるデータに基づいて論理的に述べられているか。					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	イントロダクション マスメディア概論	講義、Reaction Paper	第 1 回授業内容の復習
2	表現の自由とジャーナリズム	講義、Reaction Paper	第 2 回授業内容の復習
3	世論とメディア	講義	第 3 回授業内容の復習
4	社会的コミュニケーションとメディア①： 概論	講義、Reaction Paper	第 4 回授業内容の復習
5	社会的コミュニケーションとメディア②： まとめ (映像学習)	ディスカッション、 Reaction Paper	第 5 回授業内容の復習
6	パーソナルコミュニケーションとメディア	講義	第 6 回授業内容の復習 プレゼンテーションの準備
7	国際コミュニケーションとメディア	講義、Reaction Paper	第 7 回授業内容の復習 プレゼンテーションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	ソーシャルメディアのコミュニケーションとメディア・リテラシー	講義	第1～8回授業内容の復習 プレゼンテーションの準備
9	発表テーマ：マスメディアと世論	プレゼンテーション、 Reaction Paper	プレゼンテーションの準備
10	発表テーマ：マスメディアと戦争	プレゼンテーション、 Reaction Paper	プレゼンテーションの準備
11	発表テーマ：マスメディアと国際社会	プレゼンテーション、 Reaction Paper	プレゼンテーションの準備 期末レポート準備
12	発表テーマ：マスメディアと教育	プレゼンテーション、 Reaction Paper	プレゼンテーションの準備
13	発表テーマ：マスメディアとインターネット	プレゼンテーション、 Reaction Paper	プレゼンテーションの振り返り
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	発表テーマの振り返り、期末レポート提出、 総括	講義	振り返りアンケート調査 まとめ学習

テキスト	特定のテキストを指定しない。講義内容によっては参考書や講義中に紹介する追加の参考書を基に作成したレジュメを配布する。
参考書	春原昭彦・武市武雄 [編] 『ゼミナール 日本のマス・メディア第3版』（日本評論社） 水越伸 『21世紀メディア論』（放送大学大学院教材） 岡満男他編 『メディア学の現在』（世界思想社）

科目名	COM101: 基礎コンピュータ演習				担当教員	坂本 明子		
開講期	春	開講時限	金3限 金4限		研究室	4号館2階 講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-②	
キーワード	コンピュータ、情報リテラシー、情報処理、Office、Word、Excel、PowerPoint							
授業の概要	コンピュータを利用して、情報を収集・処理し、文書にまとめ、プレゼンテーションを行うための基礎的な技法について実習を通じて学ぶ。ネット上におけるマナーや、情報リテラシーについて学ぶ。							
達成目標 (授業の目的)	① タッチタイピングを身につける ② Word、Excel、PowerPoint の基本的な操作を身に着ける ③ 大学生そして社会人として要求される情報リテラシーおよびコンピュータを利用した情報処理の基本を身につける							
到達目標 (学修成果)	① 短時間に正確な入力作業を行うことができる ② Word、Excel、PowerPoint の基本的な機能を用いた資料の作成を行うことができる ③ ネット上におけるセキュリティの意識付けやマナーを身につけ、実践できるようにする							
評価方法	① 授業ごとの演習課題 (合計 10 回) : 30% ② Word を用いたレポートの作成 (総合演習) : 20% ③ Excel を使用したデータ処理 (総合演習) : 30% ④ PowerPoint を使用した資料作成と相互評価 (総合課題) : 20%							
評価基準	① 授業ごとの演習課題: その日の授業内容がどれだけ理解できたか ② レポート作成: 必要な情報を収集し、適切な書式や表現でまとめられているか ③ データ処理: 様々なデータに対して意図した処理が実現できるかどうか ④ プレゼンテーションの相互評価: 集めた情報をもとに資料を作成し、他者にどれだけ伝えることができるかどうか。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle で行う / Loyola / Moodle ・口頭で行う / orally							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	PC の基本操作	解説、PC 実習	実習で使用するアカウント等の準備
2	キーボード操作とタイピング Word による文書作成 (1)	解説、PC 実習	第 2 回授業の演習課題
3	Word による文書作成 (2) 文書の作成、書式設定	解説、PC 実習	第 3 回授業の演習課題
4	Word による文書作成 (3) 表の作成・編集、図の挿入等、総合演習	解説、PC 実習	第 4 回授業の演習課題
5	Excel による表計算 (1) 基本操作	解説、PC 実習	Word のレポート提出
6	Excel による表計算 (2) 相対参照、絶対参照、複合参照	解説、PC 実習	第 6 回授業の演習課題

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Excelによる表計算（3） グラフの作成	解説、PC実習	第7回授業の演習課題
8	Excelによる表計算（4） データベース機能	解説、PC実習	第8回授業の演習課題
9	Excelによる表計算（5） ピボットテーブル機能	解説、PC実習	第9回授業の演習課題
10	Excelによる表計算（6） 総合演習	解説、PC実習	第10回授業の演習課題
11	PowerPointによる資料作成（1） 基本的な操作など	解説、PC実習	第11回授業の演習課題 Excelのレポート提出
12	PowerPointによる資料作成（2） 応用操作	解説、PC実習	第12回授業の演習課題
13	PowerPointによる資料作成（3） 資料作成	解説、PC実習	PowerPointのレポート提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	まとめ（総合演習）	相互評価、PC実習	総合演習の提出

テキスト	『情報リテラシー アプリ編<改訂版>（Windows 10・Office 2016対応）』（FOM出版2018）
------	--



科目名	COM101: 基礎コンピュータ演習				担当教員	津垣 正男	
開講期	秋	開講時限	火4限 金5限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-②	
キーワード	情報処理, 情報リテラシー, Office, Word, Excel, PowerPoint, Html						
授業の概要	大学生として必要最低限のコンピュータスキルを身につけるための演習であり、実際にパソコンを動かしながら PC の基本的な操作と情報リテラシーを学ぶ。具体的にはパソコンの基本(主にタイピング), Word, Excel, PowerPoint の基本的な操作, Html の学習を通じてインターネットの仕組みを学ぶ。						
達成目標 (授業の目的)	① タッチタイピングを身につける。 ② Word, Excel, PowerPoint の基本的な操作を身につける。 ③ Web ページ作成の基礎を身につける。						
到達目標 (学修成果)	① 短時間に正確な入力作業を行うことができる。 ② Word, Excel, PowerPoint の基本的な機能を用いた資料(レポート, 資料の整理, 発表資料)の作成を行うことができる。 ③ シンプルな Web ページを作成することができる。						
評価方法	① タイピング課題(10%) : P 検の無料タイピング練習のインターネット版(ソーシャル投稿非対応)の英語入力を用いた測定を行う。 web サイト : <a href="http://www.pken.com/tool/typing.html">http://www.pken.com/tool/typing.html</a> ② 演習課題(50%) : 毎回の授業においてその回の理解度をはかるための演習課題を課す。また, PowerPoint を用いたプレゼンテーションも行ってもらう。 ③ レポート課題(40%) : 授業を Word, Excel, PowerPoint, Html の単元に分け, 各単元の最後にレポートを課す。						
評価基準	① タイピング課題 : 3分間で正打率 95%以上, 文字数 390 以上を基準とする。 ② 演習課題 : 指示通りに提出ファイルが作成されているかどうかをみる。PowerPoint の実演においては, 発表準備が十分にできているかどうかをみる。 ③ レポート課題 : 指示通りに作成されているかどうかをみる。						
課題等に対する フィードバック方法	・上記以外で行う / other: (メールで行う)						
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	PC (Windows) の基本操作	PC 実習, 解説	アカウントの準備
2	キーボード操作とタイピング : タイピング演習 (1)	PC 実習, 解説	前回内容の復習
3	Word による文章作成 : 基本的な操作方法を学ぶ	PC 実習, 解説	前回内容の復習
4	Word による文章作成 : 総合演習, タイピング演習 (2)	PC 実習, 解説	前回内容の復習
5	Excel による表計算 : 関数の扱い, 相対参照, 絶対参照 など	PC 実習, 解説	Word のレポート提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Excelによる表計算： グラフの作成・複数のシートの操作など	PC実習，解説	前回内容の復習
7	Excelによる表計算： データベースの操作など	PC実習，解説	前回内容の復習
8	Excelによる表計算： ピボットテーブルの操作など，タイピング 演習（3）	PC実習，解説	前回内容の復習
9	PowerPointによる資料の作成： 基本的な操作など	PC実習，解説	Excelのレポート提出
10	PowerPointによる資料の作成： 総合演習，タイピング演習（4）	PC実習，解説	前回内容の復習
11	PowerPointによる資料の作成： プレゼンテーションの実演	PC実習，解説	発表の準備 PowerPointのレポート提出
12	HTMLによるWebページの作成： HTML文章の基本構造を学ぶ	PC実習，解説	前回内容の復習
13	HTMLによるWebページの作成： 画像の挿入，リンクの張り方など	PC実習，解説	前回内容の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	HTMLによるWebページの作成： 総合演習，タイピング演習（5）	PC実習，解説	前回内容の復習 Htmlのレポート提出
テキスト	『学生に役立つ Word & Excel & PowerPoint』（FOM 出版）		

科目名	MTH201: 数学 A			担当教員	津垣 正男	
開講期	秋	開講時限	火 5 限		研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	数学, 適性検査, SPI, 非言語能力, 数的処理					
授業の概要	① 適性検査・SPI において出題される非言語能力 (数学) の演習と課題の解説を行う。 ② 英語で書かれた数学の問題 (中学の内容) の演習と課題の解説を行う。					
達成目標 (授業の目的)	① 適性検査・SPI において必要とされる数学の知識が何であるかを知る。 ② 英語の数学用語に慣れる。					
到達目標 (学修成果)	① 適性検査・SPI の数学の問題を短時間で解くことができるようになる。 ② 中学の範囲までの英語で書かれた数学の問題を解くことができるようになる。					
評価方法	① 毎回の授業での課題 : 60% ② 適性検査・SPI 対策授業内試験 (2回) : 40% 各授業における提出課題については 100 点満点で得点をつける。やむを得ない事情により欠席した場合に限り、後からの演習課題の提出を認める。					
評価基準	① 毎回の課題の評価は「考え方が理解できているかどうか」を重視するので、途中計算と説明の記述を求める。 ② 実際の適性検査・SPI と同様の問題を用いた試験を 2 回行う。ただし、考え方の確認も行うので、途中計算と説明の記述の確認も行う。詳細は初回授業で説明する。					
課題等に対するフィードバック方法	・ Moodle で行う					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	推論	演習, 質疑応答	ノートの準備
2	図形の読み取り, 集合	演習, 質疑応答	ここまでの内容の復習
3	英語での問題演習 : 基本用語の紹介, 多項式, ルートの計算	演習, 質疑応答	配布プリントの予習
4	順列, 組み合わせ	演習, 質疑応答	ここまでの内容の復習
5	確率	演習, 質疑応答	ここまでの内容の復習
6	英語での問題演習 : 2 次方程式, 関数	演習, 質疑応答	配布プリントの予習
7	第 1 回適性検査・SPI 対策授業内試験 試験の解説	試験, 試験の解説	ここまでの内容の復習
8	料金の割引, 損益算, 分割払い, 仕事算	演習, 質疑応答	ここまでの内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	英語での問題演習： 図形に関する問題演習① (相似，合同 等)	演習，質疑応答	配布プリントの予習
10	速さ，距離，時間	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
11	割合，比，代金の清算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
12	英語での問題演習： 図形に関する問題演習② (円，ピタゴラスの定理 等)	演習，質疑応答	配布プリントの予習
13	整数の推測，グラフの領域，物の流れと比率，装置と回路	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	第2回適性検査・SPI 対策授業内試験 試験の解説	試験，試験の解説	ここまでの内容の復習

テキスト	『THE SHIN-CHU-MON mathematics for 9-th grade』（教育開発出版社）
参考書	SPI ノートの会（著）津田秀樹（著）『これが本当の SPI3 だ！』（洋泉社）

科目名	MTH202: 数学 B				担当教員	津垣 正男	
開講期	秋	開講時限	金 4 限		研究室	4号館 2階 講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①	
キーワード	数学, 統計学, 微積分学						
授業の概要	① 統計学とは、大きなデータから一部を抜き取り、その抜き取ったデータの性質を調べることで元の大きなデータの性質を推測する方法を体系化したものである。本授業では大学における統計学の入門コースで学ぶ内容（授業計画参照）を扱う。 ② 高校の数学Ⅱにおける微積分学の基礎的な内容を扱う。						
達成目標 (授業の目的)	① 統計学とは何か、統計学を用いると何ができるようになるのかを知る。 ② 微積分学の基礎計算力を養成することを目標とする。						
到達目標 (学修成果)	① 収集したデータの平均や分散、標準偏差などを計算することでデータの性質を把握することができる。(記述統計) ② 大きなデータから一部を抜き取り、その抜き取ったデータに対し推定・検定の計算をすることで元の大きなデータの性質を把握することができる。(推測統計) ③ 基本的な関数(多項式関数, 指数関数, 対数関数, 三角関数, 逆三角関数)に関する微積分の計算ができる。						
評価方法	① 各回のテーマに関する提出課題: 60% ② 授業内試験 (2回): 40% 各授業における提出課題については100点満点で得点をつける。やむを得ない事情により欠席した場合に限り、後からの演習課題の提出を認める。						
評価基準	① 授業の内容を的確に理解し、記述統計に関するデータの処理を正しく行えるかどうか ② 授業の内容を的確に理解し、推測統計に関するデータの処理を正しく行えるかどうか ③ 授業の内容を的確に理解し、微積分に関する計算を正しく行えるかどうか						
課題等に対するフィードバック方法	・ Moodle で行う						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	統計学: 平均と分散 微積分学: 関数	演習課題の提出, 質疑応答	ノートの準備
2	統計学: 信頼区間 (母分散が既知の場合)	演習, 質疑応答	ここまでの内容の復習
3	微積分学: 指数関数, 対数関数, 三角関数	演習, 質疑応答	ここまでの内容の復習
4	統計学: 信頼区間 (母分散が未知の場合)	演習, 質疑応答	ここまでの内容の復習
5	微積分学: 多項式関数の微分の計算	演習, 質疑応答	ここまでの内容の復習
6	ここまでの内容の復習 第1回授業内試験	演習, 質疑応答	ここまでの内容の復習



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	第1回授業内試験の解説	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
8	統計学：カイ2乗検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
9	微積分学：基本的な関数の微分の計算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
10	統計学：母平均の検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
11	統計学：対応のある平均の差の検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
12	微積分学：基本的な関数の積分の計算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
13	ここまでの演習 第2回授業内試験	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	第2回授業内試験の解説	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習

テキスト	向後千春／富永敦子 著『統計学がわかる』（技術評論社）
参考書	宮川公男 著『基本統計学』（有斐閣） 小島寛之 著『完全独習 統計学入門』（ダイヤモンド社）

科目名	PSY201: 心理学 A			担当教員	眞田 英弥	
開講期	春	開講時限	木4限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	心理学、認知心理学、教育心理学、発達心理学、精神的健康、社会科学					
授業の概要	心理学と一口に言っても、細かく見ると様々な領域に分かれます。本講義では、複数の領域を概観しながら、心の仕組みや働きについて理解を深められるように授業を進めます。基本的には講義形式ですが、テーマによっては、理解を深めるために視聴覚教材を使用したり、イメージを掴めるよう、学生のみなさんに簡単なアンケートに回答したりしてもらい、その回答を授業内で紹介します（授業で紹介してもよいと回答した人の回答のみを紹介します）。					
達成目標 (授業の目的)	心理学の様々な分野では、それぞれ異なるレンズを通して研究がなされています。それぞれの分野で、どのようなレンズで世界を見ているのか、体感し、学生のみなさんが日常的な場面に応用できるようになることを目標としています。					
到達目標 (学修成果)	①心理学の諸分野のレンズによる見え方の違いを理解することができる ②心理学で学んだレンズを、日常的な人の行動や心に応用して考えることができる					
評価方法	①毎授業のリアクションペーパー：50% ②レポート課題2回：50%					
評価基準	①学んだ心理学のレンズを踏まえながら、質問・疑問・感想をまとめることを通して、授業に積極的に参加しているかどうか ②学んだ心理学のレンズを、日常的な人の行動や心に適切に応用して記述できているかどうか					
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally					
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション 授業の進め方、心理学のイメージを掴む	講義、質疑応答、リアクションペーパー	Moodle 登録
2	心理学の考え方 心理学史と研究方法	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
3	認知心理学 (1) 感覚、知覚の仕組み	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
4	認知心理学 (2) 思考、推論とバイアス	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
5	認知心理学 (3) 学習	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
6	教育心理学 (1) 記憶、学習	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
7	教育心理学 (2) 教授法、学習支援	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第1回～第7回の復習
8	教育心理学 (3) 動機づけ、モチベーション	講義、質疑応答、リアクションペーパー	レポート作成とアンケート回答

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	発達心理学（1） 乳幼児期の発達、レポートの解説	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
10	発達心理学（2） 生涯発達	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
11	発達心理学（3） 発達の多様性	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
12	精神的健康 メンタルヘルスとストレス	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第8回～第12回の復習
13	精神的健康 幸福	講義、質疑応答、リアクションペーパー	レポート作成と授業全体の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	全体のまとめ、レポートの解説、質疑応答、補足	講義、質疑応答、リアクションペーパー	授業全体の振り返り

テキスト	指定しない。授業に関連する資料を Moodle に掲載する。
参考書	長谷川寿一他『はじめて出会う心理学 第3版』（有斐閣）

科目名	PSY201: 心理学 A				担当教員	佐藤 那美		
開講期	秋	開講時限	火3限		研究室	4号館2階 講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①	
キーワード	心理学の歴史、心理学研究法、パーソナリティ心理学、社会心理学、臨床心理学							
授業の概要	心理学の主要な領域を概観し、心理学の成り立ちや人を理解するための手法を知ることと、人の心の働きについて、実社会と結び付けて理解していくための授業です。テーマについて、身近に感じられるよう視聴覚教材やワークを利用しながら、講義を行っていきます。							
達成目標 (授業の目的)	心理学についての基本的な考え方や、人の心を理解する方法、社会場面における人の心の働きについて理解し、心理学的視点に基づいた考察ができるようになることを目標としています。							
到達目標 (学修成果)	①心理学の専門用語や概念、理論の知識を理解することができる。 ②心理学の専門知識を踏まえたうえで、実社会における個人や集団、現象について考察することができる。							
評価方法	①レポート課題 2 回 : 60% ②平常点 (毎授業時のリアクションペーパー、授業態度、ワークの取り組み具合) : 40%							
評価基準	①レポート課題 ・授業時に説明した心理学の用語や概念、理論について正しく理解しているか。 ・社会で起こっている出来事や、自身の経験、身近な他者を関連付けながら授業内容を理解し、自分なりの考察を示すことができているか。 ②平常点 ・リアクションペーパーでは、毎授業ごとの講義内容に沿って、自分自身の経験と紐づけたり、自分なりの考察ができるか。 ・自分なりに疑問を抱いたり、新しい視点を持ったりするなど授業への参加度はどうか。							
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション：授業の進め方の説明 心理学の概要	講義、リアクションペーパー	Moodle 登録、心理学の歴史について予習
2	心理学の歴史と研究法 人の心の調べ方	講義、リアクションペーパー	前回の授業の復習、性格分類について予習
3	パーソナリティ心理学① 性格の分類、占いとの違い、血液型分類	講義、リアクションペーパー	前回の授業の復習、性格の成り立ちについて予習
4	パーソナリティ心理学② 気質と性格	講義、リアクションペーパー	前回の授業の復習、記憶のメカニズムを調べる
5	知覚と認知の心理学 身体と心の関係、記憶	講義、リアクションペーパー	前回の授業の復習、集団心理について、事例を考える
6	社会心理学① 集団の意思決定、社会現象	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業の復習、集団心理について事例を考える

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	社会心理学② 消費者の心理と犯罪	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業の復習、恋愛心理の事例を考える
8	社会心理学③ 対人関係と恋愛	講義、リアクションペーパー	前回の授業の復習、第1～8回授業のレポート作成
9	臨床心理学① 臨床心理とは、精神疾患、治療	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業の復習、発達障害について予習
10	臨床心理学② 発達障害とその支援	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業の復習、挫折の意味についてまとめておく
11	臨床心理学③ 挫折と向き合う心理学	講義、リアクションペーパー	前回の授業の復習、アイデンティティについて予習
12	臨床心理学④ 映画を分析する	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業の復習、幸福とはどのような状態かについてまとめておく
13	ポジティブ心理学 幸福・希望とは	講義、リアクションペーパー	第9～13回授業について復習、レポート作成の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	授業のまとめと振り返り	講義、リアクションペーパー	第1～13回のまとめと振り返り

テキスト	指定しない。授業に関する資料を Moodle に掲載する。
参考書	小塩真司『はじめて学ぶパーソナリティ心理学』（ミネルヴァ書房） 喜岡恵子・北村英哉・桐生正幸・大久保暢俊『気づきと実践の社会心理学』（日科技連） 橋本和幸『第3版 専門職のための臨床心理学基礎』（ムイスリ出版）
その他特記事項	将来の自分像と照らし合わせながら、前向きな姿勢で受講することを期待します。



科目名	PSY202: 心理学 B			担当教員	眞田 英弥	
開講期	春	開講時限	木 5 限		研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	社会・パーソナリティ心理学、感情、合理性、社会科学					
授業の概要	私たちヒトは、社会の中で他者と関わりながら生きています。この授業では、他者と関わるヒトの心や行動について理解を深められるように授業を進めます。基本的には講義形式ですが、テーマによっては、理解を深めるために視聴覚教材を使用したり、イメージを掴めるよう、学生のみなさんに簡単なアンケートに回答したりしてもらい、その回答を授業内で紹介します (授業で紹介してもよいと回答した人の回答のみを紹介します)。					
達成目標 (授業の目的)	社会・パーソナリティ心理学では、様々な考え方に基づいて、研究がなされています。それぞれのレンズで、どのように世界が見えるのか、学生のみなさんが体感し、日常的な場面に応用できることを目標としています。					
到達目標 (学修成果)	①社会・パーソナリティ心理学のレンズごとの見え方の違いを理解することができる ②社会・パーソナリティ心理学のレンズを、日常的な人の行動や心に応用して考えることができる					
評価方法	①毎授業のリアクションペーパー : 50% ②レポート課題 2回 : 50%					
評価基準	①学んだ社会・パーソナリティ心理学のレンズを踏まえながら、質問・疑問・感想をまとめることを通して、授業に積極的に参加しているかどうか ②学んだ社会・パーソナリティ心理学のレンズを、日常的な人の行動や心に適切に応用して記述できているかどうか。社会・パーソナリティ心理学の知見を基に、自らの考えを発展させてまとめることができているかどうか					
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション 授業の進め方、心理学のイメージを掴む	講義、質疑応答、リアクションペーパー	Moodle 登録
2	他者と交わる コミュニケーション	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
3	他者を見る 対人認知・偏見	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
4	集団の中で生きる 集団	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
5	他者と協力する 協力	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
6	態度と社会 態度、態度変化	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 1 回～第 6 回までの授業の復習
7	性格とは何か パーソナリティの捉え方、分類、測定	講義、質疑応答、リアクションペーパー	レポート作成とアンケート回答

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	性格とは何か パーソナリティの理論、BIG5	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
9	たった一人を捉える パーソン・オリエンテッド・アプローチ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
10	道徳性の心理学 道徳性、道徳性の個人差	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
11	感情とは何か 感情の理論	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
12	感情は要らぬものか 感情の合理性・機能性、脳、脳損傷	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第7回～第12回までの授業の復習
13	感情のコントロール 感情制御	講義、質疑応答、リアクションペーパー	レポート作成と授業全体の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	全体のまとめ、レポートの解説、質疑応答、補足	講義、質疑応答、リアクションペーパー	授業全体の振り返り

テキスト	指定しない。授業に関連する資料を Moodle に掲載する。
参考書	杉浦義典（編）『感情・人格心理学（公認心理師の基礎と実践）』（遠見書房） 山田一成他（編）『よくわかる社会心理学（やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ）』（有斐閣）

科目名	PSY202: 心理学 B				担当教員	佐藤 那美	
開講期	秋	開講時限	火 4 限		研究室	4号館 2階 講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①	
キーワード	生涯発達、乳幼児期の発達、愛着						
授業の概要	人の生涯における発達についての知識を修得し、子どもの発達を捉える視点、生涯における発達を見通す視点について理解することを目指します。具体的には、乳児期から老年期までの発達の特徴や各ステージにおける課題等について、講義や視聴覚教材、個人ワーク等を通して学んでいきます。						
達成目標 (授業の目的)	発達心理学の基本的な用語の理解、発達に関する概念や理論についての知識を修得し、人の発達のメカニズムやプロセスについて理解することが目的です。またそのことにより、子どもの発達を理解すると同時に、自身のこれまでの出来事を理解し、将来へ見通しを持ち生活に生かすことを目標とします。						
到達目標 (学修成果)	①人の発達のメカニズムやプロセスを理解し、人の発達を捉える視点を持てるようになる。 ②子どもの発達的特徴について理解し、行動背景について発達の視点から説明できるようになる。 ③生涯発達の視点を持ち、自分自身のこれまでと照らし合わせて理解したうえで、これからの展望することに役立てることができる。						
評価方法	①レポート課題 2 回 : 60% ②平常点 (毎授業におけるリアクションペーパー、授業態度、ワークの取り組み具合等) : 40%						
評価基準	①レポート課題 ・授業時に説明した発達の用語や概念、理論について正しく理解しているか。 ・自身の経験や身近な他者を関連付けながら授業内容を理解し、自分なりの考察を示すことができているか。 ②平常点 ・リアクションペーパーでは、毎授業ごとの講義内容に沿って、自分自身の経験と紐づけたら、自分なりの考察ができるか。 ・自分なりに疑問を抱いたり、新しい視点を持ったりするなど授業への参加度はどうか。						
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション：授業の進め方の説明 生涯発達心理学とは？	講義、個人ワーク、リアクションペーパー	Moodle 登録、発達のイメージについて考える
2	発達を捉える視点① 遺伝と環境、初期経験の重要性、環境	講義、リアクションペーパー、事例提供	前回の授業について復習、発達のプロセスを予習
3	発達を捉える視点② 発達のメカニズム・プロセス、発達段階	講義、リアクションペーパー	前回の授業について復習、子どもの身体発達の予習
4	子どもの発達過程① 乳幼児期の身体発達・運動機能の発達	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業について復習、子どもの言語発達の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	子どもの発達過程② 乳幼児期の言語発達	講義、視聴覚教材、リ アクションペーパー	前回の授業について復習、子 どもの情動発達の予習
6	子どもの発達過程③ 乳幼児期の気質と情動発達	講義、視聴覚教材、リ アクションペーパー	前回の授業について復習、子 どもの認知発達の予習
7	子どもの発達過程④ 乳幼児期の認知発達	講義、視聴覚教材、リ アクションペーパー	前回の授業について復習、発 達における愛着の予習
8	子どもの発達過程⑤ 基本的信頼感および愛着形成	講義、視聴覚教材、リ アクションペーパー	前回の授業について復習、第 1～8回のレポートの作成
9	青年期の発達過程 発達課題、恋愛、アイデンティティ獲得	講義、視聴覚教材、リ アクションペーパー	前回の授業について復習、成 人期の社会的課題を考える
10	成人期の発達過程 発達課題、結婚、世代継承性	講義、視聴覚教材、リ アクションペーパー	前回の授業について復習、老 年期の社会的課題を考える
11	老年期の発達過程 発達課題、人生の統合	講義、視聴覚教材、リ アクションペーパー	前回の授業について復習、父 親の育児参加について予習
12	子育て環境について 子育てにまつわる謎とイクメン	講義、視聴覚教材、リ アクションペーパー	前回の授業について復習、発 達障害について予習
13	発達をつまづきについて 発達障害の特徴と支援	講義、視聴覚教材、リ アクションペーパー	第9回～第13回授業について 復習、レポート作成準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	全体のまとめと振り返り	講義、視聴覚教材、リ アクションペーパー	第1回～第13回授業について まとめと振り返り

テキスト	指定しない。授業に関連するレジュメおよび補足資料は Moodle に掲載する。 ※場合によっては当日資料配布する。
参考書	・鈴木忠・飯牟礼悦子・瀧口のぞみ『生涯発達心理学』（有斐閣アルマ） ・谷田貝公昭監修・藤田久美・瀧口綾編『保育士を育てる②子ども家庭支援の心理学』（一藝社）
その他 特記事項	将来の自分像と照らし合わせながら、前向きな姿勢で受講することを期待します。

科目名	PED100: 体育理論 (ウェルネスと身体)			担当教員	柳田 一磨	
開講期	春/秋	開講時限	金2限 金3限	研究室	4号館2階 講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-③
キーワード	健康、スポーツ、身体構造					
授業の概要	ウェルネスとは、健康を身体のみならず、より広範な視点で捉えた健康観である。ウェルネスの観点から豊かな生涯を送るために、健康と身体についての基礎知識を学び、自らの健康と周囲の人の身体に向き合い、行動する方法について学ぶ。					
達成目標 (授業の目的)	健康の保持・増進に必要な基礎的知識を獲得することで、自らの健康観の構築および生活習慣の改善を目指し、身体および運動に関する知識と理解を深めることを目的とする。					
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの健康に関する問題を発見・整理できるようになる</li> <li>・ウェルネスの観点から豊かな生活を送るために、講義で得た知識を日常生活に取り入れ、周囲にも伝えられるようになる</li> </ul>					
評価方法	①授業への積極的参加：20% ②リアクションペーパー：20% ③期末プレゼンテーション：25% ④確認テスト：35%					
評価基準	①授業への積極的参加 授業の出席態度、発言、ディスカッションでの積極性 ②リアクションペーパー 授業内容を理解し、自らの考察を踏まえて記述されているか ③期末プレゼンテーション 授業で学んだことに加えて、独自の考察がなされているか 問題提起、解説、結論が明確に述べられているか ④確認テスト 授業内容を理解し、知識として身につけているか 自らの考えや意見を記述できているか ※②～④いずれも研究倫理に反する場合は0点となる					
課題等に対する フィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	ガイダンス、ウェルネスとは何か (授業概要の説明)	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	シラバスと配布資料の確認
2	心の健康	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
3	健康と運動の関わり① (運動が健康に及ぼす影響)	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
4	健康と運動の関わり② (体組成の考え方)	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	骨と筋肉、トレーニング	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
6	健康と栄養の関わり	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
7	座位行動と健康	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
8	ドーピング、薬物乱用	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
9	平均寿命と健康寿命	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
10	世界の健康・スポーツ事情① (気候と健康)	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
11	世界の健康・スポーツ事情② (経済状況と健康)	講義・ディスカッション・ リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
12	期末プレゼンテーション	ディスカッション	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
13	課題の解説と確認テスト	講義・記述試験	課題の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	試験の返却および解説、総括	講義・ リアクションペーパー	全授業の振り返り

テキスト	指定しない 教員が新聞記事や下記参考書をもとにした資料を配布する。
参考書	深代千之ほか著『スポーツでのばす健康寿命』（東京大学出版会）
その他 特記事項	自らの健康のみならず、多くの人々が健康的な生活を送られるよう、知識を活かし行動できることを目指して授業に臨んでほしい。



科目名	PED113: 体育 A				担当教員	若松 健太		
開講期	春/秋	開講時限	火 2 限		研究室	4号館 2階 講師控室		
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-③	
キーワード	体育、健康、スポーツ							
授業の概要	本授業は、ラケットやバットなど道具操作を伴うスポーツを中心とした実技授業である。健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び目的に応じた方法を理解することで、生涯にわたってスポーツや運動を親しむための資質や能力を育む。また、「体育理論（ウェルネスと身体）」の講義内容と併せることで、自らの健康の維持および増進、生活習慣病に関する理解を深める。							
達成目標 (授業の目的)	スポーツをする上で重要となる種目の専門性に応じた競技特性を学び、スポーツおよび運動を通じて豊かなスポーツライフを継続するために必要な資質や能力を高める。また協同学習を通じてコミュニケーションスキルやリーダー&フォロワーシップの重要性を考え、創意工夫するとともに、運動技能の習熟に合わせてより優れた状態を目指すことを目的とする。							
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体調を管理して万全な状態で授業に臨み、周囲の環境に応じて行動をとることができる。</li> <li>・ 授業に対して目標や目的を明確にして学びを深めることができる。</li> <li>・ 健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解することができる。</li> <li>・ 運動技能の習熟とともに、より優れた状態を目指して努力することができる。</li> <li>・ 設定された課題をもとに、自身の態度、行動、発言に加えて、自身のこころと身体の変化に関して振り返ることができる。</li> </ul>							
評価方法	①授業への積極的参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性 40%</li> <li>・ 協調性 40%</li> </ul> ②体育実技能力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技能習得への向上心、創意工夫 20%</li> </ul>							
評価基準	①授業への積極的参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性 運動に適した服装で受講し、ウォーミングアップ・クーリングダウンを行い健康管理に努めることができる。また準備・後片付けなど円滑な授業運営に対し積極的に行動することができる。</li> <li>・ 協調性 仲間とのコミュニケーションやリーダー&amp;フォロワーシップの重要性を考え、行動することができる。</li> </ul> ②体育実技能力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技能習得への向上心、創意工夫 運動技能習熟とともにより優れた状態を目指して努力することができる。また運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解し創意工夫することができる。</li> </ul>							
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口頭で行う／orally</li> </ul>							
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス (授業概要、注意事項、評価基準の説明)	ペアワーク グループワーク	シラバスを熟読、資料にて授業内容を復習する。
2	競技全般 (体力技術スキルチェック)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
3	バドミントン① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
4	バドミントン② (応用ルール、応用動作、ゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
5	バドミントン③ (シングルス・ダブルスゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
6	テニス① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
7	テニス② (応用ルール、応用動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
8	卓球① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
9	卓球② (応用ルール、応用動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
10	卓球③ (シングルスゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
11	卓球④ (ダブルスゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
12	ベースボール① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
13	ベースボール② (応用ルール、応用動作、ゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	総復習（各種競技）	ペアワーク グループワーク	半期すべての授業内容を復習し、今後の生活について考察する。

テキスト	資料を適宜配布する。
参考書	東根明人『コーディネーション運動 ボール運動編』（明治図書） 池田延行『すぐ使える体ほぐしの運動 136 選』（明治図書）
履修条件、前提科目	履修条件：体を動かすことに興味があり、授業ルールを守ることができること。
その他特記事項	スポーツウェア、スポーツシューズを必ず着用すること。 天候や様々な状況などによりスポーツ種目に変更になる場合がある。

科目名	PED114: 体育 B				担当教員	若松 健太		
開講期	春/秋	開講時限	火 3 限		研究室	4号館 2階 講師控室		
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-③	
キーワード	体育、健康、スポーツ							
授業の概要	本授業は、大小様々なボール操作を伴うネット型およびゴール型スポーツを中心とした実技授業である。健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び目的に応じた方法を理解することで、生涯にわたってスポーツや運動を親しむための資質や能力を育む。また、「体育理論 (ウェルネスと身体)」の講義内容と併せることで、自らの健康の維持および増進、生活習慣病に関する理解を深める。							
達成目標 (授業の目的)	スポーツをする上で重要となる種目の専門性に応じた競技特性を学び、スポーツおよび運動を通じて豊かなスポーツライフを継続するために必要な資質や能力を高める。また協同学習を通じてコミュニケーションスキルやリーダー&フォロワーシップの重要性を考え、創意工夫するとともに、運動技能の習熟に合わせてより優れた状態を目指すことを目的とする。							
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調を管理して万全な状態で授業に臨み、周囲の環境に応じて行動をとることができる。</li> <li>・授業に対して目標や目的を明確にして学びを深めることができる。</li> <li>・健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解することができる。</li> <li>・運動技能の習熟とともに、より優れた状態を目指して努力することができる。</li> <li>・設定された課題をもとに、自身の態度、行動、発言に加えて、自身のこころと身体の変化に関して振り返ることができる。</li> </ul>							
評価方法	①授業への積極的参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性 40%</li> <li>・協調性 40%</li> </ul> ②体育実技能力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能習得への向上心、創意工夫 20%</li> </ul>							
評価基準	①授業への積極的参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性 運動に適した服装で受講し、ウォーミングアップ・クーリングダウンを行い健康管理に努めることができる。また準備・後片付けなど円滑な授業運営に対し積極的に行動することができる。</li> <li>・協調性 仲間とのコミュニケーションやリーダー&amp;フォロワーシップの重要性を考え、行動することができる。</li> </ul> ②体育実技能力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能習得への向上心、創意工夫 運動技能習熟とともにより優れた状態を目指して努力することができる。また運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解し創意工夫することができる。</li> </ul>							
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭で行う/orally</li> </ul>							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス (授業概要、注意事項、評価基準の説明)	ペアワーク グループワーク	シラバスを熟読、資料にて授業内容を復習する。
2	競技全般 (体力技術スキルチェック)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
3	ソフトバレーボール① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
4	ソフトバレーボール② (応用ルール、応用動作、ゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
5	バレーボール① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
6	バレーボール② (応用ルール、応用動作、ゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
7	バスケットボール① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
8	バスケットボール② (応用ルール、応用動作、ゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
9	バスケットボール③ (ゲーム中心)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
10	ベースボール① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
11	ベースボール② (応用ルール、応用動作、ゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
12	他のボール型・ネット型競技① (基本的ルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
13	他のボール型・ネット型競技② (応用ルール、応用動作、ゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	総復習（各種競技）	ペアワーク グループワーク	半期すべての授業内容を復習し、今後の生活について考察する。

テキスト	資料を適宜配布する。
参考書	東根明人『コーディネーション運動 ボール運動編』（明治図書） 池田延行『すぐ使える体ほぐしの運動 136 選』（明治図書）
履修条件、前提科目	履修条件：体を動かすことに興味があり、授業ルールを守ることができること。
その他特記事項	スポーツウェア、スポーツシューズを必ず着用すること。 天候や様々な状況などによりスポーツ種目に変更になる場合がある。

科目名	REL210: キリスト教文化入門			担当教員	小林 宏子		
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4204		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	1,4	キリスト教ヒューマンイズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				1-①, 4-②	
キーワード	聖書、イエス・キリスト、神の愛、典礼音楽、シンボル、海外宣教、聖人、宗教間対話						
授業の概要	複数講師による輪講形式でキリスト教文化の諸相を概観する。イエスは何を語り、何を行ったのか、そのイエスがキリストであると信じる人々の信仰理解と表現がどのような思想、行動様式、生活習慣を生み出し、社会や歴史に影響を及ぼしてきたのかについて学ぶ。現在も世界の人々に様々なインスピレーションを与えているキリスト教文化を多面的に考察する。						
達成目標(授業の目的)	キリスト教とはどのようなことを目指している宗教であるのかを正しく理解するとともに、そのキリスト教が世界の歴史的出来事や社会、文化、芸術から受けた影響と与えた影響について幅広い関心を持って理解し、自ら考察を進め、その結果を現代文化と関連づけて論じることができるようになることを目標とする。						
到達目標(学修成果)	テキスト及び授業を通して、非キリスト教徒であっても教養として理解しておくことが望ましいキリスト教文化の知識、及び、信者以外の人々はあまり知ることのない教会活動の習慣や行動様式を学ぶことを通して、その文化的表現の内容について自分自身の視点や見解を論理的に記述できるようになる。また、キリスト教文化に関する項目の中から自らの選んだテーマについて研究成果を論述し、わかりやすく口頭発表できるようになる。						
評価方法	①リアクションペーパー (2%×24回=48%) ②復習課題 (4%×3=12%) ③期末レポート (25%) と研究発表 (15%)						
評価基準	①リアクションペーパー：授業を正しく理解し学んだことの要点をまとめ、自分の関心や問題意識を反映させた見解を論理的に記述できているか。 ②復習課題：準備学修として読むテキストと授業で扱った内容を正しく理解しているか。 ③期末レポート：授業で扱った分野に関するテーマについて、最低一冊の参考文献を読んだ上で自分なりの問いを提起し、文献の内容と自分の考えを区別しながら、2,500字程度の小論文にまとめられるかどうか。また、その期末レポートの成果を、指定された時間内に分かりやすくまとめて口頭発表できるかどうか。						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms						
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	ガイダンス：講義内容と課題 ユダヤ教とキリスト教	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキストはじめに-p.18の予習
2	ナザレのイエス(1) イエスの生涯と福音書	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.18-38の予習
3	ナザレのイエス(2) 律法学者との対立、イエスの死	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.38-58の予習
4	キリスト教の歴史(1)キリスト教の成立とローマ帝国下での迫害	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.60-92の予習
5	キリスト教と音楽(1) 神の民の賛美と教会音楽	講義・意見交換、復習課題①	テキスト pp.1-92の復習
6	キリスト教の歴史(2)キリスト教の国教化と教会の分裂	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.93-108, 111-125の予習
7	キリスト教と音楽(2) 典礼音楽と楽譜の関わり	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.71-92の復習



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	キリスト教の典礼、ミサ聖祭・教会の暦	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.59-76 の復習、pp.133-138 の予習
9	キリスト教のシンボル・美術	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.116-125 の復習
10	修道生活の成立と修道院の文化的貢献	講義・意見交換、復習課題②	テキスト pp.108-115 の復習 pp.128-146 の予習
11	カトリック教会の法律 (1) バチカンとローマ教皇	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.128-139 の復習
12	キリスト教と哲学 (1) 知解を求める信仰とその系譜	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.156-176 の予習
13	カトリック教会の法律 (2) 公会議と教会法	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.139-154 の予習
14	キリスト教と哲学 (2) 真理への愛 エディット・シュタインの思想と生涯	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.139-154 の復習
15	カトリックとプロテスタント	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.178-206 の復習 pp.206-220 の予習
16	キリスト教ヒューマニズム (1) 東西の文化交流 (マテオ・リッチの影響)	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.139-154 の復習 pp.178-206 の予習
17	キリスト教ヒューマニズム (2) 19世紀の中国思想に対するキリスト教の影響	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.199-220 の復習
18	キリスト教の倫理 (1) いのちの倫理	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.18-38 の復習
19	聖マリアへの信心と祭り	講義・意見交換、復習課題③	テキスト pp.139-145, 169-172 の復習
20	キリスト教の倫理 (2) 平和への歩み	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.108-111, 145-146 の復習
21	エキュメニズム運動の歴史と現在	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.156-176, 206-220 の復習
22	キリスト教と仏教 (1) <十牛図>に見る己事究明	講義・意見交換、リアクションペーパー	期末課題の準備
23	キリスト教と仏教 (2) 宗教とは何か<問われた者>として生きる	講義・意見交換、リアクションペーパー	期末課題の準備
24	時代の必要に応えた人びと (1) アシジの聖フランチェスコ	講義・意見交換、リアクションペーパー	期末課題の提出
25	時代の必要に応えた人びと (2) コルカタの聖テレサ研究発表	発表と講評、リアクションペーパー	研究発表の準備
26	研究発表 (1)	発表と講評、リアクションペーパー	研究発表の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	研究発表 (2)	発表と講評、リアクションペーパー	研究発表の準備
28	キリスト教と現代、講評	発表と講評、リアクションペーパー	テキスト pp.221-236 の予習

テキスト	山我哲雄『キリスト教入門』（岩波ジュニア新書）
参考書	越川弘英『キリスト教史の学び（上）』（キリスト教新聞社） 越川弘英『キリスト教史の学び（下）』（キリスト教新聞社）
その他特記事項	講師の都合により授業内容及び順序に変更が生じる可能性がある。



科目名	IDS210: 異文化間コミュニケーション			担当教員	C. Oliver	
開講期	春	開講時限	火金3限	研究室	4205	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-②
キーワード	intercultural communication, linguistics, social psychology, anthropology, critical thinking					
授業の概要	This course provides an introduction to intercultural communication as an area of study. Readings and lectures will cover basic definitions, concepts, and issues related to intercultural communication. As regular homework, students will keep a record of their own intercultural communication experiences. We will also carry out one lengthy intercultural simulation in class. Lectures, readings, homework, and tests for this course will be in English.					
達成目標 (授業の目的)	Students will learn to understand “intercultural communication” (ICC) using concepts coming from linguistics, social psychology, and anthropology; to describe and analyze their own experiences of ICC; and to think critically about ICC in relation to problems in modern societies.					
到達目標 (学修成果)	By the end of the semester, students will be able to understand key concepts related to ICC drawn from linguistics, social psychology, and anthropology and how they apply to specific examples; factually describe their own recent experiences of ICC and relate those experiences to concepts discussed in class; and explain, in writing, ways in which specific situations of ICC found in the world today are related to broader social and historical contexts and issues.					
評価方法	Participation 20%, Homework 40%, Tests 40%.					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>Participation: active participation in everyday class activities, including lectures and discussions; responses in in-class writing activities that demonstrate engagement with class content.</li> <li>Homework: submitted on time and according to instructions, thoroughly completed, provides factual description where required, demonstrates appropriate application of concepts covered in class. Homework may not be submitted more than 2 weeks after the due date.</li> <li>Tests: demonstrate ability to understand key concepts related to ICC and how they apply to specific examples, demonstrate ability to explain ways that specific situations of intercultural communication are related to broader social and historical contexts and issues.</li> </ul>					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course overview	lecture	Read course syllabus thoroughly, review class notes
2	Defining intercultural communication	lecture, pair work	Read p. 34, review syllabus & class notes
3	“Culture” in intercultural communication	lecture, pair work	Read pp. 9-10, 12-13; skim pp. 13-27; review class notes
4	Features of human communication: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71; review class notes
5	Features of human communication: meaning and context	lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71; review class notes
6	Communication and language: language and thought	lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; read pp. 77-79, 83

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	Communication and language: aspects of meaning	lecture, pair work	Read pp. 77-79, 83; review class notes
8	Non-verbal communication: silence	lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
9	Non-verbal communication: functions	lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
10	Edward T. Hall: the first interculturalist	lecture, pair work	Read pp. 49-50, 56, 96, 133; Write "ICC Experience" HW
11	Stereotypes: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 152-153; review class notes
12	Stereotypes: aspects and effects	lecture, pair work	Read pp. 152-153; review class notes
13	Values: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 16-19, 42-49; review class notes
14	Values: kinds of values	lecture, pair work	Write "ICC Experience" HW & "values" HW
15	Culture shock: definition, symptoms, varieties	lecture, pair work	Read pp. 158-165; review class notes
16	Communication "events": basic concepts; preparation for Test #1	lecture, pair work	Write "culture shock" homework; review class notes
17	Review; Test #1	lecture, written exam	Study for test
18	Empathy and understanding others	lecture, pair work	Write "ICC Experience" homework; review class notes
19	Intercultural training: principles and methods	pair work, lecture	Read Ch. 16, especially pp. 186-187; review class notes
20	Intercultural simulation: do in class	small-group discussion	Read handouts about simulation
21	Intercultural simulation: follow-up discussion	small-group discussion, lecture	Review class notes
22	Social and historical contexts of intercultural communication: Quebec	lecture, pair work	Write "ICC Experience" homework; review class notes
23	Social and historical contexts of intercultural communication: U.S. South	lecture, pair work	Review class notes
24	Return Test #1 and go over results; preparation for Test #2	lecture, pair work	Review textbook pages covered, handouts, class notes
25	Social and historical contexts of intercultural communication: American Indians	lecture, pair work	Review class notes
26	Practical implications for the study of ICC; paths toward better understanding of others	lecture, small-group discussion	Write "ICC Experience" homework; review class notes
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Review; Test #2	lecture, written exam	Study for test
28	Return Test #2 and go over results; semester recap, including course evaluation	lecture, small-group discussion	Write "ICC Experience" homework

テキスト	Hidasi Judit. <i>Intercultural Communication: An Outline</i> (三元社).
参考書	石井 敏, 久米 昭元, 長谷川 典子, 桜木 俊行, & 石黒 武人『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション』(有斐閣)
その他特記事項	Lectures, readings, homework, and tests for this course will be in English.

科目名	LIT201: 英文学概論			担当教員	飯田 純也	
開講期	春/秋	開講時限	火金3限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-②
キーワード	物語、聖書、思想史、エンディング、パラブル、歴史、社会、政治経済、貧困、暴力、女性					
授業の概要	文学の裾野を広げ、広義の物語を通して人間と社会の関係性を研究する。物語の意義は問題提起にある。提起される問題は複数の学問領域に横断的に関わる。授業では、英語圏を代表する小説を取り上げ、現代とのかかわりで、物語が描く人間と社会を批判的に分析する。小論文と期末レポートを書くためには、準備学習と授業を通してまとめられたノートが重要になる。					
達成目標 (授業の目的)	物語論の視点から、文学研究の意義と方法を学び、文学研究を通じて英語文化圏の歴史や社会を理解し、同時に文化を批判的に見る視座を獲得することを目標とする。さらに、毎回の講義内容を基に、自らの意見を事前配布資料と照らし合わせながら、小論文にまとめる能力を身につける。					
到達目標 (学修成果)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語文化圏を代表する文学作品を物語として分析、批判、評価することができる</li> <li>2. 作品が描く歴史的・社会的問題や課題を理解することができる</li> <li>3. 作品で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる</li> <li>4. 問題意識をもって文学作品を見る習慣ができる</li> <li>5. 議論をまとめる能力を身につけることができる</li> </ol>					
評価方法	①小論文（5回提出で計40%）では作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか。②定期試験（30%）では何が問題か理解できているか、問題を分析的・批判的に、根拠を示し自分のことばで論述できるか。③シャトルカード（計30%）では問題意識をもって文学作品を見る習慣ができているか。					
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。					
課題等に対する フィード バック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う</li> <li>・口頭で行う</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する</li> </ul>					
準備学修 の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業紹介 ジャンルではなく物語 研究倫理の説明	講義、質疑応答、ペア ワーク	課題 DVD の入手先を検討、 入手困難のとき応相談
2	物語論：エンディングは問題提起（1） <i>Citizen Kane</i> (1941 movie)	講義、質疑応答、ディ スカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下 調べ、筋と要点をノート
3	物語論：エンディングは問題提起（2） <i>Black Orpheus</i> (1959 movie)	講義、質疑応答、ディ スカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下 調べ、筋と要点をノート
4	物語論：エンディングは問題提起（3） <i>A Man and a Woman</i> (1966 movie)	講義、質疑応答、ディ スカッション	小論文 No. 1 の準備（提出は 次回授業時）
5	聖書と文学 パラブルとは何か	講義、質疑応答、ディ スカッション	課題資料下調べ、筋と要点を ノート
6	聖書のパラブル アブサロム（サミュエル記下）	講義、質疑応答、ディ スカッション	課題資料下調べ、筋と要点を ノート
7	聖書のエンディング 預言書	講義、質疑応答、ディ スカッション	課題資料下調べ、筋と要点を ノート
8	暴力を繰り返す社会のパラブル <i>Romeo and Juliet, Tristan and Isolde</i>	講義、質疑応答、ディ スカッション	小論文 No. 2 の準備（提出は 次回授業時）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	作品研究 <i>A Passage to India</i> (1) 分析の手がかり	講義、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
10	作品研究 <i>A Passage to India</i> (2) 討論	質疑応答、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
11	作品研究 <i>Vanity Fair</i> (1) 分析の手がかり	講義、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
12	作品研究 <i>Vanity Fair</i> (2) 討論	質疑応答、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
13	作品研究 <i>Tess of the d'Urbervilles</i> (1) 分析の手がかり	講義、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
14	作品研究 <i>Tess of the d'Urbervilles</i> (2) 討論	質疑応答、ペアワーク、ディスカッション	小論文 No. 3 の準備(提出は次回授業時)
15	作家研究 Charles Dickens: <i>David Copperfield</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
16	作家研究 Charles Dickens: <i>Nicholas Nickleby</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
17	作家研究 Charles Dickens: <i>Oliver Twist</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
18	作家研究 Jane Austen: <i>Sense and Sensibility</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
19	作家研究 Jane Austen: <i>Pride and Prejudice</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
20	作家研究 Jane Austen: <i>Mansfield Park</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 4 の準備(提出は次回授業時)
21	英国社会研究 (1) 奴隷貿易と <i>Jane Eyre</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
22	英国社会研究 (2) 奴隷制度廃止運動と <i>Wuthering Heights</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
23	米国社会研究 (1) ピューリタン社会と <i>The Scarlet Letter</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
24	米国社会研究 (2) 資本主義社会と <i>The Great Gatsby</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
25	英米社会研究 プロテスタンティズムの世界観	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 5 の準備
26	英米社会研究 総論	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 5 の準備(提出は次回授業時)
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	文学研究の応用「学際(interdisciplinary)とは」「予型論(typology)の罪」	講義、質疑応答、シャトルカード返却	課題資料下調べ、要点をノート
28	定期試験の返却と講評	講義、ペアワーク、ディスカッション	シャトルカードの読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	テキストは特に使用しない。授業で扱う作品の英文資料(課題資料)を事前に配布する。
参考書	Herman, David, ed. <i>The Cambridge Companion to Narrative</i> (Cambridge University Press, 2007).
その他特記事項	この授業では世界史の知識が前提となるので、特に英米を中心とする歴史を復習することが求められる。



科目名	LNG200: 言語学概論			担当教員	近藤 佐智子	
開講期	春	開講時限	月木4限		研究室	4208
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-②
キーワード	言語とは、英語史、音素、語形成、生成文法、文／発話の意味、言語のバリエーション					
授業の概要	本講を通じて学生は普段何気なく使っている「ことば」を客観的に観察・分析することで、その本質を考察する。具体的には言語学の中心的なテーマである「言語構造」に関する内容と、言語とその他の分野との接点を、指定テキストと担当者の準備した資料（様々な練習問題を含む）をもとに講義およびディスカッション形式で学んでいく。また理解促進のため毎授業時に既習内容に関する復習を質疑応答の形で行う。					
達成目標（授業の目的）	本講の目標は学生が英語の音声・音韻の体系、語形成、文構造、文や発話の意味といった基本的な言語構造、および英語史やことばのバリエーション、言語と文化の接点や言語習得といった関連分野に関する基本的概念・理論の理解を深めることである。					
到達目標（学修成果）	学生は言語学という学問分野の中で音、語、句・文、談話、そして意味のそれぞれがどのような体系／構造を有しているのかを理解し、それを自らの言語生活（母語と英語）に照らし合わせ、考察することができるようになる。同様にその他の関連テーマについても内容の理解だけにとどまらず、そこから自らがどのように日々言語を使用し、また学んでいるのかについて様々な発見や気付きを得ることができる。					
評価方法	理解度テスト（25%）定期試験（45%）ブックレポート（20%）授業参加度（10%）					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解度テスト（25%）：学期の3分の1の内容についての理解と定着度を確認する。</li> <li>定期試験（45%）：理解度テスト以降の内容についての理解と定着度を確認する。</li> <li>ブックレポート（20%）：ブックリストにある指定図書の中から一冊を読み、内容の要約（記述内容を理解した上で、要点がまとめられているかどうか）と自分の見解（本から学んだことを踏まえ、どのような新たな発見があったか、どのような疑問が浮かんできたか、どのような課題が見つかったかなどについて論述できているかどうか）を含めたブックレポートを作成する。</li> <li>授業参加度（10%）：授業内（復習時、グループディスカッション）での発言回数と内容、ブックレポートの口頭発表で分かりやすく伝えることができたか</li> </ul>					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Moodleで行う</li> <li>口頭で行う</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview & the study of language 本講を概観する&言語を研究するとは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト全体に目を通す
2	What is Language? 人間にとって言語とは何か？	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	テキスト（ch. 1-2）、レジユメの予習・復習
3	What is Language? 言語の定義・特性	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 1-2）、レジユメの予習・復習
4	What is Linguistics? 言語学という分野	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 1-2）、レジユメの予習・復習
5	History of English 英語の歴史：古英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジユメの予習・復習
6	History of English 英語の歴史：中英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジユメの予習・復習
7	History of English 英語の歴史：近代英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジユメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
8	Phonetics 音声学：言語音	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 8-9)、レジユメの予習・復習
9	Phonology 音韻論：音素	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 8-9)、レジユメの予習・復習
10	Phonology 音韻論：超分節音素	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 8-9)、レジユメの予習・復習
11	Morphology 形態論：形態素とは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 10)、レジユメの予習・復習
12	Morphology 形態論：語形成	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 10)、レジユメの予習・復習
13	In-Class Test 理解度テスト(40分)、ブックレポートの書き方、復習(60分)	テスト実施 講義、質疑応答	テキスト(ch. 1-10)、レジユメの予習・復習、テスト準備
14	Syntax 1 統語論 1 伝統文法、アメリカ構造主義言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 11-12)、レジユメの予習・復習
15	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：言語観・アプローチ、テストの返却と講評	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 11-12)、レジユメの予習・復習
16	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：句構造規則と変形規則	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 11-12)、レジユメの予習・復習
17	Semantics 意味論：語の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 13-16)、レジユメの予習・復習
18	Semantics 意味論：句・文の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 13-16)、レジユメの予習・復習
19	Pragmatics 語用論 語用論とは：基本概念	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 17-20)、レジユメの予習・復習
20	Pragmatics 語用論 発話行為、会話の含意、ポライトネス	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 17-20)、レジユメの予習・復習
21	Communication and culture 文化と文脈、コミュニケーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 21-22)、レジユメの予習・復習
22	Sociolinguistics 社会言語学 言語のバリエーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 6 & 23-24)、レジユメの予習・復習
23	Sociolinguistics 社会言語学 言語政策	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 23-24)、レジユメの予習・復習
24	Second Language Acquisition 第二言語習得 様々な第二言語習得理論	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 25)、レジユメの復習、テスト準備
25	Second Language Acquisition 第二言語習得 外国語教授法	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 25)、レジユメの予習・復習
26	Review 定期試験範囲の総復習	講義、ディスカッション、質疑応答	試験範囲の復習
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Presentation ブックレポート口頭発表	口頭発表 ディスカッション	ブックレポート提出
28	Presentation ブックレポート口頭発表 Test review 定期試験の返却、および解説	口頭発表 講義、質疑応答	試験問題の復習

テキスト	長谷川瑞穂(編著)『はじめての英語学』(研究社)
参考書	黒田龍之介『はじめての言語学』(講談社現代新書) 大津由紀雄『探検！ことばの世界』(ひつじ書房)
その他 特記事項	本講は言語研究領域に属する専門科目、および言語系のゼミナール受講への基礎知識を与えるものである。



科目名	LNG200: 言語学概論			担当教員	神谷 雅仁	
開講期	秋	開講時限	月木5限		研究室	4215
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-②
キーワード	言語とは、英語史、音素、語形成、文法論、文/発話の意味、言語のバリエーション					
授業の概要	本講を通じて学生は普段何気なく使っている「ことば」を客観的に観察・分析することで、その本質を考察する。具体的には言語学の中心的なテーマである「言語構造」に関する内容と、言語とその他の分野との接点を、指定テキストをまとめたレジュメおよび担当者の準備したハンドアウト(練習問題を含む)をもとに講義形式で学んでいく。また理解促進のため毎授業時に既習内容に関する review を行う。					
達成目標(授業の目的)	本講は学生が対象言語となっている英語の音声・音韻の体系、語形成、文構造、文や発話の意味といった基本的な言語構造、および歴史やことばのバリエーション、言語と文化の接点や言語習得といった関連分野に関する基本的概念・理論に触れ、その理解を深めることを目標とする。					
到達目標(学修成果)	学生は言語学という学問分野の中で音、語、句・文、談話、そして意味のそれぞれがどのような体系/構造を有しているのかを理解し、それを自らの言語生活(母語、第二言語、および学習言語)に照らし合わせ、考察することができるようになる。同様にその他の関連テーマについても内容の理解だけにとどまらず、そこから自らがどのように日々言語を使用し、また学んでいるのかについて様々な発見や気づきを得ることができる。さらに理解したことを整理立てて、用語の定義や言語例を含めたかたちで説明することができるようになる。					
評価方法	▶中間試験(30%)、定期試験(40%)、▶Book Report(20%)、▶授業参加度(10%)					
評価基準	▶中間試験、および定期試験(客観式):試験までの学修内容について、用語、概念、理論的枠組みなどが言語例とともに理解され、定着しているかを問う。※中間試験は前半のみの内容が、定期試験は後半のみの内容がそれぞれ試験範囲となる。 ▶Book Report: Booklistにある指定図書の中から一冊を読み、内容の要約(書かれている内容を理解した上で、章や節ごとにしっかりとまとめられているか)と自分の見解(どのような発見があったか、どのような疑問が浮かんできたか、どのような課題が見つかったかなどについて分析的、批判的に論述できているか)を含めたブックレポートとなっているか。 ▶授業参加度:受講態度や授業内での積極的・自発的な発言、また指定単元の Unit Review や練習問題などがトータルに判断される。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Course overview & the study of language 本講を概観する&言語を研究するとは?	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト全体に目を通す「はじめに」を読む
2	What is Language? 人間にとって言語とは何か?	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	テキストを読む(ch.1-2)、レジュメの予習・復習
3	What is Language? 言語の定義	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.1-2)、レジュメの予習・復習
4	What is Language? 言語の特性	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Reviewの作成
5	What is Linguistics? 言語学という分野	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Reviewの作成
6	History of English 英語の歴史:古英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.3-5)、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	History of English 英語の歴史：中英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.3-5)、レジュメの予習・復習
8	History of English 英語の歴史：近代英語	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Reviewの作成
9	Phonetics 音声学：言語音の分類―子音	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.8-9)、レジュメの予習・復習
10	Phonetics 音声学：言語音の分類―母音	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの復習、練習問題をやる
11	Phonology 音韻論：音素、音節	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.8-9)、レジュメの予習・復習
12	Phonology 音韻論：超分節音素 Review前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、前半内容の見直し、テスト準備
13	Mid-term Test 中間試験 Morphology 形態論：形態素とは	試験実施、講義、質疑応答	前半内容の復習、テキストを読む(ch.10)
14	Test review 試験結果の返却、および解説 Morphology 形態論：異形態	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.10)、レジュメの予習・復習、
15	Morphology 形態論：語形成	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの復習、練習問題をやる、Unit Reviewの作成
16	Syntax 1 統語論 1 伝統文法と構造主義言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.11-12)、レジュメの予習・復習
17	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：基本的概念／言語観	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.11-12)、レジュメの予習・復習
18	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：句構造規則	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、レジュメの予習・復習
19	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：変形規則	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Reviewの作成
20	Semantics 意味論：言語学における意味とは	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.13-16)、レジュメの予習・復習
21	Semantics 意味論：語の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、Unit Reviewの作成
22	Pragmatics 語用論 語用論とは：基本概念	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.17-20)、レジュメの予習・復習
23	Pragmatics 語用論 発話行為、会話の含意	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、Unit Reviewの作成
24	Communication and culture 文化と文脈、コミュニケーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.21-22)、レジュメの予習・復習
25	Sociolinguistics 社会言語学 言語のバリエーション・言語政策／計画	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.6 & 23-24)、Book Reportの作成
26	Second Language Acquisition 第二言語習得 外国語教授法 Review後半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.25)、後半内容の見直し、テスト準備
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Genie revisited: Think about language and human mind 言語と心について考える	講義、ディスカッション、質疑応答	言語に関連する配布物の予習
28	Test review 定期試験の返却、および解説 Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	後半の授業内容に関する見直し

テキスト	長谷川瑞穂(編著)『はじめての英語学』(研究社)
参考書	黒田龍之介『はじめての言語学』(講談社現代新書)
その他特記事項	本講は言語研究領域に属する専門科目、および言語系のゼミナール受講への基礎知識を与えるものである。

科目名	EDU205: 児童英語教育概説				担当教員	狩野 晶子		
開講期	春/秋	開講時限	(春)月5限 (秋)月4限		研究室	4203		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-②, 5-②	
キーワード	児童英語教育、小学校外国語活動・外国語（英語）、第二言語習得、実践							
授業の概要	児童英語教育及び小学校英語教育の背景や知識について、関連する様々な分野（児童心理学、第二言語習得理論、教育学、社会学、英語教授法など）に触れながら学ぶ。授業ではグループワークや発表を通し、学習した内容を実践・体験する。							
達成目標 (授業の目的)	児童英語教育の基本的知識を学び、児童英語教育の位置づけや児童期の特性を理解しながら児童期にふさわしい教授法について学ぶ。授業の中で指導の練習や実践を積み、児童英語指導者としての基礎力を身に付けることを目的とする。							
到達目標 (学修成果)	児童英語の教授法の基礎知識と応用アクティビティを実践する体験を通して、指導の際の実際の観点を学ぶ。さらに学生相互の実践演習を通じて、効果的な実践方法を体験的に学び、児童英語教育において実際の指導に活かすことができるような基本的知識を得る。							
評価方法	①授業への積極的な参加 (20%) ②リアクションペーパー (20%) ③実践発表の準備と成果 (30%) ④レポートなどの課題 (30%)							
評価基準	①グループワークなども含め自発的に授業に取り組んでいるか。②学習した内容を踏まえ、自身の言葉で考えを述べているか。③実践発表の準備、練習が十分になされ、協同的に取り組んでいるか。④提示された課題に即した適切な内容であり、自分の言葉で具体的に表現しているか。							
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> </ul>							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	児童英語教育と小学校外国語教育が目指すものとは：異文化理解・多文化共生	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
2	学習指導要領、児童期の特性、認知発達を踏まえた指導とは、児童や学校の多様性	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
3	第二言語習得理論とコミュニケーションな外国語教育	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
4	外国語の指導法 1：音声から文字へ、「読む」「書く」の指導と実践例	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
5	外国語の指導法 2：Classroom English, small talk、歌、チャンツ、絵本	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解 第1回発表の準備
6	理論と実践：アルファベット、歌、チャンツ、絵本を題材に [第1回発表]	学生による指導実践発表、相互評価、講義	第2回発表の準備 相互評価による総括
7	理論と実践：アルファベット、歌、チャンツ、絵本を題材に [第2回発表]	学生による指導実践発表、相互評価、講義	相互評価による総括 復習：ポイントを整理理解
8	理論と実践：発表総括 歌、チャンツ、絵本の実践例と理論的背景	講義、グループワーク、リアクションペーパー	相互評価による総括 復習：ポイントを整理理解

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	レッシンプラン作成方法・言語活動・アクティビティ組み立てのポイント	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解 アクティビティ発表準備
10	言語活動を見据えたアクティビティ実践 [第1回発表]	講義、学生による指導 実践発表、相互評価	アクティビティ発表準備 相互評価をもとに総括
11	言語活動を見据えたアクティビティ実践 [第2回発表]	講義、学生による指導 実践発表、相互評価	アクティビティ発表準備 相互評価をもとに総括
12	言語活動を見据えたアクティビティ実践 [第3回発表]	講義、学生による指導 実践発表、相互評価	アクティビティ発表準備 相互評価をもとに総括
13	アクティビティ実践：発表総括 言語活動を軸にした学びと指導者の資質	講義、グループワーク、 リアクションペーパー	相互評価による総括 復習：ポイントを整理理解
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	グループディスカッション・質疑応答・ 全体のまとめ・省察	講義、グループワーク、 リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
テキスト	指定しない。 LMS等を活用して必要な資料やサイトに関する情報を随時共有する。		
参考書	上智大学 CLT プロジェクト・編『コミュニカティブな英語教育を考える：日本の教育現場に役立つ理論と実践』（アルク）		
履修条件、 前提科目	この科目は小学校での英語指導を行うサービスラーニング活動への参加と連動した「児童英語教育演習 A/B」の前提科目である。		



科目名	GMN101: ドイツ語 I				担当教員	工藤 花野		
開講期	春/秋	開講時限	(春) 月木 4 限 (秋) 月木 3 限		研究室	4号館 2階 講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-①	
キーワード	基礎ドイツ語、初級ドイツ語文法							
授業の概要	初心者にとっての「読む・書く・聞く・話す」力の基礎となる文法を中心に、丁寧に時間をかけて進めていく。対話文やドリルを用いた「読む・書く」練習や、ペアワーク等による会話形式の「聞く・話す」練習を通じて、総合的な基礎力を身につける。							
達成目標 (授業の目的)	「読む・書く・聞く・話す」力の総合的な訓練により、ドイツ語の発音、基礎的文法力、基礎的表現力を合理的に身につける。							
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語の読みと発音がきちんとできる。</li> <li>・文の構造と動詞の活用の仕組み・名詞の格の働きを理解する。</li> <li>・簡単な会話や文章を理解し、作文できる。</li> <li>・日常で用いる基本的な語彙を身につける。</li> </ul>							
評価方法	授業参加の積極性 (20%)、授業毎の課題提出 (20%)、授業内試験 (30%)、定期試験 (30%)							
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加 (個人やペア等での発表により、表現・発音・聞き取る力を確認する)</li> <li>・課題提出 (授業毎の短い課題提出により、授業内容・文法事項・進出語彙を確認する)</li> <li>・試験 (授業内試験と定期試験により、文法・読み・書きの力を確認する)</li> </ul>							
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>・上記以外で行う / other:</li> </ul>							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	導入、授業概要の説明 アルファベットと発音・挨拶・数字	演習 (発音)	テキスト (以下略) S.7-9 の整理、次回提出用課題準備 1
2	[Lektion 1] 不定詞・動詞の現在人称変化 (語順 1)	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.10, 13 の整理 次回提出用課題準備 2
3	[Lektion 1] 動詞の位置・sein の現在人称変化	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.11, 13 の整理 次回提出用課題準備 3
4	[Lektion 1] 出会いと自己紹介 会話と作文・会話表現 1 (自己紹介)	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.12, 13, 23 の整理 次回提出用課題準備 4
5	[Lektion 2] 名詞の性と定冠詞の格変化	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.14, 17 の整理 次回提出用課題準備 5
6	[Lektion 2] 不定冠詞の格変化と haben の現在人称変化	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.15, 17 の整理 次回提出用課題準備 6
7	[Lektion 2] 会話と作文・会話表現 2 (家族について)	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.16, 17 の整理 次回提出用課題準備 7
8	[Lektion 3] 不規則動詞の現在人称変化	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.18, 21 の整理 次回提出用課題準備 8



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	[Lektion 3] 人称代名詞の格変化・3格と4格の語順	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.19, 21 の整理 次回提出用課題準備 9
10	[Lektion 3] 明日の予定を尋ねる 会話と作文・会話表現 3（明日の予定）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.20, 21 の整理 次回提出用課題準備 10
11	[Lektion 4] 定冠詞類	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.24, 27 の整理 次回提出用課題準備 11
12	[Lektion 4] 不定冠詞類・所有冠詞・否定冠詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.25, 27 の整理 次回提出用課題準備 12
13	[Lektion 4] 会話と作文・会話表現 4（買い物）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.26, 27 の整理 試験準備（S.7-27, 36）
14	Lektion 1-4 の総括・質疑応答（30分） 授業内試験（60分）	質疑応答 試験	S.7-27, 36 の整理
15	Lektion 1-4 の総括・試験解答 [Lektion 5] 2格・3格・4格支配の前置詞	試験解答、試験返却、 演習	S.28, 31 の整理 次回提出用課題準備 13
16	[Lektion 5] 3・4格支配の前置詞・定冠詞との融合形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.29, 31 の整理 次回提出用課題準備 14
17	[Lektion 5] 会話と作文・会話表現 5（週末の予定）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.30, 31, 37 の整理 次回提出用課題準備 15
18	[Lektion 6] 複数形・形容詞の格変化（無冠詞型）	試験解答、試験返却、 演習	S.32, 33, 35 の整理 次回提出用課題準備 16
19	[Lektion 6] 形容詞の格変化（定冠詞・不定冠詞）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.33, 35, 36 の整理 次回提出用課題準備 17
20	[Lektion 6] 会話と作文・会話表現 6（趣味について）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.34, 35 の整理 次回提出用課題準備 18
21	[Lektion 7] 話法の助動詞と現在人称変化と助動詞構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.38, 41, 50 の整理 次回提出用課題準備 19
22	[Lektion 7] 話法の助動詞・分離動詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.39, 41, 50 の整理 次回提出用課題準備 20
23	[Lektion 7] 会話と作文・会話表現 7（駅で尋ねる）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.40, 41, 50, 51 の整理 次回提出用課題準備 21
24	[Lektion 8] Zu 不定詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.42, 45 の整理 次回提出用課題準備 22
25	[Lektion 8] 従属接続詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.43, 45, 50 の整理 次回提出用課題準備 23
26	[Lektion 8] 会話と作文・会話表現 8（休暇の計画）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.44, 45 の整理 試験準備（S.28-45, 50-51）
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Lektion 5-8 の総括・試験講評、返却 [Lektion 8] 再起代名詞	試験解答、試験返却、 演習	S.43, 45 の整理 次回提出用課題準備 24
28	時刻と日付の表現 道案内の表現	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.50, 51 及び配布物の整理

テキスト	上野成利・本田雅也『パノラマ・エクスプレス初級ドイツ語ゼミナール』（白水社）
参考書	橋本政義・橋本淑恵・Heike Pinnau『CD付き 使ってみよう！ドイツ語 文法+4技能のトレーニング』（三修社）
履修条件、 前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。
その他 特記事項	できるだけ余裕をもって進行に努めるが、欠席が続くと習得度が下がる上、ペアワークやグループワークが滞るので毎回の出席が望ましい。また、辞書の用意を推奨する。

科目名	GMN102: ドイツ語Ⅱ				担当教員	工藤 花野		
開講期	春	開講時限	月木3限		研究室	4号館2階 講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-①	
キーワード	基礎ドイツ語、基礎ドイツ語文法の完成							
授業の概要	ドイツ語Ⅰに引き続き、「読む・書く・聞く・話す」力の基礎となる文法を中心に、丁寧に時間をかけて進めていく。対話文やドリルを用いた「読む・書く」練習や、ペアワーク等による会話形式の「聞く・話す」練習を通じて、バランスのとれた基礎力を鍛えながら、より複雑な表現方法を修得する。							
達成目標 (授業の目的)	ドイツ語Ⅰで習得した語彙力・文法力を再確認しながら、さらに学習を進めて、ドイツ語の「書く・読む・聞く・話す」力の総合的な訓練により、ドイツ語の発音、基礎的文法力、基礎的表現力の完成を目指す。							
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語の読み方と発音がきちんとできる。</li> <li>・文の構造と動詞の仕組み・名詞の格の働きを理解する。</li> <li>・より複雑な構文の文章を理解し、作文することができる。</li> <li>・新出語彙を身につける。</li> </ul>							
評価方法	授業参加の積極性（20%）、授業毎の課題提出（20%）、授業内試験（30%）、定期試験（30%）							
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加（個人やペア等での発表により、表現・発音・聞き取る力を確認する）</li> <li>・課題提出（授業毎の短い課題提出により、授業内容・文法事項・新出語彙を確認する）</li> <li>・試験（授業内試験と定期試験により、文法・読み・書きの力を確認する）</li> </ul>							
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> <li>・上記以外で行う / other:</li> </ul>							
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ドイツ語Ⅰを振り返る [Lektion1-4] 動詞の活用と語順	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	テキスト（以下略）S.10-27の整理、次回提出用課題準備1
2	ドイツ語Ⅰを振り返る [Lektion1-4] 冠詞と冠詞類の格変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.10-27の整理 次回提出用課題準備2
3	ドイツ語Ⅰを振り返る [Lektion5-6] 前置詞、形容詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.27-37の整理 次回提出用課題準備3
4	ドイツ語Ⅰを振り返る [Lektion7-8] 話法の助動詞と未来形の構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.38-45, 50, 51の整理 次回提出用課題準備4
5	ドイツ語Ⅰを振り返る [Lektion7-8] Zu 不定詞句、副文、再帰代名詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.38-45, 50, 51の整理 次回提出用課題準備5
6	[Lektion 9] 旅の体験を語る (1) 動詞の三基本形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.46, 49の整理 次回提出用課題準備6
7	[Lektion 9] 旅の体験を語る (1) 動詞の過去人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.47, 49の整理 次回提出用課題準備7
8	[Lektion 9] 旅の体験を語る (1) 分離動詞の三基本形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.48, 49の整理 次回提出用課題準備8
9	[Lektion 9] 旅の体験を語る (1) 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.48, 50, 51の整理 次回提出用課題準備9

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	[Lektion 10] 旅の体験を語る (2) 現在完了形	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.52, 55, 64, 65 の整理 次回提出用課題準備 10
11	[Lektion 10] 旅の体験を語る (2) 受動態	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.53, 55, 64 の整理 次回提出用課題準備 11
12	[Lektion 10] 旅の体験を語る (2) 受動態、非人称表現	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.53, 55, 64 の整理 次回提出用課題準備 12
13	[Lektion 10] 旅の体験を語る (2) 会話と作文	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.54, 55, 64, 65 の整理 試験準備 (S.46-55, 64, 65)
14	Lektion 9-10 の総括・質疑応答 (30分) 授業内試験 (60分)	質疑応答 試験	S.46-55, 64, 65 の整理
15	Lektion 9-12 の総括・試験解答 [Lektion 11] 日本について語る	試験解答、演習	S.56, 59 の整理 次回提出用課題準備 13
16	[Lektion 11] 日本について語る 定関係代名詞	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.56, 59 の整理 次回提出用課題準備 14
17	[Lektion 11] 日本について語る 形容詞・副詞の比較級・最上級	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.57, 59 の整理 次回提出用課題準備 15
18	[Lektion 11] 日本について語る 会話と作文	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.58, 59 の整理 次回提出用課題準備 16
19	[Lektion 12] 別れと再会の約束 接続法、I 式の形態と用法	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.60, 63 の整理 次回提出用課題準備 17
20	[Lektion 12] 別れと再会の約束 接続法 II 式の形態と用法 1	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.61, 63 の整理 次回提出用課題準備 18
21	[Lektion 12] 別れと再会の約束 接続法 II 式の形態と用法 2	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.61, 62, 63 の整理 次回提出用課題準備 19
22	[Lektion 12] 別れと再会の約束 会話と作文	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.62, 63 の整理 次回提出用課題準備 20
23	受動態・関係文・接続法の練習問題	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.53-65・配布物の整理 次回提出用課題準備 21
24	受動態・関係文・接続法の練習問題	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.53-65・配布物の整理 次回提出用課題準備 22
25	受動態・関係文・接続法の練習問題	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.53-65・配布物の整理 試験準備 (S.56-65)
26	Lektion 11-12 の総括・質疑応答 (30分) 授業内試験 (60分)	質疑応答 試験	S.56-65 の整理
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Lektion 11-12 の総括・試験解答 数字表現(時刻、日付)	試験解答、演習	S.50, 51, 64 の整理 次回提出用課題準備 15
28	数字表現(買い物)	演習(発音、ペアワーク、ドリル、作文)	配布物の整理

テキスト	上野成利・本田雅也『パノラマ・エクスプレス初級ドイツ語ゼミナール』(白水社)
参考書	橋本政義・橋本淑恵・Heike Pinnau『CD付き 使ってみよう! ドイツ語 文法+4 技能のトレーニング』(三修社)
履修条件、前提科目	「ドイツ語 I」の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。(P.61~P.62を参照のこと)
その他特記事項	できるだけ余裕をもって進行に努めるが、欠席が続くと習得度が下がる上、ペアワークやグループワークが滞るので毎回の出席が望ましい。また、辞書の用意を推奨する。

科目名	FRN101: フランス語 I				担当教員	渡邊 郁美		
開講期	春/秋	開講時限	(春) 月木 4限 (秋) 月木 3限		研究室	4号館 2階 講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-①	
キーワード	フランス語入門							
授業の概要	フランス語文法についての講義と関連表現の聞き取り・発音・内容理解・書き換えの練習を通じて、フランス語を使うための基礎を学習する。クラスで一緒にとり組む練習や小テスト・課題・発表準備の機会に、文法・つづり・発音の習熟状況を確認しつつ、自分で判断して使える表現を無理のないペースで継続的に増やしていく。英語表現と見比べたり、文化に関する補足資料を参照することで、フランス語の理解を深める。辞書の使い方も練習する。							
達成目標 (授業の目的)	フランス語の基礎的な文法を、聞く・話す・読む・書く練習を通じて習得し、身につけた基本表現をもとに、一部を適切に書き換えられるようになることを目標とする。							
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文を組み立てるための基本的な語彙を身につけ、正確につづることができる。</li> <li>自らの興味に基づき辞書等で語彙・語法を調べ、文法をふまえて作文に応用できる。</li> <li>簡単な文を読んで理解し、基礎的な文法を応用して部分的に書き換えることができる。</li> <li>フランス語の単語や文を相手に伝わるように発音することができる。</li> <li>聞き取ったフランス語を正しく書くことができる。</li> </ul>							
評価方法	①授業外課題 (例文の書き練習: 25%、語彙・語法調べ: 10%) ②授業中に行なうグループワークへの積極的な参加と口頭発表 (15%) ③小テスト (50%)							
評価基準	①予習・復習としての手書き練習を継続的に行なうことができているか。辞書等を活用して語彙・語法を調べ工夫してまとめ、自らの興味に即した内容の作文に応用できているか。 ②練習に積極的に参加しているか。発表文を暗記し、フランス語のつづり字と発音の対応を理解できているか。 ③学んだ語彙や表現を身につけ、正確につづることができるか。学んだ文法を理解し、応用できているか。							
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	授業概要の説明 Leçon 0 発音とつづり、数詞	講義、グループワーク	授業外課題 (例文書き練習) 小テストの準備
2	小テスト練習 Leçon 1 主語人称代名詞と動詞 être	講義、グループワーク	授業外課題 (例文書き練習) 小テストの準備
3	小テスト Leçon 1 名詞・形容詞の性と数、否定文	講義、グループワーク	授業外課題 (例文書き練習) 小テストの準備
4	前回小テストの返却と解説 Leçon 2 冠詞、第一群規則動詞の直説法現在	講義、グループワーク	授業外課題 (例文書き練習) 小テストの準備
5	小テスト練習 Leçon 2 疑問文、否定文、否定疑問文	講義、グループワーク	授業外課題 (例文書き練習) 小テストの準備
6	小テスト Leçon 3 動詞 avoir、非人称構文	講義、グループワーク	授業外課題 (例文書き練習) 小テストの準備
7	前回小テストの返却と解説 Leçon 3 冠詞の縮約	講義、グループワーク	授業外課題 (例文書き練習) 小テストの準備



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	小テスト練習 Leçon 3 第二群規則動詞の直説法現在	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
9	小テスト練習 Leçon 4 品質形容詞、名詞・形容詞の性と数	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
10	小テスト練習 Leçon 4 名詞・形容詞の性と数	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習、 語彙集づくり）
11	小テスト練習 Leçon 0 - 4 の復習と補足	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
12	小テスト練習 Leçon 5 動詞 aller, venir	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
13	小テスト練習 Leçon 5 近接未来と近接過去、時間表現	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
14	小テスト練習 Leçon 6 指示形容詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
15	小テスト練習 Leçon 6 疑問形容詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
16	小テスト練習 Leçon 6 疑問副詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
17	小テスト Leçon 7 動詞 partir、非人称構文	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習、 語彙集づくり）
18	前回小テストの返却と解説 Leçon 7 疑問代名詞（人について）	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
19	小テスト練習 Leçon 7 疑問代名詞（人以外について）	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
20	小テスト練習 Leçon 8 動詞 faire、非人称構文	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
21	小テスト練習 Leçon 8 複合疑問代名詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
22	小テスト練習 Leçon 8 指示代名詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
23	小テスト練習 Leçon 9 動詞 attendre, prendre, pouvoir, vouloir	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
24	小テスト練習 Leçon 9 動詞 savoir, devoir、所有形容詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
25	小テスト練習 Leçon 5 - 9 のまとめ	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
26	小テスト 自己紹介文を書く、発表練習	講義、仏作文	自己紹介文見直し、発表練習 授業外課題（語彙集づくり）
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	前回小テストの返却と解説 自己紹介文発表	学生の発表、講義	自己紹介文の復習
28	総括	講義、グループワーク	これまでの授業外課題の復習

テキスト	小倉博孝、猪口好彦、畠山香奈『もう一步先へのフランス語文法』（白水社）
参考書	清岡智比古『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！ [改訂新版]』（白水社）
履修条件、 前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。



科目名	FRN102: フランス語Ⅱ			担当教員	渡邊 郁美	
開講期	春	開講時限	月木3限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-①
キーワード	フランス語入門					
授業の概要	「フランス語Ⅰ」で学んだことを復習しながら、文法についての講義と関連表現の聞き取り・発音・内容理解・書き換えの練習を通じて、フランス語を使うための基礎をひき続き学習する。クラスで一緒にとり組む練習や小テスト・課題などの機会に習熟状況を確認しつつ、自分で判断して使える表現を無理のないペースで継続的に増やしていく。英語表現と見比べたり、文化に関する補足資料を参照することで、フランス語の理解を深める。					
達成目標 (授業の目的)	フランス語の基礎的な文法を、聞く・話す・読む・書く練習を通じて習得し、身につけた基本表現をもとに、自分で判断して応用できるようになることを目標とする。まとまった内容の文章や対話文で特に使われるつなぎ言葉やあいづち等を身につけることも目指す。					
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の基本的な語彙や文どうしをつなぐ表現を身につけ、正しくつづることができる。</li> <li>・自らの興味に基づき辞書等で語彙・語法を調べ、文法をふまえて作文に応用できる。</li> <li>・簡単な文を読んで理解し、基礎的な文法を応用して部分的に書き換えることができる。</li> <li>・フランス語を相手に伝えるように発音することができる。</li> <li>・聞き取ったフランス語を正しく書くことができる。</li> </ul>					
評価方法	①授業外課題（例文の書き練習：20%、語彙・語法調べ：10%） ②授業中に行なうグループワークへの積極的な参加（10%） ③小テスト（60%）					
評価基準	①予習・復習としての手書き練習を継続的に行なうことができているか。辞書等を活用して語彙・語法を調べ工夫してまとめ、自らの興味に即した内容の作文に応用できているか。 ②発音・聞き取り・書き取りの練習に積極的に参加しているか。 ③学んだ語彙や表現を身につけられているか。学んだ文法を理解し、応用できているか。					
課題等に対する フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業概要の説明、フランス語Ⅰの復習 (Leçon 1 主語人称代名詞、直説法現在)	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
2	小テスト練習、フランス語Ⅰの復習 (Leçon 1 冠詞、所有形容詞、否定文)	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
3	小テスト練習、フランス語Ⅰの復習 (Leçon 2 直説法現在、冠詞)	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
4	小テスト練習、フランス語Ⅰの復習 (Leçon 2 疑問文、非人称構文)	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
5	小テスト Leçon 3 直説法複合過去	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
6	前回小テストの返却と解説 Leçon 3 直接目的補語人称代名詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
7	小テスト練習 Leçon 3 間接目的補語人称代名詞	講義、グループワーク	授業外課題（語彙集づくり） 小テストの準備
8	小テスト練習 Leçon 4 直説法複合過去と直説法半過去	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	小テスト練習 Leçon 4 代名動詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
10	小テスト Leçon 5 ささまざまな過去形	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
11	前回小テストの返却と解説 Leçon 5 関係代名詞 qui, que	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
12	小テスト練習 Leçon 6 ささまざまな未来形	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
13	小テスト練習 Leçon 6 命令法	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
14	小テスト Leçon 7 代名動詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
15	前回小テストの返却と解説 Leçon 7 中性代名詞 en	講義、グループワーク	授業外課題（語彙集づくり） 小テストの準備
16	小テスト練習 Leçon 7 中性代名詞 y, le	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
17	小テスト練習 Leçon 8 ジェロンディフ	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
18	小テスト練習 Leçon 8 関係代名詞 où	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
19	小テスト練習 Leçon 8 関係代名詞 dont	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
20	小テスト Leçon 9 受動態	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
21	前回小テストの返却と解説 Leçon 9 使役表現、知覚動詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
22	小テスト練習 Leçon 10 条件法	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
23	小テスト練習 Leçon 10 指示代名詞 celui, celle, ceux, celles	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
24	小テスト練習 Leçon 11 時制の一致と話法の転換	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
25	小テスト練習 Leçon 12 接続法	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
26	小テスト Leçon 13 接続法	講義、グループワーク	授業外課題（語彙集づくり）
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	前回小テストの返却と解説 Leçon 14 ささまざまな表現	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習）
28	総括	講義、グループワーク	これまでの授業外課題の復習

テキスト	久保田静香、ジョルジュ・ヴェスイエール『マリと一緒に！フランス語の表現とテーマ』（朝日出版社）
参考書	白石嘉治、西川葉澄、谷口清彦『トラントラン：初級フランス語・かんたんなことをコツコツやろう』（朝日出版社） 根木昭英、野澤督、ヴェスイエール ジョルジュ『アクション！フランス語 A1』（白水社）
履修条件、前提科目	「フランス語Ⅰ」の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。（P.61～P.62を参照のこと）

科目名	SPN101: スペイン語 I			担当教員	A. Gilabert
開講期	春/秋	開講時限	(春) 火金 5限 (秋) 月木 5限	研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。			4-①
キーワード	第二外国語、スペイン語、スペイン、ラテンアメリカ、スペイン語圏の文化				
授業の概要	スペイン語の基礎を学ぶ。スペイン語の文法構造、音声体系、表記法を理解し、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を初級レベルまで習得する。各回の授業では、習得した知識の運用・実践に加え、スペイン語圏の文化・習慣についても学ぶ。				
達成目標(授業の目的)	これまで英語が外国語学習の中心であった学生を対象とする本授業では、次の2点を授業の目的とする。①スペイン語とスペイン語圏の文化を学習し、英語圏以外の西欧諸国の言語的・文化的広がりを実感・理解することで、異なる言語文化や習慣に対する理解力と寛容さを身に付ける。②授業内外で学習した文法、語彙、フレーズを活用しつつスペイン語での意思疎通を楽しむことで、英語と日本語以外でのコミュニケーションに対する積極性を養う。				
到達目標(学修成果)	①スペイン語の習得において非常に重要な「動詞の活用」と「名詞と形容詞の性数一致」の規則をしっかりと理解する。②並行して語彙を増やし、基礎的なスペイン語で「読み」「書き」ができるようになる。③挨拶や簡単な日常会話を「聞いて」理解し、ゆっくりではあるがはっきりと「話す」ことができるようになる。				
評価方法	①期末発表：30%、②筆記試験：30%、③面接の質問：30%、④授業への積極参加：10%。				
評価基準	①最終プレゼンテーション：スペイン語で、出身地、住んでいる場所などの自己紹介をします。Word や PowerPoint で発表原稿を作成し、授業で発表します。提出された原稿をもとに、授業で学んだ文法事項を用いてスペイン語を使用する能力が身に付いているかどうかを評価します。評価基準は「スペイン語の知識を積極的に活用できているか」(15%)、「内容が整理されているか」(5%)、「自分の考えを表現する努力をしているか」「意見を言うようにしているか」(5%)、「物事を明確に発音しようとしているか」(5%)。 ②筆記試験：授業外で予習・復習した内容を評価する試験を3回実施します。 ③教師は簡単な日常会話を真似しながら生徒一人ひとりにインタビューします。 ④教師は生徒の授業への参加度やレベルを評価します。				
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う/orally ・提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers				
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均45分が求められる。				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	スペイン語とスペイン語圏の紹介	講義、質疑応答	シラバスの確認
2	<b>Unidad 1</b> 挨拶、アルファベット、発音	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第2講の学習項目の予習、アクセント規則の予習
3	<b>Unidad 1</b> 発音、アクセントと記号のきまり。スペイン語を話す国々。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第3講の学習項目の予習、第2講の復習
4	<b>Unidad 1</b> クラスで使う表現、数字(0-10)挨拶。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第4講の学習項目の予習、第3講の復習
5	<b>Unidad 1</b> 挨拶の表現(名前の自己紹介)、カードに書き込む。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第5講の学習項目の予習、第4講の復習
6	<b>Unidad 2</b> 主語になる人称代名詞、動詞SER。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	Unidad 1の総復習、第6講の予習
7	<b>Unidad 2</b> 国籍を表す語の性と数、国名と国籍。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第7講の学習項目の予習、第6講の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
8	<b>Unidad 2</b> 職業を表す語、個人の情報。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第8講の学習項目の予習、第7講の復習
9	<b>Unidad 2</b> 疑問詞1、指示詞1、自己紹介。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第9講の学習項目の予習、第8講の復習
10	<b>Unidad 2</b> 小筆記試験、定冠詞と不定冠詞、スペインの都市。	試験実施、プレゼンテーション、 ペアワークアクティビティ	Unidad 2 の総復習、第10講 の学習項目の予習
11	<b>Unidad 3</b> 所有詞1、試験を返して結果を確認する。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第11講の学習項目の予習、 第10講の復習
12	<b>Unidad 3</b> 形容詞、大学について話す、イ スパノアメリカの国々。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第12講の学習項目の予習、 第11講の復習
13	<b>Unidad 3</b> 動詞 SER と存在・位置を表す。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第13講の学習項目の予習、 第12講の復習
14	<b>Unidad 4</b> 動詞の現在形、言語。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	Unidad 3 の総復習、第14講 の学習項目の予習
15	<b>Unidad 4</b> 疑問詞2、日常生活。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第15講の学習項目の予習、 第14講の復習
16	<b>Unidad 4</b> 数字(11-30)、時刻、スケジュー ール。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第16講の学習項目の予習、 第15講の復習
17	<b>Unidad 4</b> 前置詞、曜日、スペインの若者 の生活。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第17講の学習項目の予習、 第16講の復習
18	<b>Unidad 5</b> 小筆記試験、指示詞2、動詞 TENER。	試験実施、プレゼンテーション、 ペアワークアクティビティ	Unidad 4 の総復習、第18講 の学習項目の予習
19	<b>Unidad 5</b> 所有詞2、試験を返して結果を確認 する、数字(30-100)。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第19講の学習項目の予習、 第18講の復習
20	<b>Unidad 5</b> 動詞 TENER、人の記述。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第20講の学習項目の予習、 第19講の復習
21	<b>Unidad 5</b> 指示詞2、家族の紹介。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第21講の学習項目の予習、 第20講の復習
22	<b>Unidad 6</b> hay と estar の用法、動詞 IR、有 名な場所。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	Unidad 5 の総復習、第22講 の学習項目の予習
23	<b>Unidad 6</b> 月と季節、ir a + 不定詞、理由と 目的。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第23講の学習項目の予習、 第22講の復習
24	<b>Unidad 6</b> querer + 不定詞、tener que + 不定 詞、旅行のプラン、スペイン旅行。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第24講の学習項目の予習、 第23講の復習
25	<b>Unidad 6</b> 語幹母音変化活用 e>ie、おすす め。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第25講の学習項目の予習、 第24講の復習
26	第25回までの授業内容のまとめ、筆記試験。 試験実施。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、試験実施。	総復習、筆記試験対策。
定期試験を実施しない Final Exams will not be held			
27	期末発表、試験を返して結果を確認する。	授業内でプレゼンテーショ ンの文章を読み、覚える	プレゼンテーション準備
28	面接の質問、期末発表の結果を返して結果 を確認する。	先生との会話	面接の準備

テキスト	スペイン語教材研究会 『¡Muy bien! Compacto 1 - 2a edición -』 (朝日出版社)
参考書	Atsuko Wasa 『Gramática elemental del español - 3a edición』 (朝日出版社)
履修条件、 前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに 達している学生の履修は、原則として不可とする。
その他 特記事項	継続的に予習・復習し、授業中は積極的に発言することが望ましい。教科書は毎回持参する こと。



科目名	SPN102: スペイン語Ⅱ			担当教員	A. Gilabert	
開講期	春	開講時限	月木5限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-①
キーワード	第二外国語、スペイン語、スペイン、ラテンアメリカ、スペイン語圏の文化					
授業の概要	スペイン語 I の復習をしながら、スペイン語の習得を進めていく。スペイン語の基本的な文法事項を習得し、より表現豊かなスペイン語の運用能力を身に付ける。言語の習得とともにスペイン語圏の文化・習慣について理解を深める。					
達成目標 (授業の目的)	スペイン語 I を履修済みの学生に対して開講されている本授業では、次の2点を授業の目的とする。①スペイン語とスペイン語圏の文化を学習し、英語圏以外の西欧諸国の言語的・文化的広がりを実感・理解することで、異なる言語文化や習慣に対する理解力と寛容さを身に付ける。②授業内外で学習した文法、語彙、フレーズを活用しつつスペイン語での意思疎通を楽しむことで、英語と日本語以外でのコミュニケーションに対する積極性を養う。③スペイン語 I よりさらに発展したスペイン語を学び、その後も継続して学び続けることのできる自律的な学習者を目指す。					
到達目標 (学修成果)	①スペイン語の習得において非常に重要な「動詞の活用」と「名詞と形容詞の性数一致」の規則をしっかり習得する。②並行して語彙を増やし、基礎的なスペイン語で「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を実践できるようになる。③慣用表現なども用いて日常の出来事や自分の意見・感情などを、豊かな言語表現で正確に伝えることができるようになる。					
評価方法	①期末発表：30%、②筆記試験：30%、③面接の質問：30%、④授業への積極参加：10%。					
評価基準	①最終プレゼンテーション：Word または PowerPoint でプレゼンテーション原稿を作成し、クラスでスペイン語で自分の好きなものを伝えて発表します。提出された原稿をもとに、授業で学んだ文法事項を用いてスペイン語を使用する能力が身に付いているかどうかを評価します。評価基準は「スペイン語の知識を積極的に活用しているか」(15%)、「内容は整理されているか」(5%)、「自分の考えを表現する努力をしているか」「自分の意見を表現しようとしているか」(5%)、「はっきりと発音するように努めているか」(5%)。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭で行う／orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	スペイン語とスペイン語圏の紹介 現在形の動詞を用いた表現の復習	講義、質疑応答、ペアワーク	シラバスの確認、スペイン語 I の復習
2	<b>Unidad 7</b> 前置詞を伴う人称代名詞、動詞 gustar、好み。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第2講の学習項目の予習
3	<b>Unidad 7</b> 好み的一致と不一致、日本とメキシコの若者。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第3講の学習項目の予習、第2講の復習
4	<b>Unidad 7</b> 動詞 encantar, interesar、予定と招待。	ペアワーク、ロールプレイ	第4講の学習項目の予習
5	<b>Unidad 7</b> 動詞＋不定詞、ソーシャルネットワーク。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第5講の学習項目の予習、第3、4講の復習
6	<b>Unidad 8</b> 不規則活用する動詞 1、マーケットで。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	Unidad 7 の総復習、第6講の予習



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	<b>Unidad 8</b> 直接目的人称代名詞、デパートで。	ペアワーク、ロールプレイ	第7講の学習項目の予習
8	<b>Unidad 8</b> 数字(100-999 999)、ブティックで、不定単語。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第8講の学習項目の予習、第6、7講の復習
9	<b>Unidad 8</b> 不定単語、直接目的人称代名詞、序数、スペインの市場。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第9講の学習項目の予習、第8講の復習
10	<b>Unidad 9</b> 小筆記試験、不規則活用する動詞2、食べ物と料理。	試験実施、プレゼンテーション、 ペアワークアクティビティ	Unidad 8 の総復習、第10講の学習項目の予習
11	<b>Unidad 9</b> 試験を返して結果を確認する、直接目的人称代名詞と間接目的人称代名詞。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第11講の学習項目の予習、第10講の復習
12	<b>Unidad 9</b> 不規則活用する動詞2、動詞 saber と poder、レストランを決める。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第12講の学習項目の予習、第11講の復習
13	<b>Unidad 9</b> 直接目的人称代名詞と間接目的人称代名詞、動詞 ser+形容詞と estar+形容詞。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第13講の学習項目の予習、第12講の復習
14	<b>Unidad 10</b> 代名動詞、日常生活。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	Unidad 9 の総復習、第14講の学習項目の予習
15	<b>Unidad 10</b> 代名動詞、スペイン、メキシコ、日本の日常生活。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第15講の学習項目の予習、第14講の復習
16	<b>Unidad 10</b> 代名動詞、天気、天候についてのやり取り。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第16講の学習項目の予習、第15講の復習
17	<b>Unidad 10</b> 代名動詞、動詞 estar+形容詞(体調や気分)、祭りや行事。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第17講の学習項目の予習、第16講の復習
18	<b>Unidad 11</b> 小筆記試験、代名動詞、動詞 estar+形容詞(体調や気分)。	試験実施、プレゼンテーション、 ペアワークアクティビティ	Unidad 10 の総復習、第18講の学習項目の予習
19	<b>Unidad 11</b> 試験を返して結果を確認する、動詞 estar / encontrarse+副詞 bien、体調表現と気分、詩。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第19講の学習項目の予習、第18講の復習
20	<b>Unidad 11</b> 動詞 tener+名詞(感覚)、動詞 doler、アドバイス。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第20講の学習項目の予習、第19講の復習
21	<b>Unidad 11</b> 形容詞、動詞、名詞の修飾語、接続詞、健康的な生活。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第21講の学習項目の予習、第20講の復習
22	<b>Unidad 12</b> 過去の時を表す表現、行った場所。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	Unidad 11 の総復習、第22講の学習項目の予習
23	<b>Unidad 12</b> 動詞 ir 点過去、旅行。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第23講の学習項目の予習、第22講の復習
24	<b>Unidad 12</b> 点過去規則活用、日帰り旅行。	ペアワーク、ロールプレイ	第24講の学習項目の予習
25	<b>Unidad 12</b> 2つの過去(点過去と線過去)、今年度の出来事。	プレゼンテーション、ペアワーク アクティビティ、ロールプレイ	第25講の学習項目の予習、第23、24講の復習
26	第25回までの授業内容のまとめ、筆記試験	試験実施、プレゼンテーション、 ペアワークアクティビティ	総復習、筆記試験対策。
定期試験を実施しない Final Exams will not be held			
27	期末発表、試験を返して結果を確認する。	授業内でプレゼンテーションの文章を読み、覚える	プレゼンテーション準備
28	面接の質問、期末発表の結果を返して結果を確認する。	先生との会話	面接の準備

履修条件、 前提科目	「スペイン語Ⅰ」の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。(P.61~P.62を参照のこと)
---------------	---

科目名	CHN101: 中国語 I				担当教員	廣重 聖佐子		
開講期	春/秋	開講時限	(春) 月木 4限 (秋) 月木 3限		研究室	4号館 2階 講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-①	
キーワード	第二外国語・入門中国語・ピンイン習得							
授業の概要	この授業では入門中国語に必要な不可欠なピンイン習得を目指し、音読と会話練習を中心に授業を進める。今年度の授業では教科書前半部分を使用し各課 2 回の授業で 1 課を終了する。1 回目の授業では、単語と文法の解説後、各自本文とドリルをやり提出する。2 回目の授業では、復習として音読や会話練習をする。各自事前に教科書の音声を必ずダウンロードしておくこと。							
達成目標 (授業の目的)	中国語学習に必要な不可欠なピンイン、入門程度の基礎的な文法事項、挨拶などを反復練習によって習得する。							
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピンインを習得し本文の音読ができる。</li> <li>・教科書の基本的な単語や文法事項が理解できる。</li> <li>・練習問題や復習プリント等で簡単な和文中訳ができる。</li> </ul>							
評価方法	① 試験：2 回の授業内筆記試験と音声データの提出 (60%) ② 課題提出：筆記課題を次回授業時に提出。音読データを Moodle に提出 (20%) ③ 授業参加：授業内容の確認と音読チェック (10%) ④ 音読テスト：28 回目に実施する音読テスト (10%)							
評価基準	① 試験：学習したことが理解できているか。 ② 課題提出：次回の授業までに課題が提出されているか。提出遅れは減点。 ③ 授業参加：授業内容が理解できているか。本文が正確に読めるか。 ④ 音読テスト：指定された本文が一人で正確に読めるか。							
課題等に対する フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Moodle：音声データ</li> <li>・口頭で行う：授業時の音読チェック</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する：筆記課題</li> </ul>							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	第 1 課 発音 (1) 音節・声調 第 2 課 発音 (2) 短母音・複母音	解説と発音練習	第 1 課・2 課復習と発音練習 ドリル
2	第 3 課 発音 (3) 子音 (1)	解説と発音練習	第 3 課復習と発音練習 ドリル
3	第 4 課 発音 (4) 子音 (2)	解説と発音練習	第 4 課復習と発音練習 ドリル
4	第 5 課 姓のたずね方・答え方 ①解説	単語と文法の解説	第 5 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
5	第 5 課 姓のたずね方・答え方 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
6	第 6 課 動詞“是”・助詞“的” ①解説	単語と文法の解説	第 6 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
7	第 6 課 動詞“是”・助詞“的” ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
8	第 7 課 基本語順 S+V+O 連動文①解説	単語と文法の解説	第 7 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
9	第 7 課 基本語順 S+V+O 連動文②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	第8課 動詞“想”・動詞“有”の用法 指示代名詞 ①解説	単語と文法の解説	第8課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
11	第8課 動詞“想”・動詞“有”の用法 指示代名詞 ②練習 試験1の告知	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
12	授業内試験1の告知 前半の復習	提出物・音読チェック の期限	第1課～8課までの復習
13	授業内試験1の実施 提出物・課題の確認	筆記試験 音声データの提出	第1課～8課までの復習 音声データの準備
14	第9課 動詞“在”方向詞の用法 前置詞“从・往”①解説	試験の講評 単語と文法の解説	第9課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
15	第9課 動詞“在”方向詞の用法 前置詞“从・往”②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
16	第10課 数の言い方 お金・値段のたずね 方 形容詞述語文 ①解説	単語と文法の解説	第10課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
17	第10課 数の言い方 お金・値段のたずね 方 形容詞述語文 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
18	第11課 年月日、曜日の言い方 年齢の言 い方 ①解説	単語と文法の解説	第11課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
19	第11課 年月日、曜日の言い方 年齢の言 い方 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
20	第12課 量詞 動詞の重ね型 ①解説	単語と文法の解説	第12課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
21	第12課 量詞 動詞の重ね型 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
22	第13課 時刻の言い方 発生や状況の変化 を表す“了”①解説	単語と文法の解説	第13課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
23	第13課 時刻の言い方 発生や状況の変化 を表す“了”②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
24	第14課 時間の長さの言い方 動作完了の “了”①解説	単語と文法の解説	第14課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
25	第14課 時間の長さの言い方 動作完了の “了”②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
26	授業内試験2の告知 後半の復習	提出物・音読チェック の期限	第9課～14課の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	授業内試験2の実施 提出物・課題の確認	筆記試験 音読テストの準備	第9課～14課の復習 音読テストの準備
28	試験の講評 音読テスト	講評 音読テスト	音読テストの準備

テキスト	陳淑梅・劉光赤『しゃべっていいとも中国語 トータル版』(朝日出版社)
参考書	守屋宏則・李軼倫『やさしくくわしい中国語文法の基礎』(東方書店)
履修条件、 前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。
その他 特記事項	就職活動等で欠席する場合は、事前に連絡すること。 私用による20分以上の遅刻は欠席とする。

科目名	CHN102: 中国語Ⅱ			担当教員	廣重 聖佐子	
開講期	春	開講時限	月木3限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-①
キーワード	第二外国語・初級中国語					
授業の概要	今年度は初級過程の完了を目指す。前年度使用した教科書の後半部分を引き続き学習し、各課2回で1課を終了する。1回目の授業では文法、単語、本文の説明後に、各自練習、ポイントチェック、ドリルを提出する。2回目の授業では、本文の音読練習と音読チェックをし、会話練習をする。授業終了後に音声データと練習問題を提出する。					
達成目標 (授業の目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語の初級過程を完了するとともに、学習した構文等を自分で分析し、和訳や中訳ができるようにする。</li> <li>音読練習と初級過程の成果として、今までに学んだ構文を用いて中国語でスピーチをする。</li> </ul>					
到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の音読が正確にできる。</li> <li>文法事項が理解でき、和訳や中訳や練習問題ができる。</li> <li>例文等を用いて中国語で表現ができる。</li> </ul>					
評価方法	① 筆記試験：2回の授業内筆記試験（60%） ② 課題提出：筆記課題を次回授業時に提出。音読データを Moodle に提出（20%） ③ 授業参加：授業内容の確認と音読チェック（10%） ④ スピーチ：10 センテンス以上を発表（10%）					
評価基準	① 筆記試験：学習したことが理解できており、かつ身につけているか。 ② 課題提出：授業内容が理解できており提出期限に提出できるか。提出遅れは減点。 ③ 授業参加：授業内容を理解しており、本文を正確に読めるか。 ④ スピーチ：25 回目の授業までに原稿を提出し、28 回目の授業に発表。翻訳アプリ等による転載は不可とする。					
課題等に対する フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Moodle：音声データ</li> <li>口頭で行う：授業時の音読チェック</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する：筆記課題</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第16課 動作行為の進行を表す表現 助動詞“会” ①解説	単語と文法の解説	第16課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
2	第16課 動作行為の進行を表す表現 助動詞“会” ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
3	第17課 前置詞“在”の用法 二重目的語をとる動詞 ①解説	単語と文法の解説	第17課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
4	第17課 前置詞“在”の用法 二重目的語をとる動詞 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
5	第18課 経験を表す“过”の用法 選択疑問文 ①解説	単語と文法の解説	第18課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
6	第18課 経験を表す“过”の用法 選択疑問文 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
7	第19課 助動詞“得”の用法 “一～就”の構文 ①練習	単語と文法の解説	第19課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
8	第19課 助動詞“得”の用法 “一～就”の構文 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	第20課 結果補語 様態補語 ①解説	単語と文法の解説	第20課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
10	第20課 結果補語 様態補語 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
11	授業内試験1の告知 前半の復習	提出物・音読チェック の期限	第16課～20課までの復習
12	授業内試験1の実施 提出物・課題の確認	筆記試験 第21課の準備	第16課～20課までの復習 第21課の準備
13	第21課 “是～的”の構文 比較表現－前置詞“比”①解説	試験の講評 単語と文法の解説	第21課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
14	第21課 “是～的”の構文 比較表現－前置詞“比”②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
15	第22課 方向補語（1）単純方向補語 “有点儿”と“一点儿”①解説	単語と文法の解説	第22課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
16	第22課 方向補語（1）単純方向補語 “有点儿”と“一点儿”②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
17	第23課 “把”構文 方向補語（2）複合方向補語 ①解説	単語と文法の解説	第23課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
18	第23課 “把”構文 方向補語（2）複合方向補語 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
19	第24課 程度補語 可能補語 ①解説	単語と文法の解説	第24課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
20	第24課 程度補語 可能補語 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
21	第25課 主述述語文 受身表現 ①解説	単語と文法の解説	第25課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
22	第25課 主述述語文 受身表現 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
23	第26課 “就要～了”使役表現 ①解説	単語と文法の解説	第26課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
24	第26課 “就要～了”使役表現 ②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
25	長文読解	長文の試訳と解説	第21課～26課までの復習
26	授業内試験2の告知 後半の復習	提出物・音読チェック の期限	第21課～26課までの復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	授業内試験2 提出物・課題の確認	筆記試験 スピーチの準備	第21課～26課までの復習 スピーチの準備
28	試験の講評 スピーチ	試験の講評 スピーチ	スピーチの準備

テキスト	陳淑梅・劉光赤『しゃべっていいとも中国語 トータル版』（朝日出版社）
参考書	守屋宏則・李軼倫『やさしくくわしい中国語文法の基礎』改訂版（東方書店）
履修条件、 前提科目	「中国語Ⅰ」の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。（P.61～P.62を参照のこと）
その他 特記事項	就職活動等で欠席する場合は事前に連絡すること。 私用による20分以上の遅刻は欠席とする。



科目名	KOR101: 韓国語 I			担当教員	金 孝珍	
開講期	春/秋	開講時限	(春) 月木 4限 (秋) 月木 3限	研究室	4号館 2階 講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-①
キーワード	第二外国語、韓国語、韓国、ハングル圏の社会と文化					
授業の概要	韓国語は、語順が日本語とほぼ同じであり、漢字文化圏の言語であるため、日本語母語話者や日本語学習経験者にとって、非常に学びやすい言語である。この授業は、韓国語をはじめて学習する学生を対象に、入門及び初級文法前半レベルまでの習得を目標とする。韓国語の文字（ハングル）の書き方、読み方から始め、韓国の社会、文化などにも触れながら、基礎的な文法と日常会話の表現を学ぶ。					
達成目標 (授業の目的)	初級レベルの「読む・書く・聞く・話す」の4技能習得が目標である。ハングル文字の仕組みや韓国語の発音、基礎的な文法を習得した上で、簡単な日常会話が可能になるレベルを目指す。さらに、韓国語の世界を知るために、必要な社会文化的な知識についても触れる。					
到達目標 (学修成果)	①ハングルの仕組みを理解している。②韓国語の正しい発音を身につける。③韓国語の基礎的な文法を理解している。④韓国語で挨拶、自己紹介、簡単な日常会話ができる。⑤韓国に対する興味、関心、理解を深めている。					
評価方法	①平常点評価（60%）、②レポート課題の発表（40%）					
評価基準	①平常点評価（60%）：授業内容の理解度、4技能の学習度、授業態度と参加度を評価する。 ・ 授業内試験（小テスト）（15%）：授業開始時に5分程度の簡単な小テストを行う。 ・ 授業毎の課題（20%）：毎回の授業では、復習課題、予習課題を示す。 ・ 授業態度と参加度（25%）：出席、授業中に行うペアワークおよびレポート課題発表時のグループワークへの積極的参加と協調性などを評価する。 ②レポート課題の発表（40%）：グループで韓国の社会や文化について調べ、発表を行う。					
課題等に対するフィードバック方法	・ Moodleで行う/Moodle ・ 口頭で行う/orally ・ 提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers					
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス シラバス・授業の進め方説明 入門 Lesson1 基本母音、子音①（平音）	講義、質疑応答	シラバスの確認 文字と発音の復習
2	入門 Lesson2 子音②（激音）	講義、質疑応答、小テスト	文字と発音の復習
3	入門 Lesson3 子音③（濃音）	講義、質疑応答、小テスト	文字と発音の復習
4	入門 Lesson4 バッチム、連音化、日本語のハングル表記	講義、質疑応答、小テスト	文字と発音の復習
5	入門 Lesson5 合成母音	講義、質疑応答、小テスト	文字と発音の復習
6	入門まとめ 発音の変化、挨拶など決まり文句	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	挨拶の復習
7	第1課「私は日本人です」 名詞文の疑問形、自己紹介、分かち書き	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	名詞文の復習 質問の仕方と答え方の復習
8	第2課「日本人ではありません」 名詞文の否定形	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	名詞文の否定形の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	第3課「それは何ですか」 指示詞の叙述形と疑問形、指示詞	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	指示詞の復習
10	第4課「約束があります」 存在詞の叙述形と疑問形、存在詞	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	存在詞の復習
11	第5課「会社はどこにありますか」 位置・方向・場所の指示代名詞	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	位置・方向・場所の指示代名詞の復習
12	第1課―第5課の復習	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	学習内容（5回分）の復習
13	第6課「週末は何をしますか」 用言の丁寧形①（ハムニダ体）	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	「ハムニダ体」の復習
14	第7課「そんなに遠くありません」 形容詞文の否定形	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	形容詞文の否定形の復習
15	第8課「いつ行きますか」 漢字語数詞、感嘆・共感	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	漢字語数詞、感嘆・共感を表す表現の復習
16	第9課「釜山までどうやって行きますか」 用言の丁寧形②「へヨ体」、平音の濃音化	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	「ハムニダ体」の復習
17	第10課「何時からですか」 固有語数詞、時間・時刻	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	固有語数詞、時間・時刻を表す表現の復習
18	第6課―第10課の復習	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	学習内容（5回分）の復習
19	第11課「いつ日本へ来ましたか」 過去の出来事、年月日と曜日	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	過去の出来事、年月日と曜日を表す表現の復習
20	第12課「お名前は？」 名前などを年上の方に尋ねる表現、尊敬形	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	尊敬形の復習
21	第13課「どちらへ行っていましたか」 敬語の過去形	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	敬語の過去形の復習
22	第14課「韓国と日本は似ているけど、けっこう違うでしょう？」 逆接・確認	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	逆接・確認を表す表現の復習
23	第15課「温泉に行きたいです」 願望・希望（したい事、したくない事）	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	願望・希望を表す表現の復習
24	第11課―第15課の復習	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	学習内容（5回分）の復習
25	韓国の社会と文化について発表（1） （自由テーマ）	グループワーク、レポート課題発表	プレゼンテーション準備
26	韓国の社会と文化について発表（2） （自由テーマ）	グループワーク、レポート課題発表	プレゼンテーション準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	韓国の社会と文化について発表（3） （自由テーマ）	グループワーク、レポート課題発表	プレゼンテーション準備
28	まとめ、講評	レポート課題の講評、質疑応答	学習内容全体の復習

テキスト	李志暎『〔新装版〕できる韓国語初級Ⅰ』（アスク出版 2010） 李志暎『できる韓国語初級Ⅰワークブック』（アスク出版 2011）		
参考書	① 文法参考書『実用韓国語文法初級』（IBCパブリッシング 2021） ② 練習問題集『超入門！書いて覚える韓国語ドリル』（ナツメ社 2017）		
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。		
その他特記事項	① 提出が必要な課題は、必ず期限を守ることを。 ② 講義中の私語、飲食、携帯電話の使用を禁止とする。		

科目名	KOR102: 韓国語Ⅱ			担当教員	金 孝珍	
開講期	春	開講時限	月木3限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-①
キーワード	第二外国語、韓国語、韓国、ハングル圏の社会と文化					
授業の概要	この授業は、韓国語の基礎学習を終えた学生を対象に、「韓国語Ⅰ」を通して身につけた「読む・書く・聞く・話す」の韓国語4技能をよりバランスよく発展させることを目標とする。韓国の社会、文化などにも触れながら、総合的な口頭・聴解・作文の学習活動を通して、「過去や未来のことを語る」「依頼する」「婉曲に言う」などの実践的な表現力を培う。					
達成目標(授業の目的)	中級レベルの文法や文型を習得し、それらを用いて会話や作文ができるようになることを目指す。また、韓国語の世界を知るために、必要な社会文化的な知識についても触れる。					
到達目標(学修成果)	①中級レベルの文法を理解している。②韓国語で現在連体形と過去連体形を用いた会話ができる。③仮定、許可、願望、禁止などの実践的な表現力を身につけている。④韓国に対する興味、関心、理解を深めている。					
評価方法	①平常点評価 (60%)、②筆記試験 (期末試験) (40%)					
評価基準	①平常点評価 (60%) : 授業内容の理解度、4技能の学習度、授業態度と参加度を評価する。 ・ 授業内試験 (小テスト) (15%) : 授業開始時に5分程度の簡単な小テストを行う。 ・ 授業毎の課題 (20%) : 毎回の授業では、復習課題、予習課題を示す。 ・ 授業態度と参加度 (25%) : 出席、授業中に行うペアワークへの積極的参加と協調性などを評価する。 ②定期試験 (40%) : 学期末の筆記試験					
課題等に対するフィードバック方法	・ Moodleで行う/Moodle ・ 口頭で行う/orally ・ 提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers					
準備学修の時間	本科目の一回 (100分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	ガイダンス シラバス・授業の進め方説明 ウォーミングアップ「韓国語Ⅰ」学習内容の復習① 過去の出来事、年月日と曜日	講義、質疑応答、ペアワーク	シラバスの確認 第11課―第15課の復習
2	ウォーミングアップ「韓国語Ⅰ」学習内容の復習② 尊敬形、敬語の過去形	講義、質疑応答、ペアワーク	第11課―第15課の復習
3	ウォーミングアップ「韓国語Ⅰ」学習内容の復習③ 逆接・確認、願望・希望	講義、質疑応答、ペアワーク	第11課―第15課の復習
4	[初級Ⅰ] 第16課「プレゼントを買うのでお金をたくさん使います」理由・原因	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	理由・原因を表す表現の復習
5	第17課「結婚式に何を着ていけばいいですか」アドバイス・許可・仮定・条件	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	アドバイス・許可を求める表現、仮定・条件の表現の復習
6	第18課「食事でも一緒にしましょうか」勧誘・目的	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	勧誘・目的を表す表現の復習
7	第19課「写真をちょっと撮っていただけますか」依頼・お願い	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	依頼を表す表現の復習
8	第20課「自転車に乗ることができますか」能力・可能、不可能、現在進行	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	能力・可能、不可能を表す表現、現在進行形の復習
9	第16課―第20課の復習・初級Ⅰのまとめ	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	学習内容 (5回分) の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	【初級Ⅱ】第1課「食べ方が結構違いますね」①動詞の現在連体形 ②して	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	動詞の現在連体形、先行動詞の用法の復習
11	第2課「韓国へ行ったことがありますか」①動詞の過去連体形 ②～したことがある	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	動詞の過去連体形、経験を表す表現の復習
12	第3課「卒業したら何をしますつもりですか」①動詞の未来連体形 ②～するつもりです	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	動詞の未来連体形、予定・意志を表す表現の復習
13	第4課「背の高い男は誰ですか」①形容詞の現在連体形 ②名詞文の現在連体形	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	形容詞の現在連体形、名詞文の現在連体形の復習
14	第5課「お忙しいところすみません」①～するのですが/～するのに ②並立表現	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	後ろの内容の前提を表す表現、並立表現の復習
15	第1課～第5課の復習	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	学習内容（5回分）の復習
16	第6課「熱いから気を付けてください」①不規則活用 ②理由	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	ロ不規則活用、理由を説明する表現の復習
17	第7課「外国語は毎日聞かなければなりません」①不規則活用 ②～しなければならない	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	リ不規則活用、義務を表す表現の復習
18	第8課「風邪はすっかり治りましたか」①不規則活用 ②～するために/～するため	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	ル不規則活用、理由・原因を表す表現の復習
19	第9課「A型とO型はどう違いますか」①不規則活用 ②～するじゃないですか	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	ル不規則活用、相手も既知の理由を言う表現の復習
20	第10課「赤い色はありませんか」①不規則活用 ②～してみる	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	ル不規則活用の復習
21	第6課～第10課の復習	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	学習内容（5回分）の復習
22	第11課「私もメールを送ります」①意志・約束・決意 ②不規則活用	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	ル不規則活用、意志・約束・決意を表す表現の復習
23	第12課「人々が並んでいます」①完了状態の継続 ②～しないで下さい/～しないで	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	完了状態の継続、禁止や行為の否定を表す表現の復習
24	第13課「雨が降りそうですね」①過去・現在・未来の推量 ②不確実	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	過去・現在・未来の推量を表す表現の復習
25	第14課「新年の挨拶をした後、お墓参りに行きます」①～する前に ②～した後	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	動作の時間的な前後関係を表す表現の復習
26	第15課「辛くして食べる方です」①～する方だ ②副詞化 ③～になる	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	形容詞の副詞化の復習
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	第11課～第15課の復習・総まとめ	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	学習内容（5回分）の復習
28	期末試験（定期試験）の講評	期末試験（定期試験）の講評	学習内容全体の復習

テキスト	【第1回～第9回】李志暎『〔新装版〕できる韓国語初級Ⅰ』（アスク出版）、李志暎『できる韓国語初級Ⅰワークブック』（アスク出版）【第10回～第27回】李志暎『〔新装版〕できる韓国語初級Ⅱ』（アスク出版）、李志暎『できる韓国語初級Ⅱワークブック』（アスク出版）【全回】李志暎『〔新装版〕できる韓国語初級単語集』（アスク出版2016）
参考書	① 文法参考書『実用韓国語文法初級』（IBCパブリッシング2021） ② 練習問題集『超入門!書いて覚える韓国語ドリル』（ナツメ社2017）
履修条件、前提科目	「韓国語Ⅰ」の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。（P.61～P.62を参照のこと）
その他特記事項	① 提出が必要な課題は、必ず期限を守ること。 ② 講義中の私語、飲食、携帯電話の使用を禁止とする。



科目名	JPN250: 日本語表現法				担当教員	鷲見 あつみ		
開講期	春/秋	開講時限	(春) 月3限 (秋) 金4限		研究室	4号館2階 講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-①	
キーワード	学術的文章、構成、論拠、ことばの表現							
授業の概要	学術的文章を書く上での基礎的なルールを学ぶ。序論・本論・結びの3つの構成に従い、基礎的な語彙力や表現力を養い、書く体験を通して論文を完成させていく。 学生間および教師によるフィードバックを通して、客観的に自身の文章を振り返る。							
達成目標 (授業の目的)	読み手の立場から新聞記事の要約をし、書き手の立場からテキストのワークで論理的な文章の組み立てを考える。事実文と意見文の違いを理解し説得力のある文章が書けること。							
到達目標 (学修成果)	学期末には、相応しい表現を用いて説得力のある学術的文章が書けるようになる。 序論・本論・結びの構成で 1600 字程度で書けるようになる。							
評価方法	① 授業態度 : 積極的な発言をし、責任ある授業参加をする。				25%			
	② 授業課題 : 「思考マップ」作成、テキスト内の課題からモデル文作成 (2回)				30%			
	③ 小論文 : Word で作成し、学期末の指定期間内に Moodle に提出				45%			
評価基準	① 授業態度 : 他者の発言や発表を真摯に聴いてフィードバックしているか。 ② 授業課題 : 指定された内容と提出期限を守っているか。 ③ 小論文 : 授業で学んだ論文構成を基に論文に相応しい表現を用いているか。 信頼できるリソースでテーマに合致したデータを用いているか。 論文に相応しい論拠と考察を述べているか。							
課題等に対する フィードバック方法	・口頭で行う/orally ・提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned paper							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	[基礎編①] よく使われる文の形、語と表現	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 1-8 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
2	[基礎編②] 引用、要約、句読点、表記規則	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 9-21 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
3	[論文編 I-①] 書いてみよう① 論文について、構成の作り方、まとめ方	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 24-42 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
4	[論文編 I-②] 論文のモデル	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 43-50 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
5	[論文編 II-①] 序論の役割、背景説明、先行研究紹介	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 52-63 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
6	[論文編 II-②] 書いてみよう② 問題提起、方向づけ、全体の予告	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 64-78 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
7	[論文編 III-①] 本論の役割、論拠提示	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 80-84 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
8	[論文編 III-②] データの提示、事柄データ	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 85-87 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	[論文編 III-③] 書いてみよう③ 数量データ、文章データ	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 88-93 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
10	[論文編 III-④] 意見提示、データ解釈、考察	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 94-99 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
11	[論文編 III-⑤] 結論提示、論の展開、結論提示	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 100-124 頁を読む。 発表準備
12	発表①	講義、プレゼンテーション、質疑応答	発表準備
13	発表②	講義、プレゼンテーション、質疑応答	発表準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	発表③、小論文講評	講義、プレゼンテーション、質疑応答	授業の振り返り まとめ

テキスト	浜田麻里・平尾得子・由井紀久子『大学生と留学生の論文ワークブック』（くろしお出版）		
参考書	細川英雄・舘岡洋子・小林ミナ（編著）『プロセスで学ぶレポート・ライティング－アイデアから完成まで－』（日本語ライブラリー）		
その他特記事項	互いに積極的に建設的なフィードバックをする姿勢をもって授業に臨むこと。		

科目名	SEF200: キャリアプランニング			担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	金5限		研究室	4202
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-①
キーワード	キャリアデザイン、ライフコース、社会保障、労働法、卒業生との交流、職場での実務					
授業の概要	本学ソフィア会（同窓会）の支援により、社会の様々な分野で「for Others, with Others」を実践している卒業生の方々による講演・質疑応答を通して、卒業後のキャリアプランをどう組み立てるか考える。また、あわせて労働法などの基礎知識についても学ぶ。同窓生以外のゲスト講師（秦野市役所）の講義を含む。					
達成目標 (授業の目的)	①卒業後の人生設計について様々な可能性やその実現に向けて必要なステップを考え、②社会人として必要な労働法の知識を身につけ、③各自のキャリアプランを組み立てることが目標である。					
到達目標 (学修成果)	①現在の社会情勢と女性のライフコースの問題を各自で考え、卒業生の講演内容を通して将来の多様な可能性について考察できるようになる。 ②労働法や社会人として求められる基礎知識を身につけることができる。 ③各自のキャリアプランを設計できるようになる。					
評価方法	①リアクションペーパー：授業後 Moodle に提出、最終回を除く。（5%×13回＝65%） ②小テスト：労働法に関する小テスト（15%）、授業期間中に Moodle で行う。 ③キャリアプランの作成（20%）					
評価基準	①リアクションペーパー：同窓生講師の話から学んだことや考えたことを適切な文でまとめているか ②小テスト：社会人として求められる労働法の基礎知識が身につけているか ③キャリアプラン：書式・期限を守り現実的なプランを作成しているか					
課題等に対する フィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms					
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	女性のキャリアとライフコース、研究倫理	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出①
2	同窓生：食品メーカー、通信制大学 同窓生：海外で日本語教師	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出②
3	同窓生：出版社、編集について 同窓生：市役所勤務、資格取得、法務省	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出③
4	同窓生：留学、IT企業 コーディネータ教員：労働法について	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出④
5	ゲスト講師：秦野市の公共施設マネジメントの取り組み＋地方公務員の仕事	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑤
6	同窓生：アメリカでの生活と仕事 同窓生：編入、留学、金融系の仕事	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑥
7	同窓生：映画プロデューサー 同窓生：児童向け英語教材会社	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑦

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	同窓生：会社員、子育て、民生委員 同窓生：編入、大学事務	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑧
9	同窓生：損害保険会社、心療内科事務長 同窓生：放送業界、アパレル、癒しの世界	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑨
10	同窓生：大学職員、大学教員 同窓生：フリーランスのデザイナー	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑩
11	同窓生：公立小中学校での英語活動 コーディネータ教員：テストほか説明	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑪
12	同窓生：大学職員 同窓生：青年海外協力隊、JICA、海外支援	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑫ キャリアプラン作成
13	同窓生：YMCA、自宅での英会話講師 同窓生：食品メーカー	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑬ 労働法の勉強
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	まとめとキャリアプランの講評	講義、質疑応答、講評	振り返り

テキスト	なし、パワーポイントスライドなどを用いての講義となる。
参考書	厚生労働省、「令和4（2022）年版 働く女性の実情」 ( <a href="https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/josei-jitsujo/22.html">https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/josei-jitsujo/22.html</a> )、インターネットで閲覧可
その他 特記事項	本講座は上智大学短期大学部ソフィア会（同窓会）の協力による寄付講座であり、社会で活躍されている卒業生の方々がボランティアで講師をご担当下さるものである。担当講師のスケジュールは当該年度でないと確定しないため上記の授業計画は 2023 年度実施のものであり、2024 年度の授業計画の確定版は 9 月 15 日に Moodle の「2024 短大部 キャリアプランニング」にアップする。 なお、同窓生の講義はリアルタイムの Zoom でコーディネータ教員が教室 PC から教室スクリーンに映し、学生からの質問は教室マイクで受け付ける予定である。

科目名	SAC200: 留学準備 A			担当教員	狩野 晶子	
開講期	春	開講時限	木5限		研究室	4203
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-①
キーワード	短期語学研修、異文化理解、英語運用力、グローバルシティズンシップ					
授業の概要	この授業は、本学が認定する海外大学での短期語学講座への参加を前提とし、目的意識を持ち自律した学習者として充実した留学生活を送ることを目指す。異文化理解の一環として対象国について調べ学ぶ。さらに短期語学講座の参加に向けて実践的英語運用能力を演習を通して磨く。対象国の現地生活について、安全管理も含めて留意事項を学ぶ。					
達成目標(授業の目的)	留学先で想定される異文化体験への準備として対象国の知識を深め、対象国と自国の文化を対比し異文化を客観的に理解し表出できるよう、英語運用能力を向上させる。安全かつ効果的に留学が完遂できるよう、海外生活に関する基本的知識や危機管理等の留意事項を学ぶ。目的意識と自信をもって対象国での学習と生活ができるように備える。					
到達目標(学修成果)	留学に向けて、対象国に関する知識を深め自国の文化と対比しながら発信できるようになる。異文化を客観的に理解し英語で表出できるようになる。留学先で必要となる実践的な英語運用のスキルを磨き、現地大学での英語学習に備えて学び、効果的な英語力向上の道筋をつける。渡航および現地生活の際の安全管理の留意事項を理解する。					
評価方法	①授業時の参加姿勢 (20%)、②対象国・自国プレゼンテーション課題：準備及び発表 (30%)、③英語課題 (20%)、④授業時の省察及び最終課題 (30%)					
評価基準	①積極的に学ぶ姿勢と準備を行ったうえで授業に参加し、グループワークやアクティビティに主体的に取り組んでいるか。②対象国に関して複数のリソースにあたり自国と対比しながら十分調べてまとめ、映像資料を効果的に使いながらプレゼンテーションをし、質疑応答にしっかり対応できたか。③英語力向上のための課題を解き、期日までに提出したか。④授業で自らの取り組みを省察し具体的かつ客観的に記述できたか。また、個々の省察をもとに学期を通した学修への取り組みを最終課題としてまとめ、期日までに提出できたか。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle で行う / Moodle</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 45 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	ガイダンス、留学の目的 どのような準備が必要か考える	講義、ペアワーク グループワーク	留学の意義を考える
2	プログラムの概要と日程の説明 必要となる英語力とは：英語課題目標設定	講義、ペアワーク グループワーク	英語課題目標を自己設定し具体的なプランを立てる
3	留学のための手続きの確認 各自の英語課題プランをシェアし相互講評	講義、ペアワーク グループワーク	英語課題プランの改訂、英語課題に取り組む
4	対象国の文化・伝統・歴史についてディスカッション、リサーチ、英語課題	講義、ペアワーク グループワーク	プレゼンテーション準備、英語課題
5	対象国の文化・伝統・歴史についてプレゼンテーションと相互講評①、英語課題	学生発表 グループワーク	プレゼンテーション準備、英語課題
6	対象国の文化・伝統・歴史についてプレゼンテーションと相互講評②、英語課題	学生発表 グループワーク	プレゼンテーション準備、英語課題

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	対象国の文化・伝統・歴史についてプレゼンテーションと相互講評③、英語課題	学生発表 グループワーク	プレゼンテーション準備、 英語課題
8	自国について発信したい内容を考える ディスカッション、リサーチ、英語課題	講義、ペアワーク グループワーク	プレゼンテーション準備、 英語課題
9	自国についてプレゼンテーション（1） 相互講評①、英語課題	学生発表 グループワーク	プレゼンテーション準備、 英語課題
10	自国についてプレゼンテーション（2） 相互講評②、英語課題	学生発表 グループワーク	プレゼンテーション準備、 英語課題
11	危機管理ガイダンス（90分） 英語課題への取り組みをシェアし相互講評	講義、ペアワーク グループワーク	ガイダンス内容まとめ、 英語課題
12	「対象国と自国について学んで」 異文化理解のためのセッション	講義、ペアワーク グループワーク	セッション内容まとめ、 英語課題
13	「留学を経てどのような自分になりたいか」 自己省察と留学目的再確認のセッション	講義、ペアワーク グループワーク	セッション内容まとめ、 英語課題
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	最終課題発表 最終課題を共有、提出	学生発表 グループワーク	英語課題への取り組み省察 最終課題作成、提出準備

テキスト	テキストは指定しない。関連するウェブサイトや参考文献、英語課題などを授業時に随時提示する。
参考書	Information about Japan（外務省） <a href="https://www.mofa.go.jp/j_info/japan/general/index.html">https://www.mofa.go.jp/j_info/japan/general/index.html</a> 『海外安全ホームページ』（外務省） <a href="https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/flash02.html">https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/flash02.html</a>
履修条件、 前提科目	今年度の夏期海外短期語学研修プログラムに参加することが履修の条件である。
その他 特記事項	下線部ガイダンスについては、外部留学コーディネーター等の参加も予定。



科目名	SAC201: 留学準備 B				担当教員	杉村 美佳		
開講期	秋	開講時限	水1限		研究室	4220		
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					3-④, 4-①	
キーワード	短期語学研修、異文化理解、英語運用力、グローバルシティズンシップ							
授業の概要	この授業では、本学が認定する海外大学での短期語学講座への参加を前提とし、目的意識を持ち自律した学習者として充実した留学生活を送ることを目指す。異文化理解の一環として対象国について調べ学ぶ。さらに短期語学講座の参加に向けて実践的英語運用能力を演習を通して磨く。対象国の現地生活について、安全管理も含めて留意事項を学ぶ。							
達成目標 (授業の目的)	学生は留学先で想定される異文化体験への準備として対象国の知識を深め、対象国と自国の文化を対比し異文化を客観的に理解し表出できるよう、英語運用能力を向上させる。安全かつ効果的に留学が完遂できるよう、海外生活に関する基本的知識、危機管理等の留意事項を学ぶ。目的意識と自信をもって対象国での学習と生活ができるように備える。							
到達目標 (学修成果)	留学に向けて、対象国に関する知識を深め自国の文化と対比しながら発信できるようになる。異文化を客観的に理解し英語で表出できるようになる。留学先で必要となる実践的な英語運用のスキルを磨き、現地大学での英語学習に備えて学び、効果的な英語力向上の道筋をつける。渡航および現地生活の際の安全管理の留意事項を理解する。							
評価方法	①授業時の参加姿勢（20%）、②対象国・自国プレゼンテーション課題：準備及び発表（30%）、③英語課題（20%）、④授業時の省察及び最終課題（30%）							
評価基準	①積極的に学ぶ姿勢と準備を行ったうえで授業に参加し、グループワークやアクティビティに主体的に取り組んでいるか。②対象国に関して複数のリソースにあたり自国と対比しながら十分調べてまとめ、映像資料を効果的に使いながらプレゼンテーションをし、質疑応答にしっかり対応できたか。③英語力向上のための課題を解き、期日までに提出したか。④授業で自らの取り組みを省察し具体的かつ客観的に記述できたか。また、個々の省察をもとに学期を通した学修への取り組みを最終課題としてまとめ、期日までに提出できたか。							
課題等に対する フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle で行う / Moodle</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> </ul>							
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、留学の目的、どのような準備が必要か考える	講義、ペアワーク、グループワーク	留学の意義を考える
2	プログラムの概要と日程の説明、必要となる英語力とは：英語課題目標設定	講義、ペアワーク、グループワーク	英語課題目標を自己設定し具体的なプランを立てる
3	留学のための手続きの確認 各自の英語課題プランをシェアし相互講評	講義、ペアワーク、グループワーク	英語課題プランの改訂 英語課題に取り組む
4	対象国の文化・伝統・歴史についてディスカッション・リサーチ、英語課題	講義、ペアワーク、グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
5	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評①、英語課題	学生発表、グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
6	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評②、英語課題	学生発表、グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評③、英語課題	学生発表、グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
8	自国について発信したい内容を考える ディスカッション・リサーチ、英語課題	講義、ペアワーク、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
9	自国について発信プレゼンテーション 相互講評①、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
10	自国について発信プレゼンテーション 相互講評②、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
11	危機管理ガイダンス（90分）、 英語課題への取り組みをシェアし相互講評	講義、ペアワーク、 グループワーク	ガイダンス内容まとめ 英語課題
12	『対象国と自国について学んで』 異文化理解のためのセッション	講義、学生発表、 グループワーク	セッション内容まとめ 英語課題
13	『留学を経てどのような自分になりたいか』 自己省察と留学目的再確認のセッション	講義、学生発表、 グループワーク	セッション内容まとめ 英語課題
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	最終課題発表 最終課題を共有、提出	講義、学生発表、 グループワーク	英語課題への取り組み省察 最終課題作成、提出準備

テキスト	指定しない。 授業内容に関連するウェブサイトや参考文献などを授業時に随時提示する。
参考書	Information about Japan（外務省） <a href="http://www.mofa.go.jp/j_info/japan/general/index.html">http://www.mofa.go.jp/j_info/japan/general/index.html</a> 『海外安全ホームページ』（外務省） <a href="https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/flash02.html">https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/flash02.html</a>
履修条件、 前提科目	今年度の春期海外短期語学研修プログラムに参加することが履修の条件である。
その他 特記事項	下線部ガイダンスについては、外部留学コーディネーター等の参加も予定。

科目名	SES100: 基礎ゼミナール			担当教員 丹木 博一, 森下 園, 宮崎 幸江, 杉村 美佳, 小林 宏子	
開講期	春	分類	必修		
単 位	2	標準受講年次	1年		
DP 及び 学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点 2-④
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。			

担当教員の 連絡情報	担当教員	研究室	オフィスアワー
	丹木 博一	4214	月 3 限、金 3 限
	森下 園	4202	(春学期) 木 4 限、金 3 限 (秋学期) 火 3 限、木 3 限
	宮崎 幸江	4217	(春学期) 火 4 限、水 4 限 (秋学期) 水 4 限、木 3 限
	杉村 美佳	4220	(春学期) 火 3 限、金 5 限 (秋学期) 月 3 限、金 5 限
	小林 宏子	4204	月 3 限、木 3 限

キーワード	導入教育、アカデミックスキル、プレゼンテーションの方法、小論文の書き方、研究倫理
授業の 概要	本学の教育理念である“ <b>For Others, With Others</b> ”を目指す学生生活への導入となる授業です。大学での学びに必要なアカデミックスキルを身につけ、将来のキャリア形成を視野に入れた大学生活のプランをたてていきます。
達成目標 (授業の目的)	大学での自律した学びに必要なアカデミックスキルが身につきます。具体的には、さまざまな分野の問題を論じるために必要となる専門的な情報や知識をどのように得て、プレゼンテーションや小論文としてどのように発信していくかを実践しながら学びます。また大学生が知っておくべき研究倫理についても学びます。
到達目標 (学修成果)	学生同士のディスカッション、プレゼンテーションを中心に日本語での発信力を磨きます。また、専任教員による Moodle 上のショートレクチャーや小論文を用いて、ノートテイキング技術や要約の仕方、小論文の書き方を実践的に身につけます。
評価方法	①課題：6%×6回=36%、②Moodle 教材のノートテイキング：4%×3回=12%、③プレゼンテーション：22%（発表 15%、司会 7%）、④小論文作成と発表：30%（小論文 25%、発表 5%）
評価基準	①課題：提出期限、内容および書式を遵守できているか。 ②ノートテイキング：3つのレクチャーについて自分の言葉で要点をまとめ、論理的にコメントを書いているか。 ③プレゼンテーション：内容が整理されていて効果的な資料が提示されているか、声の大きさやスピードが適切でわかりやすく表現しているか。 ④小論文作成と発表：小論文は論点が明確でパラグラフライティングができているか。発表は要点をまとめて説明できているか。
課題等に対する フィード バック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally
準備学修 の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	他者のために、他者とともに生きる、自己を知り、自己を確立する、アカデミックスキルと研究倫理・生成 AI について	テキスト1、2章講読、自己紹介、ディスカッション、動画視聴	本学の三つのポリシーとテキストの学長のメッセージを読む
2	世界に目を向け、異文化に心を開く、ポートフォリオで自主的な学修	動画視聴、グループディスカッション	テキスト4章講読、課題① 視聴動画内容の要約
3	学ぶ姿勢を見直そう―大学での学び、ノートの取り方のこつ、スケジュール管理、インターネット・SNS 利用上の留意点	動画視聴、ノートテイキング、グループディスカッション	テキスト5章講読、課題② 視聴動画内容の要約
4	最初の一步を踏みだそう―質問の仕方、レポート作成時の注意事項、プレゼンの準備、研究倫理について	動画視聴、グループディスカッション、質疑応答	テキスト6章講読、課題③ 視聴動画内容の要約
5	文章のパラグラフ構造―要約と文章の中心文	動画視聴、グループディスカッション	Moodle 教材ノートテイキング①、課題④、プレゼンテーションの準備
6	ゼミ選択と進路選択―卒業までの計画、進路決定のために何をするか+プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト7章講読、課題⑤ ノートテイキング②、プレゼンテーションの準備
7	編入への道―編入試験の概要、進学のために何をすべきか+プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト8章講読、ノートテイキング③、プレゼンテーションの準備
8	就職への道―働くとはどういうことか、企業は学生に何を求めているのか+プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト9章講読、プレゼンテーションの準備
9	女性のキャリアとライフコース―働く女性の状況、あなたのライフプラン+プレゼンテーション	動画視聴、ディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト10章講読、課題⑥ プレゼンテーションの準備
10	キャリア・パスを考える―なぜ進学/就職するのか、理由を説明する+プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト11章講読、プレゼンテーションの準備
11	将来の夢を実現するためのリサーチ、情報リテラシー―リサーチプランを作成する	グループディスカッション、情報収集の仕方	テキスト12章、15章講読 小論文のためのリサーチ
12	論点をまとめる―リサーチしたことをグループでシェア、小論文の骨組みをつくる、引用の仕方	グループディスカッション、アウトライン作成	テキスト13章講読、小論文のためのリサーチ
13	小論文を書く―先行研究や得た情報を踏まえてメイン・パラグラフを作成、学修ポートフォリオの書き方	小論文の相互チェック、講評	小論文のアウトライン作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	小論文の発表、学修ポートフォリオ作成	プレゼンテーションと質疑応答	小論文作成

テキスト	上智大学短期大学部編『Essentials ―A Guide to Finding the Right Career Path for You』
参考書	小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書)

科目名	SES100: 基礎ゼミナール (再)				担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	水1限		研究室	4202	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-④	
キーワード	導入教育、アカデミックスキル、プレゼンテーションの方法、小論文の書き方、研究倫理						
授業の概要	本学の教育理念である“ <b>For Others, With Others</b> ”を目指す学生生活への導入となる授業です。大学での学びに必要なアカデミックスキルを身につけ、将来のキャリア形成を視野に入れた大学生活のプランをたてていきます。						
達成目標(授業の目的)	大学での自律した学びに必要なアカデミックスキルが身につきます。具体的には、さまざまな分野の問題を論じるために必要となる専門的な情報や知識をどのように得て、プレゼンテーションや小論文としてどのように発信していくかを実践しながら学びます。また大学生が知っておくべき研究倫理についても学びます。						
到達目標(学修成果)	学生同士のディスカッション、プレゼンテーションを中心に日本語での発信力を磨きます。また、専任教員による Moodle 上のショートレクチャーや小論文を用いて、ノートテイキング技術や要約の仕方、小論文の書き方を実践的に身につけます。						
評価方法	①課題：6%×6回=36%、②Moodle教材のノートテイキング：4%×3回=12%、③プレゼンテーション：22%(発表15%、司会7%)、④小論文作成と発表：30%(小論文25%、発表5%)						
評価基準	①課題：提出期限、内容および書式を遵守できているか。 ②ノートテイキング：3つのレクチャーについて自分の言葉で要点をまとめ、論理的にコメントを書いているか。 ③プレゼンテーション：内容が整理されていて効果的な資料が提示されているか、声の大きさやスピードが適切でわかりやすく表現しているか。 ④小論文作成と発表：小論文は論点が明確でパラグラフライティングができているか。発表は要点をまとめて説明できているか。						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	他者のために、他者とともに生きる、自己を知り、自己を確立する、アカデミックスキルと研究倫理・生成AIについて	テキスト1、2章講読、自己紹介、ディスカッション、動画視聴	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
2	世界に目を向け、異文化に心を開く、ポートフォリオで自主的な学修	動画視聴、グループディスカッション	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
3	学ぶ姿勢を見直そう―大学での学び、ノートの取り方のこつ、スケジュール管理、インターネット・SNS利用上の留意点	動画視聴、ノートテイキング、グループディスカッション	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
4	最初の一歩を踏みだそう―質問の仕方、レポート作成時の注意事項、プレゼンの準備、研究倫理について	動画視聴、グループディスカッション、質疑応答	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
5	文章の Paragraph 構造―要約と文章の中心文	動画視聴、グループディスカッション	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
6	ゼミでの学修と進路選択―卒業までの計画、進路決定のために何をするか+プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
7	編入への道―編入試験の概要、進学のために何をすべきか+プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	解説の要約、教材の準備
8	就職への道―働くとはどういうことか、企業は学生に何を求めているのか+プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	教材の準備、論文の作成
9	女性のキャリアとライフコース―働く女性の状況、あなたのライフプラン+プレゼンテーション	動画視聴、ディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
10	キャリア・パスを考える―なぜ進学/就職するのか、理由を説明する+プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
11	将来の夢を実現するためのリサーチ、情報リテラシー―リサーチプランを作成する	グループディスカッション、情報収集の仕方	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
12	論点をまとめる―リサーチしたことをグループでシェア、小論文の骨組みをつくる、引用の仕方	グループディスカッション、アウトライン作成	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
13	小論文を書く―先行研究や得た情報を踏まえてメイン・パラグラフを作成、学修ポートフォリオの書き方	小論文の相互チェック、講評	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	小論文の発表、学修ポートフォリオ作成	プレゼンテーションと質疑応答	小論文作成

テキスト	上智大学短期大学部編『Essentials ―A Guide to Finding the Right Career Path for You』
参考書	小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書)
履修条件、前提科目	2024年度秋学期開始時点で「基礎ゼミナール」の単位未修得者を対象とする。

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	永野 良博	
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4218	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-③	
キーワード	アメリカ文学、Hemingway、個人、家族、友人、生と死、愛、戦争、人種、ジェンダー						
授業の概要	アメリカの作家 Ernest Hemingway による文学作品とそれらに関する研究書や論文を読み、小説の研究に必要な基礎的な知識を身に付けてゆく。多くを語らない抑制された文章を読み、創造的に主題を読み取る。扱われる主題は、個人の確立、家族、友人、恋人、生と死、戦争と PTSD、伝統とそこからの脱却、人種的マイノリティーとの関係、文明と自然、ジェンダー、身体論等。授業では学生同士そして教員との意見交換が中心となる。						
達成目標(授業の目的)	文学作品の登場人物の心理と人間関係を理解し、同時に作品がそれらをどのような形式や文体で描き出すのかを理解することが主な目的である。そして作品が提示する問題をより広い社会や歴史上の問題と関連させて考え、口頭及び文章において論じる力を身に付ける。様々な研究主題とそれらが持つ重要性を理解し、そこから独自の文学論を形成し、最終的には人間性と社会に関して、学生個人として新たな発見をしてゆく。						
到達目標(学修成果)	文学作品と研究資料からメモを取ることから始めて、文学的主题の発見と研究方法の基礎を身に付けることが出来る。同時に日々の気付きと研究成果について、授業で他の学生と討論を重ね、発展させることが出来る。作品と先行研究を十分に理解し、それらに関する自分の意見を発展させて研究ノートにまとめ、独自の主題を設定し、基礎的な学術論文を作成出来る。さらに最終的な研究の成果を効果的に口頭発表出来る。						
評価方法	授業参加 (40%)、研究ノート (30%)、論文 (20%)、研究発表 (10%)						
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、理解し、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を発表出来ること。研究ノートでは作品と先行研究に関する十分な理解を示し、それに対する自分独自の意見の記述をする。論文では以上の成果を基に明確で論理的な文学論を書く。論文の発表では、口頭での明確な意見の発表と共に、十分な質疑応答が出来るよう、発表内容に関する補足説明事項や発展的な考えを準備する。						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> <li>・ 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Ernest Hemingway 初期短編導入 冰山理論と作品読解に向けて 課題説明	講義、意見交換	“The Doctor and the Doctor’s Wife”を読む
2	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 父と母、科学と宗教、倫理的行為	意見交換、講評	“The Doctor…,” 研究書、論文を読む
3	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 悪の拒絶、異人種との共存	意見交換、講評	“The Doctor…,” 研究書、論文を読む
4	“Soldier’s Home” 失われた世代、破壊と日常、破壊と文明、PTSD	意見交換、講評	“Soldier’s Home,” 研究書、論文を読む
5	“Soldier’s Home” 虚偽の人生、愛の喪失、伝統的共同体	意見交換、講評	“Soldier’s Home,” 研究書、論文を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
6	“Cat in the Rain” 他者の欲望と自己の欲望、夫婦の危機	意見交換、講評	“Cat in the Rain,” 研究書、論文を読む
7	“Cat in the Rain” 髪を伸ばすこと、猫が表すもの、父権制	意見交換、講評	“Cat in the Rain,” 研究書、論文を読む
8	“Indian Camp” 生と死、通過儀礼、マイノリティー女性の身体、論文作成法	意見交換、講評	“Indian Camp,” 研究書、論文を読む
9	“Indian Camp” 自然、文明、医師の倫理 大学生の研究倫理	意見交換、講評	“Indian Camp,” 研究書、論文を読む
10	“End of Something” 未成熟な恋愛、時間について	意見交換、講評	“End of Something,” 研究書、論文を読む
11	“End of Something” ハードボイルド的文体、男性間の連帯と女性	意見交換、講評	“End of Something,” 研究書、論文を読む
12	研究発表	発表、質疑応答	発表原稿作成
13	研究発表	発表、質疑応答	発表原稿作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	研究発表	発表、質疑応答	発表原稿作成

テキスト	Ernest Hemingway. <i>The Complete Short Stories of Ernest Hemingway</i> (Scribners). アーネスト・ヘミングウェイ『われらの時代・男だけの世界』(新潮文庫) Hemingway に関する研究書及び論文
------	---

科目名	SES200: ゼミナール I			担当教員	永野 良博	
開講期	春	開講時限	水 4 限		研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	アメリカ小説、自己、分身、自由意志、人種、ジェンダー、戦争、予定説、脱真実					
授業の概要	アメリカ小説と関連する第二次資料を読み、小説の研究に必要な知識を身に付ける。中心的主題は自己の問題であり、それを軸として自己同一性、分身、自由意志、自己決定等をめぐる考察を行い、社会的な問題である人種、ジェンダー、戦争、予定説、脱真実等へと議論を広げる。作品読解を通して多様な生の在り方を分析し、独自の主題発見を基に論文作成を行い、また英文読解力の向上を目指す。学生同士の議論と学生による研究発表が中心となる。					
達成目標(授業の目的)	小説が示す登場人物の自己に関わる問題と、彼等が持つ他者、社会、文化、歴史との複雑な関係を理解することが主な目的である。また様々な文学的主题への理解を深め、それらを文学研究者達がどのように論じ、人間性や彼等を取り巻く世界に関する発見へと繋げてきたのか理解する。また文学作品の読み取り方、そしてそれらに関する研究論文の書き方を習得する。同時に発表力、質問力、そして意見交換を通じた建設的な議論実行力を身に付ける。また文学作品の英文を読み解く力を身に付ける。					
到達目標(学修成果)	登場人物の考えや行動について理解を深め、彼等を取り巻く世界について、出来るだけ多くの主題を読み取り、独自の主題発見が出来る。他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点や可能性について知り、議論を発展させることが出来る。独自の主題に基づく文学論を作成し、効果的に口頭発表出来る。英語の文学作品の読解を通して比喩的かつ重層的な文章の読解力を伸ばすことが出来る。					
評価方法	授業参加 (文学作品に関する議論) (40%)、論文 (30%)、研究発表 (30%)					
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で提示出来ること。また他人の意見に対して建設的な意見を与えられること。論文作成では、文学的主题の発見力、独自の意見の構築力、論理的議論発展力が求められる。発表は主題を適切にまとめたレジュメを基に行い、質問に対して周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要。発表内の英文解説では、第一次資料から選んだ英文について、語彙、文法、意味の解説を的確に行うことが出来ること。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> <li>・ 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	作品解説および研究展望の発表導入、論文作成の方法、大学生の研究倫理	講義、質疑応答	発表レジュメ作成・論文作成に関するハンドアウトを読む
2	Paul Auster, <i>Ghosts</i> 自己同一性と他者、自己と分身、生の再考	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
3	Truman Capote, <i>Breakfast at Tiffany's</i> 自己確立と自由の追求、所有意識の拒絶	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
4	Toni Morrison, <i>The Bluest Eye</i> 自己同一性、異人種の美の基準、歪んだ生	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
5	Alice Walker, <i>The Color Purple</i> 自己発見、黒人女性の団結、ウーマニズム	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
6	Kurt Vonnegut, <i>Slaughterhouse-5</i> 決定論と自由意志、戦争と個人、時間旅行	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
7	John Barth, <i>The End of the Road</i> 自己喪失、自己決定、真正な個人、脱真実	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
8	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
9	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
10	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
11	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
12	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
13	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	論文完成に向けた報告、課題の提示と解決	発表、質疑応答	論文最終確認

テキスト	授業計画内で示した六つの小説の中の一つを一人の学生が担当し、その原書と邦訳書および関連した第二次資料を担当する。それらを基に学生が研究発表用の資料を作成し授業で配布する。その他、担当教員が論文作成や発表に関わる資料を必要に応じて配布する。
------	---



科目名	SES300: ゼミナールⅡ			担当教員	永野 良博	
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	アメリカ小説の自律的研究、独自の主題の発見とそれへのアプローチ					
授業の概要	アメリカ小説を第一次資料とし、小説に学生自らが興味を持つ主題を関連させながら研究を進め、その成果を報告し、討論を行い、研究論文を作成する。学期前半には学生が研究対象として選択した小説の意義とその後追求する研究課題を口頭発表により明らかにする。それを基に、多様な第二次資料の読解と理解を基に研究を発展させ、その成果を発表し、論文にまとめる。学生同士の議論そして学生による研究発表が中心となる。					
達成目標(授業の目的)	文学作品の登場人物の心理に関わる問題と、彼等が持つ他者、社会、文化、歴史との複雑な関係を深く理解することが主な目的である。また様々な文学的主题に慣れ親しみ、それらを文学研究者達がどのように論じ、人間性や彼等を取り巻く世界に関する発見へと繋げてきたのか深く理解し、独自の発見に繋げる。春学期に修得した知識を活かし、より幅広く調査、研究を行い、自らの研究主題を発展させ、学期末に充実した研究論文としてまとめる。また文学作品の英文を読み解く力を身に付ける。					
到達目標(学修成果)	登場人物の考えや行動について理解を深め、彼等を取り巻く世界について、多くの主題を読み取り、独自の課題発見を基に主題設定することが出来る。他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点や可能性について知り、議論を発展させることが出来る。独自の文学論を作成し、それを効果的に口頭発表し、充実した研究論文を提出する。英語の文学作品の読解を通して比喩的かつ重層的な文章の読解力を伸ばすことが出来る。					
評価方法	授業参加(文学作品に関する議論)(20%)、論文(50%)、研究発表(30%)					
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で提示出来ること。また他人の意見に対して建設的な意見を与えられること。論文作成では、文学的主题の発見力、独自の意見の構築力、論理的議論発展力、そして主に人間性について新たな発見を示すことが求められる。発表は主題を適切にまとめたレジュメを基に行い、質問に対して、周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要である。発表内の英文解説では、第一次資料から選んだ英文について、語彙、文法、意味の解説を的確に行うことが出来ること。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	論文作成の方法、大学生の研究倫理	講義、質疑応答	課題論文・論文作成重点事項に関するハンドアウトを読む
2	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
3	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
4	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
5	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
6	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
7	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
8	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジюме作成
9	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジюме作成
10	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジюме作成
11	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジюме作成
12	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジюме作成
13	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジюме作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	論文完成に向けた報告、課題の提示と解決	発表、質疑応答	論文最終確認

テキスト	学生が各自第一次資料及び第二次資料を選ぶ。また学生が研究発表用の資料を授業で配布する。その他、担当教員が論文作成や発表に関わる資料を必要に応じて配布する。
------	---

科目名	SES200: ゼミナール I			担当教員	平野 幸治	
開講期	春	開講時限	水 4 限		研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	曖昧さ (ambiguity)、比喩 (metaphor)、共感 (empathy)、和解 (reconciliation)					
授業の概要	現代の作家 Kazuo Ishiguro の作品が有する個性性と汎用性を考慮し、作品研究を行い、その成果を活かし専門用語が理解できるよう授業を展開する。プレゼミで用いたテキストを活用し分析のポイント、特にプロットや登場人物の描写と作品のテーマがどう結びつくのかを理解する。グループで文学研究の広がりや読者としての主体性の在り方を討論し、学期末にはグループ・ワークによる成果を協力して発表する。					
達成目標 (授業の目的)	学生は、Kazuo Ishiguro の文学作品『日の名残り』、『私を離さないで』、『クララとお日さま』から、専門用語と研究方法が理解できるようになる。特に彼の作品の持つ個性性と汎用性に着目し、グループに分かれて互いに意見を出し合い、彼の作品の今日的意義についてキーワードを手掛かりに討議する。また William Shakespeare の劇『リア王』を用いて、専門知識と研究方法を身につけ、学期末にグループで発表の準備をする。					
到達目標 (学修成果)	学期末に学生は、プロット・サマリーや DVD の視聴を基に作品についてグループ・ディスカッションや 10 分程度の発表ができるようになる。他者の意見を聞くことによって自己の考えを相対化し、意見を修正できるようになる。先行研究を十分に活用し作品からの引用を使い論理的に 3,000 字程度の日本語の文章が書けるようになる。					
評価方法	①グループ・ディスカッション終了時に専用フォームにグループ内の書記が記入しその成果を発表する (20%: 5%×4 回)。②グループ・ワークの成果をプレゼンテーションする (28%: 10%+10%+8%)。③グループ・ワークのプレゼンテーションをした後で、各自の発表のレポートを学期末に提出する (24%)。④毎回の授業の終了時に回収する form に授業に関する質問や意見をきちんとした日本語で述べる (28%: 2%×14 回)。					
評価基準	評価基準の詳細は授業の初回時に説明する。基本的には以下の枠組み。 ① 準備学習を踏まえてグループ・ディスカッションに積極的に参加し、グループ発表に貢献しているか。 ② プレゼンテーションは獲得した知識を活用して展開しているか。 ③ 研究者としての倫理を踏まえたレポートで過不足なく字数制限を遵守しているか。 ④ 上記に記述。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle で行う</li> <li>・ 口頭で行う</li> <li>・ 提出物にコメントをつけて返却する</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	イントロダクション: 授業の進め方と Kazuo Ishiguro の作品の文学的意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント (1500 wds) の下調べおよび DVD を視聴
2	Kazuo Ishiguro の作品研究: 『日の名残り』語り手の「曖昧さ」の効果と意義について	①-A グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのため資料整理
3	Kazuo Ishiguro の作品研究: 『日の名残り』登場人物の内面の変化と展開について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント (1500 wds) の下調べおよび DVD を視聴

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	Kazuo Ishiguro の作品研究：『日の名残り』登場人物の内面の変化、特に共感について	①-B グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
5	Kazuo Ishiguro の作品『日の名残り』の②-A グループ発表	ディスカッションを踏まえた講義	発表原稿の整理と YouTube 視聴（90分）
6	作品研究：『私を離さないで』の語り手の「曖昧さ」の効果と意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
7	作品研究：『私を離さないで』の登場人物の内面の変化と展開について	①-C グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理と YouTube 視聴
8	作品研究：『私を離さないで』の登場人物の内面の変化、特に和解について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
9	Kazuo Ishiguro の『私を離さないで』の②-B グループ発表	発表と質疑応答と講評	発表原稿の整理と YouTube 視聴（90分）
10	作品研究：『クララとお日さま』の語り手の「曖昧さ」の効果と意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500 wds）の下調べ
11	作品研究：『クララとお日さま』の登場人物の内面の変化と展開について	講義とプロット・サマリーの説明	ディスカッションの資料整理
12	William Shakespeare 『リア王』の発表の準備と研究倫理や plagiarism について	発表と質疑応答と講評	発表原稿の整理
13	William Shakespeare 『リア王』の発表の準備と研究倫理や plagiarism について	講義とプロット・サマリーの説明	③レポートの提出準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Kazuo Ishiguro の世界について及び文学研究の有用性について	返却、講評とディスカッション	配布資料の整理

テキスト	Jonathan Bate. <i>English Literature: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press). およびプリント配布
参考書	D. ロッジ、柴田元幸・斉藤兆史訳『小説の技巧』（白水社） Stanley Wells. <i>Shakespeare's Tragedies: A Very Short Introduction</i> (OUP).

科目名	SES300: ゼミナールⅡ			担当教員	平野 幸治	
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	ambiguity(曖昧さ), metaphor(比喩), intolerance(不寛容さ), reconciliation(和解)					
授業の概要	学期前半は、William Shakespeareの劇を扱い、専門用語と研究方法が理解できるように授業を展開する。悲劇および喜劇を各一つ扱い、グループでそれぞれの劇のテーマと演出の効果をディスカッションする。後半は、 <i>The Hours</i> (『めぐり合う時間たち』)を扱い、映像と文学の観点から作品を考察する。学期末には口頭発表を行い論文を完成する。					
達成目標(授業の目的)	学期前半はゼミナールⅠで獲得した文学研究の方法論をWilliam Shakespeareの劇の考察に応用し、劇のテーマと演出の効果についてグループで討議し発表する。普遍性と個別性の観点からShakespeareの作品を理解する。後半は、映像と文学という観点から <i>The Hours</i> を扱い、Virginia Woolfという作家の問題意識と先進性に焦点を当てる。期末に論文を完成する。					
到達目標(学修成果)	学期末に学生は、ゼミ論文を完成し、発表ができるようになる。Shakespeareの劇の特徴を理解し、Virginia Woolfの問題意識と先進性を把握し、①ディスカッションによって問題意識と発問のスキルを獲得できるようになる。②グループで発表ができるようになる。③研究者としての倫理を踏まえ、英語のabstractを付した5,000字以上の論文が書けるようになる。④発問の仕方、知識を検証する習慣が身に付くようになる。					
評価方法	①ディスカッション終了時に成果を発表する(15%:5%×3回)。②学期末にグループ・ワークの成果をプレゼンテーションする(27%:発表15%+レジュメ提出12%)。③研究者としての倫理を踏まえたゼミナール論文(英語のabstractと5,000字以上の日本語)を学期末に提出(30%:アウトライン報告5%+論文の中間発表5%+提出論文20%)。④授業の終了時に回収するformに発問の仕方等を適切な英語で述べる(28%:2%×14回)。					
評価基準	評価基準は授業の初回に詳しく説明する。基本的には以下の枠組み。 ① 準備学習を踏まえてグループ・ディスカッションに積極的に参加し、グループ発表に貢献しているか。 ② プレゼンテーションは獲得した知識を活用して展開しているか。 ③ 研究者としての倫理を踏まえたゼミナール論文で過不足なく字数制限を遵守しているか。 ④ 上記に記述。					
課題等に対するフィードバック方法	・Moodleで行う ・口頭で行う ・提出物にコメントをつけて返却する					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	William Shakespeareの <i>The Tragedy of King Lear</i> と <i>Pericles, Prince of Tyre</i> の作品の研究	講義とプロット・サマリーの説明	プリント(2000wds)の下調べおよびDVDの視聴
2	悲劇 <i>The Tragedy of King Lear</i> の作品研究の方向性と歴史的経緯について	①-1 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
3	喜劇 <i>Pericles, Prince of Tyre</i> の作品研究の方向性と歴史的経緯について	①-2 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
4	<i>King Lear</i> と <i>Pericles</i> の作品研究(1)と ③ゼミナール論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑 応答	アウトライン作成と発表の整 理とプリントの下調べ
5	<i>King Lear</i> と <i>Pericles</i> の作品研究(2)と ③ゼミナール論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑 応答	アウトライン作成と発表の整 理とプリントの下調べ
6	<i>King Lear</i> と <i>Pericles</i> の作品研究(3)と ③ゼミナール論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑 応答	アウトライン作成と発表の整 理とプリントの下調べ
7	③ゼミ論文のアウトライン報告と研究者と しての倫理構築と plagiarism について	講義および発表と質疑 応答	アウトライン作成と発表の整 理とプリントの下調べ
8	映画 <i>The Hours</i> のテーマ(和解)と Virginia Woolf の問題意識と社会の相関性について	講義とプロット・サマ リーの説明	プリント(2000wds)の下調 べおよび DVD の視聴
9	③ゼミナール論文の中間発表(全員)	発表と質疑応答および 講評	発表用の原稿作成と配布資料 整理
10	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の研究 (1): 内面、特に不寛容さについて	講義とプロット・サマ リーの説明	プリント(2000wds)の下調 べおよび DVD の視聴
11	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の研究 (2): 内面、特に和解について	①-3 グループ・ディス カッションと発表	ディスカッションのための論 点整理
12	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の研究 (3): 登場人物の人的成熟について	ディスカッションを踏 まえた講評	プリント(2000wds)の下調 べおよび DVD の視聴
13	②グループワークの成果の発表	発表の講評、講義と③	③ゼミナール論文の提出準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	グループワークの講評と改善の提示	論文の返却と講評、デ ィスカッション	配布資料の整理

テキスト	Jonathan Bate. <i>English Literature: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press). およびプ リント配布
参考書	D. ロッジ、柴田元幸・斉藤兆史訳『小説の技巧』(白水社) Stanley Wells. <i>Shakespeare's Tragedies: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press).

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	近藤 佐智子	
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4208	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-③	
キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、英語教育						
授業の概要	私たちは、住んでいる地域、文化、年齢、ジェンダー、職業といった様々な社会的要因によって、異なる話し方をする。また、場面や相手によって巧みに話し方を変えるということも日常的に行っている。このゼミでは、主に英語と日本語について、このような社会と言語のダイナミックな関係について基礎知識を得る。社会言語学の基礎文献を読み、その内容をまとめ、発表し、ディスカッションをする力をつける。						
達成目標 (授業の目的)	社会言語学に関する基礎的知識を得ることを目標とする。社会言語学の理論やこれまでの研究内容を理解し、私たちの日々のことばの使用とどのような関係があるのかを考察する力をつける。また、得た知識を発表することによって効果的に他者に伝えることができるようになる。						
到達目標 (学修成果)	社会言語学の入門書を読むことによって、分析的な思考能力、読んだものをまとめる力、レジメを作成する力、相手に効果的に伝わる発表をする力、疑問点を追求し議論をする力をつけることを目標とする。また、課題のレポート作成によって、研究トピックの選定方法、文献の探し方、研究倫理に関する知識、レポートの構成方法などを学ぶ。						
評価方法	授業時の積極参加 (10%)、発表 (30%)、レポート (30%)、要約の提出 (30%)						
評価基準	授業時の積極参加 (10%) 授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量 発表 (30%) レジメの構成、レジメの内容が的確に要点を捉えているかどうか、発表の内容 (理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか)、発表の態度 (声の大きさ、話し方など) レポート (30%) 複数の文献を読み、引用などの規則を適切に守り、論理的にレポートが構成されているか、レポートの内容が論点ごとに整理されており、自分の考えが明確に述べられているかどうか 要約と調べ学習の提出 (30%) 教科書各章の要約と疑問点に関する調べ学習の提出 (要約は内容のポイントを捉えているかと全回提出したか、疑問点について調べそれをまとめることができたか)						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle で行う / Moodle</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

## 授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	導入 (言語学とは、授業の運営方法、発表とレジメの作成方法、要約の仕方)	講義	教科書 1-9 頁読む
2	導入 (社会言語学とは)	講義	教科書 1-9 頁読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
3	地域方言	学生の発表 ディスカッション	教科書 28-37 頁読み要約 発表者はレジメ作成
4	社会方言	学生の発表 ディスカッション	教科書 38-51 頁読み要約 発表者はレジメ作成
5	言語変異論と言語変化	学生の発表 ディスカッション	教科書 52-61 頁読み要約 発表者はレジメ作成
6	言語使用域と文体	学生の発表 ディスカッション	教科書 62-71 頁読み要約 発表者はレジメ作成
7	レポートの書き方(1)、研究倫理教育、文献の探し方	講義 ディスカッション	リザーブブックリストに目を通す
8	ピジンとクレオール	学生の発表 ディスカッション	教科書 72-81 頁読み要約 発表者はレジメ作成
9	世界各地の英語	学生の発表 ディスカッション	教科書 82-95 頁読み要約 発表者はレジメ作成
10	言語習得と異文化接触	学生の発表 ディスカッション	教科書 108-117 頁読み要約 発表者はレジメ作成
11	言語と文化	学生の発表 ディスカッション	教科書 118-127 頁読み要約 発表者はレジメ作成
12	発話行為と丁寧さ	学生の発表、講義 ディスカッション	教科書 128-139 頁読み要約 発表者はレジメ作成
13	レポートの書き方(2)、構成と書式、研究内容発表	講義、学生の発表 ディスカッション	レポートの内容を口頭発表できるように準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	総括	ディスカッション	レポート提出

テキスト	田中春美・田中幸子(編著)『よくわかる社会言語学』(ミネルヴァ書房)
参考書	中尾俊夫ほか(著)『社会言語学概論:日本語と英語の例で学ぶ社会言語学』(くろしお出版) 田中春美・田中幸子(編著)『社会言語学への招待』(ミネルヴァ書房)

科目名	SES200: ゼミナール I			担当教員	近藤 佐智子	
開講期	春	開講時限	水 4 限		研究室	4208
分類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	社会言語学、言語変種、言語変化、アイデンティティ、多言語主義、ジェンダー					
授業の概要	主に英語と日本語を対象に、社会生活と言語のダイナミックな関係を社会言語学、語用論、心理言語学の観点から研究する。個人や集団のアイデンティティ、ジェンダー、性差別、宗教、政治などがどのように言語と関係しているかについて英語で書かれた文献を読み、具体的な事象に照らし合わせてディスカッションを行う。学期の最後には各自選択した研究テーマについて文献研究を行い論文にまとめ、秋学期に執筆するゼミ論文の計画を立てる。					
達成目標 (授業の目的)	社会の中で言語がどのように使用されているのかを分析できるようになるために、社会言語学の理論および先行研究の内容を理解し、それらの研究結果が妥当であるかを判断できるようになる。幅広い文献を使って研究ができるようになるために、英語で書かれた入門書を読む力をつける。各自選択したテーマについて秋学期に実証研究を行う素地を作るために、文献研究を行う。					
到達目標 (学修成果)	英語の入門書を読み、要約や発表用レジメを作成し、内容を日本語で口頭発表することができるようになる。理論、専門用語、先行研究の内容を理解し、具体例をあげて説明やディスカッションができるようになる。各自が選択したテーマに沿った文献を探す、読む、論文の形式でまとめることができるようになる。実証研究計画を立てることができるようになる。					
評価方法	文献研究論文 (30%)、発表 (30%)、要旨の提出 (30%)、授業時の積極参加 (10%)					
評価基準	文献研究論文 (30%) 複数の文献を読み、引用などの規則を適切に守り、論理的に論文が構成されているか。論点が整理され、自分の考えが明確に述べられているか。 発表 (30%) (英語テキストの発表 25%、読んだ論文の内容を発表 5%) レジメの構成、レジメの内容が的確に要点を捉えているかどうか。発表の内容 (理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか)、発表の態度 (声の大きさ、話し方など) 要旨の提出 (30%) 英語テキスト各章の要約の提出 (内容のポイントを捉え疑問点と調べ学習の内容を明記しているかどうか、全回提出したか) 授業時の積極参加 (10%) 授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle で行う / Moodle</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	導入、英語文献の読み方、要約方法、研究の進め方、文献研究論文の書き方	講義 ディスカッション	テキスト全体を概観
2	Ch. 1: Coming to terms	学生の発表 ディスカッション	テキスト 1-14 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
3	Ch. 2: Variation and change	学生の発表 ディスカッション	テキスト 15-30 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
4	Ch. 3: Perceptions of language	学生の発表 ディスカッション	テキスト 31-45 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
5	Ch. 4: Protecting language	学生の発表 ディスカッション	テキスト 46-59 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
6	Ch. 5: Languages great and small	学生の発表 ディスカッション	テキスト 60-67 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
7	個人研究の進め方：文献の探し方、文献研究論文の書き方、研究倫理教育	講義 演習	個人テーマの論文作成(論文提出日まで継続)
8	Ch. 6: Loyalty, maintenance, shift, loss, and revival	学生の発表 ディスカッション	テキスト 68-78 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
9	Ch. 7: Multilingualism	学生の発表 ディスカッション	テキスト 79-96 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
10	Ch. 8: Name, sex, and religion	学生の発表 ディスカッション	テキスト 97-117 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
11	実証研究の計画：リサーチとは何か？なぜ先行研究を調べるのか？引用方法	講義 ディスカッション	テキスト(田中) 1-18 頁読む
12	実証研究の計画：リサーチクエスチョンと調査方法	講義 ディスカッション	テキスト(田中) 21-24 頁読む
13	読んだ論文の内容を発表	学生の発表 ディスカッション	発表レジメの作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	総括	講義 ディスカッション	文献研究論文提出

テキスト	John Edwards. <i>Sociolinguistics: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press). 田中典子『はじめての論文：語用論的な視点で調査・研究する』(春風社)
参考書	飯野公一ほか『新世代の言語学―社会・文化・人をつなぐもの』(くろしお出版) 岡本真一郎『ことばのコミュニケーション―対人関係のレトリック』(ナカニシヤ出版)
その他 特記事項	英語の予習と復習が必要である。



科目名	SES300: ゼミナールⅡ			担当教員	近藤 佐智子	
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4208
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、会話分析、実証研究					
授業の概要	ゼミナールⅠで得た社会言語学および語用論に関する知識を基に、個人で研究テーマを設定し、実際に調査研究を行い、成果を「ゼミ論文」としてまとめ、口頭でも発表する。その過程で論文の書き方、研究倫理、調査方法、分析方法、発表方法について学び、論文の完成に向けて段階的に準備を行う。					
達成目標(授業の目的)	言語の分析能力を身に付けるために、学生は自ら実証研究を行い、その研究の妥当性や先行研究との関連を判断できるようになることを目標とする。また、他の学生の研究発表を聞き、ディスカッションをすることによって、論理的思考をし、論理的に他者を説得することができるようになる。					
到達目標(学修成果)	社会言語学や語用論の理論や先行研究をふまえて、実証研究ができるようになる。研究にあたっては、先行研究論文を批判的に読み、仮説が検証できるような研究計画を立て、データを分析し、その結果を先行研究結果と比較考察し、結論を導き出すことができるようになる。また、論理的に文章を組み立てて論文を書き、その内容を効果的な視覚的補助を用いて発表することができるようになり、他者の発表に対しても分析的な発言ができるようになる。					
評価方法	実証研究論文(40%)、5回の発表(30%)、5回の発表のレジメ提出(20%)、授業時の積極参加(10%)					
評価基準	実証研究論文(40%) テーマや仮説の設定が適切か、仮説が検証できる調査方法か、データ分析が適切か、研究結果が論理的に説明できているか、研究結果を先行研究と比較して検証しているか、定められた書式にそって書かれているか 5回の発表(30%) 研究計画、読んだ論文の報告、中間発表1、中間発表2、最終発表(計5回)の発表における発表の内容(理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか、的確に要点を提示しているかどうか)、発表の態度(声の大きさ、話し方などが効果的か) 5回の発表のレジメ提出(20%) 研究計画、読んだ論文の報告、中間発表1、中間発表2のレジメと最終発表のパワポ(内容のポイントを分かりやすく提示したかどうか、全回提出したかどうか) 授業時の積極参加(10%) 授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Moodleで行う</li> <li>・口頭で行う</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	研究の進め方、研究倫理教育、研究計画の発表、論文の書き方	講義、学生の発表 ディスカッション	研究計画提出、個人研究データ分析
2	読んだ論文の内容発表	学生の発表 ディスカッション	各自論文を1本読み発表の準備、個人研究データ分析

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
3	読んだ論文の内容発表	学生の発表 ディスカッション	各自論文を1本読み発表の準備、個人研究データ分析
4	研究中間報告発表(1) グループA	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
5	研究中間報告発表(1) グループB	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
6	研究中間報告発表(2) グループA	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
7	研究中間報告発表(2) グループB	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
8	最終研究発表 ゼミ論文作成                   グループ①	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
9	最終研究発表 ゼミ論文作成                   グループ②	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
10	最終研究発表 ゼミ論文作成                   グループ③	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
11	ゼミ論文の書式など最終確認	講義 ディスカッション	ゼミ論文初稿提出
12	ゼミ論文講評、ゼミ論文修正、Abstractの書き方	講義 論文修正	ゼミ論文の直し
13	ゼミ論文修正	論文修正	ゼミ論文の直し Abstractを書く
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	総括	ディスカッション	ゼミ論文最終稿提出

テキスト	田中典子『はじめての論文：語用論的な視点で調査・研究する』(春風社) オリジナル資料『論文テーマの決定と仮説の立て方』『論文の書き方』
参考書	戸田山和久『新版論文の教室：レポートから卒論まで』(NHK出版) 『近藤ゼミ論文集』(図書館リザーブブック)

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	丹木 博一	
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4214	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-③	
キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味						
授業の概要	人間のいのちについてどのような問いや関心が自分のうちに息づいているかをはっきりと自覚し、その問いを哲学的に練り上げ、考察した内容を分かりやすくグループ発表ができるようにする。ディスカッションを通して各自の研究テーマを明確にし、そのテーマについてどうすれば考えを推し進めていくことができるかを学ぶ。						
達成目標(授業の目的)	哲学及び倫理学の分野における基礎的な研究姿勢を養うことが達成目標である。						
到達目標(学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いにディスカッションを通して、理解を深めていく醍醐味を味わうことができる。</li> <li>文献検索の方法や文献読解の手順を学び、問題を提起し探求する姿勢を身につける。</li> <li>グループのメンバーと協力して発表を準備し、研究発表の手法を学ぶ。</li> <li>自分の研究テーマについて小論文の形で論述展開することができる。</li> </ul>						
評価方法	① 提出課題 (18%=2%×9回) ② 授業参画 (14%=1%×14回) ③ グループ発表 (20%) ④ 期末課題 (2,500字以上のレポート) (48%)						
評価基準	① 提出課題: 事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 ② 授業参画: 毎回の授業中の意見交換に積極的に参加しているかどうか。 ③ グループ発表: グループワークを通して研究関心を練り上げ、問いを提起し、その問いについて適切な文献を選び、それを正確に読解した上で、その内容の紹介とグループによる独自の考察を加えて、分かりやすく発表できるかどうか。 ④ 期末課題: 複数の参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて問いを提起し、先行研究を理解した上で、理由を挙げて自分の考えを論じることができるかどうか。						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Moodleで行う/Moodle</li> <li>口頭で行う/orally</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	オリエンテーション	講義 自己紹介	自己紹介の準備。夏休み課題(ブックノート)の提出。
2	研究方法の紹介・文献検索及び文献読解の方法・研究倫理	講義	教科書①第1章を読み、ポイントを要約して提出。
3	各自の関心の確認とグループ分け	講義・グループ分け グループ作業	自分の研究関心に適う文献を探し書誌データを記し提出。
4	グループごとの研究テーマの練り上げ テキスト批評の仕方を学ぶ	講義 グループ作業	教科書①第2章を読み、ポイントを要約して提出。
5	『星の王子さま』前半講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書②pp.7-94を読み、重要ポイントを要約し提出。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
6	『星の王子さま』後半講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書②pp.94-137を読み、重要ポイントを要約し提出。
7	研究事例の紹介 グループ発表の仕方についての説明	講義 グループ作業	グループごとに研究の概要を提示する。
8	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
9	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
10	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
11	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
12	グループ発表の振り返り 個人研究への導入	講義・小論文作成のエクササイズ	個人研究のテーマと問題意識をまとめて提出。
13	研究レポート(小論文)作成の手順を学ぶ	講義・小論文作成のエクササイズ	教科書①第3章を読む。小論文のアウトラインを提出した上で、小論文を提出。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	小論文へのコメント ゼミⅠに向けてのエクササイズ	講義・エクササイズ	教科書①をもう一度読み直しておく。

テキスト	① 河野哲也『レポート・論文の書き方入門』(慶應義塾大学出版会) ② サンテグジュペリ『星の王子さま』(池澤夏樹訳)(集英社文庫)
参考書	授業内で適宜指摘する。
その他特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げ、わかりやすく伝えようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	SES200: ゼミナール I				担当教員	丹木 博一
開講期	春	開講時限	水 4 限		研究室	4214
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳					
授業の概要	哲学及び倫理学の分野に関する諸問題について、学生が自らテーマを選び、研究を進める。古典を読む力を身につけ、ブックレポートを行い、互いにディスカッションを通して、テーマに関する理解を深めていく。この積み重ねによって、研究方法と発表方法を学び、文献読解、問題提起、論述の論理展開、討論に関する基礎力を身につける。					
達成目標(授業の目的)	哲学及び倫理学における基本的な研究能力を身につけることが達成目標である。					
到達目標(学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の授業において建設的に問いを提起し、討論を繰り広げることができる。</li> <li>・古典的著作を読み解く力をつけ、自ら問いを立て、理解を深めることができる。</li> <li>・研究に必要な文献を探して正しく読解し、理解内容を分かりやすく表現できる。</li> <li>・文献を批判的に読解し、自身の考えを筋道立てて研究論文の形に仕上げることができる。</li> </ul>					
評価方法	① 提出課題 (20%=2%×10 回) ② 授業参画 (14%=1%×14 回) ③ ブックレポート (26%) ④ 小論文 (4,000 字以上) (40%)					
評価基準	① 提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 ② 授業参画：積極的に授業に参加し、議論の深化発展に寄与できるかどうか。 ③ ブックレポート：自らの問いを練り上げ、その問いに関する適切な研究文献を選び、その文献を正確に読解し、理解内容を分かりやすく表現するとともに、批判的に吟味し、自身の意見を提示できるかどうか。 ④ 小論文：自らの思考の軌跡を、研究論文の形式に仕上げ、分かりやすく論述できるかどうか。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodle で行う / Moodle</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション・文献検索の方法・テキスト批評の方法	講義	春休みの宿題 (ブックノート) の提出
2	ブックレポートの方法・小論文の書き方・研究倫理・次週から読むテキストの紹介	講義 ディスカッション	研究テーマについてのアンケート提出・文献検索
3	『人はなぜ戦争をするのか』『戦争と死に関する時評』講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.42-98 を要約し、問いを提起する。
4	『人はなぜ戦争をするのか』『喪とメランコリー』講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.100-136 を要約し、問いを提起する。
5	『人はなぜ戦争をするのか』『人はなぜ戦争をするのか』講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.10-39 を要約し、問いを提起する。
6	『人はなぜ戦争をするのか』『心的な人格の解明』講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.138-187 を要約し、問いを提起する。



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	『人はなぜ戦争をするのか』「不安と欲動の生」前半の講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.190-218を要約し、問いを提起する。
8	『人はなぜ戦争をするのか』「不安と欲動の生」後半の講読・テキスト批評 教科書②の説明	講義 ディスカッション	教科書①pp.219-254を要約し、問いを提起する。
9	ブックレポート 第1回	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
10	ブックレポート 第2回	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
11	ブックレポート 第3回	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
12	ブックレポート 第4回	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
13	論文作成のエクササイズ	講義 ディスカッション	教科書②を読んでおく。アウトライン及び小論文を提出。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	小論文に対する講評 論文作成のエクササイズ	講義 ディスカッション	ゼミ論についての研究計画を提出

テキスト	① フロイト『人はなぜ戦争をするのか—エロスとタナトス』(光文社古典新訳文庫) ② 河野哲也『レポート・論文の書き方入門』(慶應義塾大学出版会)
参考書	小此木啓吾『フロイト思想のキーワード』(講談社現代新書) 十川幸司・藤山直樹編『精神分析のゆくえ』(金剛出版)
その他特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げ、わかりやすく伝えようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	SES300: ゼミナールⅡ			担当教員	丹木 博一	
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4214
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳					
授業の概要	自らが選んだ研究テーマをさらに絞り込み、ゼミナールⅠの研究発表において確認した各自の課題を解決することできるように、さらに研究を進めていく。各自一回研究発表を行い、時間をかけて議論をし、テーマに関する理解を深め、足りない点を自覚しながら、最終的に首尾一貫した研究論文を作成する。					
達成目標(授業の目的)	哲学及び倫理学の分野における研究発表能力及び論文作成能力を身につけることが達成目標である。					
到達目標(学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の授業において建設的に問いを提起し、討論を繰り広げることができる。</li> <li>・自らが提起した問いを研究的に追求し、古典を含む幅広い文献の読解に基づいて、説得力のある研究発表を行う力を身につける。</li> <li>・他の学生からの問いに応答する力を養い、適切な批判であればそれを受け入れ、粘り強く自らの論考を練り直し、説得力のある研究論文の形に仕上げることができる。</li> </ul>					
評価方法	① 提出課題 (16%=2%×8回) ② 授業参画 (14%=1%×14回) ③ 研究発表 (20%) ④ ゼミ論文 (18,000~20,000字) (50%)					
評価基準	① 提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 ② 授業参画：授業中のディスカッションに積極的に参加し、議論の創造的発展に寄与できるかどうか。 ③ 研究発表：自身の哲学的・倫理的な問いを練り上げ、先行研究を踏まえて、その問いに説得力のある回答を与えようと努めた成果を、分かりやすく発表できるかどうか。 ④ ゼミ論文：自分が提起した哲学的・倫理的な問いについて、多様な議論に耳を傾けながら自分の立場を提示し、その妥当性について理由を挙げて論述できるかどうか。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Moodleで行う/Moodle</li> <li>・口頭で行う/orally</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	オリエンテーション・研究能力育成のためのエクササイズ・研究倫理・研究発表方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	夏休みの課題(ブックノート)提出
2	『ニコマコス倫理学』の構成と意図について テキスト批評+ゼミ論文作成の手順	講義・ディスカッション・エクササイズ	ゼミ論レイアウト提出。教科書 pp.11-20 を読んでおく。
3	『ニコマコス倫理学』第10巻第1~3章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.352-372 を要約し、問題を提起する。
4	『ニコマコス倫理学』第10巻第4章講読・テキスト批評+研究発表の方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.374-384 を要約し、問題を提起する。
5	『ニコマコス倫理学』第10巻第5~6章講読とテキスト批評+ゼミ論文作成の手順	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.386-399 を要約し、問題を提起する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
6	『ニコマコス倫理学』第10巻第7章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.400-409 を要約し、問題を提起する。
7	『ニコマコス倫理学』第10巻第8章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.410-420 を要約し、問題を提起する。
8	『ニコマコス倫理学』第10巻第9章講読・テキスト批評+研究発表の方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.422-437 を要約し、問題を提起する。
9	研究発表 第1回	発表 ディスカッション	発表準備
10	研究発表 第2回	発表 ディスカッション	発表準備
11	研究発表 第3回	発表 ディスカッション	発表準備
12	研究発表 第4回	発表 ディスカッション	発表準備
13	研究発表の振り返り ゼミ論文の書き方	講義 エクササイズ	ゼミ論文初稿提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミ論文初稿についての講評 ゼミ論文作成のためのエクササイズ	講義 エクササイズ	ゼミ論文への加筆修正

テキスト	アリストテレス『ニコマコス倫理学(下)』(光文社古典新訳文庫)
参考書	J.O.アームソン『アリストテレス倫理学入門』(雨宮健訳)(岩波書店) 河野哲也『レポート・論文の書き方入門』(慶應義塾大学出版会)
その他特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げ、わかりやすく伝えようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	森下 園		
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4202		
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-③	
キーワード	歴史学の作法、史料論、アカデミックスキルズ							
授業の概要	歴史学の作法と先行研究の読み方・資料の探し方、口頭発表の仕方などのアカデミックスキルを学び、専門の文献の輪読と要約を行い、ゼミ研究のテーマを選ぶ。							
達成目標(授業の目的)	先行研究の読み方、発表の仕方、質疑応答などのアカデミックスキルを学ぶ。具体的には、①専門の論文を輪読することで、論文の構成や引用について学び、②ゼミ研究の仮テーマを選択し、③ゼミ研究のテーマを理解するために必要な本の要約発表を通して、批判的な読み方と発表資料の作り方、発表の仕方を学び、④発表後の適切な発言・質問の仕方を学ぶ。							
到達目標(学修成果)	①論文の輪読を通して、論文の構成、言葉遣い、引用の仕方を身につける。 ②アカデミックな研究テーマを選択し、先行研究や参考資料を選ぶことができる。 ③本の要約発表を通して、先行研究の批判的な読み方、ポイントのまとめ方、発表資料の作り方、発表の作法を身につける。 ④輪読、要約発表の質疑応答により、アカデミックな場での質問の仕方を身につける。							
評価方法	①論文輪読：20% ②ゼミ研究テーマの発表：10% ③本の要約発表：30% ④輪読参加・要約発表への質問：4%×10回=40%							
評価基準	①論文輪読：割り当てページの十分な予習ができていないか。 ②適切なゼミ研究テーマを選択し、必要な参考文献リストを作成できるか。 ③本の要約発表：必要な下調べをしたのち、内容をレジュメにまとめて結論をつけ、適切な話し方で発表をしているか。準備不足は減点となる。 ④輪読、要約発表に適切な質問や意見を出しているか。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	プレ・ゼミの概要説明 論文輪読の割り当てと研究倫理について	自己紹介、講義、質疑応答	輪読の準備
2	ゼミ研究のテーマ選択と先行研究、参考資料の探し方について	講義、インターネット検索の仕方、意見交換	輪読の準備、ゼミ研究テーマの選択
3	論文輪読と質疑応答①	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習
4	論文輪読と質疑応答②	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習
5	論文輪読と質疑応答③	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
6	論文輪読と質疑応答④	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習
7	論文輪読と質疑応答⑤	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習
8	論文輪読と質疑応答⑥	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習
9	ゼミ研究テーマと参考文献リストの発表	発表、質疑応答、講評	ゼミ研究の仮テーマを選択、 参考文献リストの作成
10	本の要約発表①	要約発表、質疑応答、 講評	要約発表準備 ゼミ研究の資料探し
11	本の要約発表②	要約発表、質疑応答、 講評	要約発表準備 ゼミ研究の資料探し
12	本の要約発表③	要約発表、質疑応答、 講評	要約発表準備 ゼミ研究の資料探し
13	本の要約発表④	要約発表、質疑応答、 講評	要約発表準備 ゼミ研究の資料探し
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	振り返り、ゼミIの準備、学修ポートフォリオ記入	ポートフォリオ記入、 意見交換	ゼミ研究テーマ・資料探し ポートフォリオ準備
テキスト	井上茂子「社会国家の歴史におけるナチ時代：労働者政策と福祉政策を事例にして」『上智史学』44号、1999年、89-120頁(上智大学学術情報リポジトリより入手可能) ( <a href="http://digital-archives.sophia.ac.jp/repository/view/repository/00000009856">http://digital-archives.sophia.ac.jp/repository/view/repository/00000009856</a> )		
参考書	基礎ゼミナールテキスト『Essentials 2024 : A Guide to Finding the Right Career Path for You』		



科目名	SES200: ゼミナール I			担当教員	森下 園	
開講期	春	開講時限	水 4 限		研究室	4202
分類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	歴史学、史資料論、論文作成作法、プレゼンテーション					
授業の概要	歴史学の論文集の要約発表を通して、先行研究の批判的な読み方を学ぶ。並行してゼミ研究のテーマを決め、参考資料や先行研究の収集を行い、ゼミ研究のテーマと構成を決めて発表する。テーマは歴史学領域のほか、ジェンダー問題・紛争解決・環境問題などの社会問題、経済・経営や業界研究などからも設定できるが、歴史的背景を織り込むか、または社会史の観点を入れるなど歴史の視点を含めた研究を行うこととなる。					
達成目標 (授業の目的)	①論文集の論文要約を行うことで、史資料・先行研究の探し方、批判的な読み方、発表レジюмеを用いての発表の作法を学ぶ。②この要約を通して、自分の論文のテーマや構成を設定し、適切な文献・資料を選定できるようにする。③また他の学生の発表を聞いて、適切な意見を出せるようにする。					
到達目標 (学修成果)	①論文を読み、テーマをどのように設定し、どんな史資料を使い、どんな構成で論じているかを学び、その論文の評価とともに要約をレジюмеにまとめて発表できるようにする。 ②各自の研究テーマを設定し、参考文献・資料を選定し、発表の構成を組み立てられるようにする。 ③発表への質疑応答の仕方を学ぶ。					
評価方法	①要約発表：30% ②ゼミのテーマ・構成と参考文献の発表：15%×2回=30% ③要約発表、ゼミテーマ発表への質疑応答：4%×10回=40%					
評価基準	①要約発表：必要な下調べ、批判的な読み方、適切なレジюме作成、発表ができているか ②ゼミのテーマ発表：テーマと参考文献は適切であるか、構成をきちんと考えているか ③他の学生の発表に対し、積極的に質問や意見を出しているか					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms					
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ゼミの概要説明、研究倫理について 要約発表の割り当て	講義、質疑応答	要約発表準備
2	要約発表のレジюме作成の仕方、参考文献の探し方、発表の仕方の注意	講義、質疑応答、ディスカッション	要約発表準備
3	要約発表①	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備
4	要約発表②	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備
5	要約発表③	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備
6	要約発表④	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	ゼミ論文のテーマ設定、構成と参考文献リスト、引用註についての説明	講義、質疑応答、ディスカッション	ゼミ論文テーマ発表準備
8	ゼミ論文のテーマ発表①	ゼミ論文テーマ発表、質疑応答、講評	ゼミ論文テーマ発表準備
9	ゼミ論文のテーマ発表②	ゼミ論文テーマ発表、質疑応答、講評	ゼミ論文テーマ発表準備
10	ゼミ論文の構成と参考文献発表①	ゼミ論文構成発表、質疑応答、講評	ゼミ論文構成発表準備
11	ゼミ論文の構成と参考文献発表②	ゼミ論文構成発表、質疑応答、講評	ゼミ論文構成発表準備
12	ゼミ論文の構成と参考文献発表③	ゼミ論文構成発表、質疑応答、講評	ゼミ論文構成発表準備
13	ゼミ論文の構成と参考文献発表④	ゼミ論文構成発表、質疑応答、講評	ゼミ論文構成発表準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	今学期の振り返りと反省、夏休みの研究計画発表	研究計画発表、質疑応答、講評	夏休みの研究計画作成 学修ポートフォリオ用意

テキスト	上智大学史学科編『歴史家の調弦』(Sophia University Press)
参考書	上智大学史学科情報サイト <a href="https://dept.sophia.ac.jp/human/history/">https://dept.sophia.ac.jp/human/history/</a>

科目名	SES300: ゼミナールⅡ			担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4202
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	歴史学、プレゼンテーション、論文作成					
授業の概要	ゼミⅠに引き続き、各自が選んだ研究テーマにそって個人報告を行い、内容をゼミ論文にまとめる。トピックは、歴史学などの専門領域のほか、ジェンダー問題・紛争解決・環境問題などの時事問題、経済・経営や業界研究などからも設定できるが、歴史的背景を織り込む、または社会史の観点を入れるなど歴史の視点を含めた研究を行うこととなる。					
達成目標 (授業の目的)	①研究に必要な文献・資料を自ら選定して読み込み、発表レジュメを用いた研究報告として発表できるようにする。②文献・資料を適切に使用し、引用註を付したゼミ論文を作成できるようにする。③他の学生の発表に対して、適切な質問と意見を出せるようにする。					
到達目標 (学修成果)	①春学期のゼミ論文テーマ発表を発展させ、レジュメを作成し、アカデミックなスタイルでの中間研究報告ができるようになる。②発表内容を、文献・資料を引用し、引用註をつけたアカデミックな書式でのゼミ論文にまとめることができる。③他の学生の発表に対して適切な質問や意見表明をし、自分が受けた質問などから改善点を学べるようになる。					
評価方法	①レジュメを用いた中間研究報告：15%×2回=30% ②A4で10枚以上、参考文献リスト、引用註つきのゼミ論文：40% ③報告に対する意見・質問：3%×10回=30%					
評価基準	①テーマが適切に設定され、必要な参考文献・資料を参照しているか、構成が適切であるか、発表レジュメが適切に作成されているか ②ゼミ論文の書式・締め切りを守り、参考文献を踏まえて自分なりの結論に至っているか ③積極的に質問・意見を述べているか					
課題等に対する フィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms					
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏季休暇中の成果報告、研究倫理についての説明、中間報告についての説明	発表、講義、質疑応答	成果報告準備 中間研究準備
2	ゼミ論文の構成と中間報告についての具体的な説明	講義、質疑応答	中間研究報告準備
3	ゼミ論文の1回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
4	ゼミ論文の1回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
5	ゼミ論文の1回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
6	ゼミ論文の1回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
7	ゼミ論文の書式、構成、引用註、表の扱いについて	講義、質疑応答、ディスカッション	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
8	ゼミ論文の2回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
9	ゼミ論文の2回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
10	ゼミ論文の2回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
11	ゼミ論文の2回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
12	ゼミ論文の参考文献リスト・引用註の相互チェック	質疑応答、講評	参考文献リスト用意
13	ゼミ論文の仕上げ	質疑応答、講評	ゼミ論文の仕上げ
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミ論文の講評 振り返りと研究の総括	ゼミ論文の相互講評、 教員の講評	ゼミ論文振り返り ゼミ論文加筆修正

テキスト	なし
参考書	なし

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	宮崎 幸江		
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4217		
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4,5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-③, 5-①	
キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティ、言語教育政策、多文化共生							
授業の概要	日本における言語マイノリティの子どもの教育と多文化共生について、基礎的な事柄を学ぶ。春にサービスマーケティング入門講座を履修済みの学生は授業として、履修済みでない学生はボランティアとして、何らかのサービスマーケティングに参加し、地域社会の課題を認識し、課題解決の方法について、アクティブラーニングを行う。							
達成目標(授業の目的)	本科目は「多文化共生とバイリンガリズム」に関する知識を深め、身近に存在する多文化を持つ人々に目を向け、共生社会の現状や課題について批判的に考える力を養うことを目的とする。							
到達目標(学修成果)	学生は学期の終わりまでに、バイリンガルの言語発達や母語保持、アイデンティティ形成などの理論を理解できるようになる。また、多文化化が進む地域の例として、秦野市における言語マイノリティの子どもの環境の特徴や教育課題を理解し、自分自身の出身地などと比較して意見を述べるようになる。							
評価方法	① 授業への積極参加：30% ② プレゼンテーション：20% ③ 期末レポート：50%							
評価基準	① 授業への積極参加：自分とは異なる他者の意見を理解しようとしているかどうか、具体的、建設的な意見を述べることで、議論に貢献したかどうかを評価する。 ② プレゼンテーション：テーマに対して論理的に説明できているか、授業で学んだ理論や事例を適切に反映させているかを評価する。 ③ 期末レポート：バイリンガルの言語発達や言葉とアイデンティティについて、先行研究を引用し、批判的に分析できているかを評価する。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Formsで行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	B: 第1章 ハーフ・ダブル・ミックスルーツ 日本人っていったい誰?	講義、グループディスカッション、質疑応答	B: 第1章を読み、要点をまとめてくる
2	A: 第1章 文化間移動と子どもの言語発達 B: 第2章 戦争と難民	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第1章とB: 第2章を読み、課題の質問に答える
3	A: 第2章 日本に住む多文化のこども B: 第3章 ヘイトスピーチ	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第2章とB: 第3章を読み、課題の質問に答える
4	A: 第2章 日本に住む多文化家庭の言語 B: 第4章 移民政策	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第2章とB: 第4章を読み、課題の質問に答える
5	A: 第3章 子どものアイデンティティ交渉 B: 第5章 外国人の子どもの貧困	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第3章とB: 第5章を読み、課題の質問に答える
6	A: 第3章 子どものアイデンティティ交渉 B: 第6章 戦争責任	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第3章とB: 第6章を読み、課題の質問に答える



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	A: 第4章 ブラジルの日系人 B: 第7章 国家と国民	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第4章とB: 第7章を読み、課題の質問に答える
8	A: 第4章 在日ブラジル人 B: 第8章 領土問題	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第4章とB: 第8章を読み、課題の質問に答える
9	A: 第5章 言葉とアイデンティティ1 B: 第9章 アイヌと沖縄	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第5章とB: 第9章を読み、課題の質問に答える
10	A: 第5章 言葉とアイデンティティ2 B: 第10章 未来への選択	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第5章とB: 第10章を読み、課題の質問に答える
11	A: 第6章 多文化社会の実現に向けて	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第6章を読み、課題の質問に答える
12	A: 第7章 多様化する外国籍の子どもと多文化教育の実態	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第7章を読み、課題の質問に答える
13	A: 第8章 文化間移動と子どもの言語発達 B: 第9章 戦争と難民	講義、グループディスカッション、質疑応答	A: 第8章とB: 第9章を読み、課題の質問に答える
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	プレゼンテーションとまとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	プレゼンテーションと期末レポートを書く

テキスト	A: 宮崎幸江 (2016) 『日本に住む多文化の子どもと教育―ことばと文化の間で生きる<増補改訂版>』(上智大学出版) B: 「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会 (2020) 『まんが クラスメートは外国人 課題編―私たちが向き合う多文化共生の現実』(明石書店)
その他特記事項	春学期に「サービスマーケティング入門講座」を未履修の学生は秋学期に履修する。本ゼミナールを受講する学生は、在学中に「サービスマーケティング(地域日本語支援 AB)」もしくは「サービスマーケティング(小中学校日本語支援 AB)」を履修することが求められる。もし抽選に落選し履修できなかった場合は、ボランティアとしてコミュニティフレンド等のサービスマーケティングに参加することで代わりとするが、詳細はアドバイザーと個別に相談する。

科目名	SES200: ゼミナール I			担当教員	宮崎 幸江	
開講期	春	開講時限	水 4 限		研究室	4217
分類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				4-④, 5-①
キーワード	移民、バイリンガリズム、言語マイノリティ、言語教育政策、多文化共生					
授業の概要	日本における移民の子どもの教育について基礎的な事柄を学ぶ。サービスラーニングを並行して行い、地域社会の課題を認識し、授業で学んだことを用いて地域の課題解決に向けてアクティブラーニングを行う。					
達成目標(授業の目的)	本科目は「多文化共生とバイリンガリズム」について、移民という視点から見た教育問題に関する知識を深め、多文化共生社会の現状やバイリンガリズムに関する課題について批判的に考える力を養うことを目的とする。					
到達目標(学修成果)	学期の終わりには、日本における言語マイノリティを対象とした教育の種類と課題を理解できるようになる。また、ゼミナール論文に向けて、多文化共生とバイリンガリズムの領域からテーマを見つけ、文献を読めるようになる。					
評価方法	① 授業への積極参加：30% ② 口頭発表：20% ③ 期末レポート：50%					
評価基準	① 授業への積極参加：自分とは異なる他者の意見を理解しようとしているかどうか、具体的、建設的な意見を述べることで、問題解決に向けた討議の活性化に貢献できたかどうかを評価する。 ② 口頭発表：学期中に 1~2 回担当箇所について、課題の内容を解説する。 ③ 期末レポート：ゼミナール II で取り組む研究テーマについて概要をまとめる。Prezi の設定の妥当性、先行研究が適切かどうかを評価する。					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	序章 グローバル時代の国際移動と変容する日本社会、研究倫理について	講義、グループディスカッション、質疑応答	序章を読み、要点をまとめてくる
2	第 1 章 オールドカマー：その歴史が問いかけるもの	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 1 章を読み課題の質問に答えて提出する
3	第 2 章 ニューカマー：加速する日本社会の多文化化	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 2 章を読み課題の質問に答えて提出する
4	第 3 章 海外帰国生：教育問題の変遷と新たな動向	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 3 章を読み課題の質問に答えて提出する
5	第 4 章 留学生：日本における外国人留学生と日本からの海外留学	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 4 章を読み課題の質問に答えて提出する
6	第 5 章 家族：多様な文化と教育戦略	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 5 章を読み課題の質問に答えて提出する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	第6章 学校：子どもの生きにくさから考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	第6章を読み課題の質問に答えて提出する
8	第7章 地域：見慣れた風景を問い直す	講義、グループディスカッション、質疑応答	第7章を読み課題の質問に答えて提出する
9	第8章 労働市場：それはいかに移民の教育と関係するのか	講義、グループディスカッション、質疑応答	第8章を読み課題の質問に答えて提出する
10	第9章 トランスナショナルな生活世界：往還する日系ブラジル人の教育経験から	講義、グループディスカッション、質疑応答	第9章を読み課題の質問に答えて提出する
11	第10章 グローバル社会と教育格差：東アジアにおける教育移住を手がかりに	講義、グループディスカッション、質疑応答	第10章を読み課題の質問に答えて提出する
12	第11章 移民国家アメリカの多文化教育：多様性の尊重と社会的公正をめざして	講義、グループディスカッション、質疑応答	第11章を読み課題の質問に答えて提出する
13	第12章 多文化共生と日本の学校教育(施策編)	講義、グループディスカッション、質疑応答	第12章を読み課題の質問に答えて提出する
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	まとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	夏休みの研究計画を作成する

テキスト	額賀美沙子他(2010)『移民から教育を考えるー子どもたちを取り巻くグローバル時代の課題』(ナカニシヤ出版)
参考書	坂本光代(2021)『多様性を再考するーマジョリティに向けた多文化教育』(上智大学出版)
その他特記事項	本ゼミナールを受講する学生は、在学中に「サービスマーケティング(地域日本語支援 A または B)」と「サービスマーケティング(小中学校日本語支援 A または B)」を履修することが求められる。1年次に前提科目となる「サービスマーケティング入門講座」を履修していない場合は、ボランティアとしてコミュニティフレンド等に参加することが求められる。詳細はアドバイザーと個別に相談すること。

科目名	SES300: ゼミナールⅡ			担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4217
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	4,5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				4-④, 5-①
キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティの言語と文化、言語教育政策、多文化共生					
授業の概要	ゼミナールⅡでは、日本における言語マイノリティの子どもの教育と多文化共生について、1年かけて自主的に学んだことを発展させて研究を行う。先行研究の読み方、論点の絞り方、調査方法と結果のまとめ方等についても授業で段階的に学び、学年末にゼミナール論文を書く。					
達成目標(授業の目的)	本科目は、1年次から参加してきたサービスマーケティング(コミュニティフレンドまたはカレッジフレンド)での経験と、ゼミナールⅠ、プレゼミナールで学んだ知識を統合し、多文化共生社会の現状や課題について批判的に考える力と論文にまとめる力を養うことを目的とする。					
到達目標(学修成果)	学期終了までに、先行研究を読み進め、自分の選んだ研究テーマについての考察を深め、理論やデータを元にゼミナール論文を執筆できるようになる。他の人の研究に対してディスカッションする力やプレゼンテーションのスキルも習得する。					
評価方法	① 授業への積極参加: 20% ② 口頭発表(中間発表+最終発表他): 30% ③ ゼミナール論文: 50%					
評価基準	① 授業への積極参加: 授業で扱う文献を読んでディスカッションに参加しているか、質問ができるか、討議の活性化に貢献できたかどうかを評価する。 ② 口頭発表(中間発表+最終発表他): 中間発表では、各自の研究の進捗についてポイントを述べ、研究を進めるために足りないものは何かを的確につかめているかを評価する。最終発表では、論文全体の構成と内容について評価する。 ③ ゼミナール論文: テーマにあった先行文献が選ばれているか、論拠に沿って意見がまとめられているか、引用や出典が適切に示されているかなどを評価する。					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola/Moodle/Google Formsで行う/Loyola/Moodle/Google Forms ・口頭で行う/orally					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	夏休みの研究報告1回目 個人発表	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
2	夏休みの研究報告2回目 個人発表	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
3	夏休みの研究報告3回目 個人発表	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
4	卒業研究の計画: 論文の構成とアウトライン、先行研究の選び方について	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマの絞り込み
5	文献講読1 各自の選んだ文献の内容を発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマの絞り込み
6	文献講読2 文献の概要とポイントを発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマの絞り込み

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	論文の構成を考える 要約の書き方	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマの絞り込み
8	ゼミナール論文、論点の絞り方 アウトラインについて	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマの絞り込み
9	ゼミナール論文のアウトライン発表 構成の修正方法	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマの絞り込み
10	ゼミナール論文の中間発表 1	発表と質疑応答、ディスカッション	論文作成、発表準備
11	ゼミナール論文の中間発表 1	発表と質疑応答、ディスカッション	論文作成、発表準備
12	論文作成、引用、参考文献の書き方	発表と質疑応答、ディスカッション	論文作成、発表準備
13	フォーマットの整え方	発表と質疑応答、ディスカッション	論文の推敲
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	最終発表、まとめ	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備、論文の推敲

  

履修条件、 前提科目	1年次から継続してきたサービスラーニングから、地域の課題解決に向けたアクティブラーニングを行い、卒業研究とする。
---------------	--



科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	狩野 晶子	
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4203	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	4,5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				4-③, 5-②	
キーワード	コミュニケーション型言語教育、言語習得、児童英語教育、アクティブラーニング						
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をならう、言葉を教えるとは」をテーマに、言葉の教育、習得、運用の観点から言葉と人との関わりを扱う。プレ・ゼミナールでは各自が自ら興味のあるテーマで研究を進める土台づくりとなる知識を第二言語習得の観点から学び、そこから幅広く発展する分野の知識と関心を深め、2年次のゼミナールへの土台となる力を養う。						
達成目標(授業の目的)	興味関心のあるテーマについて文献を読み、文献資料に基づいて発表を行い、質疑応答ができるようになる。さまざまな関連テーマの内容について読み、調べ、発表することを通して言語学と言語習得の基礎について学ぶ。発表を通して効果的なプレゼンテーションのスキルを学ぶ。グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養う。						
到達目標(学修成果)	グループや個人での発表を通して、発表準備の手順を学び、聞き手にわかりやすく伝わる発表に不可欠な要素について体得する。資料を読み、理解を深め、内容をアウトラインとしてまとめレジュメを作成する過程で専門知識を深める。他の学生の発表を聞き的確な質問やコメントができるよう、聞く際のポイントを学び、実践する。						
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢(30%)、②リアクションペーパー及び相互フィードバック(30%)、③グループおよび個人プレゼンテーション(20%)、④期末課題(20%)。						
評価基準	①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、ディスカッション等に積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。 ②授業で得た知見をもとに自らの意見や観点を、的確な表現で文章化できる。 ③特定のテーマについて資料や文献を調べ、聞き手が内容を理解しやすい構成とビジュアル資料を作成し、興味・関心を共有できるように準備し発表、質疑応答を行える。 ④テーマに沿って調べた内容やテキストの要約を、読み手を意識したわかりやすく的確な表現で文章化できる。さらに、発表等に活用することを念頭に置いて、所定の書式に沿って資料として作成できる。						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> <li>・上記以外で行う / other:</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	ガイダンス 発表グループと分担決め	講義、 グループワーク	テキスト通読
2	テキストの読み進め方、具体的な発表の手法、研究倫理について指導	グループワーク	テキスト通読 発表準備
3	テキスト第1章・第2章をもとに発表・フィードバック	学生発表、相互評価、 講評	発表準備 リアクションペーパー
4	テキスト第3章・第4章をもとに発表・フィードバック	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
5	テキスト第5章・第6章をもとに発表・フィードバック	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
6	テキスト第7章・第8章・第9章をもとに 発表・フィードバック	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
7	テキストの総括、ブックレポートについて 発表の進め方の指導	講義、講評 ディスカッション	相互フィードバック準備 リアクションペーパー
8	ブックレポート発表・フィードバック (1)	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
9	ブックレポート発表・フィードバック (2)	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
10	ブックレポート発表・フィードバック (3)	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
11	次年度ゼミナールに向けて興味・関心のある分野をディスカッションを通して考える	グループワーク、講評 ディスカッション	ブックリスト提出準備 リアクションペーパー
12	次年度ゼミナールに向けて・ブックリスト 発表 (1)	グループワーク、 講義、発表、講評	発表準備、ブックリスト リアクションペーパー
13	次年度ゼミナールに向けて・ブックリスト 発表 (2)	グループワーク、 講義、発表、講評	発表準備、ブックリスト リアクションペーパー
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	振り返り活動とまとめ	グループワーク、 発表、まとめ	振り返りと総括(レポートとして提出)
テキスト	廣森友人『改訂版 英語学習のメカニズム—第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法』 (大修館書店)		

科目名	SES200: ゼミナール I			担当教員	狩野 晶子	
開講期	春	開講時限	水 4 限		研究室	4203
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				4-④, 5-②
キーワード	コミュニケーション型言語教育、言語習得、児童英語教育、アクティブラーニング					
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をならう、言葉を教えるとは」をテーマに、言葉の教育、習得、運用の観点から言葉と人との関わりを扱う。プレ・ゼミナールで学んだ基本的な知識をベースに、ゼミナール論文作成へつながる個人のテーマを決め、内容を絞り込み深めてゆき、ゼミナール II での発表、論文作成に向け準備を整える。					
達成目標 (授業の目的)	各自の研究テーマについて研究調査の基本的な進め方を体得する。文献の探し方、引用の仕方、研究倫理を学び、資料を読み、理解し、内容について要旨をまとめる。発表を通じて効果的なプレゼンテーションのスキルを学ぶ。発表、ディスカッション、グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養うことが授業の目的である。					
到達目標 (学修成果)	各自が興味関心のあるテーマについて文献を調べ、聞き手がその内容を理解し関心を共有できる発表と質疑応答を行う。発表者は担当箇所について十分に理解を深め、さらに他の文献・資料にもあたりレジюмеを作成し発表準備を行う。聞く側は発表に基づいた的確な質問、コメントができるよう、聞く際のポイントを学び、実践する。発表の内容をもとにディスカッションを行う手法を学び、実践する。					
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢 (30%)、②リアクションペーパー及びフィードバック (30%)、③プレゼンテーション (20%)、④期末課題 (20%)					
評価基準	①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、ディスカッション等に積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。 ②授業で得た知見をもとに意見や観点を、読み手を意識した的確な表現で文章化できる。 ③特定のテーマについて資料や文献を調べ、聞き手が内容を理解しやすい構成とヴィジュアル資料を作成し、興味・関心を共有できるように準備し発表し、質疑応答を行える。 ④ゼミナール論文の中間報告として、テーマに沿って調べた内容やテキストの要約を読み手を意識したわかりやすくて的確な表現で文章化できる。さらに、発表等に活用することを念頭に置いて、所定の書式に沿った資料として作成できる。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	プレ・ゼミナール概観・総括 各自が興味のあるテーマを考える	グループワーク	プレ・ゼミナールテキスト復習、 テーマ予備調査
2	各自が興味のあるテーマを調べ、深める 文献の探し方、研究倫理指導	講義、グループワーク 適宜図書館等を利用	テーマ探し、文献検索 ブックリスト作成
3	プレゼンテーションスキルの具体的指導	講義、実践指導 学生フィードバック	ポイント要約 発表準備
4	各自のテーマを深め、調べる	個別活動、面談 教員による個別指導	各自テーマを調べる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
5	各自のテーマ・調べた内容について発表・フィードバック(1)	学生発表、相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
6	各自のテーマ・調べた内容について発表・フィードバック(2)	学生発表、相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
7	学生によるプレゼンテーション・フィードバック(1)	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
8	学生によるプレゼンテーション・フィードバック(2)	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
9	学生によるプレゼンテーション・フィードバック(3)	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
10	学生によるプレゼンテーション・フィードバック(4)	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
11	プレゼンテーションの反省 各自のテーマの方向性の検討	省察、相互評価、 ディスカッション	リアクションペーパー
12	テーマに沿ったブックリスト発表準備	ディスカッション、 グループワーク	ブックリスト更新版作成・発表準備
13	ブックリスト発表・相互フィードバック	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	ブックリスト更新版の改定・発表準備・リアペ
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミナール I の総括、各自の研究テーマについて方向性と内容の確認	省察、相互評価、 ディスカッション	テーマについてアウトライン作成
テキスト	指定なし		
参考書	廣森友人『改訂版 英語学習のメカニズム―第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法』(大修館書店)		

科目名	SES300: ゼミナールⅡ			担当教員	狩野 晶子		
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4203	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	4,5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				4-④, 5-②	
キーワード	コミュニケーション型言語教育、言語習得、児童英語教育、アクティブラーニング						
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をならう、言葉を教えるとは」をテーマに、プレゼミナールとゼミナールⅠで学んだ知識をベースに、各自が設定したテーマを調べ、発表の過程を通して内容をまとめ、卒業課題となるゼミナール論文を完成させる。研究内容を学術論文の体裁に従ってまとめる具体的方法と、研究倫理、効果的なプレゼンテーションのスキルを併せて学ぶ。						
達成目標(授業の目的)	各自の研究テーマについて研究調査を進め、学術論文としての体裁を整えたゼミナール論文を作成する。そのゼミナール論文のアウトラインをゼミナール最終発表として、パワーポイントスライドショー形式で他のゼミナール生に向けて発表する。発表、ディスカッション、グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養うことがこの授業の目的である。						
到達目標(学修成果)	各自の研究テーマに沿って学びを深め、構成や書式などの基本的な規定を守ったうえで、他のゼミナール生が内容を理解し関心を共有できるようなゼミナール論文を書く。最終発表としてゼミナール論文の概要を短く適切にまとめ、ヴィジュアル資料を活用し、聞く者にわかりやすく発表する。他者の発表を聞き的確な質問、コメントをする力を養う。今後の進路に向け、自律的、主体的学習者としての意識を持ち、実践する。						
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢(20%)、②リアクションペーパー及びフィードバック(20%)、③プレゼンテーション(30%)、④ゼミナール論文(30%)。						
評価基準	①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、ディスカッション等に積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。 ②授業で得た知見をもとに自らの意見や観点を、読み手を意識したわかりやすくて確かな表現で文章化できる。 ③ゼミナール論文の内容について聞き手が理解しやすい構成とヴィジュアル資料を活用した準備と発表、質疑応答を行える。 ④ゼミナール論文として十分な文献や資料を調べ、所定の構成および書式に則った文章を作成できる。						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	論文作成に向け進捗状況と課題点の確認	グループワーク 教員との個別相談	プレゼミナールテキスト復習 テーマアウトライン準備
2	論文作成に向け各自のテーマについてグループで協議、相互コメント	グループワーク ディスカッション	文献研究 テーマアウトライン準備
3	論文作成に向け各自のテーマに従って準備、研究倫理について確認と指導	個別活動 教員との個別相談	文献研究 テーマ概要発表準備
4	論文作成に向け各自のテーマの概要を発表、相互フィードバック(1)	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
5	論文作成に向け各自のテーマの概要を発表、相互フィードバック(2)	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー
6	最終プレゼンテーション(論文報告)のための準備(1)	ディスカッション、 教員による個別指導	発表準備 リアクションペーパー
7	最終プレゼンテーション(論文報告)のための準備(2)	ディスカッション、 教員による個別指導	発表準備 リアクションペーパー
8	最終プレゼンテーション(論文報告)のための準備(3)	ディスカッション、 教員による個別指導	発表準備 リアクションペーパー
9	学生による最終プレゼンテーション・論文作成(1)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
10	学生による最終プレゼンテーション・論文作成(2)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
11	学生による最終プレゼンテーション・論文作成(3)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
12	学生による最終プレゼンテーション・論文作成(4)	学生発表、 相互評価、講評	論文初校提出準備
13	論文初校提出：相互校正	相互校正、相互評価	論文初校修正、最終稿へ向け 修正方針をまとめる
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミナール論文を相互に読みあい講評と校正、ゼミナール総括	振り返り活動、ディス カッション	論文初校修正方針の確認、論 文最終稿提出準備
テキスト	なし		
参考書	廣森友人『改訂版 英語学習のメカニズム―第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法』 (大修館書店)		

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	C. Oliver	
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4205	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-③	
キーワード	multiculturalism, immigration, ethnicity, identity, vocabulary, presentation skills						
授業の概要	In this course, students will read about and discuss various topics related to multiculturalism—such as immigration, ethnicity, discrimination, and cultural identity. While doing so, students will build up their English vocabulary, improve their ability to discuss complex cultural and social issues in English, and develop their basic research skills. Each student will do three presentations in English during the semester.						
達成目標 (授業の目的)	Students will learn about “multiculturalism” in various countries, improve their ability to understand and discuss social and cultural issues in English, and develop basic research and presentation skills.						
到達目標 (学修成果)	By the end of the semester, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• appropriately use key English vocabulary from readings related to social and cultural issues;</li> <li>• summarize important information from readings about social and cultural issues;</li> <li>• express one’s own views on multiculturalism-related issues in the world today;</li> <li>• appropriately use information from books or other research sources;</li> <li>• organize information from research into an outline for a presentation;</li> <li>• deliver a short, well-organized presentation with good delivery.</li> </ul>						
評価方法	Participation (35%), Homework (35%), Presentations (30%).						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, appropriate use of vocabulary from readings, summarizing of information, expression of own views;</li> <li>• Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, appropriate use of vocabulary from readings, summarizing of information, expression of own views, appropriate use of information from research sources;</li> <li>• Presentations: appropriate use of vocabulary, summarizing of information, expression of own views, organization (including “preview” in Introduction) of spoken presentation and printed outline, appropriate use of research sources, good delivery (including voice, eye contact, etc.).</li> </ul>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Orientation to the course. Perspectives on multiculturalism. Explanation of Mini Research Project.	explanation by teacher, small-group work	Read the course syllabus. Review handouts.
2	Mini-Research Project about one country. Presentation basics #1 (basic organization, delivery, visuals). Explanation of upcoming Presentation #1.	lecture, small-group discussion	Do light research, prepare homework.
3	Presentation #1 (half of students).	presentations, small- group discussion	Prepare presentation.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
4	Presentation #1 (other half of students).	presentations, small-group discussion	Prepare presentation.
5	Explanation of Presentation #2. Presentation basics #2 (“preview” of presentation content, etc.). Research basics / ethics (using sources, avoiding plagiarism).	lecture, small-group work, in-class writing	Review handouts distributed in class today; start preparing for Presentation #2.
6	Case study: reading and discussion.	small-group discussion, lecture	Read case study material. Prepare Fact Sheet (Canada / Australia).
7	Readings and discussion. Presentation #2: Settler-states (Canada, Australia, Brazil, Mexico).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Sweden / France).
8	Readings and discussion. Presentation #2: Europe zone (England, France, Sweden, Turkey). Explanation of Presentation #3.	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Malaysia / Indonesia).
9	Readings and discussion. Presentation #2: Asian cases (Malaysia, Indonesia, India, Philippines).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Switzerland / South Africa).
10	Readings and discussion. Presentation #2: Other complicated cases (Switzerland, South Africa, Israel, Egypt).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary.
11	Preparation for Presentation #3.	individual guidance from teacher, in-class writing	Decide topic for presentation. Do research for presentation. Prepare outline.
12	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout.
13	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Remaining presentations, if any. Recap of semester. Overview of Seminar I and Seminar II.	small-group work, in-class writing, lecture	Review materials studied to date.

テキスト	Handouts (mainly news articles) will be provided by the teacher. To prepare for presentations, students will find books or other materials to read.
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i> (Sophia University Junior College Division).
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class (if in the classroom) or before the start of class (if online).

科目名	SES200: ゼミナール I			担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	水 4 限	研究室	4205
分類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。			3-④, 4-④
キーワード	multiculturalism, research skills, presentation				
授業の概要	Building upon what students learned in the Pre-seminar, in this course students will investigate various key issues related to multiculturalism. These may include, for instance, illegal immigration, ethnic identity, religious intolerance, racism, language laws, and multicultural education. Through independent study and presentations during the semester, students will develop their research and academic presentation skills.				
達成目標 (授業の目的)	Students will learn to summarize, organize, present, and ask questions about information that they have found in books and other sources. They will also improve their ability to discuss their own study / career interests.				
到達目標 (学修成果)	By the end of the semester, students will be able to summarize both general and specific information about an issue and about that issue in a specific country; ask good questions to guide their own future study of an issue; prepare a well-organized outline for a presentation; do a well-organized 7-10 minute presentation with good delivery; discuss their own study / career interests in relation to specific universities / companies that they would like to enter.				
評価方法	Participation (45%), Written work, including presentation handouts (20%), Presentations (35%).				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>Participation: active involvement in everyday discussions and other class activities; effort to regularly use English; shows improvement in ability to discuss study / career interests;</li> <li>Written work: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes both general and focused information, well organized, includes appropriate study questions;</li> <li>Presentations: appropriate topic, appropriate length, summarize both general and specific information, well organized (following outline and including a preview), include appropriate study questions, demonstrate good delivery (eye contact, voice, etc.).</li> </ul>				
課題等に対する フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Orientation: perspectives on multiculturalism. Explanation of Presentations #1 and #2.	explanation by teacher, small-group discussion	Read syllabus carefully. Review presentation explanation.
2	Talking / writing about one's study / career interests (with follow-up in class 6). Review: research basics / ethics.	lecture, small-group discussion	Review class notes, begin preparing for presentation. Write presentation Topic Sheet.
3	Presentation #1. Topics: (1) Immigration and (2) Identity.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
4	Presentation #1. Topics: (3) Religion and (4) Attitudes / Ideologies.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
5	Presentation #1. Topics: (5) Policies / Laws and (6) Social Action and Organizations.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
6	Asking good questions for research. Discussing one's study / career interests (follow-up from class 2). Explanation of Presentation #3.	lecture, small-group discussion, individual guidance from teacher	Review class notes, prepare written statement of study / career interests.
7	Presentation #2. Topics: (1) Immigration, (2) Identity, and (3) Religion.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
8	Presentation #2. Topics: (4) Attitudes / Ideologies, (5) Policies / Laws, and (6) Social Action and Organizations.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
9	Research basics / ethics: using information from sources (avoiding plagiarism). Discussion of research progress for Presentation #3.	lecture, small-group work	Review class notes. Write Reading Report (on material related to Presentation #3).
10	Presentation preparation. Discuss research progress for Presentation #3.	small-group discussion, individual guidance	Write presentation Topic Sheet. Write Reading Report (on material related to Pres. #3).
11	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
12	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
13	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Remaining presentations, if any. Recap of Spring semester. Planning for Fall semester (including Seminar II Research Project Topic sheet).	explanation by teacher, small-group discussion	Review class notes, handouts.
テキスト	None. To prepare for presentations, students will select their own materials to read.		
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class (if in classroom) or before the start of class (if online).		



科目名	SES300: ゼミナールⅡ			担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4205
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。			3-④, 4-④
キーワード	multiculturalism, independent research project, presentation, report				
授業の概要	In this course, each student will do an independent research project on a topic related to multiculturalism. For this, students will choose their own topic, think of their own research question, and find related books and other materials to read. In addition to two short presentations, each student will also do a longer final presentation and write a report about her research findings.				
達成目標 (授業の目的)	Students will develop their ability to do an independent research project and to discuss their study interests.				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• formulate a suitable question for an independent research project;</li> <li>• conduct reading-based research focused on that research question;</li> <li>• summarize key information related to the research topic;</li> <li>• describe and analyze “data” related to the research topic;</li> <li>• organize information in a manner suited to a research report;</li> <li>• explain one’s study interests in relation to ideas and information learned from books or other materials.</li> </ul>				
評価方法	Participation (25%), Homework (25%), Presentations (25%), Report (25%).				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, effort to explain one’s study interests in relation to ideas and information learned from books or other materials;</li> <li>• Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes key information related to the research topic;</li> <li>• Presentations and Report: suitability of research question; evidence of research focused on the research question; summarizing of information related to the research topic; description and analysis of “data” related to the research topic; organization of information.</li> </ul>				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

#### 授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Overview of Fall semester. Discuss Research Project Topic prepared by each student. Explanation of presentation #1.	explanation by teacher, small-group discussion	Prepare “Research Project Topic” document in advance.
2	Talking / writing about one’s studies, school life, and future vision. Explanation of Presentation #2.	explanation by teacher, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare SOP worksheet.
3	Short presentation #1: your independent research topic.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
4	Short presentation #1: your independent research topic.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
5	Short presentation #2: describing and analyzing “data.”	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
6	Short presentation #2: describing and analyzing “data.”	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
7	Short presentation #2: describing and analyzing “data.” Explanation of final presentation.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
8	Organizing your final Seminar report. Review research basics / ethics: avoiding plagiarism.	lecture, small-group work	Review handouts provided in class.
9	Writing an Introduction (including “thesis statement”) and Conclusion.	lecture, small-group work	Review handouts provided in class.
10	Prepare for final presentation, final Seminar report	individual guidance from teacher	Write draft of presentation outline.
11	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
12	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
13	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Remaining presentations, if any. Collection of Seminar report. Recap of semester.	small-group discussion, in-class writing	Finish writing final Seminar report.

テキスト	None. For their own independent research projects, students will choose their own books and other materials to read.
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class (if in classroom) or before the start of class (if online).

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	杉村 美佳		
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4220		
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-③	
キーワード	国際教育学研究、国際教育協力、開発教育、参加型学習の歴史と現状、総合学習							
授業の概要	途上国への国際教育協力の状況を検討した上で、先進国における参加型学習の歴史や現状を理解し、途上国の問題解決に参加できる能力と態度を養う教育のあり方を考察する。前半はテキストに基づいてグループ研究発表を行い、国際教育学研究の基礎理論を学ぶ。後半では英文原書の講読を進め、途上国の女子教育について理解を深めるとともに、2年生のゼミ論文の発表に参加し、論文の書き方を学ぶ。							
達成目標(授業の目的)	国際教育協力や開発教育のあり方、参加型学習の歴史や現状を理解するとともに、教育学の英文原書を読む力を身につける。さらに国際的視点から日本の教育政策や教育実践などの方向性を探ることを通して、国際教育学研究の基礎的な理論と方法論を習得する。							
到達目標(学修成果)	①国際教育協力や開発教育のあり方、参加型学習の歴史や現状に関する知識を習得し、国際的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、考察することができる。 ②テキストの内容を整理してレジュメを作成し、相手に効果的に伝わる発表や議論をすることができる。 ③英文講読を通して教育学の専門用語を学び、途上国の女子教育の現状と課題について理解し、教育学の英文原書を読む力を身につける。							
評価方法	①討論への参画(10%)、②テキスト発表(30%)、③英文講読(20%)、④リアクションペーパー(30%)、⑤ブックレポート(10%)							
評価基準	①討論への参画：研究発表や論点に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②テキスト発表：テキストの内容を的確に整理してレジュメを作成し、効果的な発表を行っているか。討論の論点を提示しているか。 ③英文講読：英文原書の内容を的確に把握し、途上国の女子教育の現状と課題を理解できているか。 ④リアクションペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ⑤ブックレポート：内容を的確に要約し、国際教育学の視点から意見を論理的、批判的に論述できているか。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Formsで行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	国際教育学の理論と研究倫理	講義、討論	テキスト序章の講読 発表・討論の準備
2	援助と開発の歴史	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第1章の要約 発表・討論の準備
3	開発プロジェクトのタイプ	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第3章の要約 発表・討論の準備
4	参加型開発とは	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第4章の要約 発表・討論の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
5	日本の NGO と参加型開発	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 5 章の要約 発表・討論の準備
6	日本の開発教育	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 6 章の要約 発表・討論の準備
7	開発教育ワークショップ	ワークショップ・解説・振り返りシート	配布資料の講読 発表・討論の準備
8	総合学習と ESD	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 7 章の要約 発表・討論の準備
9	参加型学習の歴史的系譜	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 8 章の要約 発表・討論の準備
10	これからの国際協力と開発教育	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト終章の要約 発表の準備
11	<i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読 (1)	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.1-3 の翻訳 発表の準備
12	<i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読 (2)	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.4-6 の翻訳 発表の準備
13	<i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読 (3)	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.7-10 の翻訳 発表の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミ論文構想発表	発表・討論・解説・リアクションペーパー	発表の準備 リアクションペーパーの作成

テキスト	田中治彦『国際協力と開発教育―「援助」の近未来を探る』(明石書店) King, Elizabeth M. <i>Women's Education in Developing Countries</i> (World Bank).
参考書	小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書)、菅野琴・西村幹子・長岡智寿子編著『ジェンダーと国際教育開発―課題と挑戦―』(福村出版)
その他特記事項	発表の 1 週間前までに教員にレジユメを提出し、指導を受けること。 ゼミ生には討議への活発な参加を求める。

科目名	SES200: ゼミナール I			担当教員	杉村 美佳	
開講期	春	開講時限	水 4 限		研究室	4220
分類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	国際教育学研究、国際教育協力、開発教育、参加型学習の歴史と現状、総合学習					
授業の概要	開発教育の理念と歴史、地球的課題と開発教育、今後の開発教育の展開について専門的に学ぶ。具体的には、日英テキストの講読を通して、SDGs、国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどをテーマとした開発教育の方法やカリキュラムのあり方を考察する。また、実際に開発教育ワークショップに参加し、開発教育の実践に必要な知識や技術を習得する。最後に各自自由にゼミ論文のテーマを設定し、構想発表を行う。					
達成目標 (授業の目的)	国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどの地球的諸課題について理解を深めた上で、これらをテーマとした開発教育の実践に必要な技術を習得する。またゼミ論文のテーマを設定して文献を収集し、論点を整理して論文の構想を練り上げる力を習得する。					
到達目標 (学修成果)	①国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどの地球的諸課題について、教育を通して問題を解決するための方法を考察することができる。 ②開発教育のワークショップへの参加を通して実践に必要な知識や技術を習得する。 ③ゼミ論文のテーマを設定して先行研究を整理し、研究課題や研究方法などの構想を適切にまとめることができる。					
評価方法	①討論への参画 (20%)、②テキスト発表 (30%)、③ゼミ論文の構想発表 (20%)、④リアクションペーパー (20%)、⑤ブックレポート (10%)					
評価基準	①討論への参画：研究発表や論点に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②テキスト発表：テキストの内容を的確に整理して考察を加えたレジюмеを作成し、効果的な発表を行っているか。英文原書の内容を的確に理解できているか。 ③ゼミ論文の構想発表：ゼミ論文のテーマを適切に設定して先行研究を整理し、研究課題や方法などの構想を論理的にまとめているか。 ④リアクションペーパー：論題について発表内容をふまえて論理的に考察できているか。 ⑤ブックレポート：文献を適切に要約して論点を整理し、意見を論理的に述べているか。					
課題等に対する フィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	開発教育の内容・方法・カリキュラムと研究倫理	講義・討論・リアクションペーパー	テキスト第 2 章の要約 発表・討論の準備
2	MDGs から SDGs へ	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 4 章の要約 発表・討論の準備
3	環境問題と ESD	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 6 章の要約 発表・討論の準備
4	国際協力	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 7 章の要約 発表・討論の準備



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
5	貧困と格差	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第8章の要約 発表・討論の準備
6	紛争と平和	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第10章の要約 発表・討論の準備
7	子どもの権利条約	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第12章の要約 発表・討論の準備
8	開発教育ワークショップ	ワークショップ・振り返りシート	配布資料の講読 発表・討論の準備
9	ジェンダーと開発	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第13章の要約 発表・討論の準備
10	人の移動と多文化共生社会	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第14章の要約 発表の準備
11	ゼミ論文構想発表(1)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読(1)	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.285-287 の翻訳 発表の準備
12	ゼミ論文構想発表(2)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読(2)	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.291-293 の翻訳 発表の準備
13	ゼミ論文構想発表(3)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読(3)	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.294-296 の翻訳 発表の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミ論文構想発表(4)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読(4)	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.297-300 の翻訳 発表の準備

テキスト	田中治彦『SDGs と開発教育』(学文社) King, Elizabeth M. <i>Women's Education in Developing Countries</i> (World Bank).
参考書	田中治彦・杉村美紀編『多文化共生社会におけるESD・市民教育』(上智大学出版) 小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書)
その他特記事項	発表の1週間前までに教員にレジュメを提出し、指導を受けること。 ゼミ生には討議への活発な参加を求める。

科目名	SES300: ゼミナールⅡ			担当教員	杉村 美佳	
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4220
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④
キーワード	先行研究の検討、研究課題・研究方法の設定、文献研究・調査、ゼミ論文の作成、発表					
授業の概要	プレ・ゼミナールおよびゼミナールⅠで学んだ国際教育学研究の基礎的な理論と手法を用いて実際にゼミナール論文を作成する。毎回発表者が研究成果を報告し、ゼミ生全員で課題を討議する。また、開発教育のワークショップを実践する。					
達成目標(授業の目的)	国際教育学研究の基礎的な理論と研究手法を用いて教育事象を論理的、批判的に考察し、ゼミナール論文を作成、完成させることを目標とする。また、研究成果の報告ではお互いの課題を見出して討議し、効果的に発表する力を培う。さらに開発教育の実践を通して基礎的な指導技術を修得する。					
到達目標(学修成果)	①先行研究の検討、研究課題の設定、文献研究や各種調査などを通して論文作成に必要な知識、技法を修得し、研究論文の形に仕上げることができる。 ②研究内容を論理的に論述し、独自の考察を加え、説得力のある発表ができる。 ③毎回発表者が研究成果を報告し、ゼミ生全員で課題を討議することを通して、教育事象を論理的、批判的に分析し、考察できるようになる。 ④開発教育の実践を通して基礎的な指導技術を修得する。					
評価方法	①討論への参画(10%)、②リアクションペーパー(20%)、③研究発表(30%)、④ゼミ論文(40%)					
評価基準	①討論への参画：研究発表に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②リアクションペーパー：論題について発表内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③研究発表：研究内容を論理的に論述、考察し、説得力のある発表になっているか。 ④ゼミ論文：先行研究の検討、研究課題の設定、研究方法、内容が論文の技法に即していて適切であるか。書式や提出期限を守っているか。					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola/Moodle/Google Formsで行う/Loyola/Moodle/Google Forms ・口頭で行う/orally					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	ゼミ論文の書き方、研究倫理	発表・解説・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
2	ゼミ論文中間発表と討論(1)	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
3	ゼミ論文中間発表と討論(2)	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
4	ゼミ論文中間発表と討論(3)	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
5	ゼミ論文中間発表と討論(4)	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
6	ゼミ論文中間発表と討論(5)	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	開発教育ワークショップの準備	討論・相互評価講評	解説の要約、教材の準備
8	開発教育ワークショップの実践	発表・討論・リアクションペーパー	教材の準備、論文の作成
9	ゼミ論文発表と討論（1）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
10	ゼミ論文発表と討論（2）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
11	ゼミ論文発表と討論（3）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
12	ゼミ論文発表と討論（4）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
13	ゼミ論文発表と討論（5）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミ論文発表会	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、スライドの作成

テキスト	特になし。適宜、プレ・ゼミナールおよびゼミナール I で使用したテキストを参照する。
参考書	小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書） 「杉村ゼミ論文集」
その他 特記事項	ゼミ生には討議への活発な参加を求める。発表の1週間前までに原稿を教員に提出し、添削を受けること。

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	神谷 雅仁		
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4215		
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-③	
キーワード	英語力の向上、アカデミック・スキルズの鍛錬、言語学の学び、自己研究の基礎、研究倫理							
授業の概要	本講は言語学の分野に関する基礎的な知識の習得、英語力の向上、アカデミック・スキルズのトレーニングという3つの大きな柱から構成されている。学生たちは英語で書かれたテキストの担当チャプターをレジュメにまとめ、口頭発表をすることで言語学に関する諸々の基本的概念を理解する。同時に、英字新聞などの記事を題材にした言語活動を通し、英語力を高めていく。また、専門的な学びに不可欠な研究倫理や批判的思考についても触れる。							
達成目標(授業の目的)	学生はチャプター・プレゼンテーションを通し、発表の仕方やレジュメの作り方、また発表後のディスカッションの仕方を学び、実践する。同時に英語で書かれたテキストを通し、専門的な内容を英語で読むということへの慣れができる。また英字新聞や雑誌の記事を使い、 <b>chunk-reading・chunk-writing</b> 、記事の和訳、英語での <b>reaction</b> 作成などの言語活動をする中で英語力の底上げも可能となる。そしてゼミナール I、II で扱うことになる言語学の領域(社会言語学を含む)を概観することで、この分野の基礎をしっかりと固めることができる。							
到達目標(学修成果)	学生たちはプレゼンテーションに向けた準備を通し、英語で書かれたテキストをまとめ、レジュメを作成することができるようになる。ディスカッションについても、オーディエンス(聞き手)として単なる意見交換をするのではなく、発表の内容をクリティカルにとらえ、自らの意見や見解を発表者にわかりやすく伝えられるようになる。英語学修に関しては、英語の文構造や語の配列を徹底的に学ぶことで、英語の読解力が向上する。最後に、チャプター・プレゼンテーションとチャプター・サマリーを通し、言語学の分野の全体像および個別の理論や考え方についての理解を深め、その後の自己研究へとつながられるようになる。							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の課題 (Article Note) : 20%</li> <li>Vocabulary quiz (英語のボキャブラリー・クイズ、計 6~7回) : 20%</li> <li>Chapter presentation and discussion (口頭発表 &amp; その後のディスカッション) : 30%</li> <li>Chapter summary (指定されたチャプターの要約) : 10%</li> <li>Term paper (期末レポート) : 20%</li> </ul>							
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の課題: 英語で書かれた新聞や雑誌等の記事を題材に、読む、書く、和訳、ボキャビルの総合的言語学修が毎週課せられ、十分な量と回数が行ってきたかどうか問われる。</li> <li>Vocabulary quiz: TOEIC Test 用の頻出 vocabulary 学修が日々課せられるが、毎回の quiz で 100~150 語程度の語句の理解、定着がチェックされる。</li> <li>Chapter presentation and discussion: 自らが担当するチャプターの内容が、適切な構成のもと、見やすいかたちでレジュメにまとめられているか、また大学レベルにふさわしい口頭発表の様式を取っているかが問われる。主な評価点としては概念や理論を含めた用語の定義が言語例とともに説明されているか、レジュメの基本的な構成・書き方に沿っているか、著者による見解と自分の考えが明確に区別されているか、参考文献リストがあるかどうか等である。同時に audience からの質問に的確に答えているかも問われる。</li> <li>Chapter summary: 発表者以外は全員その週の発表チャプターを読み、そのサマリーを提出することが課せられる。提出回数およびセクションごとのサマリー、および指定された exercise の解答の出来によって評価される。</li> <li>Term paper (学期末レポート): 自らが Chapter presentation で扱ったテーマについて、さらに文献を読み、より深く、広いスコープでレポートに仕上げられているかが問われる。</li> </ul>							
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭で行う / orally</li> <li>提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Course overview 授業を概観する: 目標・課題の確認	Lecture, discussion	Read the first section of the textbook
2	On Pre-seminar: Introduction (talking about learning academic skills) 研究倫理について	Lecture, discussion, group work, doing exercises	Review the handout, start the assignments
3	Introduction to Linguistics 言語学という学問分野の全体像、Vocab. Quiz 1	Students' presentation, discussion, feedback	Study the resume, prep. for Vocab. Quiz
4	What is Linguistics? 言語学とは	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 1): read and write a summary
5	How English Has Changed over the Centuries <History of English> 英語の歴史	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 2): read and write a summary,
6	The Sounds of English <Phonetics and Phonology> 言語音 Vocab. Quiz 2	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 9): read and write a summary, vocabulary
7	How Words Are Made <Morphology> 語形成	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 3): read and write a summary
8	How Words Mean <Semantics 1> 語の意味 Vocab. Quiz 3	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 4): read and write a summary, vocabulary
9	How English Phrases Are Formed <Syntax 1> 句構造・文構造	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 5): read and write a summary
10	How to Communicate with Other People <Pragmatics> 発話の意味 Vocab. Quiz 4	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 8): read and write a summary, vocabulary
11	Regional Varieties of English <Sociolinguistics 1> 地域方言	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 10): read and write a summary
12	English in Society <Sociolinguistics 2> 社会方言 Vocab. Quiz 5	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 11): read and write a summary, vocabulary
13	How English is Acquired <Psycholinguistics> 言語習得	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 12): read and write a summary
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Course review まとめ Vocab. Quiz 6 (解説含む)	Lecture and discussion	Review of the textbook, prep. for Vocab. Quiz

テキスト	影山太郎、ブレント・デ・シェン、日比谷潤子(著)『First Steps in English Linguistics』(くろしお出版)
参考書	長谷川瑞穂(編著)『はじめての英語学』(研究社) 飯野公一ほか(著)『新世代の言語学』(くろしお出版)
その他 特記事項	「言語学概論」の科目を履修済み、あるいは同時履修が望ましい。



科目名	SES200: ゼミナール I			担当教員	神谷 雅仁		
開講期	春	開講時限	水 4 限		研究室	4215	
分類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-④	
キーワード	社会言語学、言語変種、アカデミック・スキルズの鍛錬・強化、批判的思考、研究倫理						
授業の概要	学生は社会言語学という専門分野の内容を題材に、専門書を英語で読む、自己研究テーマに沿って発表をする、様々な言語事象についてディスカッションをする、専門分野に関するレポートを作成するなどのアカデミック・スキルズ修練のための活動をおこなう。学期前半は社会言語学に関する指定テキスト(洋書)を輪読しながら、多言語社会や言語政策、また言語のバリエーション等のテーマについて学び、後半は前半で学んだ内容の中から各自がテーマをひとつ選択し、そのテーマに沿って文献を調べ、まとめ、そして発表を行う。						
達成目標(授業の目的)	学生は計 2 回の発表を通し、言語とその使用に関するテーマについて広く深く学ぶと同時に、分析的・批判的に物事を考察することができるようになる。そして自分が理解した内容や得た知識を相手に分かりやすく伝えることができるようになる。また社会言語学的な視点から自分たちの母語や学習言語についての理解を深め、最終的には自己研究へ向けたテーマ設定や問題提起ができるようになる。						
到達目標(学修成果)	学生は発表を通して意見の整理の仕方、レジュメの作成、効果的な発表の方法、先行文献の使い方、発表後のディスカッションや質疑応答の進め方などについて学び、それらを的確に実践できるようになる。また言語を社会的な視点から考察し、それを自らの生活や経験という文脈の中で捉えられるようになる。さらに学期末レポートを作成する中で、先行研究の重要性や自らの意見・主張の大切さ、文献を批判的に読む力、文献リストの書き方などを学び、それらの観点をレポート作成に活かせるようになる。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表 1 (Textbook <i>Sociolinguistics</i> by B. Spolsky のチャプター・プレゼンテーション) : 20%</li> <li>・発表 2 (自己研究テーマに関するプレゼンテーション) : 20%</li> <li>・授業参加・提出物 (Post-presentation discussion, chapter summary) : 15%</li> <li>・学期末レポート (Term paper) : 25%</li> <li>・Article Note : 20%</li> </ul>						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表 1、2 では、発表の進め方、レジュメの書き方、先行研究の扱い、文献の示し方、そしてディスカッション時の質問に対する受け答えの適切さなどが評価される。</li> <li>・授業参加は発表後のディスカッション時に、オーディエンスとして発表者にどのようなフィードバックを返すことができるかに着目し、特に分析的、批判的な視点をとまなうフィードバックには高い評価が与えられる。発言の回数と発言内容が問われる。提出物とは毎回の chapter summary (各章の TEXT に関する要約/まとめ※学期前半のみ) を指し、指示に従い、期限内に提出できたかどうか問われる。</li> <li>・学期末レポート (Term paper) は自己研究テーマについて二回目の発表内容をもとに、それを自らの論点や問題提起を含めたレポートの体裁にまとめ、提出期限内に提出できたかどうか評価される。</li> <li>・Article Note は各エントリーに必要な英語による言語活動がすべて含まれており、設定された回数のエントリー数が達成できている状態で提出期限内に提出できたかどうか評価される。</li> </ul>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭で行う/orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Course overview 研究倫理について	講義、ディスカッション	Read Preface in the textbook
2	Chapter presentation 1 (The social study of ...) 個人 or ペア発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
3	Chapter presentation 2 (The ethnography of ...) 個人 or ペア発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
4	Chapter presentation 3 (Locating variation ...) 個人 or ペア発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
5	Chapter presentation 4 (Styles, gender, ...) 個人 or ペア発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
6	Chapter presentation 5 (Bilingualism) 個人 or ペア発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
7	Chapter presentation 6 (Societal ...) 個人 or ペア発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
8	Chapter presentation 7 (Applied sociolinguistics) グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
9	自己研究テーマに関する全体説明と個別指導	講義、ディスカッション、個別面談	自らの学問的興味について考え、説明できるようにする
10	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 1	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
11	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 2	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
12	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 3	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
13	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 4	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Course Review まとめ	講義、ディスカッション	2回のプレゼンテーションで使用したレジュメの見直し

テキスト	Spolsky, B. <i>Sociolinguistics</i> (Oxford U.P.). 学生の作成した発表レジュメ
参考書	東照二『社会言語学入門』(研究社) 田中春美・田中幸子『よくわかる社会言語学』(ミネルヴァ書房)

科目名	SES300: ゼミナールⅡ				担当教員	神谷 雅仁		
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4215		
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-④	
キーワード	ゼミナール論文、テーマ設定、問題提起と仮説、批判的思考、論理的文章構成、研究倫理							
授業の概要	学生はゼミナールⅠで専門的な学びに必要なアカデミック・スキルズをしっかりと学んだ後、本講において自らの学問的興味に従って、論文の作成に向けテーマの絞り込みをしていく。そして学期中に2回の中間発表と1回の最終発表を行い、自らの研究成果をまとめ、論文のかたちで提出する。毎回の授業は2名の学生の個人発表とディスカッションで構成され、最後にひとり一人に対し、担当教員よりフィードバックがなされる。							
達成目標(授業の目的)	本講では学びの集大成としてゼミナール論文の作成を課しているが、学生たちは自らの自己研究に必要な様々な知識を、専門書の理解を通じて修得していく。同時に発表の仕方、レジユメの作成、ディスカッション時のポイントなどについても、引き続き実践を通して研鑽していく。							
到達目標(学修成果)	本講を通して学生はゼミナール論文作成という大きな目標を掲げ、それを達成するため計画的にそして確実に必要な作業を進めていくことができるようになる。具体的には先行研究の収集、論文構成の決定(仮説やデータ収集法)、実際のデータ収集と分析、そして実際の執筆作業など論文完成までの長い工程の中をひとつずつ着実にステップを踏みながら、最終的に自らの計画した目標を達成することができるようになる。同時にゼミナール論文の作成や発表の機会を通し、自らのテーマ設定の仕方や先行研究の重要性について学ぶ一方で、既存の主張や考え方、また理論に対する批判的な視点も養われていく。							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミナール論文：50%</li> <li>・個人発表(2回)およびディスカッション：30%</li> <li>・授業参加：20%</li> </ul>							
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミナール論文：提出された論文が、全体の構成を含めひとつの論文として成り立っているかどうかを、総合的に評価する。授業内で学んだことが活かされたかたちで論文が完成されている必要がある。</li> <li>・個人発表：自らの研究内容を口頭、そしてレジユメを用いてわかりやすく説明しているかが問われる。ディスカッション：発表した内容に関して質問された際、明確に、過不足なく回答しているかが問われる。</li> <li>・授業参加：聴衆(オーディエンス)として発表者の発表に対してコメントや質問を含めたフィードバックを返しているかどうか、またそのフィードバックの内容が発表者に対して建設的であり、示唆を与えるものであり、そして批判的であるかどうか問われる。</li> </ul>							
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> </ul>							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Course Overview: 授業内容・運営、評価方法、課題などの説明	講義、ディスカッション	ゼミナールⅠで学んだ内容を振り返る
2	ゼミナール論文の作成に向けて、研究倫理に関する説明、「論文の基本構成」の作成	講義、ディスカッション、論文のSAMPLE	ゼミナール論文のテーマ決め、「論文の基本構成」準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
3	第1回プレゼンテーション Group 1 (自己研究テーマに関する発表および質疑応答)	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
4	第1回プレゼンテーション Group 2 (自己研究テーマに関する発表および質疑応答)	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
5	第1回プレゼンテーション Group 3 (自己研究テーマに関する発表および質疑応答)	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
6	第1回プレゼンテーション Group 4 (自己研究テーマに関する発表および質疑応答)	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
7	第1回プレゼンテーション Group 5 (自己研究テーマに関する発表および質疑応答)	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
8	ゼミナール論文における進捗状況、論文執筆に関する指導、後半の発表の注意点	講義、ディスカッション、補足説明	自らの論文構成の確認、論文作成に関する配付資料の復習
9	第2回プレゼンテーション Group 1 (自己研究テーマに関する発表および質疑応答)	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
10	第2回プレゼンテーション Group 2 (自己研究テーマに関する発表および質疑応答)	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
11	第2回プレゼンテーション Group 3 (自己研究テーマに関する発表および質疑応答)	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
12	第2回プレゼンテーション Group 4 (自己研究テーマに関する発表および質疑応答)	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
13	第2回プレゼンテーション Group 5 (自己研究テーマに関する発表および質疑応答)	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミナール論文の最終発表 Course review まとめ	発表、ディスカッション	発表の準備、PowerPoint 資料の作成

テキスト	テキストは使用せず。各回の発表者が配布する発表用レジュメ、および教員の準備する論文作成に関する資料を使用する。
参考書	白井利明・高橋一郎(2017)『よくわかる卒論の書き方(第2版)』(ミネルヴァ書房) 石坂春秋(2003)『レポート・論文・プレゼンスキルズレポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション』(くろしお出版)



科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	小林 宏子		
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4204		
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	1,4	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					1-①, 4-③	
キーワード	マザー・テレサ、キリスト教、信仰、祈り、愛、奉仕、召命、奉獻、隣人愛の実践、救い							
授業の概要	テキスト講読を通して、マザー・テレサの言葉や活動の源泉にある神への信仰と愛について学び、キリスト教信仰が目指す神とのかかわり方、人とのかかわり方、この世とのかかわり方を考察する。また、学生同士、そして教員との意見交換を通して、現代社会の人々が抱える人間関係、社会制度の問題を考察し、各自が個人的に研究するためのテーマを見出す。							
達成目標(授業の目的)	カトリック教会が20世紀の聖女として尊敬するマザー・テレサの信仰と活動に関する学びを通して、貧困や格差、紛争や暴動、病気や障害、孤独や差別など世界が抱える苦しみと向き合う時のキリスト教的視点や態度を学ぶ。すぐには解決できない深刻な問題に対して、忍耐強く愛の奉仕に献身する力の源泉はどのような信仰の確信に因るものなのかを考察する。現代社会が抱える諸問題の中から、各自の研究課題を定めて参考となる文献を探す。							
到達目標(学修成果)	①マザー・テレサの生涯とその活動を根底で支えたキリスト教信仰に関する基礎的な知識を得ることができる。 ②人間の宗教的次元を開花させるために不可欠となる内面的成熟の諸要素を意識化し、社会で起こる人間の問題を、自分とのかかわりの中で考察する視点を持つことができる。 ③各自の研究テーマに即した参考書を選び、その内容を要約し、キリスト教的視点からの考察を加えた上で自分自身の見解を論理的に展開してまとめ、口頭発表することができる。							
評価方法	①夏休みの課題、及びテキスト講読のための担当箇所を発表(10%×3回=30%) ②事前課題の提出(2%×10回=20%)と話し合いへの積極的参加(1%×14=14%) ③期末ブックレポート(26%)と発表(10%)							
評価基準	①発表内容を分かりやすくまとめ、レジュメ等の資料を作成した上で口頭発表ができること。 ②課題として指示されたテキストの内容を的確に理解した上で、授業での話し合いに備えて自分の見解を論理的に記述できること、また、話し合いが活発に進むよう積極的に発言し意見交換に貢献すること。 ③各自の研究テーマに沿った参考書の内容を的確に要約し、自分の見解を論理的に記述した上で、提示資料を用いて分かりやすく口頭発表できること。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Formsで行う / Loyola / Moodle / Google Forms							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	オリエンテーション、夏休み課題の発表、研究倫理	講義、発表、意見交換、DVD視聴	夏休休暇中の課題発表の準備
2	マザー・テレサの生涯(1) 少女期	講義、意見交換	テキスト①はじめに～p.31を読み意見をまとめる
3	マザー・テレサの生涯(2) 召命と修道生活	講義、意見交換	テキスト①pp.31～58を読み意見をまとめる
4	神の愛の宣教者会の創立	講義、意見交換	テキスト①pp.60～95を読み意見をまとめる



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	神の愛の宣教者会の活動	講義、意見交換	テキスト①pp.96～130を読み意見をまとめる
6	マザー・テレサの生き方の源泉	講義、意見交換	テキスト①pp.132～173を読み意見をまとめる
7	マザー・テレサの真実	講義、意見交換	テキスト①pp.176～219を読み意見をまとめる
8	マザー・テレサと共に (1) 祈り、聞く	講義、意見交換	テキスト②はじめに～p.26を読み意見をまとめる
9	マザー・テレサと共に (2) 話す、見る	講義、意見交換	テキスト②pp.27～46を読み意見をまとめる
10	マザー・テレサと共に (3) ほほ笑む、泣く	講義、意見交換	テキスト②pp.47～66を読み意見をまとめる
11	マザー・テレサと共に (4) 呼吸する、食べる	講義、意見交換	テキスト②pp.67～86を読み意見をまとめる
12	学生発表 (1)	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
13	学生発表 (2)	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	学生発表 (3)	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備

テキスト	①和田町子『マザーテレサ』（清水書院） ②片柳弘史『祈るように生きる マザー・テレサと共に』（ドン・ボスコ社）
参考書	ルシンダ・ヴァーディ編・猪熊弘子訳『マザー・テレサ語る』（早川書房） 川下勝『アッシジのフランチェスコ』（清水書院）

科目名	SES200: ゼミナール I				担当教員	小林 宏子		
開講期	春	開講時限	水4限		研究室	4204		
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	1,4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					1-①, 4-④	
キーワード	キリスト教人間観、解放者イエス、救い、福音、罪、汚れ、聖性、神の似姿、聖母マリア							
授業の概要	福音書に登場する女性たちとイエスとの出会いに注目し、当時の社会において女性たちが背負っていた制度的・宗教的な差別と抑圧からイエスがどのように解放したのかを考察し、現代社会の中で生きる女性たちが直面する問題や苦しみと関連づけながら、その原因や構造について学び、各自の個人研究の考察を深める。							
達成目標(授業の目的)	「神の似姿」として創造された女性という視点でキリスト教ヒューマニズムの理解を深める。当時の社会通念に囚われることのないイエスとの出会いがもたらした、女性本来の姿とはどのようなものであるかを知り、現代社会が抱える課題を見つける視点を得る。							
到達目標(学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト及び聖書箇所を考察を通して、自分の意見をまとめ、発表する力をつける。</li> <li>・聖書の時代特有の問題と現代社会にも共通する課題とを見出し、女性が直面する課題について考察する力をつける。話し合いの司会を交替で担当する。</li> <li>・個人研究に必要な文献を探して読解し、理解した内容を的確にまとめ、自分の見解を論理的に記述し、口頭表現する力をつける。</li> </ul>							
評価方法	①春休み課題及び事前課題 (5%+3%×10回=35%) ②テキスト担当箇所の発表 (10%×2回=20%)、意見交換時の積極性 (1%×14回=14%) ③期末ブックレポート (20%) と発表 (11%)							
評価基準	①課題として指示されたテキストの内容を的確に理解した上で、授業での話し合いに備えて自分の見解を、論理的に記述できること。 ②発表の担当者はレジメを作成し、主題に添った発展的質問を準備するなど、話し合いをリードすること。また、質問されたことに答えられること。担当者以外の学生は準備学修でまとめた意見を積極的に発表し、意見交換に貢献すること。 ③各自の研究テーマに沿った参考文献の内容を的確に要約し、自分の見解を論理的に記述したブックレポートを3冊分作成し、分かりやすく口頭発表できること。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	オリエンテーション、研究倫理 イエス・キリストの人間観	講義、発表、意見交換	課題「イエス・キリストの人間観」の課題発表準備
2	神の母聖マリア、ご訪問の聖マリア 死刑囚の母・聖マリア	講義、発表、意見交換	テキスト①pp.1~14, 56~66, 110~116を読み意見をまとめる
3	シモン・ペトロの姑、出血症の女 サマリアの女	講義、発表、意見交換	テキスト①pp.15~37を読み意見をまとめる
4	姦通罪を犯した女 罪の女と仕える女たち	講義、発表、意見交換	テキスト①pp.38~55を読み意見をまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	マルタとマリア	講義、発表、意見交換	テキスト①pp.65～79を読み意見をまとめる
6	カナンの女、貧しいやもめ 女預言者アンナ	講義、発表、意見交換	テキスト①pp.80～102を読み意見をまとめる
7	ベタニアのマリア マグダラのマリア	講義、発表、意見交換	テキスト①pp.103～109, 117～120を読み意見をまとめる
8	マザー・テレサと共に (1) 歩く、着る	講義、発表、意見交換	テキスト②pp.87～106を読み意見をまとめる
9	マザー・テレサと共に (2) 持つ、掃除する	講義、発表、意見交換	テキスト②pp.107～126を読み意見をまとめる
10	マザー・テレサと共に (3) 育てる、働く	講義、発表、意見交換	テキスト②pp.127～146を読み意見をまとめる
11	マザー・テレサと共に (4) 休む、生活のすべてを祈りに	講義、発表、意見交換	テキスト②pp.147～166を読み意見をまとめる
12	学生発表 (1)	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
13	学生発表 (2)	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	学生発表 (3)	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備

テキスト	①英隆一郎『イエスに出会った女性たち』（女子パウロ会） ②片柳弘史『祈るように生きる マザー・テレサと共に』（ドン・ボスコ社）
参考書	教皇フランシスコ『使徒的勧告 愛のよろこび』（カトリック中央協議会） 岸見一郎・古賀史健『嫌われる勇気』（ダイヤモンド社）

科目名	SES300: ゼミナールⅡ			担当教員	小林 宏子	
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4204
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	1,4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				1-①, 4-④
キーワード	キリスト教ヒューマニズム、人間の尊厳、人格、神の似姿、愛、幸福、希望の根拠					
授業の概要	ゼミナールⅠで学んだイエス・キリストの人間観を土台にしながら各自が選んだ研究テーマに関する考察を深め、ゼミナール論文を執筆する。途中、各段階での研究成果を報告し、クラス内での議論を経て、各自の研究を発展的にまとめ、研究論文の形式で仕上げる。					
達成目標(授業の目的)	各自の興味・関心に沿った研究テーマに適した参考文献や資料を探して講読し、学生同士の議論を経て、自分の見解の論理展開を吟味し、文章の推敲を重ねた上で、論文を仕上げる。同時に、キリスト教ヒューマニズムの根底にある「神の似姿」や「人格的存在」という概念に照らして、現代の日常的経験の中に横たわる倫理的行動選択の基準を見直し、人間性に関する価値観の変遷を意識できるようになる。					
到達目標(学修成果)	<p>①社会現象や人間関係の諸問題の中から考察の対象となる課題を具体的に設定し、適確な文献や資料を探して研究を深め、資料から学んだ事柄と自分の意見の区別がつく形で、レジюмеを作成し、発表することができる。キリスト教の視点からの指摘や質問にも答えることができる。</p> <p>②他の学生の発表と資料を批判的に検討し、質問や意見を述べることができる。</p> <p>③文献・資料を正しく引用し、脚注付きのゼミナール論文を仕上げるすることができる。</p>					
評価方法	<p>①課題設定、文献・資料検索、夏休みの研究成果、及び3回の中間発表(8%×4=32%)</p> <p>②授業内の質疑応答における積極的発言(2%×14回=28%)</p> <p>③ゼミナール論文(40%)</p>					
評価基準	<p>①社会的な事象や人間にかかわる問題について自分の興味に合わせた課題を設定し、相応しい参考文献を探して読むことで研究を深め、自分の意見の構築まで発展させることができたか。また、レジюмеを作成し論理的で分かりやすい形での中間報告ができたか。</p> <p>②他者の発表の要点を理解した上で、適切な質問や意見を述べることができたか。</p> <p>③A4用紙で8頁以上、参考文献リスト、脚注付きの論旨が明確なゼミナール論を仕上げることができたか。</p>					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Formsで行う / Loyola / Moodle / Google Forms					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	夏季休暇中の研究進捗状況の報告 研究倫理について	発表、講義、質疑応答、講評	夏休みの研究成果発表準備
2	ゼミナール論文の1回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	1回目中間報告準備
3	ゼミナール論文の1回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	1回目中間報告準備
4	ゼミナール論文の1回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	1回目中間報告準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	ゼミナール論文の1回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	1回目中間報告準備
6	ゼミナール論文の2回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	2回目中間報告準備
7	ゼミナール論文の2回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	2回目中間報告準備
8	ゼミナール論文の2回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	2回目中間報告準備
9	ゼミナール論文の2回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	2回目中間報告準備 ゼミナール論文の執筆
10	ゼミナール論文の3回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	3回目中間報告準備 ゼミナール論文の執筆
11	ゼミナール論文の3回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	3回目中間報告準備 ゼミナール論文の執筆
12	ゼミナール論文の3回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	3回目中間報告準備 ゼミナール論文の執筆
13	ゼミナール論文の3回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	3回目中間報告準備 ゼミナール論文の提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミナール論文についての講評と意見交換	講評、意見交換	意見交換のための準備

テキスト	担当教員、及び学生が配布する資料
参考書	岸見一郎・古賀史健『幸せになる勇気』（ダイヤモンド社） 教皇フランシスコ『回勅 兄弟のみなさん』（カトリック中央協議会）



科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	Thomas	
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4211	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	3,4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-③	
キーワード	Peace, positive peace, negative peace, structural violence, causes of war, peace movements						
授業の概要	This course introduces basic concepts of peace studies and deals with some major issues in today's world. Some of the principal themes in this course are struggle for peace, wellbeing of human beings and sustainability of nature. Students' active participation in discussions, pair work and presentations are required to facilitate active and participatory learning in class. Through these activities, students will develop critical thinking, ability to express their thoughts and opinions, and respect others' opinions.						
達成目標(授業の目的)	Through this course, students will acquire an introductory knowledge of the basic concepts and issues in peace studies. They will also learn the skills to participate in a discussion, to make PowerPoint presentations and take notes in English. Students will also be trained to write an academic essay separating facts from opinions and following research ethics.						
到達目標(学修成果)	By the end of this course, students should be able to <ul style="list-style-type: none"> <li>• understand the key concepts, history and the basic issues in peace studies</li> <li>• think critically about social and political issues that affect the national and international community</li> <li>• participate in a discussion creatively on topics related to peace studies</li> <li>• write a short research paper related to peace and issues related to peace</li> <li>• read English essays, understand the main points, summarize them and make a clear presentation</li> <li>• improve their knowledge of English vocabulary related to peace studies and world issues</li> </ul>						
評価方法	Class participation (50%), research presentation (20%), final report (30%)						
評価基準	To be distributed at the first class.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う/orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Introduction to teaching materials, class policies, evaluation criteria, and research ethics	Lecture, discussion, Q&A	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1 Education and Gender- education of women in Afghanistan and India	Lecture, group work, discussion, presentation	Answer the questions on preview sheet (PS)
3	Unit 2 Global Warming – Environmental threats to our planet	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 2, do PS, prepare for discussion
4	Unit 3 Drinking Water – water problem in Gaza and water pollution	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 3, do PS, prepare for discussion
5	Unit 4 Poverty and Hunger – Child malnutrition in Niger, about doing research	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 4, do PS, prepare for discussion
6	Unit 5 Fighting Disease – Malaria and HIV / AIDS; discussing research topic	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 5, do PS, prepare for discussion
7	Unit 6 Terrorism – 9/11 Counter Terrorism Strategy; presentation of research topic	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 6, do PS, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 9 Genocide and Crimes against Humanity – The Khmer Rouge	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 9, do PS, prepare for discussion
9	Unit 10 Landmines – Demining in Afghanistan and Cambodia; essay writing	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 10, do PS, prepare for discussion
10	Unit 11 Refugees – Life in a Refugee Camp and International Refugee Law	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 11, do PS, prepare for discussion
11	Democracy and human rights in Burma – struggle of the Rohingya people	Lecture, group work, discussion, presentation	Do personal research on the topic, prepare for discussion
12	Research presentation by the students (Group 1)	Presentation, Q&A, discussion	Prepare for presentation
13	Research presentation by the students (Group 2)	Presentation, Q&A, discussion	Prepare for presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Recap of the course, submission of the final report	Discussion, feedback, Q&A	Submit final report

テキスト	Keiso Tatsukawa, Walter Davies et al. <i>Global Issues Towards Peace</i> (Nanun-do).
参考書	岡本 三夫、横山 正樹編著『新・平和学の現在 <i>Peace Studies in the Making: A New Edition</i> 』（法律文化社）

科目名	SES200: ゼミナール I			担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	水 4 限	研究室	4211
分類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年
				オフィスワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。			3-④, 4-④
キーワード	Peace, nonviolence, conflict resolution, reconciliation, environmental protection, peace building				
授業の概要	This course introduces fifteen great peacemakers: their life, message, and philosophy. It focuses on the following five areas: nonviolence, living peace, honoring diversity, valuing all life, and caring for the planet. Students are expected to study in detail about one of the peacemakers and make a PowerPoint presentation in class. Students are also expected to write a short research thesis on a topic of their choice which is related to peace.				
達成目標 (授業の目的)	The general goals of this course are to introduce various concepts of peace, to learn how peace can be achieved through philosophy, politics, religion, music, social service, education, dialogue, science, literature, sustainable development, and environmental protection. Another important goal of this course is to learn the skills to read academic articles, summarize main points and make a PowerPoint presentation. Finally, in this course students will learn to write a short research thesis.				
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students will <ul style="list-style-type: none"> <li>• know different concepts of peace, various ways of building and maintaining peace</li> <li>• be able to write a short research paper on topics related to peace based on research ethics</li> <li>• be able to make a presentation of the result of their research using PowerPoint</li> <li>• be able to participate in a discussion actively</li> </ul>				
評価方法	Class participation (40%), Presentation about a peacemaker (20%), Final report (40%)				
評価基準	To be distributed at the first class.				
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>				
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to teaching materials, class policies, evaluation criteria, and research ethics	lecture, discussion, Q&A	purchase textbook, read syllabus
2	Nonviolence: Living deliberately (Henry David Thoreau)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 3-10; 79-86 prepare for discussion
3	Nonviolence: Nonviolent resistance (Mahatma Gandhi)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 11-18, and prepare for discussion
4	Nonviolence: Daring to dream (Martin Luther King, Jr.), Honoring Diversity: Desmond Tutu: All Belong presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 19-26, prepare for discussion
5	Living peace: Living peace (Mother Theresa) Honoring Diversity: Raine Eisler: Partnership, Not Domination, presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 37-44; 87-94, prepare for discussion
6	Living peace: Being peace (Thich Nhat Hanh) Valuing All Life: Henry Salt: The Creed of Kinship, presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 45-52; 105-112, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Living peace: “Us” refers to all of humankind (Oscar Arias) Valuing All Life: Albert Schweitzer: Reverence for Life, presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 61-67; 113-120, prepare for discussion
8	Honoring diversity: Interfaith Harmony (Bruno Hussar) Valuing All Life: Astrid Lindgren: A Voice for the Voiceless, presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 71-78; 121-128, prepare for discussion
9	Honoring diversity: Universal compassion (The Dalai Lama) presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 95-101; for discussion
10	Valuing all life: Realizing our humanity (Jane Goodall), presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 129-135, prepare for discussion
11	Caring For the Planet: Rachel Carson: The Balance of Nature	lecture, reading, discussion, Q&A	prepare for presentation and discussion
12	Presentation of final report by students (group 1) *(Presentation time: 10 minutes ; Q&A: 5 minutes ; Score: 10%)	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and discussion
13	Presentation of final report by students (group 2) *(Presentation time: 10 minutes ; Q&A: 5 minutes ; Score: 10%)	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and discussion
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Conclusion, recap of the course, submission of Final report	lecture, reading, discussion, Q&A	submit Final report, Q&A

テキスト	Ken Beller, Heather Chase. <i>Great Peacemakers: True Stories from Around the World</i> (LTS Press).
参考書	Thomas Keefe & Ron E. Roberts. <i>Realizing Peace: An Introduction to Peace Studies</i> (Iowa State Pr).

科目名	SES300: ゼミナールⅡ				担当教員	Thomas	
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4211	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	3,4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-④	
キーワード	Peace, just war, holy war, diplomacy, negotiation, balance of power, deterrence						
授業の概要	This course introduces strategies and theories for preventing wars and building peace. In addition, traditional war theories such as 'just war theory', and concepts of 'holy war' from different religious perspectives are dealt with in this course. Specific strategies for building 'negative peace' such as diplomacy, negotiations, conflict resolution and means for building 'positive peace' such as promotion of human rights, environmental protection, economic well-being, promotion of nonviolence etc., will also be introduced.						
達成目標(授業の目的)	In this course students will mainly focus on the strategies to prevent wars through building positive and negative peace. Students will also do personal research based on research ethics throughout the semester on a topic related to peace which will be submitted as their graduation thesis.						
到達目標(学修成果)	By the end of this course, students will <ul style="list-style-type: none"> <li>• have learned about some strategies for preventing wars and building peace</li> <li>• have developed skills to do an independent research project</li> <li>• be able to participate in a discussion constructively</li> <li>• be able to extract ideas and information by reading books and articles for research</li> <li>• have acquired the skills necessary to make a presentation using PowerPoint effectively</li> </ul>						
評価方法	Class participation (20%), preview sheets & reaction papers (20%), research presentation (20%), thesis (40%)						
評価基準	To be distributed at the first class.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う/orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Introduction: course materials and policies; research ethics	lecture, discussion, Q&A	read syllabus
2	Building "Negative Peace": third-party involvement, negotiating techniques	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
3	Peace through strength: balance of power, collective security, deterrence	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
4	Interim research presentation (group 1)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
5	Interim research presentation (group 2)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
6	Interim research presentation (group 3)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
7	Disarmament and arms control: history of disarmament, arms control etc.	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	International organizations: The United Nations, Just War – part 1	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
9	International law: enforcement of international law, Just War – part 2	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
10	War and general ethics, religious support for war, Holy war – part 1 (Christianity, Buddhism)	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
11	War and general ethics, religious support for war, Holy war – part 2 (Islam)	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
12	Research presentation by students (group 1)	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
13	Research presentation by students (group 2)	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Research presentation by students (group 3), conclusion, submission of thesis	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation, submit thesis
テキスト	Materials adapted from the following textbook will be used in class. Richard Smoke with Willis Harman. <i>Paths to Peace: Exploring the Feasibility of Sustainable Peace</i> (Institute of Noetic Science Westview Press).		

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	M. Lupas	
開講期	秋	開講時限	水2限		研究室	4206	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-③	
キーワード	world literature, comparative literature, research, narrative, parts of fiction, literary theory						
授業の概要	Literature opens us up to different worlds and people. This course introduces the basic elements of literature and gives students opportunities to practice describing characters, setting, and stories in English. At the end of this course students will begin to do their own original research based mostly on the analysis of a primary text of their choosing (or of a text chosen from a list suggested by the teacher).						
達成目標 (授業の目的)	The goal of this course is for students to improve their language competence especially in reading and writing. They will do this by learning about different texts and the tools used to study them. For the seminar reports students may study a text from a suggested list or of their own choosing with the approval of the teacher.						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students will be able to: write and present book reports about the characters, character functions, type of narrative and story of a fiction text, summarize the main point and supporting details of non-fiction texts, and write reports without plagiarism according to the best practices of research ethics.						
評価方法	Participation 10%; Book Reports 45%; Reading Word Count 15%; Seminar Reports 30%						
評価基準	Participation: active participation in speaking warm-ups, pair work, and group work. Book Reports: 6 reports completed and submitted on time. Reading word count: 75,000 words= 15 points, 50,000 words= 10 points, 25,000 words= 5 points, 5,000 words= 1 point. Seminar Reports: 2 reports of 15% each evaluated on appropriate length, content, organization, and language.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・ 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course. Biography: story order and real order	Warm-up, lecture, group work, reading	Review class materials; read 2000 words or more
2	Describing characters. How to write book reports	Warm-up, lecture, group work, reading	Do extensive reading 2000 words or more
3	Narrative perspective	Warm-up, lecture, group work, reading	Write book report 1
4	Summarizing non-fiction	Warm-up, lecture, group work, reading	Write book report 2
5	Character functions. Writing an opinion	Warm-up, lecture, group work, reading	Write book report 3
6	Introducing seminar report 1 Research ethics education	Warm-up, lecture, group work, reading	Write book report 4
7	Preparing report 1	Warm-up, lecture, group work, reading	Write book report 5
8	Book: <i>Granny Fixit and the String</i> , narrative perspective	Warm-up, lecture, group work, reading	Write book report 6

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Book: <i>Let me out!</i> , narrative perspective	Warm-up, lecture, group work, reading	Finish report 1
10	Book: <i>Why?</i> , narrative perspective Sharing report 1	Warm-up, lecture, group work, reading	Read in Xreading
11	Introduce report 2	Warm-up, lecture, group work, reading	Read in Xreading
12	Prepare report 2	Warm-up, lecture, group work, reading	Finish report 2
13	Sharing report 2	Warm-up, lecture, group work, reading	Read in Xreading
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Reflecting on the course	Warm-up, lecture, group work, reading	Finish semester word count in Xreading

テキスト	“Xreading.com” 6-month student subscription.
その他 特記事項	Assignments for this class should be written in English.

科目名	SES200: ゼミナール I				担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	水 4 限		研究室	4206
分類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-④
キーワード	Research paper process, citations, thesis statement, outline					
授業の概要	This class will familiarize students with how to write research papers in English. Students will practice summarizing what they read and producing a thesis statement and working outline for their topic. They will choose a topic for this semester and write the first two drafts of a research paper about it.					
達成目標 (授業の目的)	The goal of this class is for students to go through the process of writing a research paper in English. They will practice choosing a topic and finding sources of information for it. They will practice producing a thesis statement and working outline. They will practice revising these and will write two drafts of a research paper. By doing this, they will become familiar with the format of a research paper and start working on their seminar II thesis.					
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students will have practiced reading and summarizing texts in English. They will have learned about the basic steps of writing a research paper in English and practiced some of these steps on worksheets. They will have practiced presenting content related to writing a research paper and facilitated a class session by finding an appropriate order and pace. They will be able to write organized drafts of research reports with appropriate content and citations.					
評価方法	Participation 20%; Class facilitation 10%; Unit summaries 30%; Worksheets 10%; Writing drafts 30%					
評価基準	Participation: actively participating in class. Class facilitation: facilitation sheet is submitted on time for the day you are assigned, and you guide the class through the textbook activities of the unit you are assigned following a clear order and at a good pace. Unit summaries: writing 12 unit summaries which accurately and completely summarize the main points and exercises. Worksheets: completed and on time. Drafts: 2 drafts submitted on time with the required length and with appropriate organization, content, sources, and citations.					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> <li>・ 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course. Unit 1 What is a research paper. Unit 2 Topics	Warm-up, lecture, reading and writing	Prepare worksheet (WS) page 1 and WS pages 2-3; submit WS 3
2	Unit 3 Research	Warm-up, student presentations, writing, individual consultations	Summarize Unit 3, and do practice exercises; Prepare WS pages 4-7
3	Unit 4 The beginning thesis statement	Warm-up, student presentations, writing, individual consultations	Summarize Unit 4, and do practice exercises; Prepare WS page 8
4	Unit 5 The working outline	Warm-up, student presentations, writing, individual consultations	Summarize Unit 5, and do practice exercises; Prepare WS pages 10-11
5	Unit 6 Revising the thesis statement and working outline	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Unit 6, and do practice exercises; Prepare WS page 9

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 7 Writing the first draft	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Unit 7, and do practice exercises; Work on draft
7	Unit 8 Writing the title Unit 9 Writing the introduction	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Units 8 and 9, and do practice exercises; Prepare WS pages 8-99
8	Unit 10 Support, accuracy, and logic Unit 11 Writing the body	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Units 10 and 11, and do practice exercises
9	Unit 12 Writing the conclusion Unit 13 Avoiding plagiarism; Research ethics education	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Units 12 and 13, and do practice exercises
10	Unit 14 Writing the reference list	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Unit 7, and do practice exercises
11	Unit 15 Evaluating and rewriting Sharing draft 1	Warm-up, student presentations, pair-work	Submit draft 1
12	Preparing draft 2	Warm-up, writing	Work on draft 2
13	Sharing draft 2	Warm-up, pair-work	Submit draft 2
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Unit 19 An end and a beginning	Warm-up, lecture	Prepare for Seminar II

テキスト	David E. Kluge and Matthew A. Taylor. <i>Writing Research Papers</i> (National Geographic / Cengage Learning).
その他 特記事項	All submitted assignments (summaries, worksheets, drafts) will be written in English.



科目名	SES300: ゼミナールⅡ				担当教員	M. Lupas	
開講期	秋	開講時限	水4限		研究室	4206	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-④	
キーワード	writing, research, comparative literature						
授業の概要	This seminar focuses on writing the seminar thesis. With the support of the teacher, students may choose their own topic connected to their plans after graduation or to their interests. The students will practice framing their topic, gathering ideas, organizing ideas and expressing their ideas in an organized way and according to best research ethics practices. They will produce a seminar thesis in English.						
達成目標 (授業の目的)	The goal of this course is for students to build their English fluency and gain confidence across all four skills, gain research skills, and gain content knowledge about literature, culture, and history.						
到達目標 (学修成果)	By the end of this course, students will be able to present their research topic and the ideas they gathered about the research topic; write and revise drafts of their work; and make a final research presentation about their topic.						
評価方法	Preparing and presenting a research diary 40%; seminar thesis 45%; final research presentation 15%						
評価基準	Research diaries are presented several times during the semester and are evaluated on the quality of the source chosen and on the inductive and deductive reasoning applied by the student to the source material. The seminar thesis is evaluated on appropriate length, content, organization, use of sources, and language. It should avoid plagiarism and document its sources. The final presentation is organized and uses visuals and gestures to support the meaning.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・ 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Research Ethics; The Thesis Writing Process; Choosing topics and finding information	Lecture, group work, semester planning	Do research diary. Prepare presentation.
2	Outlining	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
3	Avoiding Plagiarism	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
4	Paraphrasing and academic language Submit Outline	Student presentations, pair and group work	Do research diary. Make an outline.
5	Writing the first draft	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
6	In-text citations	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
7	Hedging and boosting language Submit Draft 1	Student presentations, pair and group work	Do research diary. Do first draft.
8	Editing Looking at model writing	Student presentations, pair and group work	Do research diary.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Revising Adding subheads	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
10	Finalizing References	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
11	Working on the seminar thesis Improving the title	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
12	Working on the seminar thesis Submit Draft 2	Student presentations, pair and group work	Do research diary. Do second draft.
13	Preparing presentations Preparing an abstract	Individual consultations, individual work	Do thesis.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Presentations Submit final seminar thesis	presentations	Prepare presentation.

テキスト	Students will find their own research materials.
その他 特記事項	The seminar thesis should be written in English.

科目名	HST310: 東洋研究			担当教員	玉置 真紀子	
開講期	春	開講時限	月木4限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤
キーワード	アジア基層文化、交易、先住民族、植民地化、開発、児童労働、マイクロファイナンス					
授業の概要	西洋から見た「東洋」の自然環境、歴史、宗教、文化、社会を学び、その文化的重層性と多様性を理解する。国際社会の中で、その人口規模からも経済的にも東南アジアの重要性は増している。開発が進む中で生きる人々の生活を知り、その知恵を学ぶ。同時に、発展の陰で取り残される女性や子どもたちの生活に目を向け、現代社会における数々の課題の原因をふまえ、解決方法を探る。					
達成目標 (授業の目的)	この授業は、東南アジア世界の成立と現代社会のかかわりを理解し、そこに生きる人々の視点を獲得することを目標とする。それによって、遠い他者を身近な隣人として考えることを可能にする。					
到達目標 (学修成果)	a. 東南アジアの基層文化と多様性を理解する。 b. 人々の日常生活と経済活動を授業で学んだ用語や概念を用いて分析し、記述できる。 c. 開発・発展に伴う貧困や児童労働などの問題群の原因を説明し、解決のための提案ができるようになる。					
評価方法	① 授業課題：授業内で提出するリアクションペーパー 2% (2点相当) × 26回 = 52% (初回と②の回を除く) ② 授業内試験：選択式、論述式 18% ③ 定期試験：選択式、論述式 30%					
評価基準	① 授業課題：授業内容を理解した上で、質問に対して (1) 論理的に説明すること、(2) 具体的に記述すること、を求める。これができるのであれば2点、感想のみの場合は1点となる。 ②&③ 授業内試験と定期試験：(1) 問題に対し適切な解答を、授業で学んだ用語や理論を援用し論理的に説明すること、(2) 課題解決型の問題の場合は具体的な解決策を提案すること、(3) 自分の経験に引き寄せて検討すること、を求める。感想のみの場合は減点対象とする。					
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う/orally ・提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers					
準備学修の時間	本科目の一回 (100分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	講義の概要説明、東洋と東南アジアについて	講義、質疑応答	東南アジア各国の位置と成り立ちを確認する
2	東南アジアの自然環境	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.16-23 を読む
3	東南アジアの基層文化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.24-36 を読む
4	東南アジアの歴史と社会 (1) インド化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.47-54 を読む
5	東南アジアの歴史と社会 (2) 交易の時代から植民地化へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.55-72 を読む
6	東南アジアの歴史と社会 (3) 脱植民地化から国民国家形成へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.73-79 を読む
7	人びとは何を食べてきたか—コメの歴史と棚田のテクノロジー	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.137-150, pp.297-303 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	東南アジアの家族観－結婚、家族、親族、子どもの成長	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.173-179 を読む
9	東南アジアの居住空間－都市と農村	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.130-136 を読む
10	児童労働とは（1）子どもの権利条約	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
11	児童労働とは（2）児童労働の実態	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
12	児童労働とは（3）農園で働く子どもたち	講義、グループディス カッション、リアクシ ョンペーパー	参考資料を読む
13	児童労働とは（4）子ども兵士	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
14	東南アジアにおける児童労働のまとめ、授 業内試験	講義、質疑応答、授業 内試験（50分）	1～13回の講義を復習する
15	現代東南アジア史におけるキーパーソン	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.366-412 を読む
16	試験の返却と解説 先住民族と呼ばれる人々	試験返却および解説 講義	テキスト pp.182-188 を読む
17	東南アジアの古典文学	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.152-157, pp.166- 172 を読む
18	東南アジアの宗教（1）仏教、ヒンズー教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.158-165 を読む
19	東南アジアの宗教（2）イスラム教、キリス ト教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
20	大陸東南アジアの現在（1）ラオス	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
21	大陸東南アジアの現在（2）ミャンマー／ビル マ	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
22	マイクロファイナンスを学ぶ（1） マイクロファイナンスの成立と背景	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
23	マイクロファイナンスを学ぶ（2） マイクロファイナンス機関と実践	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
24	マイクロファイナンスを学ぶ（3） 課題と解決に向けて	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
25	東南アジアの移住／移民労働者	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
26	日本で働く東南アジアの人々	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	東南アジア社会における経済と労働問題の まとめ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	16～26回の講義を復習する
28	東洋を再考する 定期試験の返却と解説	講義、試験返却、およ び解説	講義の振り返り

テキスト	今井昭夫編『東南アジアを知るための50章』（明石書店）
参考書	弘末雅士『海の東南アジア史－港市・女性・外来者』（ちくま新書） 岩崎育夫『入門 東南アジア近現代史』（講談社現代新書）
その他 特記事項	学習者にとって初めて聞く・見る内容になると思います。好奇心を持って臨みましょう。

科目名	JPN311: 日本文化				担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	火金4限		研究室	4202	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤	
キーワード	日本史、日本文化、自己イメージと他者イメージ						
授業の概要	「日本らしい文化」「日本人らしさ」とはどのような経緯を経て作り出されてきたのか、日本史を踏まえながら見ていく。特に近世以降の理解に重点を置く。主に「日本民族」の自己及び他者イメージ、日本王権論、宗教、芸能、メディア文化、家族、他国との交流、言語、ポップカルチャーについて、英語資料も時に使いながら取り上げる。						
達成目標(授業の目的)	日本の文化・歴史について問われた時に、専門的なレベルで答え、あるいは議論できるようにすることが目標である。						
到達目標(学修成果)	中学・高校の日本史レベルの内容を前提に、講義で扱う概念・用語・事例を理解し、自分の言葉で説明できるようにする。①そのため、講義前にその時代の主な出来事について予習を行い、授業終了時に授業内容について出された課題に自分の言葉で答えられるようにする。②また特に関心のあるトピックについて、参考文献を読み、まとまった文章で論述できるようにする。						
評価方法	①Moodle提出の課題(約400字)が3%×20回=60% ②2000~3000字の期末レポートが40%の計100%となる。						
評価基準	①授業課題: 要点を整理して自分の言葉でまとめているか、提出期限を守っているか。なお欠席した回の課題は採点対象にならない。研究倫理違反は0点となる。 ②レポート: 適切なテーマで適切な参考文献を使用・引用し、定められた書式・字数で期日までに提出しているか。研究倫理違反は0点となる。						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Formsで行う / Loyola / Moodle / Google Forms						
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	はじめに - 「日本文化」とは何か Moodleの使い方について	講義、質疑応答、意見交換	自分が思う「日本文化」について、箇条書きにする
2	「日本人」の定義(1) 旧石器遺跡捏造事件	講義、質疑応答、意見交換	Moodleに書き込み 第3回授業プリントの予習
3	「日本人」の定義(2) 人類学者の学説変遷	講義、質疑応答、意見交換	第3回授業課題① 第4回授業プリントの予習
4	「日本人」の定義(3) 植民地政策にあらわれるゆらぎ	講義、質疑応答、意見交換	第4回授業課題② 第5回授業プリントの予習
5	日本の王権論(1) 古代の神話と天皇	講義、質疑応答、意見交換	第5回授業課題③ 第6回授業プリントの予習
6	日本の王権論(2) 中世の天皇と将軍	講義、質疑応答、意見交換	第6回授業課題④ 第7回授業プリントの予習
7	日本の王権論(3) 明治以降の天皇制	講義、質疑応答、意見交換	第7回授業課題⑤ 第8回授業プリントの予習



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	日本の宗教（1）仏教	講義、質疑応答、意見交換	第8回授業課題⑥ 第9回授業プリントの予習
9	日本の宗教（2）神仏習合	講義、質疑応答、意見交換	第9回授業課題⑦ 第10回授業プリントの予習
10	日本の宗教（3）キリシタンとキリスト教	講義、質疑応答、意見交換	第10回授業課題⑧ 第11回授業プリントの予習
11	日本の宗教（4）江戸時代の宗教・明治以降の宗教	講義、質疑応答、意見交換	第11回授業課題⑨ 第12回授業プリントの予習
12	日本の芸能（1）源氏物語	講義、質疑応答、意見交換	第12回授業課題⑩ 第13回授業プリントの予習
13	日本の芸能（2）琵琶法師	講義、質疑応答、意見交換	第13回授業課題⑪ 第14回授業プリントの予習
14	日本の芸能（3）能と歌舞伎	講義、質疑応答、意見交換	第14回授業課題⑫ 第15回授業プリントの予習
15	日本の芸能（4）書物・浮世絵・料理	講義、質疑応答、意見交換	第15回授業課題⑬ 第16回授業プリントの予習
16	日本の家族観（1）江戸時代の婚姻・離婚	講義、質疑応答、意見交換	第16回授業課題⑭ 第17回授業プリントの予習
17	日本の家族観（2）明治の教育と家族観の変化	講義、質疑応答、意見交換	第17回授業課題⑮ 第18回授業プリントの予習
18	他国との交流（1）朝鮮半島との交流史	講義、質疑応答、意見交換	第18回授業課題⑯ 第19回授業プリントの予習
19	他国との交流（2）日本を訪れた人々・日本から海外を訪ねた人々	講義、質疑応答、意見交換	第19回授業課題⑰ 第20回授業プリントの予習
20	メディア文化（1）明治・大正時代のメディアと女性・男性のイメージ	講義、質疑応答、意見交換	第20回授業課題⑱ 第21回授業プリントの予習
21	メディア文化（2）現代メディアがつむぐ多様な性のイメージ	講義、質疑応答、意見交換	第21回授業課題⑲ 第22回授業プリントの予習
22	国文学・国語とは何か レポートの説明	講義、質疑応答、意見交換	第23回授業プリントの予習 レポート作成準備
23	データから見る現代日本社会 レポートの説明	講義、質疑応答、意見交換	第24回授業プリントの予習 期末レポート作成準備
24	言語 ―「標準語」「方言」「外国語」	講義、質疑応答、意見交換	第25回授業プリントの予習 期末レポート作成準備
25	ポップカルチャー（1）アニメとマンガ	講義、質疑応答、意見交換	第26回授業プリントの予習 期末レポート作成準備
26	ポップカルチャー（2）少女文化の系譜	講義、質疑応答、意見交換	第27回授業プリントの予習 期末レポート作成準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	太平洋戦争をめぐるさまざまな議論	講義、質疑応答、意見交換	第27回授業課題⑳
28	再び、「日本文化」とは何か 期末レポートの講評	講義、質疑応答、意見交換、講評	授業の振り返り

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2024 短大部 日本文化」にアップロードする。なお、希望者には印刷したプリントを配布する。		
参考書	NHK 高校講座、日本史（インターネットで視聴可）		

科目名	HST301: 英米史				担当教員	森下 園		
開講期	春	開講時限	火金4限		研究室	4202		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	英国史、米国史、英米文化、英米文学							
授業の概要	英国・米国の歴史について、日本語・英語の史資料を読みながら基本的に年代順に見ていく。古代ローマ時代から現代まで、政治史だけではなく、文化的トピックについても取り上げる。歴史の長さから、英国史が全体の2/3を占めることになる。							
達成目標 (授業の目的)	①自分の言葉で英米史の授業のポイントを記述できる。 ②特定の事件やトピックの概要や歴史上の意義などについて自分の言葉で説明できる。							
到達目標 (学修成果)	①英米史の授業のポイントを理解し、授業後に提示する課題についてまとめられるようになる。 ②英米史の流れを理解し、プリントやノートを参照しながら特定の事件やトピックについて概要や歴史上の意義を自分の言葉で説明できるようになる。							
評価方法	①授業課題：Moodle で次の授業開始時まで提出、3%×22回=66% ②レポート：授業で扱ったトピックについての Moodle 提出レポート、34%							
評価基準	①授業課題：自分で調べた内容を自分の言葉でまとめているか、提出期限を守っているか。原則として授業を欠席した回の授業課題は採点対象としない。 ②レポート (3000 字)：授業で扱った内容について各自が調べたことを付加し、適切な用語を用いて論述できているか。 いずれも研究倫理を守らない場合は0点とする。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	はじめに — U.K.と U.S.A.	講義、質疑応答	第1回授業内容の復習 第2回授業プリントの予習
2	英：アングロ＝サクソン諸王国と北海帝国	講義、質疑応答	第2回授業内容の復習 第3回授業プリントの予習
3	英：島嶼彩色写本と工芸品	講義、質疑応答	第3回授業課題の提出① 第4回授業プリントの予習
4	英：ノルマン・コンクエストとアンジュー帝国	講義、質疑応答	第4回授業課題の提出② 第5回授業プリントの予習
5	英：アーサー王と円卓の騎士のロマンス	講義、質疑応答	第5回授業課題の提出③ 第6回授業プリントの予習
6	英：英仏百年戦争と言語	講義、質疑応答	第6回授業課題の提出④ 第7回授業プリントの予習
7	英：バラ戦争とジェントリ階層の台頭	講義、質疑応答	第7回授業課題の提出⑤ 第8回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	英：ヘンリ 7 世の対外政策とヘンリ 8 世の「宗教改革」	講義、質疑応答	第 8 回授業課題の提出⑥ 第 9 回授業プリントの予習
9	英：エリザベス女王と海軍の神話化	講義、質疑応答	第 9 回授業課題の提出⑦ 第 10 回授業プリントの予習
10	英：中世文学と中世演劇	講義、質疑応答	第 10 回授業課題の提出⑧ 第 11 回授業プリントの予習
11	英：内乱と名誉革命	講義、質疑応答	第 11 回授業課題の提出⑨ 第 12 回授業プリントの予習
12	英：イングランド銀行と内閣	講義、質疑応答	第 12 回授業課題の提出⑩ 第 13 回授業プリントの予習
13	米：アメリカ植民	講義、質疑応答	第 13 回授業課題の提出⑪ 第 14 回授業プリントの予習
14	米：アメリカ独立戦争	講義、質疑応答	第 14 回授業課題の提出⑫ 第 15 回授業プリントの予習
15	米：南北戦争と奴隷制	講義、質疑応答	第 15 回授業課題の提出⑬ 第 16 回授業プリントの予習
16	米：開拓時代とその終焉	講義、質疑応答	第 16 回授業課題の提出⑭ 第 17 回授業プリントの予習
17	英：産業革命と万国博覧会	講義、質疑応答	第 17 回授業課題の提出⑮ 第 18 回授業プリントの予習
18	英：大英帝国とインド	講義、質疑応答	第 18 回授業課題の提出⑯ 第 19 回授業プリントの予習
19	英：「国外」で活躍する女性たち	講義、質疑応答	第 19 回授業課題の提出⑰ 第 20 回授業プリントの予習
20	英：大英帝国から英連邦へ	講義、質疑応答	第 20 回授業課題の提出⑱ 第 21 回授業プリントの予習
21	米：アメリカの繁栄と移民	講義、質疑応答	第 21 回授業課題の提出⑲ 第 22 回授業プリントの予習
22	英米：第一次世界大戦	講義、質疑応答	第 21 回授業課題の提出⑳ 第 23 回授業プリントの予習
23	英米：第二次世界大戦	講義、質疑応答	第 21 回授業課題の提出㉑ 第 24 回授業プリントの予習
24	米：公民権運動とネイティブアメリカン問題	講義、質疑応答	第 25 回授業プリントの予習 レポートの準備
25	米：米ソ冷戦	講義、質疑応答	第 26 回授業プリントの予習 レポートの準備
26	英：アイルランド問題	講義、質疑応答	レポートの準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	英米：冷戦終結後の世界	講義、質疑応答	第 27 回授業課題の提出㉒ 第 28 回授業プリントの予習
28	現代の U.K. と U.S.A. レポートの講評	講義、質疑応答	授業の振り返り

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2024 短大部 英米史」で配付する。なお、希望者には印刷したプリントを配付する。		
参考書	American Center Japan, 米国の歴史の概要（オンライン、日英両言語 <a href="https://americancenterjapan.com/aboutusa/translations/3373/#jplist">https://americancenterjapan.com/aboutusa/translations/3373/#jplist</a> ） 川北稔編『イギリス史』（山川出版社）		

科目名	INT301: 国際関係論				担当教員	大木 優利		
開講期	春/秋	開講時限	月木3限		研究室	4号館2階 講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	国際政治、グローバル社会、国際協力、国際平和							
授業の概要	国際関係論の入門科目。 国際関係の歴史、理論・概念、地球規模課題(グローバルイシュー)などについて講義を行う。授業中には、新聞記事や映像資料を用いて対話・ディスカッションする時間を設け、学生自ら考える授業を目指す。							
達成目標(授業の目的)	授業内容を通じて国際関係論という学問分野及び学術的用語を理解する。その過程で、抽象的な理論・概念を具体的な事例に適用し、逆に具体的な事例から抽象的な概念を引き出すなど、考える力を身につける。							
到達目標(学修成果)	1. 国際関係論の基礎的な知識を習得する。(評価基準1及び2) 2. 資料収集及びその資料を一定の観点に沿ってまとめることができる。(評価基準3及び4) 3. 関心分野に学習した内容を適用し、事実に基づいて自分の考えを展開することができる。(評価基準3及び4)							
評価方法	1. 授業参加 10% 2. 課題形式の試験(テイクホーム・エグザム)2回 各25%(合計50%) 3. グループ・プレゼンテーションに関連する個人課題 15%(個人評価) 4. グループ・プレゼンテーション 25%(グループ評価)							
評価基準	1. 授業参加: 質疑応答、ディスカッション参加など。 2. 課題形式の試験(テイクホーム・エグザム): 授業内容を正確に理解しているか。 3. グループ・プレゼンテーションに関連する個人課題: 適切な資料調査及び内容の一貫性。 4. グループ・プレゼンテーション: 授業内容の適用した問題提起及び事実関係の整理。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Formsで行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	授業のガイダンス及び現在の国際社会について	講義	2回の授業資料を読む(予習)
2	今の「国家」ができるまで	講義 ディスカッション	3回の授業資料を読む(予習)
3	現代の「国際関係」はどうできたのか	講義 ディスカッション	1~3回の内容を復習 4回の授業資料を読む(予習)
4	現状をどう見るか1: パワーを中心に	講義 ディスカッション	5回の授業資料を読む(予習)
5	現状をどう見るか2: 利益を中心に	講義 ディスカッション	6回の授業資料を読む(予習)
6	現状をどう見るか3: 規範/従属	講義 ディスカッション	4~6回の内容を復習 7回の授業資料を読む(予習)
7	国際関係と経済	講義 ディスカッション	7回の内容を復習 8回の授業資料を読む(予習)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	戦争のない国際社会のために	講義 ディスカッション	9回の授業資料を読む（予習）
9	安全保障	講義 ディスカッション	10回の授業資料を読む（予習）
10	「核」にどう向き合うか	講義 ディスカッション	11回の授業資料を読む（予習）
11	新しい脅威とどう向き合うか	講義 ディスカッション	復習及び課題形式試験の準備
12	プレゼンテーションのグループワーク 課題形式の試験	グループワーク、 課題形式の試験	プレゼンテーションについての 準備
13	試験の返却、および解説 （国際/国内）紛争の事例	映像資料観覧 講義	14回の授業資料を読む（予習）
14	紛争の背景にあるもの	講義 ディスカッション	15回の授業資料を読む（予習）
15	平和構築 / 紛争解決	講義 ディスカッション	14~15回の内容を復習 16回の授業資料を読む（予習）
16	「国家」以外のアクターとその役割	講義 ディスカッション	17回の授業資料を読む（予習）
17	国家間統合は可能なのか	講義 ディスカッション	18回の授業資料を読む（予習）
18	技術・エネルギーをめぐるイシュー	講義 ディスカッション	19回の授業資料を読む（予習）
19	「人」に関する議論―難民・人の移動・人権	講義 ディスカッション	20回の授業資料を読む（予習）
20	領域をめぐるイシュー	講義 ディスカッション	21回の授業資料を読む（予習）
21	環境問題とどう向き合うか	講義 ディスカッション	22回の授業資料を読む（予習）
22	国際協力と持続可能な開発（開発援助）	講義 ディスカッション	23回の授業資料を読む（予習）
23	貧困削減と人間の安全保障	講義 ディスカッション	24回の授業資料を読む（予習）
24	グローバルガバナンス	講義 ディスカッション	22~24回の内容を復習
25	グループ・プレゼンテーション	プレゼンテーション 質疑応答	プレゼンテーションの準備
26	グループ・プレゼンテーション	プレゼンテーション 質疑応答	プレゼンテーションの準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	プレゼンテーションに対する評価・フィードバック 課題形式の試験	講義 課題形式の試験	課題形式の試験の準備
28	試験の返却、および解説 授業の総括	講義	復習

テキスト	授業内容をまとめた資料を事前に LOYOLA 又は MOODLE にアップする。その他のディスカッション資料（新聞記事や文献の一部かつ必要最小限の複製資料）は事前あるいは授業中に配布する。
参考書	村田晃嗣他『国際政治学をつかむ（新版）』（有斐閣）2015年 ジョセフ・S・ナイ・ジュニア / ディヴィッド・A・ウェルチ『国際紛争―理論と歴史（原書第10版）』（有斐閣）2017年



科目名	ANT300: 文化人類学				担当教員	C. Oliver	
開講期	秋	開講時限	火金3限		研究室	4205	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-⑤	
キーワード	cultural anthropology, culture, fieldwork, understanding others, interview research						
授業の概要	This course provides an introduction to cultural anthropology. Regular class sessions will consist of lectures, watching scenes from films, and discussions among students. Examples will come from many parts of the world, including Indonesia, Mexico, Papua New Guinea, Iran, North America, and sub-Saharan Africa. Each student will do an interview project (with a written report) and discuss the findings in class. All lectures, assignments, and tests will be in English.						
達成目標 (授業の目的)	This course will help students understand what cultural anthropologists study and how they study it. Students will also be able to develop their own research skills.						
到達目標 (学修成果)	By the end of the semester, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• understand key ways that anthropological study differs from that of other social sciences;</li> <li>• understand broadly the range of topics often studied in anthropology;</li> <li>• understand and explain the significance of key examples of those topics;</li> <li>• understand key anthropological concepts and apply them to cultural processes;</li> <li>• use careful observation and inference-making to gain cultural understanding;</li> <li>• ask good questions for doing qualitative, interview research.</li> </ul>						
評価方法	Participation 10%; Homework 30%; Interview Project, including written report 30%; Tests 30%.						
評価基準	Participation: Active participation in everyday class activities, including discussions. Homework: Submitted on time and completed thoroughly, shows adequate understanding and application of key concepts, demonstrates careful observation and inference-making. Homework may not be submitted more than 2 weeks after the due date. Interview Project: Each part submitted on time and according to instructions, demonstrates asking good interview questions as well as careful observation and inference-making. Tests: Demonstrates understanding of how anthropological study differs from that of other social sciences, understanding of the range of topics studied in anthropology, understanding and ability to explain the significance of key examples, understanding and ability to apply key concepts, and careful observation and inference-making.						
課題等に対する フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	What is cultural anthropology?	lecture	Review syllabus, read pp. 2 & 73-74
2	Culture: definitions and examples	lecture, pair work	Read pp. 34-41
3	Anthropological research: fieldwork	lecture, video, pair work	Read pp. 13, 21-24 (also skim pp. 1-12 for homework)
4	Anthropological research: dialogue	lecture, video, pair work	Complete homework about textbook authors' fieldwork
5	Doing qualitative interviews: the basics	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
6	Religion: general approach	lecture, video, pair work	Complete interview practice worksheet

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Interview Project planning (interview project will be explained)	lecture, small-group discussion	Read handout about Interview Project
8	Religion: “witchcraft” in Africa	lecture, pair work	Read pp. 123-125
9	Ritual: general concepts	lecture, video, pair work	Complete HW about objective / subjective information
10	Ritual: what do rituals “do”?	lecture, video, pair work	Read pp. 123-125
11	Marriage and family: cultural arrangements	lecture, pair work	Read pp. 75-81, 86-87; complete HW about film
12	Doing qualitative interviews: strategies for asking good questions	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
13	Gift-giving and exchange: general concepts	lecture, pair work	Complete interview practice worksheet
14	Gift-giving and exchange: <i>potlatch</i> (also: discuss Interview Project topics)	lecture, video, small-group discussion	Read pp. 109-112, 115-117; complete Interview Project topic
15	Gift-giving and exchange: <i>kula</i>	lecture, simulation (role-play)	Read pp. 109-112, 115-117
16	Culture and person / self: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 131-141
17	Culture and person / self: cultural variations	lecture, pair work	Complete worksheet on Ch. 8
18	Review, Test #1	lecture, test	Study for test
19	Health, illness, and medicine: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 136-140
20	Health, illness, and medicine: culture-bound syndromes	lecture, pair work	Complete homework on culture-bound illnesses
21	Social class: cultural dimensions	lecture, video, pair work	Read pp. 93, 103
22	Discuss Interview Project findings (based upon each student’s completed interview)	small-group discussion	Complete interview; prepare copy of actual interview notes
23	Identity: individual and collective; return Test #1 and go over results	lecture, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
24	Nation and culture: what holds society together?	lecture, pair work	Read pp. 63-64, 89-90, 96-100
25	Globalization and transnationalism: anthropological approaches	lecture, pair work	Read pp. 103-106
26	Review, Test #2	lecture, test	Study for test
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Watch film: “Children of Heaven” (making observations, forming inferences)	pair work, watch video while taking notes	Complete Fact Sheet on Iran, Interview Project report
28	Discuss film: observations / inferences; return Test #2 and go over results	small-group discussion, lecture	Complete worksheet about the film

テキスト	J. Monaghan & P. Just. <i>Social &amp; Cultural Anthropology: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press).
参考書	H. Peters-Golden. <i>Culture Sketches: Case Studies in Anthropology</i> (McGraw-Hill).
その他特記事項	Lectures, assignments, and tests will be in English. Each student must do an Interview Project that requires finding a suitable person to interview and interviewing that person outside of class.

科目名	ART300: 現代美術				担当教員	G. Freddes	
開講期	春	開講時限	火金3限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	3,4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-⑤	
キーワード	Romanticism, Japonisme, Modernism, Modern Art, Contemporary Art, Post-Modernism						
授業の概要	This course will explore developments in art from the 19 <sup>th</sup> to the 21 <sup>st</sup> Century. Each class will begin with a lecture and / or video on an artist, period, or style. This will be followed by readings pertaining to the lecture and discussion in small groups. Every class will conclude with students writing comments on class content and their online research. Students will be required to conduct research in areas of personal interest, visit two museums and submit two written reports in English.						
達成目標(授業の目的)	Students will acquire a fundamental knowledge of major artists and art movements of the past 200 years. They will learn the vocabulary of art and various ways of looking at art by considering its formal characteristics, materials, and cultural / historical contexts. The course aims to support students in developing insights into how the rapidly changing modern world has affected individual artists and how they, in turn, have influenced and shaped the world in which we live.						
到達目標(学修成果)	By the end of this course students will be able to recognize many of the most important modern artists. They will be able to describe the works' formal characteristics, materials, and possess some understanding of its cultural / historical significance. Ultimately, students will be able to enjoy visiting museums, viewing new works, and more confidently express personal opinions.						
評価方法	Participation and Written Reactions (40%) Midterm Report (25%) Final Report (35%)						
評価基準	Participation, Written Reactions (Note-taking during lecture, involvement in discussions and art-making activities, effort in answering all written reactions using vocabulary learned in class and expressing a personal opinion of the artworks seen in class, online research summary) Midterm Report (at least 800 words) Final Report (at least 1000 words) Guidelines for both are the same. (1) Choose an artist of interest and research his / her life. Write the artist's biography. (2) Choose at least six works by the artist and, using vocabulary learned in class, describe the works in detail. Write a conclusion including what you learned about the artist. (3) Visit a museum and report on what you saw. Choose at least five works seen and write in detail about each of them, including materials, formal characteristics, the work's cultural / historical context, and a personal opinion.						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Google Forms / Google Docs で行う / Google Forms / Docs</li> <li>口頭で行う / orally</li> </ul>						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Course Introduction; How to Look at a Painting, 100 Great Paintings of All Time	Lecture, video, reading, writing, online sources	Read textbook pp. 66-71
2	Introduction to the textbook; online resources; art vocabulary; What is Modern Art?	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 76-78 Review, View online sources
3	The Nineteenth Century: Birth of the "Isms" Neoclassicism and Romanticism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 74-75, 79-80 Review, Online research
4	Romanticism: Goya, Turner, Chopin, Beethoven	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 81-88 Review, Online research
5	Nineteenth Century Japan: Ukiyo-e, Hokusai	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 89-91 Review, Online research
6	The Industrial Revolution: Early Modern Architecture, Japonisme, Art Nouveau	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 92-95 Review, Online research
7	The Birth of Photography: Inventors, Pioneers, Travel, War, Documentary, Portrait, Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 96-103 Review, Online research

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Impressionism: Manet, Monet	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 104-109 Review, Online research
9	Impressionism: Renoir, Degas, Cassatt, Morisot	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 110-113, 133 Review, Online research
10	Modern Sculpture: Rodin, Brancusi	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 114-115 Review, Online research
11	Post-Impressionism: Seurat, Lautrec	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 118-122 Review, Online research
12	Post-Impressionism: Gauguin, Van Gogh	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Bring colored pencils, markers, and / or pastels to class
13	Van Gogh: Create color sketches / drawings while viewing Van Gogh's paintings	Art making activity	Read text pp. 123-125 Review, Online research
14	Early Expressionism: Munch, M-Becker Symbolism: Rousseau, Redon	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 128-133 Review, Online research
15	Fauvism: Matisse, Vlaminck, Derain, Dufy	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Submit Midterm Report; Bring: Scissors, glue, colored paper
16	Matisse cutouts: Create individual works ( <i>kirie</i> ) in the style of Matisse	Art making activity	Read pp. 116-117, 136-138 Review, Online research
17	Cezanne, Picasso	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 139-145 Review, Online research
18	Futurism; Constructivism; Precisionism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 146-147 Review, Online research
19	Modernist Architecture: Gropius, Mies van der Rohe, Le Corbusier, Frank Lloyd Wright	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text p. 148 Review, Online research
20	Dada: Duchamp, Arp, Schwitters	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 149-151 Review, Online research
21	Surrealism: Miro, Ernst, Dali, Magritte	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 152-153 Review, Online research
22	20 <sup>th</sup> Century Photography: Cartier-Bresson, Man Ray, Weston, Stieglitz, Lange	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 158-163 Review, Online research
23	Figural and Abstract Expressionism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 172-176 Review, Online research
24	Pre-Pop and Pop Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 177-179 Review, Online research
25	Minimal and Conceptual Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 188-189 Review, Online research
26	Post-Modernism: Diversity	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 194-200 Submit Final Report
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Recent Trends 1990-2000	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Skim text from p. 200 to the end Review, Online research
28	Recent Trends 2001-2024	Lecture, slideshow, Course Survey	Last chance to submit the Final Report

テキスト	Carol Strickland. <i>The Annotated Mona Lisa, Third Edition</i> (Andrews and McMeel).
参考書	The Museum of Modern Art (MoMA): Online Collection, Google Arts & Culture: Online, <i>The Letters of Vincent Van Gogh</i> : Online
その他 特記事項	All lectures and student writing will be entirely in English. Videos: English / some Bilingual And, as mentioned above, students must visit two museums and write two reports in English.

科目名	EDU302: 比較・国際教育学				担当教員	杉村 美佳		
開講期	春	開講時限	火金4限		研究室	4220		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	教育の国際比較、教育問題、教育制度、教育政策、開発と教育、グローバル化と教育							
授業の概要	先進国と途上国における教育の現状や課題について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて概観し、比較・国際教育学の基礎理論を理解する。さらに、今日の教育課題である多文化教育、シティズンシップ教育、開発教育や国際教育協力等のあり方を国際的視点から考察する。							
達成目標 (授業の目的)	比較・国際教育学の基礎理論を理解し、日本と諸外国の教育の現状や課題について、歴史的、政治的、経済的、文化的背景と関連付けて考察し、国際的視野から教育問題の解決に向けた方策を論じられるようになることを目標とする。							
到達目標 (学修成果)	①日本と諸外国の教育制度や教育政策、教育問題等について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて考察する力を身につけ、比較・国際教育学の基礎理論を習得する。 ②比較・国際教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、教育問題の解決に向けた方策を考察することができる。 ③各国の教育の現状や課題について文献の内容をまとめ、論理的に考察することができる。							
評価方法	①リアクション・ペーパー (30%)、②レポート (30%)、③授業内試験 (40%)							
評価基準	①リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ②レポート：設定したテーマに即して参考文献の内容を的確にまとめ、教育事象を論理的、批判的に考察できているか。 ③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に解答できているかを評価する。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	OECD データからみる諸外国と日本の教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	ジェンダーと教育について調べる
2	比較教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
3	国際教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教育の国際組織を調べる 配付プリントの要約・考察
4	教育制度の国際比較 (1) —就学率・識字率—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	識字率について調べる 配付プリントの要約・考察
5	教育制度の国際比較 (2) —学校教育制度の類型—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	英文記事の和訳 配付プリントの要約・考察
6	教育制度の国際比較 (3) —教育制度改革の焦点—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
7	先進国における学校化社会と学歴 (1) —学校化社会と学歴社会—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	学歴社会について調べる 配付プリントの要約・考察



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	先進国における学校化社会と学歴（2） —ヨーロッパの非学歴社会—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
9	先進国における生涯学習社会の構築	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	生涯学習社会について調べる 配付プリントの要約・考察
10	発展途上国における識字教育（1） —非識字者の分布と構成—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
11	発展途上国における識字教育（2） —識字教育の取り組み—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	識字教育について調べる 配付プリントの要約・考察
12	先進国と途上国における児童労働の現状と撲滅に向けた課題	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	児童労働について調べる 配付プリントの要約・考察
13	開発と教育（1）—MDGsの成果とSDGsの課題—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	MDGsとSDGsを調べる 配付プリントの要約・考察
14	開発と教育（2）—国際教育協力—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	国際教育協力について調べる 配付プリントの要約・考察
15	開発と教育（3）—JICAによる国際教育協力の実態—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	JICAについて調べる 配付プリントの要約・考察
16	開発と教育（4）—開発教育—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	開発教育について調べる 配付プリントの要約・考察
17	レポートの発表	講義・ディスカッション リアクションペーパー	レポート発表の準備 配付プリントの要約・考察
18	先進国における国民統合と学校教育（1） —新自由主義的教育政策—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	新自由主義について調べる 配付プリントの要約・考察
19	先進国における国民統合と学校教育（2） —多文化共生教育—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
20	多文化教育の国際比較	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	多文化教育について調べる 配付プリントの要約・考察
21	発展途上国における国民統合と学校教育（1） —マレーシアを中心に—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
22	発展途上国における国民統合と学校教育（2） —シンガポールを中心に—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	東南アジアの教育を調べる 配付プリントの要約・考察
23	小括と授業内試験	講義・質疑応答 授業内試験	22回目までの授業内容の復習
24	紛争後社会における平和構築に向けた教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	紛争後教育について調べる 配付プリントの要約・考察
25	ヨーロッパの自由教育（1）シュタイナー教育	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
26	ヨーロッパの自由教育（2）イエナプラン教育	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	自由教育について調べる 配付プリントの要約・考察
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	シティズンシップ教育の日英比較	講義・ディスカッション リアクションペーパー	市民性教育について調べる 配付プリントの要約・考察
28	総括および試験の返却と解説	講義・質疑応答	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配付する。		
参考書	石附実『比較・国際教育学』（東信堂） 二宮皓編著『世界の学校』（学事出版）		
その他 特記事項	JICAからゲストスピーカーを招き、日本の国際教育協力の実態について講義を行う。		

科目名	PHL310: 倫理学			担当教員	丹木 博一	
開講期	秋	開講時限	火金4限		研究室	4214
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	1,4	キリスト教ヒューマンイズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				1-①, 4-⑤
キーワード	幸福、福利、権利、義務、責任、自由、徳、ハビトゥス					
授業の概要	倫理学の歴史を幅広く概観し、個人と社会の望ましい関係はどのようなものか、また社会において私はいかに生きるべきかについて講義とディスカッションを通して考察する。					
達成目標(授業の目的)	「社会の中で人生をいかに生きるべきか」という問いを真剣に問い進め、自分の考えを築き上げることができる。					
到達目標(学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理学の歴史に登場する基本的な概念と学説を正しく把握し、それを表現できる。</li> <li>・行為選択の倫理的規範についての近現代の主要な議論を理解し、正しく表現できる。</li> <li>・倫理的な問いを提起し、その問いに関する自分自身の考えを説明できる。</li> </ul>					
評価方法	①提出課題(17%=1%×17回)、②リアクションペーパー(28%=1%×28回)、③中間レポート(2,000字以上)(25%)、④期末レポート(2,500字以上)(30%)					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。</li> <li>② リアクションペーパー：授業で説明された倫理学の基本的な概念と学説の意味を、自分の言葉で正しく論述できるかどうか。</li> <li>③ 中間レポート：14回目までの授業で取り上げた倫理学説を一つ取り上げ、それが行為選択のための倫理規範をどのように考えているかを自分の言葉でわかりやすく説明した上で、自分の意見を論述展開できるかどうか。</li> <li>④ 期末レポート：山内志朗『小さな倫理学入門』について問いを提起し、筆者の考えを自分の言葉で説明した上で、理由を挙げて自分の考えを展開できるかどうか。</li> </ul>					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Moodleで行う/Moodle</li> <li>・口頭で行う/orally</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	導入 倫理学とは何か	講義・話し合い・リアクションペーパー	「倫理学」とはどのような学問であるかを調べておく。
2	規範倫理学の代表的な理論について① 徳倫理学	講義・話し合い・リアクションペーパー	「徳倫理学」の特徴について調べておく。
3	規範倫理学の代表的な理論について② 義務倫理学	講義・話し合い・リアクションペーパー	「義務倫理学」の特徴を調べておく。
4	規範倫理学の代表的な理論について③ 契約論	講義・話し合い・リアクションペーパー	「契約論」の特徴を調べておく。
5	規範倫理学の代表的な理論について④ 功利主義	講義・話し合い・リアクションペーパー	「功利主義」の特徴を調べておく。
6	ソクラテスの問い「いかに生きるべきか」	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.9-35とpp.381-390を読んでおく。
7	利己主義的考慮と倫理的考慮	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.36-55をていねいに読み、要約を提出する。
8	倫理に関するアルキメデスの支点	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.56-71をていねいに読み、要約を提出する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	幸福と徳	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.72-91 をていねいに読み、要約を提出する。
10	アリストテレスの目的論的思考	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.91-115 をていねいに読み、要約を提出する。
11	基本的自由への権利	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.116-136 をていねいに読み、要約を提出する。
12	私にとっての実践的熟慮	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.136-148 をていねいに読み、要約を提出する。
13	ロールズの契約論	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.149-176 をていねいに読み、要約を提出する
14	ヘアーの功利主義	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.176-188 をていねいに読み、要約を提出する
15	理論と直観の間の反省的均衡	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.189-211 をていねいに読み、要約を提出する。
16	理論と偏見	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.211-237 をていねいに読み、要約を提出する。
17	言語論的転回	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.238-260 をていねいに読んでおく。 中間レポート提出。
18	客観性をめぐる議論	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.261-284 をていねいに読み、要約を提出する。
19	倫理的思考の本性 中間レポートの講評	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.284-303 をていねいに読んでおく。
20	相対主義と反省	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.304-337 をていねいに読んでおく。
21	道徳的義務と重要性という概念	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.338-390 をていねいに読み、要約を提出する。
22	欲望と情念	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.5-18 をていねいに読み、要約を提出する。
23	私であることの苦しみ	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.19-33 をていねいに読み、要約を提出する。
24	偶然性とハビトゥス	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.33-47 をていねいに読み、要約を提出する。
25	傷つきやすさ	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.47-60 をていねいに読み、要約を提出する。
26	涙と友愛	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.61-74 をていねいに読んでおく。 期末レポート提出。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	真理と目的に対する疑問	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.74-88 をていねいに読み、要約を提出する。
28	私とは何か 期末レポートの講評 まとめ	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.88-100 を読んでおく。

テキスト	①バーナド・ウィリアムズ『生き方について哲学は何が言えるか』（ちくま学芸文庫） ②山内志朗『小さな倫理学入門』（慶應義塾大学三田哲学会叢書）
参考書	マイケル・サンデル『これからの「正義」の話しよう』（ハヤカワ文庫） 品川哲彦『倫理学入門』（中公新書）
その他特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	SOC301: 平和と開発				担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	火金5限		研究室	4211
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-⑤
キーワード	sustainable development, poverty eradication, universal education, gender equality, global partnership					
授業の概要	This course deals in detail with the “Sustainable Development Goals (SDGs)” initiated by the United Nations Organization in the year 2015. It will cover the seventeen SDGs and one hundred sixty-nine targets and how they are built upon the “Millennium Development Goals” which ended in 2015. As part of assignments, students will be required to choose one of the seventeen goals and study how it is being implemented in one of the developing countries. Students are required to read the handouts beforehand and prepare for discussion in class.					
達成目標 (授業の目的)	The general goals of this course are (1) to study the achievements of and tasks left behind by the MDGs, (2) to understand the importance and relevance of the seventeen SDGs for the world, especially in developing countries, and (3) to understand the interrelatedness of development and peace.					
到達目標 (学修成果)	By the end of this course students will <ul style="list-style-type: none"> <li>• acquire a deeper understanding of the relevance and achievements of MDGs</li> <li>• know the transition from MDGs to SDGs</li> <li>• know the importance of MDGs and SDGs for the future of the world</li> <li>• learn about the progress of SDGs</li> <li>• increase their awareness of global issues especially in developing countries</li> <li>• improve their ability to do research on issues related to peace and development</li> <li>• learn to cooperate and contribute to group discussion and active class participation</li> </ul>					
評価方法	Class participation (40%), Preview sheet & Reaction paper (20%), Presentation of SDGs (20%), Final report with presentation (20%)					
評価基準	To be distributed at the first class.					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 口頭で行う / orally</li> <li>• 提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to the course, course materials, class policies, evaluation criteria	lecture, discussion, Q&A	read syllabus
2	Developed countries and developing countries, OCED, G8, G20, BRICS	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
3	What is development? Relation between development and peace	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
4	Introduction to Millennium Development Goals (MDGs), history of MDGs	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
5	Achievements of MDGs – Goals 1 - 4	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
6	Achievements of MDGs – Goals 5 - 8	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	From MDGs to Sustainable Development Goals (SDGs)	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
8	SDG 1: No poverty, presentation on SDG 1 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
9	SDG 2: Zero hunger, presentation on SDG 2 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
10	SDG 3: Good health and well-being, presentation on SDG 3 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
11	SDG 4: Quality education, presentation on SDG 4 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
12	SDG 5: Gender equality, presentation on SDG 5 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
13	SDG 6: Clean water and sanitation, presentation on SDG 6 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
14	SDG 7: Affordable and clean energy, presentation on SDG 7 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
15	SDG 8: Decent work and economic growth, presentation on SDG 8 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
16	SDG 9: Industry, innovation and infrastructure, presentation on SDG 9 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
17	SDG 10: Reduced inequalities, presentation on SDG 10 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
18	SDG 11: Sustainable cities and communities, presentation on SDG 11 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
19	SDG 12: Responsible consumption and production, presentation on SDG 12 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
20	SDG 13: Climate action, presentation on SDG 13 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
21	SDG 14: Life below water, presentation on SDG 14 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
22	SDG 15: Life on land, presentation on SDG 15 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
23	SDG 16: Peace, justice and strong institutions, presentation on SDG 16 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
24	SDG 17: Partnerships for the goals, presentation on SDG 17 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
25	Presentation of final report by students (Group 1)	presentation, discussion, feedback, Q&A	prepare for presentation
26	Presentation of final report by students (Group 2)	presentation, discussion, feedback, Q&A	prepare for presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Presentation of final report by students (Group 3)	presentation, discussion, feedback, Q&A	prepare for presentation
28	Challenges faced by SDGs: politics, international cooperation	lecture, reading, group work, discussion	Submit Final report

テキスト	Materials adapted from <i>The 2030 Agenda for Sustainable Development</i> and <i>The Sustainable Development Goals Report 2024</i> and <i>The Millennium Development Goals Report 2015</i> will be distributed in class.
参考書	Rorden Wilkinson and David Hulme (Eds.). <i>The Millennium Development Goals and Beyond</i> (Routledge).



科目名	LIT320: 演劇研究			担当教員	飯田 純也	
開講期	秋	開講時限	火金2限		研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤
キーワード	物語、倫理、思想史、精神分析、弁証法、マキャヴェリ、暴君、国家、戦争、社会、子供					
授業の概要	演劇の意義と歴史を概観し、次に古代ギリシャ文明と英国エリザベス朝の演劇がどのように国家、自然、戦争、女性を描き、どのようなメッセージを残そうとしたのか検討する。学生は毎回の講義を基に、芝居のテキストを読み、意見や解釈をまとめ、1人1回以上の口頭発表と4回の小論文提出(日本語で2,000字以上)を行う。期末レポート(日本語で8,000字以上)では、授業内容を踏まえ、自ら作品を選び、自らテーマを設定する。					
達成目標(授業の目的)	この授業の目標は、思想史の視点から、学生が演劇の意義を理解し、演劇研究を通じて人文及び社会科学の理論を批判的に分析・解釈・評価できるようになることである。同時に、芝居のテキスト、関連資料、ノートを照らし合わせながら、自分の意見と解釈をまとめ、論文を書く能力を身につけることである。					
到達目標(学修成果)	1. 西洋文学の古典を物語として分析、批判、評価することができる 2. 作品が描く問題や課題を西洋文明の問題や課題として理解することができる 3. 作品で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる 4. 問題意識をもって演劇作品を見る習慣ができる 5. 議論をまとめる能力を身につけることができる					
評価方法	1.小論文が4回の提出で計40%、2.期末レポートが20%、3.口頭発表が10%、4.授業参加状況が30%。授業参加は毎回提出するシャトルカード(SC)によって評価する。					
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola/Moodle/Google Formsで行う</li> <li>・口頭で行う</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	授業紹介 研究倫理	講義、質疑応答、ディスカッション	Crash Course Theater #1-4 (YouTube)の視聴、SCの準備
2	演劇史概観 古代	講義、質疑応答、ディスカッション	CCT #5-8の視聴、予習・復習を基にSCの準備
3	演劇史概観 古代・中世	講義、質疑応答、ディスカッション	CCT #9-11の視聴、予習・復習内容を基にSCの準備
4	演劇史概観 ルネサンス	講義、質疑応答、ディスカッション	CCT #12-15の視聴、予習・復習内容を基にSCの準備
5	演劇史概観 現代	講義、質疑応答、ディスカッション	講義後、小論文#1の準備(提出は次回授業時)
6	Sophocles, <i>Oedipus the King</i> (1) 物語の解釈・分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備
7	<i>Oedipus the King</i> (2) 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Sophocles, <i>Oedipus at Colonus</i> 物語の解釈・分析・討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備
9	Sophocles, <i>Antigone</i> 物語の解釈・分析・討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備
10	Seneca, <i>Oedipus</i> 物語の解釈・分析・討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習・復習内容を基にSCの準備
11	Aristophanes, <i>Lysistrata</i> 物語の解釈・分析・討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習・復習内容を基にSCの準備
12	プラトン vs アリストテレス (1) <i>Plato's Republic</i>	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習・復習内容を基にSCの準備
13	プラトン vs アリストテレス (2) <i>Aristotle's Nicomachean Ethics</i>	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習・復習内容を基にSCの準備
14	古代アテネの演劇 総括	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	講義後、小論文#2の準備 (提出は次回授業時)
15	内乱の記憶を反映する鏡 Shakespeare, <i>Histories</i> (1)	講義、質疑応答、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習・復習内容を基にSCの準備
16	マキャヴェリズムの分析 Shakespeare, <i>Histories</i> (2)	講義、質疑応答、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習・復習内容を基にSCの準備
17	Shakespeare, <i>Tragedies, Hamlet</i> (1) 物語の解釈・分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備
18	<i>Hamlet</i> (2) 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備
19	Shakespeare, <i>Tragedies, King Lear</i> (1) 物語の解釈・分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備
20	<i>King Lear</i> (2) 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	講義後、小論文#3の準備 (提出は次回授業時)
21	Shakespeare, <i>Comedies, A Midsummer Night's Dream</i> (1) 物語の解釈・分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備
22	<i>A Midsummer Night's Dream</i> (2) 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備
23	Shakespeare, <i>Comedies, Much Ado About Nothing</i> (1) 物語の解釈・分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備
24	<i>Much Ado About Nothing</i> (2) 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備
25	Shakespeare, <i>Comedies, Twelfth Night</i> (1) 物語の解釈・分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SCの準備
26	<i>Twelfth Night</i> (2) 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	小論文#4と期末レポートの準備、SCの準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	学生発表 小論文講評	ボランティア学生の発表、ディスカッション	小論文#4提出 (1/22 締切)
28	学生発表 期末レポート講評	ボランティア学生の発表、ディスカッション	期末レポート提出 (1/25 締切)

テキスト	取り扱う作品の英文テキスト（抜粋）は毎回事前に Moodle 上に用意
参考書	Crash Course Theater Nos. 1-15, YouTube 他に毎回 Moodle 上に参考資料の情報を掲載
その他 特記事項	この授業では世界史の知識が前提となるので、高校世界史、特に西洋史を復習すること

科目名	LIT321: 小説研究			担当教員	永野 良博	
開講期	秋	開講時限	月木5限		研究室	4218
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤
キーワード	英米小説、小説技法、批評理論、社会参加、疎外、排除、英文読解、口頭発表、論文作成					
授業の概要	小説技法と批評理論への理解を深め、小説の主題として共同体や社会への参加、そこからの疎外や排除の問題を扱う。小説技法としてプロット、語り手、時間、性格、アイロニー、異化などを学び、批評理論として、ジャンル論、脱構築、精神分析、ジェンダー、マルクス主義、ポストコロニアリズム、新歴史主義などを学ぶ。扱う小説は、Mary Shelley 作 <i>Frankenstein</i> 、John Steinbeck 作 <i>Of Mice and Men</i> 、及び J.D. Salinger 作 <i>The Catcher in the Rye</i> 。					
達成目標(授業の目的)	基本的な小説技法と批評理論を理解し、それらを基に日々議論を行い、各自が小説に関する独自の論を発展させることが主な目的である。小説の読解を通じて創造的な文章の理解力を高め、第二次資料の読解を通じて、分析的、論理的、批判的な文章への理解力を高める。そして文学研究上重要な用語、概念、研究法に慣れ親しみ、小説に見出した問題を共同体や社会への参加やそこからの疎外や排除という問題と結び付け、研究上の主題を設定し、意見を発表し、議論を発展させる力を養う。また小説に関する論文作成力を身に付ける。					
到達目標(学修成果)	学期前半で小説技法と批評理論に関する用語と概念の基本的な意味を理解し、それを学期が進む中で小説の分析に応用出来る。小説の比喩的な言語を理解し、人間の心、対話、行動、社会状況について独自の洞察を含む読解が出来る。主題として社会参加に問題を抱える人物と彼等を取り巻く状況を理解出来る。口頭発表では作品の英文と内容理解を基に自らの意見を明確に述べ、論文作成では小説研究の基本的方法を理解し独自の論を発展出来る。					
評価方法	授業参加(30%)、発表(30%)、論文(40%)					
評価基準	日々の授業参加では、小説技法と批評理論の基本事項を理解し、また小説の内容を正確に理解し、自らの想像力を駆使して得た洞察を含む意見を明確に述べるのが求められる。口頭発表では、小説と第二次資料の内容の重要な点を適切に判断し理解した上で文章にまとめ、その上で自らの意見を明確で論理的に述べるのが重要である。また第一次資料から選んだ英文について、語彙、文法、意味の解説を的確に行うことが出来ること。論文作成では、自分が研究対象として選んだ小説一作品を英語で読み、その内容に関して授業で扱った文学研究のアプローチを活用しながら、自ら設定した主題を明確に説明し、それを論理性と構成力を持って発展させ、意義ある結論に到達することが重要である。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	【小説技法導入】ストーリーとプロット 【小説作品導入】M. Shelley, <i>Frankenstein</i>	講義、議論	『批評理論入門』pp. 4-21 <i>Frankenstein</i> 第1巻
2	ストーリー、プロット、サスペンス 冒険家の手紙、生い立ち、母の死	講義、議論	『批評理論入門』pp. 4-21 <i>Frankenstein</i> 第1巻
3	語り手、枠物語、語り手の人称と信頼性 科学への傾倒、生命の根源への興味	講義、議論	『批評理論入門』pp. 22-33 <i>Frankenstein</i> 第1巻
4	焦点化、外的焦点化、内的焦点化 人造人間の制作、傲慢さがもたらすもの	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 34-47 <i>Frankenstein</i> 第1巻
5	提示と叙述、時間、速度 人造人間、醜悪さの他者性とその拒絶	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 48-62 <i>Frankenstein</i> 第1巻
6	性格描写、アイロニー、声 弟の死、召使の死	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 63-80 <i>Frankenstein</i> 第1巻

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	イメージラリー、反復、異化 憎悪、復讐、怪物の孤独	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 81-94 <i>Frankenstein</i> 第2巻
8	間テクスト性、メタフィクション、結末 他者への偏見、共同体からの排除	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 95-112 <i>Frankenstein</i> 第2巻
9	【批評理論】伝統、ジャンル、読者反応 呪われし存在、伴侶の希求	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 113-142 <i>Frankenstein</i> 第2巻
10	脱構築、精神分析 新たな人造人間の制作とその解体	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 143-168 <i>Frankenstein</i> 第3巻
11	フェミニズム、ジェンダー、マルクス主義 怪物の復讐、花嫁の死、怪物の追跡	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 169-190 <i>Frankenstein</i> 第3巻
12	文化批評、ポストコロニアリズム 北極への旅、怪物の独白、孤独	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 191-217 <i>Frankenstein</i> 第3巻
13	新歴史主義、文体論、透明な批評 <i>Frankenstein</i> まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 218-235 <i>Frankenstein</i> 第3巻
14	【小説作品導入、技法と理論応用】 <i>Of Mice and Men</i> 社会参加、社会不適合者の生	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Of Mice and Men</i> 第1-2章 『批評理論入門』 選択箇所
15	自律性、動物と人間の生の尊厳、生命剥奪、 土地所有、人種差別、権利剥奪	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Of Mice and Men</i> 第3-4章 『批評理論入門』 選択箇所
16	社会不適合者と女性の抑圧、殺人、逃亡、 友人の殺害、夢の崩壊	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Of Mice and Men</i> 第5-6章 『批評理論入門』 選択箇所
17	<i>Of Mice and Men</i> まとめ 小説技法と批評理論応用まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Of Mice and Men</i> 第1-6章 『批評理論入門』 選択箇所
18	【小説作品導入、技法と理論応用】 <i>The Catcher in the Rye</i> 追放、虚偽の社会の拒絶	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第1-3章 『批評理論入門』 選択箇所
19	隣人との関係、貧富の差、虚偽の友情、 自己愛、嫉妬、弟の死、トラウマ	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第4-6章 『批評理論入門』 選択箇所
20	孤独、偽りの誠実さ、止まらない嘘、電話 での繋がり、夜のホテル	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第7-9章 『批評理論入門』 選択箇所
21	妹との繋がり、他者への敬意の欠如、未成熟な 異性への感情、虚偽的な夜の世界	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第10-12章 『批評理論入門』 選択箇所
22	売春、恐喝、階級差の認識、宗教に関する 考察	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第13-15章 『批評理論入門』 選択箇所
23	深まる鬱状態、子供達との繋がり、役者の 虚偽性、恋人、嫉妬、階級差と劣等感	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第16-18章 『批評理論入門』 選択箇所
24	精神治療、孤独と鬱状態、家への帰還、妹 との対話	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第19-21章 『批評理論入門』 選択箇所
25	妹との対話、友人の自殺、父の仕事、教師 との対話、転落の予感、同性愛	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第22-24章 『批評理論入門』 選択箇所
26	西部移住の空想、クリスマス、再生の可能 性	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第25-26章 『批評理論入門』 選択箇所
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	<i>The Catcher in the Rye</i> まとめ 小説技法と批評理論応用まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第1-26章 『批評理論入門』 pp. 4-235
28	論文概要発表	講義、発表、質疑応答、議論	論文概要作成

テキスト	1 廣野由美子『批評理論入門』（中公新書） 2 メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』 芦澤恵訳（新潮文庫） 3 ジョン・スタインベック『ハツカネズミと人間』 大浦暁生訳（新潮文庫） 4 J.D. サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』 野崎孝訳（白水Uブックス） （上記2～4の小説の内で英語原書一冊を加える）
------	---



科目名	LIT322: 映画と文学			担当教員	飯田 純也		
開講期	春	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤	
キーワード	歴史、教訓、社会、戦争、反戦、虐殺、差別、SF、ユートピア、プロパガンダ、ゲーム						
授業の概要	映画と文学を物語として捉え、映画作品において、われわれの世界がどのように物語られているのか探求する。名作とされるものを多く取り上げ、作品の内容を理解する語学力、作品が取り上げる問題を分析、批判、議論する思考力を身につける。						
達成目標(授業の目的)	授業では毎回、映画作品を取り上げ、物語の内容を理解する語学力と、物語が描く「世界」「社会」「人間」を分析的、批判的、論理的に説明する思考力の獲得を目標とする。						
到達目標(学修成果)	1. 映画を物語として分析、批判、評価することができる 2. 映画が描く現代の問題や課題を理解することができる 3. 映画で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる 4. 問題意識をもって映画を見る習慣ができる 5. 映画を語学教材として活用する習慣ができる						
評価方法	①小論文では、作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか、評価(計40%) ②発表と定期試験では、何が問題か理解できているか、問題を分析し、根拠を上げ、自分の文章で論述しているか、評価(発表10%、定期試験30%、計40%) ③シャトルカード(SC)では、問題意識をもって映画を見る習慣ができているか、評価(計20%)						
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Formsで行う</li> <li>・口頭で行う</li> <li>・提出物にコメントをつけて返却する</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Introduction to Film and Literature <i>Hugo</i> (2011)	講義、質疑応答、ペアワーク、グループ討論	課題リストを基にDVDの入手先を各自検討
2	discussion: <i>Hugo</i> <i>Cinema Paradiso</i> (1988)	講義、質疑応答、ペアワーク、グループ討論	課題DVDを視聴、ノート作成、SC及び発表準備
3	discussion: <i>Cinema Paradiso</i> Chaplin: <i>The Kid</i> , <i>Modern Times</i> , etc.	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題DVDを視聴、ノート作成、SC及び発表準備
4	discussion: <i>The Kid</i> , <i>Modern Times</i> , etc. Chaplin: <i>The Great Dictator</i> (1940)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題DVDを視聴、ノート作成、SC及び発表準備
5	discussion: <i>The Great Dictator</i>	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文No.1の準備(提出は次回授業時)
6	Drama: <i>What's Eating Gilbert Grape</i> , <i>Rain Man</i> , <i>I Am Sam</i> , etc.	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題DVDを視聴、ノート作成、SC及び発表準備
7	discussion: <i>WEGG</i> , <i>RM</i> , <i>IAS</i> , etc. Drama: <i>The Theory of Everything</i> (2014)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題DVDを視聴、ノート作成、SC及び発表準備



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	discussion: <i>The Theory of Everything</i> Epic: <i>War and Peace, Doctor Zhivago</i>	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
9	discussion: <i>WAP, DZ</i> Epic: <i>Dances with Wolves, Legends of the Fall</i>	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
10	discussion: <i>DWW, LOTF</i> Epic: <i>Les Misérables</i> (2012)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
11	discussion: <i>Les Misérables</i>	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 2 の準備（提出は次回授業時）
12	SF: <i>Metropolis, 2001: A Space Odyssey, The Time Machine, The War of the Worlds, Avatar</i>	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
13	discussion: SF films	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
14	Dystopia: <i>The Hunger Games</i> trilogy (2012, 2013, 2014, 2015)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
15	discussion: <i>The Hunger Games</i> trilogy	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 3 の準備（提出は次回授業時）
16	War: <i>The Cold Mountain, The Red Baron, A Bridge Too Far, Nuremberg, Joyeux Noël</i>	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
17	War: <i>Thirteen Days</i> (2000) discussion: <i>Thirteen Days</i>	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
18	Propaganda: Eisenstein, Griffith, Riefenstahl <i>Welcome to Sarajevo</i> (1998)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
19	discussion: Propaganda, <i>Welcome to Sarajevo</i> Introduction to independent research	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 4 の準備（提出は次回授業時）
20	Music: <i>The Sound of Music, Amadeus, The Phantom of the Opera, La La Land, etc.</i>	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
21	discussion: Music films	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
22	Race: <i>The Color Purple</i> (1985), <i>12 Years a Slave</i> (2013)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
23	Marriage: <i>Pride and Prejudice</i> (1995), <i>Bridget Jones</i> film series (2001, 2004)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
24	Fantasy: <i>Harry Potter, Star Wars, The Lord of the Rings</i> film series	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
25	Japanese films: Kurosawa ( <i>Seven Samurai, etc.</i> ), Ozu ( <i>Tokyo Story, etc.</i> )	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
26	Japanese films: Miyazaki ( <i>Princess Mononoke, Ponyo, From Up on Poppy Hill, etc.</i> )	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 5 の準備（提出は定期試験時）
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Romance: <i>Pretty Woman, 50 First Dates, P.S. I Love You, The Notebook</i>	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
28	定期試験と SC の返却と講評	講義、ペアワーク、ディスカッション	SC の読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	テキストは使用しません。授業ごとに資料を用意して配布します。
参考書	Jill Nelmes. <i>Introduction to Film Studies</i> (2011); Edward Bernays. <i>Propaganda</i> (2005); Timothy Corrigan. <i>Film and Literature: An Introduction and Reader</i> (2012)
その他特記事項	この授業では世界史の知識が前提となるので、高校世界史を復習すること

科目名	LNG310: 社会言語学			担当教員	神谷 雅仁	
開講期	春	開講時限	月木5限		研究室	4215
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤
キーワード	言語コミュニティ、社会・地域方言、多言語主義、Politeness、言語と文化、言語政策					
授業の概要	本講は言語学の中でも社会言語学と呼ばれる分野の入門編という位置付けのもと、言語をそれが使われる社会との関係から考察していく。各単元の学修内容は言語選択やポライトネス理論、社会方言など社会言語学の中でも中核を成す内容を中心に構成される。授業はテキストの内容をまとめたレジュメ、および関連する内容についての様々な資料を用い、講義形式で進められる。また、理解定着のため必ず単元ごとに既習内容のreviewを行う。					
達成目標(授業の目的)	本講で対象となる言語社会は多くの学生にとっての母語である日本語社会、および様々な英語圏の国・地域で使用される英語のコミュニティが中心となるが、ヨーロッパやアジアなど、その他の地域に関する言語状況などについても概観する。そのため、学生は人が社会の中でどのように言葉を選択し、それを使用しているかについて幅広い、グローバルな視点に立って考えることができるようになる。					
到達目標(学修成果)	上記の達成目標のもと、学生は言語使用や言語のバリエーションに関する様々な概念や理論に触れ、日本語や英語、また他の言語が各言語コミュニティの中でどのような状況に置かれているのかについて、客観的に認識できるようになる。同時に自らの言語生活を振り返ることで、いつどこでどのような言葉を使っているか、そして自らの母語(および第二言語)がどのように自らのアイデンティティ形成に関与しているかなどについても考察することができるようになる。					
評価方法	▶中間試験(30%)、▶定期試験(40%)、▶Research Assignment(20%)、▶授業参加度(10%)					
評価基準	▶中間試験、および定期試験(客観式): 試験までの学修内容について、用語、概念、理論的枠組みなどが言語例とともに理解され、定着しているかを問う。※中間試験は前半のみの内容が、定期試験は後半のみの内容がそれぞれ試験範囲となる。 ▶Research assignment: 学期を通して学ぶいくつかのテーマには、それをさらに学生が自ら調べ、まとめるという課題が課せられる。これらの課題は期限内に提出されたかどうかに加え、①指示通りに調べたことがまとめられているか、②それを自分自身の言語観や日々の言語生活、また経験に照らし合わせ、より深く議論できているかによって評価される。 ▶授業参加度: 受講態度や授業内での積極的・自発的な発言、またグループ活動への参加などがトータルに判断される。					
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う/orally ・提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned papers					
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Course overview & What is language? 本講の概観&言語とは何か	講義、グループワーク、ディスカッション	テキストのまえがきを読む 言葉について考える
2	What is Linguistics? 言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.1)、レジュメの予習・復習
3	What is Sociolinguistics? 社会言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.1)、レジュメの予習・復習
4	Multilingualism 多言語社会	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.2)、レジュメの予習・復習
5	Diglossia & Domain 2言語併存の状況	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.2)、レジュメの予習・復習
6	Code-switching: Why do we code-switch? なぜコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む(ch.2)、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Code-switching: How do we code-switch? どのようにコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
8	Language death: “Ainu Rebels” 言語の死：“Ainu Rebels”	講義、ディスカッション、DVD視聴	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
9	Language death 言語の死：絶滅危惧言語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
10	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語： その背景と特徴	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
11	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語： 広がりと言語的発達 前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、前半の振り返り
12	Regional variations: dialects in America アメリ カの地域方言 前半のまとめとテスト準備	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
13	Mid-term Test 中間試験 Regional variations: language & dialect 言語と方言	講義、ディスカッション、質疑応答	前半内容の復習、テキストを読む（ch.3）
14	Test review 試験結果の返却と解説 Regional variations: language & dialect 言語と方言続き	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
15	World Englishes: 国際語としての英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
16	Social variations: Studies by Labov 社会方言：Labov の調査研究	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
17	Social variations: social class 社会方言：社会階級	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
18	Social variations: genderlect 社会方言：性別による言語使用	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
19	Social variations: ethnicity and age / generation 社会方言：人種・民族、年齢・年代	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
20	Audience Design and Accommodation Theory オーディエンス・デザインとアコモデーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、レジュメの予習・復習
21	Politeness: Its background ポライトネス：言語学的、語用論的背景	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、レジュメの予習・復習
22	Politeness: B & L's politeness ポライトネス：ブラウン&レビンソン	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、レジュメの予習・復習
23	Sexist language use 性差別的言語使用	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの予習・復習
24	Cross-cultural Communication: Culture & Context 異文化コミュニケーション：文化	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの予習・復習
25	Cross-cultural Communication: Sapir-Whorf Hypothesis サピア＝ウォーフ仮説	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの予習・復習
26	Language policy & Planning 言語政策と計画 後半のまとめとテスト準備	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの予習・復習
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Think about language and identity 言語とアイデンティティーについて考える	講義、ディスカッション、質疑応答	関連する配布物の予習
28	Test review 定期試験の返却、および解説 Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	テスト問題の見直し

テキスト	東照二（著）『社会言語学入門』（研究社）
参考書	飯野公一ほか（著）『新世代の言語学』（くろしお出版） Wardhaugh, R. <i>An Introduction to Sociolinguistics</i> (Blackwell).
その他 特記事項	本講の履修には「言語学概論」が履修済みか、同時履修している、あるいは言語系のゼミナールに所属していることが望ましい。

科目名	LNG305: 音声学				担当教員	野口 大斗		
開講期	秋	開講時限	火 4・5 限		研究室	4号館2階 講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	調音音声学、音響音声学、知覚音声学、Praat、Python							
授業の概要	講義は主につぎの2点から構成される： ・講師による指定教科書に沿った英語音声学の基礎に関する説明と演習 ・コンピューターを使用した実習 (Praat と Python を使用)							
達成目標 (授業の目的)	本講義の主な目的は下記の3点である： ・音声学の基礎的な知識を獲得すること ・履修生同士でディスカッションしたり、実習に取り組んだりすること ・実際のデータと向き合い、必要な情報を収集し、試行錯誤しながら分析を進めること							
到達目標 (学修成果)	履修生は本講義を受講し演習に取り組むことによって学期末までに下記3点の目標に到達することが期待される： ・音声学の基礎的な事項について他者に説明できること ・Praat と Python を使用してごく初歩的な音声データを処理できること ・基本的な音声実験データの収集・分析ができ、エラーが生じた場合に必要な情報を参照・検索できること							
評価方法	演習問題による講義内容の理解 (授業内での発言や発表・リアクションペーパー) (奇数回) : 50% 実習の報告 (口頭・レポート) (偶数回) : 50%							
評価基準	いずれの項目も採点は以下のルーブリックにより、自己評価を踏まえたうえでの教員の評価を採用する。 100点：指示された範囲を超えて新たなデータや手法を試した。／他の履修生とのかかわりの中で学びをより深めることができた。 90点：最終的な結果を得ることができた。 80点：取り組みの手順は理解しているものの、最終的な結果が正しくない。 70点：取り組もうとはしているものの、手順を完全に理解していない。 60点以下：取り組んでいない。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms でおこなう／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭でおこなう／orally							
準備学修の時間	本科目の一回 (100分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	調音点と調音法	講義・グループワーク	予習：教科書を読む (pp.8-57)
2	Praat 入門	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
3	調音運動	講義・グループワーク	予習：教科書を読む (pp.58-85)
4	音声の録音とアノテーション	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
5	アクセント	講義・グループワーク	予習：教科書を読む (pp.85-93)
6	Python 入門	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	音と波	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.94-106）
8	音響特徴量の測定	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
9	音の大きさ	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.106-113）
10	jsPsychによるオンライン産出実験作成	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
11	音声波形の重ね合わせと分解	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.114-120）
12	音声実験データの取り出し	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
13	スペクトルとスペクトログラム	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.120-123）
14	Juliusによる forced alignment	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
15	共鳴	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.124-130）
16	Montreal Forced Alignerによる forced alignment	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
17	音響モデルとフォルマント	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.130-139）
18	音声の manipulation	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
19	分節音の音響特性	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.140-165）
20	jsPsychによるオンライン知覚実験作成	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
21	音の可視化と読み解き	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.166-173）
22	知覚実験データの分析	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
23	音響音声学と数学	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.174-184）
24	音声認識	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
25	聴覚の仕組み	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.186-209）
26	音声合成	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	音声の知覚	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.210-233）
28	声質変換	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り

テキスト	川原繁人『ビジュアル音声学』（三省堂）
参考書	北原真冬／田嶋圭一／田中邦佳『音声学を学ぶ人のための Praat 入門』（ひつじ書房）
その他特記事項	授業内で音声解析ソフトなどを使用するため、自身が管理者権限を持つ PC（Windows/Mac のいずれでも可）を必ず持参すること。携帯電話やタブレット上では使用できないため不可。



科目名	LNG330: 日本語学				担当教員	鷲見 あつみ	
開講期	秋	開講時限	火 4 限		研究室	4号館2階 講師控室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤	
キーワード	外国語としての日本語、日本語教育文法、日本語の特徴						
授業の概要	日本語の構造や様々な特徴を音声、文法、語彙、表記の観点から理解を深める。日本語らしい表現や言語変化にも目を向け外国語としての日本語を捉えていく。						
達成目標 (授業の目的)	国語教育と日本語教育の相違点を考え、日本語学習者から見た日本語の考え方と使い方を身に付けることを目的とする。						
到達目標 (学修成果)	外国語としての日本語を理解し、日本語学習者の言語習得への理解とアプローチ法を見に付ける。性差、世代差、地域差などの位相差を理解し、社会における日本語の言語変化と多様性にも理解を深めることを学修成果とする。						
評価方法	① 授業への主体的な取り組み 30% ② 中間試験 30% ③ 定期試験 40%						
評価基準	① 授業への主体的な取り組み： 授業内の議論に主体的に取り組み、発表をしているか。リアクションペーパーを提出しているか。 ② 中間試験： 国語教育と日本語教育の相違点を理解しているか。 ③ 定期試験： 様々な観点から見た日本語の特徴を理解し、多様な日本語表現や言語変化にも気づきを得ることができることができたか。						
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う/orally ・提出物にコメントをつけて返却する/comments made on returned paper						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	日本語の音と形：発音のしくみ、特殊拍、五十音図	講義、ワーク 質疑応答	教科書 2-9 頁を読む (予習) レジュメに目を通す (復習)
2	日本語の音と形：音素と異音、アクセント	講義、ワーク 質疑応答	教科書 10-15 頁を読む (予習) レジュメに目を通す (復習)
3	日本語の音と形：漢字かな交じり文 短縮語	講義、ワーク 質疑応答	教科書 16-20 頁を読む (予習) レジュメに目を通す (復習)
4	日本語の文法：日本語の品詞、活用 (1)	講義、ワーク 質疑応答	教科書 22-26 頁を読む (予習) レジュメに目を通す (復習)
5	日本語の文法：活用 (2)、動詞の分類	講義、ワーク 質疑応答	教科書 22-26 頁を読む (予習) レジュメに目を通す (復習)
6	日本語の文法：格助詞、ヴォイス 使役、受身、授受表現	講義、ワーク 質疑応答	教科書 27-36 頁を読む (予習) レジュメに目を通す (復習)
7	日本語の文法：テンス、アスペクト	講義、ワーク 質疑応答	教科書 37-43 頁を読む (予習) レジュメに目を通す (復習)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	日本語の文法：モダリティ 語彙（1）	講義、ワーク 質疑応答	教科書 44-45 頁を読む（予習） レジュメに目を通す（復習）
9	日本語の文法：条件、名詞修飾 語彙（2）	講義、ワーク 質疑応答	教科書 46-50 頁を読む（予習） レジュメに目を通す（復習）
10	日本語らしい表現：連体修飾 / 連用修飾 語彙（3） 省略、「は / が」、「のだ」	講義、ワーク 質疑応答	教科書 52-57 頁を読む（予習） レジュメに目を通す（復習）
11	日本語らしい表現：とりたて助詞、敬語 表記（1） 日本語学習者の日本語	講義、ワーク 質疑応答	教科書 58-74 頁を読む（予習） レジュメに目を通す（復習）
12	日本語の変化と多様性：ら抜きことば 表記（2） 古典語、地域差	講義、ワーク 質疑応答	教科書 76-83 頁を読む（予習） レジュメに目を通す（復習）
13	日本語の変化と多様性：方言、位相語 表記（3） 差別ことば	講義、ワーク 質疑応答	教科書 84-95 頁を読む（予習） レジュメに目を通す（復習）
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	試験の返却および講評	講義、質疑応答	テスト範囲を見直す

テキスト	庵功雄・日高水穂・前田尚子・山田敏弘・大和シゲミ『やさしい日本語のしくみ』（くろしお出版）
参考書	佐々木泰子『ベーシック日本語教育』（ひつじ書房） 今井新悟『いちばんやさしい日本語教育入門』（アスク出版）

科目名	LNG302: 語用論			担当教員	近藤 佐智子		
開講期	秋	開講時限	月木4限		研究室	4208	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要				学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤	
キーワード	言語学、会話、異文化間語用論、発話行為、ポライトネス、含意						
授業の概要	会話における相互理解の仕組みに関する語用論の理論を理解した上で、日本語母語話者が英語で「断り」や「依頼」などの発話行為をする場合どのような誤解が起こりうるのか、異文化間コミュニケーションや英語学習の視点から考察する。授業は、講義と練習問題、質疑応答、ロールプレイ、グループディスカッションによって進める。最後に受講者は各自実際に会話を語用論的視点で分析する研究プロジェクトを行い、レポートにまとめ口頭発表する。						
達成目標(授業の目的)	実際に会話を行う際の相互理解のプロセスについて理解を深めることを目標とする。語用論の理論について学んだ上で、実際に会話を分析することによって、言語に関する理解を深めると同時に分析結果を発表する力をつける。また、異文化間語用論的視点で日本語と英語を比較することによって、英語でのコミュニケーション能力を高める。						
到達目標(学修成果)	会話の仕組みについての語用論の理論を理解し、具体例を挙げて理論を説明できるようになる。文化的価値観が言語使用にどのような影響を与えるかを理解し、日本語と英語を比較する力をつける。相手に失礼にならないような、状況に合った適切な英語を使用する力をつける。映画やドラマの中の会話を語用論的視点で分析し、その結果を書面(レポート)と口頭で表現できるようになる。						
評価方法	小テスト2回(50%) レポート(15%) 発表(10%) 授業時の積極参加(25%)						
評価基準	<p>小テスト2回(50%) 小テスト1(25%) 具体例を挙げて理論を論理的に説明できるか。語用論の用語を理解しているか。</p> <p>小テスト2(25%) 例を挙げて会話分析、異文化間・中間言語語用論の用語を論理的に説明できるか。英語での発話行為を適切に行うことができるか。</p> <p>レポート(15%) 理論の紹介が適切に行われているか。語用論的視点から会話を分析できているか。論理的に分かりやすく書かれているか。書式が守られているか。</p> <p>発表(10%) 発表の内容(理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたか) 発表の態度(声の大きさ、話し方などが効果的か)。</p> <p>授業時の積極参加(25%) Participation Worksheet 5回の提出とその内容の質(20%)、授業での予習・復習に関する質疑応答(5%)</p>						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Moodleで行う</li> <li>・口頭で行う</li> </ul>						
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	導入：授業の概要と評価方法 What is Pragmatics? (語用論とは何か)	講義、ディスカッション	テキスト15-22頁を読む
2	What is Pragmatics? (語用論とは何か)：状況の中での発話の意味	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト15-22頁を読む
3	Greeting (挨拶)	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト1-8頁を読む
4	Communicative Competence (言語運用能力)	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト9-15頁を読む
5	Speech Acts (発話行為)：理論と分類	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト23-30頁を読む
6	Speech Acts (発話行為)：間接発話行為	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト47-54頁を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Conversational Implicature（会話による含意）：協調の原則	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 39-46 頁を読む
8	Conversational Implicature（会話による含意）：会話の分析	講義、ビデオ視聴 ディスカッション	テキスト 39-46 頁を読む
9	Politeness（ポライトネス）：Brown & Levinson の理論	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 55-63 頁を読む
10	Politeness（ポライトネス）：Leech の理論	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 64-71 頁を読む
11	日本語と英語のポライトネス	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「日英のポライトネス」を読む
12	小テスト 1（40 分） 復習（60 分）	小テスト、講義	小テストのための復習
13	会話分析：隣接応答ペア	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：隣接応答ペア」を読む
14	会話分析：修復 小テスト 1 の返却、および講評	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：修復」を読む
15	会話分析：優先構造	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：優先構造」を読む
16	語用論的視点からの会話の分析 レポートと発表について	ビデオ視聴、講義、ディスカッション	談話完成タスク 発表の題材を考える
17	Cross-cultural Pragmatics（異文化間語用論） Interlanguage Pragmatics（中間言語語用論）	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 80-86 頁を読む
18	日英比較：Apologies（謝罪） Participation Worksheet ①	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Apologies」を読む
19	Apologies（謝罪） 中間言語語用論での謝罪の研究	講義、ディスカッション	テキスト 31-38 頁を読む
20	日英比較：Requests（依頼） Participation Worksheet ②	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Requests」を読む テキスト 72-79 頁を読む
21	日英比較：Compliments（誉め） Participation Worksheet ③	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Compliments」を読む
22	日英比較：Refusals（断り） Participation Worksheet ④	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Refusals」を読む
23	日英比較：Complaints（不満表明） Participation Worksheet ⑤	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Complaints」を読む レポート作成
24	小テスト 2（40 分） 復習（60 分）	小テスト、講義	小テストのための復習
25	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
26	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	中間言語語用論での誉め、断り、不満表明の研究	講義、ディスカッション	誉め、断り、不満表明に関する資料を読む
28	小テスト 2 の返却、および講評 レポート提出、復習と総括	講義、ディスカッション	レポート提出

テキスト	田中典子『プラグマティクス・ワークショップー身のまわりの言葉を語用論的に見る』（春風社）、Sachiko Kondo. <i>Cross-cultural Pragmatics: Speech Acts</i> （オリジナル資料）。
参考書	岡本真一郎（編）『ことばのコミュニケーション』（ナカニシヤ出版） ヘレン・スペンサー＝オーティアー（編著）『異文化理解の語用論』（研究社）
その他 特記事項	テキストと資料は日本語と英語で書かれているので、日本語と英語での予習復習が必要である。

科目名	LNG320: バイリンガル教育				担当教員	宮崎 幸江		
開講期	春	開講時限	木5限		研究室	4217		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと	
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4,5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑤, 5-①	
キーワード	バイリンガル、母語、継承語、手話、アイデンティティ							
授業の概要	バイリンガルの言語習得や文化習得に関する応用言語学の理論とバイリンガル教育の方法について学ぶ。日本に住む外国人の子どもたちの言語環境や課題、手話を母語とする「ろう」の人々についても学び、言語マイノリティや言語とアイデンティティの関係について多文化共生的な視点で考えていく。							
達成目標(授業の目的)	本科目は、バイリンガルの言語発達や言語教育の方法を理解し、日本人が海外で育った場合の日本語保持や、日本国内に住む外国人の子どもたちの教育課題について、バイリンガルを取り巻く様々な事象について理解できるようになることが目的である。同時に言語マイノリティの立場への理解を深め、手話言語を母語とする人々についても知識を得る。							
到達目標(学修成果)	学生はバイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、それぞれの教育方法を学ぶことにより、言語や文化的多様性を持つ人々のことを理解できるようになる。さらに、バイリンガリズムについて具体的な事例を、専門用語を用いて分析し記述できるようになる。							
評価方法	① ミニレポート：20% ② 中間テスト(授業内試験)：30% ③ プレゼンテーション(グループ)：20% ④ 期末レポート：30%							
評価基準	① ミニレポート：課題の文献を読んで理解できているかどうかを評価する。 ② 中間テスト(授業内試験)：理論や専門用語など基礎的な授業内容の理解を評価する。 ③ プレゼンテーション(グループ)：授業で学んだ理論等に基づいて分析しているかを評価する。 ④ 期末レポート：テーマの理解と理論を使い適切にまとめられているかを評価する。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Formsで行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	グローバル化と在日外国人	講義、グループディスカッション、質疑応答	A第1章を読んで、ノートにまとめる
2	にほんで育つ多文化の子どもたち 就学不明の問題	講義、グループディスカッション、質疑応答	A第2章を読んで、ノートにまとめる
3	「発達障害」と間違われる外国人の子ども	講義、グループディスカッション、質疑応答	A第3章を読んで、ノートにまとめる
4	海外子女の教育、母語と外国語	講義、グループディスカッション、質疑応答	B第1~4章を読んで、ノートにまとめる
5	バイリンガルの言語発達、年齢要因、母語保持	講義、グループディスカッション、質疑応答	B第5~10章を読んで、ノートにまとめる
6	家庭でできるバイリンガルの基礎づくり	講義、グループディスカッション、質疑応答	B第11~16章を読んで、ノートにまとめる



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	ことばとアイデンティティ 中間テスト テストの返却と講評	講義、グループディス カッション、質疑応答	B 第17~20章を読んで、ノー トにまとめる
8	ファミリーランゲージポリシー グループプレゼンテーション	講義、グループディス カッション、質疑応答	プレゼンテーションの準備
9	ろう・難聴者の言語生活、デフファミリー、 コーダ	講義、グループディス カッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめ る
10	バイリンガルろう教育	講義、グループディス カッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめ る
11	ろうの言語とアイデンティティ	講義、グループディス カッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめ る
12	「やさしい日本語」を考える	講義、グループディス カッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめ る
13	日本人特権を考える	講義、グループディス カッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめ る
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	まとめ	講義、グループディス カッション、質疑応答	レポート作成

テキスト	A 毎日新聞取材班（編）『にほんでいきる 外国からきた子どもたち』（明石書店） B 中島和子『言葉と教育 海外で子どもを育てている保護者のみなさまへ』（公益財団法人海 外子女教育振興財団）
------	--

科目名	EDU310: 初等教育				担当教員	杉村 美佳		
開講期	秋	開講時限	火金3限		研究室	4220		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	小学校教育、発達教育学、初等教育史、教育課程、教育方法、指導案の作成、模擬授業							
授業の概要	前半では、児童期の発達の段階と筋道を、主に発達教育学の視点から学ぶ。後半では、教育課程論、教育方法論、初等教育の歴史と現状、課題について探求する。授業実践について理解を深めるため、実際に小学校の授業を見学し、その上で指導案の作成と模擬授業を行う。							
達成目標 (授業の目的)	児童期の発達や初等教育の基礎理論および課題を理解し、授業実践に必要な知識や技術の基礎を習得する。児童の発達や興味・関心に即した指導案を作成し、模擬授業を行うことを通して、実践的な指導力の基礎を身につけることを目標とする。							
到達目標 (学修成果)	① 初等教育の現状と課題を学び、教師論や教育課程論等を理解することを通して、初等教育の理論や実践に関する基礎知識を身につける。 ② 『教育の段階』のブックレポート作成を通して、児童期の発達の筋道を理解し、発達段階に即した教育のあり方を考察できるようになる。 ③ 各自が学習者を主体とした「総合的な学習の時間」の指導案を作成し、模擬授業を行い、相互に授業評価をしようことによって、効果的に児童への指導が行える力を養う。							
評価方法	①授業時に課すリアクション・ペーパー (30%)、②『教育の段階』のブックレポート (30%)、③小学校見学のレポート (10%)、④指導案の作成・発表 (30%)							
評価基準	① リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に論述できているか。 ② 『教育の段階』のブックレポート：テキストの内容を理解し、発達の筋道に即した教育のあり方について、講義内容もふまえて考察できているか。 ③ 小学校見学のレポート：教師と児童の様子、授業のねらいや工夫を捉えているか。 ④ 指導案の作成・発表：ねらいが明確で一貫性があり、学習者の発達や興味に即した指導案であるか、指導案を効果的に実践する工夫がなされているか、を評価する。							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	小学生をめぐる今日的課題	講義・討議・リアクション・ペーパー	配付資料の要約・考察
2	小学生の時代的变化	講義・討議・リアクション・ペーパー	小学生の問題を調べる 配付資料の要約・考察
3	児童期の発達の諸側面と教育 (1) —認知的発達—	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	ピアジェの理論について調べる、配付資料の考察
4	児童期の発達の諸側面と教育 (2) —社会的・人格的発達—	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	社会性の発達について調べる 配付資料の要約・考察
5	児童期における道徳性の発達と教育 (1) —コールバーグの道徳性発達理論—	講義・討議・リアクション・ペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
6	児童期における道徳性の発達と教育 (2) —道徳教育の現状と課題—	講義・討議・リアクション・ペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
7	児童期における問題行動の意味 (1) —非社会的問題行動—	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	問題行動について調べる DVD の内容の要約・考察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	児童期における問題行動の意味（2） —反社会的問題行動—	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	問題行動について調べる DVD の内容の要約・考察
9	『教育の段階』のレポート発表（1）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』1 のレポート 『教育の段階』の復習
10	特別支援教育の現状と課題	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	特別支援教育について調べる、 配付資料の要約・考察
11	初等教育の内容と教育課程（1） —カリキュラムの分類—	講義・討議・リアクション・ペーパー	コア・カリキュラムを調べる、 配付資料の要約・考察
12	初等教育の内容と教育課程（2） —学習指導要領の変遷—	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
13	『教育の段階』のレポート発表（2）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』2 のレポート 『教育の段階』の復習
14	秦野市の教育の現状と課題	講義・討議・リアクション・ペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
15	「総合的な学習の時間」の原理と方法	講義・討議・リアクション・ペーパー	総合学習について調べる 配付資料の要約・考察
16	「総合的な学習の時間」の系譜	講義・討議・リアクション・ペーパー	デュイについて調べる 配付資料の要約・考察
17	小学校教師とは	講義・討議・リアクション・ペーパー	教師の問題について調べる 配付資料の要約・考察
18	現代における授業改革	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	アクティブ・ラーニングを調べる、 DVD の要約・考察
19	小学校見学	見学	見学のポイントを作成 見学のレポート作成
20	『教育の段階』のレポート発表（3）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』3 のレポート 『教育の段階』の復習
21	欧米の初等教育	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
22	指導案とは—指導案の作成方法—	講義、グループワーク	配付資料を読む 指導案の作成
23	指導案の作成（1）—単元・ねらいの設定—	各自指導案の作成	指導案の作成
24	指導案の作成（2）—教材・教具—	各自指導案の作成	指導案の作成
25	指導案の作成（3）—指導方法・評価—	各自指導案の作成	指導案の作成
26	模擬授業（1）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	模擬授業（2）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
28	模擬授業（3）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配付する。
参考書	モリス・ドベス著、堀尾輝久他訳『教育の段階—誕生から青年期まで』（岩波書店） 近藤邦夫他編『児童期の課題と支援』（新曜社）
その他特記事項	秦野市教育委員会からゲストスピーカーを招き、授業実践に関する講義を行う。

科目名	EDU300: 児童英語教育演習 A			担当教員	狩野 晶子	
開講期	春	開講時限	月1・2限		研究室	4203
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				4-⑤, 5-②
キーワード	児童英語教育、言語習得、サービスラーニング活動、アクティブラーニング					
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校での使用を想定した指導案と教材を作成し模擬授業を行う。あわせてサービスラーニング枠で行うイングリッシュフレンド (EF) 活動に参加し小学生への授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。					
達成目標 (授業の目的)	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつけることがこの授業の目的である。主に高学年を対象に、児童の認知発達や特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成をする。それを用いて模擬指導実践を行う。さらに小学校でのサービスラーニング活動の実践をもとに、自らの指導を検証、評価し改善する経験を積むことを目標とする。					
到達目標 (学修成果)	児童英語教育の基礎知識を活かし、主に小学校高学年を対象とした英語指導の目的と意義に沿う指導案と教材、教具等を作成し、小学校での指導に備えて模擬指導実践を行うことができる。グループでの授業準備、小学校での実践を踏まえた相互評価と省察を通して、指導力の育成と自らの指導を検証、評価し改善する課題発見力、課題解決力、協働力が身につく。					
評価方法	①授業でのグループワーク参加姿勢 (30%) ②指導案・教材・教具作成 (20%) ③アクティビティ演習・模擬授業 (20%) ④各回の省察をもとにした期末課題 (30%)					
評価基準	①授業内のすべての活動およびグループワーク等への積極的参加、協力しあい主体的に関わる姿勢とそれを反映した省察を評価する。②児童特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成への取り組みを評価する。③適切な teacher talk の使用、内容構成、準備と練習の成果を評価する。④各回の省察の蓄積をもとに、改良改善への取り組みの過程を評価する。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・ 口頭で行う / orally</li> <li>・ 上記以外で行う / other:</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	児童英語教育・小学校外国語 (英語) 教育とは：これまでの学習内容の確認	講義、指導実践 グループワーク	既習科目の内容復習 Moodle 登録・活用方法確認
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導に有用な素材集め
3	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案とは	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案作成の準備
4	テキスト概観：学習指導要領に照らして小学校外国語 (英語) 教育を考える	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具作成
5	Communicative Language Teaching の観点からイングリッシュフレンド指導案を考える	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導案・教材・教具作成
6	小学校高学年への指導案をもとに模擬授業発表①	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
7	小学校高学年における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の在り方	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
8	小学校高学年への指導案をもとに模擬授業発表②	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（1）の研究	講義、学生発表 グループワーク	相互フィードバックと省察をもとに発表準備と実践練習
10	小学校高学年モデル指導案（1）の実践練習 Classroom English の効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
11	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（2）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
12	小学校高学年モデル指導案（2）の実践練習 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
13	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（3）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
14	小学校高学年モデル指導案のポイント 言語材料の選び方と展開の技法	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
15	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（4）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
16	小学校高学年モデル指導案（3）（4）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
17	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（5）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
18	小学校高学年モデル指導案（5）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
19	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（6）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
20	小学校高学年モデル指導案（6）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
21	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（7）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
22	小学校高学年モデル指導案（7）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
23	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（8）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
24	小学校高学年モデル指導案（8）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
25	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（9）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
26	小学校高学年モデル指導案（9）の実践練習 期末課題について説明	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	期末課題の相互フィードバック	指導実践、学生発表 グループワーク	EF 活動全体の省察 期末課題作成
28	全体での活動の振り返り	指導実践、学生発表 グループワーク	EF 活動の省察を受けて総括 期末課題総括

テキスト	文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 平成 29 年告示』		
履修条件、 前提科目	この科目を履修する場合は、イングリッシュフレンド・サービスマスター活動への参加を原則とするため、木曜日の午前中に他の科目を履修することはできない。この科目の履修にあたり、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」「リテラシーと多文化教育」のいずれかの科目の単位を修得済みであることを条件とする。		
その他 特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。		



科目名	EDU301: 児童英語教育演習 B				担当教員	狩野 晶子
開講期	秋	開講時限	月1・2限		研究室	4203
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				4-⑤, 5-②
キーワード	児童英語教育、言語習得、サービスラーニング活動、アクティブラーニング					
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校での使用を想定した指導案と教材を作成し模擬授業を行う。あわせてサービスラーニング枠で行うイングリッシュフレンド (EF) 活動に参加し小学生への授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。					
達成目標 (授業の目的)	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつけることがこの授業の目的である。小学校中・高学年を対象に、児童の認知発達や特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成をする。それを用いて模擬指導実践を行う。さらに小学校でのサービスラーニング活動の実践をもとに、自らの指導を検証、評価し改善する経験を積むことを目標とする。					
到達目標 (学修成果)	児童英語教育の基礎知識を活かし、小学校中・高学年を対象とした英語指導の目的と意義に沿う指導案と教材、教具等を作成し、小学校での指導に備えて模擬指導実践を行うことができる。グループでの授業準備、小学校での実践を踏まえた相互評価と省察を通して、指導力の育成と自らの指導を検証、評価し改善する課題発見力、課題解決力、協働力が身につく。					
評価方法	①授業でのグループワーク参加姿勢 (30%) ②指導案・教材・教具作成 (20%) ③アクティビティ演習・模擬授業 (20%) ④各回の省察をもとにした期末課題 (30%)					
評価基準	①授業内のすべての活動およびグループワーク等への積極的参加、協力しあい主体的に関わる姿勢とそれを反映した省察を評価する。②児童特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成への取り組みを評価する。③適切な teacher talk の使用、内容構成、準備と練習の成果を評価する。④各回の省察の蓄積をもとに、改良改善への取り組みの過程を評価する。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms</li> <li>・口頭で行う / orally</li> <li>・上記以外で行う / other:</li> </ul>					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	児童英語教育・小学校外国語 (英語) 教育とは: これまでの学習内容の確認	講義、指導実践 グループワーク	既習科目の内容復習 Moodle 登録・活用方法確認
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導に有用な素材集め
3	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案とは	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案作成の準備
4	テキスト概観: 学習指導要領に照らして小学校外国語 (英語) 教育を考える	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具作成
5	Communicative Language Teaching の観点からイングリッシュフレンド指導案を考える	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導案・教材・教具作成
6	小学校中・高学年への指導案をもとに模擬授業発表①	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
7	小学校中・高学年における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の在り方	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
8	小学校中・高学年への指導案をもとに模擬授業発表②	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	イングリッシュフレンド・小学校中・高学年モデル指導案（1）の研究	講義、学生発表 グループワーク	相互フィードバックと省察を もとに発表準備と実践練習
10	小学校中・高学年モデル指導案（1）の実践 練習、Classroom English の効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
11	イングリッシュフレンド・小学校中・高学年モデル指導案（2）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
12	小学校中・高学年モデル指導案（2）の実践 練習、教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
13	イングリッシュフレンド・小学校中・高学年モデル指導案（3）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
14	小学校中・高学年モデル指導案のポイント 言語材料の選び方と展開の技法	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
15	イングリッシュフレンド・小学校中・高学年モデル指導案（4）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
16	小学校中・高学年モデル指導案（3）（4）の 実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
17	イングリッシュフレンド・小学校中・高学年モデル指導案（5）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
18	小学校中・高学年モデル指導案（5）の実践 練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
19	イングリッシュフレンド・小学校中・高学年モデル指導案（6）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
20	小学校中・高学年モデル指導案（6）の実践 練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
21	イングリッシュフレンド・小学校中・高学年モデル指導案（7）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
22	小学校中・高学年モデル指導案（7）の実践 練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
23	イングリッシュフレンド・小学校中・高学年モデル指導案（8）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
24	小学校中・高学年モデル指導案（8）の実践 練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
25	イングリッシュフレンド・小学校中・高学年モデル指導案（9）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
26	小学校中・高学年モデル指導案（9）の実践 練習、期末課題について説明	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	期末課題の相互フィードバック	指導実践、学生発表 グループワーク	EF 活動全体の省察 期末課題作成
28	全体での活動の振り返り	指導実践、学生発表 グループワーク	EF 活動の省察を受けて総括 期末課題作成

テキスト	文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 平成 29 年告示』		
履修条件、 前提科目	この科目を履修する場合は、イングリッシュフレンド・サービスマーケティング活動への参加を原則とするため、木曜日の午前中に他の科目を履修することはできない。この科目の履修にあたり、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」「リテラシーと多文化教育」のいずれかの科目の単位を修得済みであることを条件とする。		
その他 特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。		

科目名	SLE201: サービスラーニング入門講座				担当教員	宮崎 幸江		
開講期	春/秋	開講時限	(春)水1限 (秋)火4限		研究室	4217		
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑤, 5-①, 5-②	
キーワード	サービスラーニング、キリスト教ヒューマニズム、秦野市、多文化共生							
授業の概要	サービスラーニングへの参加を希望している学生に対して、サービスラーニングとは何か、本学のサービスラーニングの精神や歴史、フィールドである秦野市について、公教育で求められるボランティアの役割、子どもの発達など、毎回異なる講師により多様な視点から講義を聞く。講義の後、グループディスカッションと全体での意見交換を行う。							
達成目標 (授業の目的)	本科目では、サービスラーニングに参加することを前提に、地域貢献の精神や活動する秦野市に関する基礎知識を得るとともに、教育現場でのニーズについて学ぶことができる。また、様々な立場の人々から話を聞くことで、視野を広がり多文化共生的な視点を養うことを目的とする。							
到達目標 (学修成果)	本学のサービスラーニングの内容や特徴を理解し、具体的にどのサービスラーニングが自分に合っているかをイメージできるようになる。また、その活動の持つ社会貢献としての意味や自分自身にどのような学びを得られるか、どのように関わって行きたいかを主体的に考えられるようになる。							
評価方法	① 授業への積極参加：25% ② リアクションペーパー：25% ③ 期末レポート：50%							
評価基準	① 授業への積極参加：毎回行うグループディスカッションと最終回にグループで行うプレゼンテーションへの積極的な参加を評価する。 ② リアクションペーパー：期限内に提出できているか、内容が適切かなどを評価する。 ③ 期末レポート：本学のサービスラーニングの精神について理解し、自分が参加する際にどのような貢献をしたいか具体的に考えているかを評価する。 ※成績は「P (合格)」「X (不合格)」のいずれかで評価されます							
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	サービスラーニングとは何か：サービスラーニングの歴史、目的、本学の伝統	講義、グループディスカッション、質疑応答	講義用ノートを準備する
2	キリスト教とボランティア：社会に尽くす活動をした人々	講義、グループディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで関連する事柄について調べる
3	異文化理解：言語や文化の異なる人々との協働	講義、グループディスカッション、質疑応答	インターネット等で南米の国々を調べる
4	特別な個性を持つ子どもたち：多様な子どもたちの捉え方や接し方を学ぶ	講義、グループディスカッション、質疑応答	関連するトピックについて調べてみる
5	はだの学：サービスラーニングを行う秦野市について知る	講義、グループディスカッション、質疑応答	関連する記事やサイトを探してみる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	秦野市の学校におけるボランティアの役割：開かれた学校教育の現場とは	講義、グループディスカッション、質疑応答	最終回のポスタープロジェクトの準備をする
7	みんなで考えるサービスラーニング：サービスラーニングの意味と目的	ディスカッション、ポスター作成、発表	レポートを書く
テキスト	ハンドアウトを Moodle で共有、またはパワーポイントスライドを用いての講義となる。		

科目名	SLE301: サービスラーニング (小中学校日本語支援A)			担当教員	鷲見 あつみ
開講期	春	開講時限	月木2限	研究室	4号館2階 講師控室
分類	選択	単位	3	標準受講年次	2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。			4-⑤, 5-①
キーワード	年少者日本語教育、多文化共生、アクティブラーニング、入り込み・取り出し支援				
授業の概要	実際に小中学校で支援を行う体験から外国につながる児童生徒の実態を学び、社会課題と向き合うことができるサービスラーニング (カレッジフレンド) の科目である。月曜日は学内で年少者への日本語支援の方法や外国につながる子どもの発達について学び、木曜日は決められた学校でカレッジフレンドとして支援活動を行う。				
達成目標 (授業の目的)	グローバル化が進む現代社会における外国につながる児童生徒を取り巻く環境や教育課題を理解できるようになる。特に日本の学校で学ぶ外国につながる児童生徒の言語の発達について理論を理解し、当事者の立場からも考察できるようになる。地域の課題を理解し、多文化共生に向けて自ら行動できるようになる。				
到達目標 (学修成果)	① 支援対象者の言語的ニーズをつかみ、相手に合わせた指導の工夫ができるようになる。 ② 地域の課題に対する理解が進み、多文化共生的な視点から意見を発表し、文章にまとめられるようになる。 ③ サービスラーニング (カレッジフレンド) 活動を通して、社会人として成長する。				
評価方法	① 授業への積極的参加 25% ② 支援記録の作成 25% ③ 中間・最終プレゼンテーション 25% ④ 最終レポートの提出 25%				
評価基準	① ディスカッションに積極的に参加しているか。 ② 支援記録を作成し、提出しているか。 ③ 体験から学んだことを都度 (中間・最終) 省察し、プレゼンテーションにまとめられているか。 ④ 1学期間の活動をまとめ、テーマに従い活動内容を分析できているか。 ※成績は「P (合格)」「X (不合格)」のいずれかで評価されます。				
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う/orally				
準備学修の時間	本科目の一回 (100分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190分が求められる。				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	秦野市における多文化化の現状	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる。
2	「子どもの日本語教育」の現状 (1) 日本語指導体制	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 3-16 頁を読んでノートにまとめる。
3	「子どもの日本語教育」の現状 (2) 外国につながる子どもの背景	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 17-39 頁を読んでノートにまとめる。
4	「子どもの日本語教育」の実践 (1) 言語能力の把握	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 43-59 / 109-126 頁を読んでノートにまとめる。
5	「子どもの日本語教育」の実践 (2) 教科学習と日本語学習	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 81-105 頁を読んでノートにまとめる。
6	「子どもの日本語教育」の実践 (3) 子どものための日本語教材	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 61-79 頁を読んでノートにまとめる。
7	支援準備 リソース室の活用	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読み、支援方法をまとめる。



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	実習①小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
9	実習①振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
10	実習②小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
11	実習②振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
12	実習③小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
13	実習③振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
14	実習④小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
15	中間プレゼンテーション サービスラーニングの意義を振り返る	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
16	実習⑤小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
17	実習⑤振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
18	実習⑥小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
19	実習⑥振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
20	実習⑦小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
21	実習⑦振り返りと報告 「子どもの日本語教育」で育てる言語の力	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 127-145 頁を読んでノートにまとめる。
22	実習⑧小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
23	実習⑧振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
24	実習⑨小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
25	実習⑨振り返りと報告 外国につながる子どものキャリアデザイン	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる。
26	実習⑩小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	最終プレゼンテーション (1)	全体の振り返り プレゼンテーション	プレゼンテーション準備。
28	最終プレゼンテーション (2)	プレゼンテーション	最終レポートを書く。

テキスト	西川朋美『外国につながる子どもの日本語教育』（くろしお出版）
履修条件、 前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他 特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE302: サービスラーニング (小中学校日本語支援B)			担当教員	宮崎 幸江
開講期	秋	開講時限	月木2限	研究室	4217
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2年
				オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要			学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。			4-⑤, 5-①
キーワード	年少者日本語教育、バイリンガリズム、多文化共生、アクティブラーニング				
授業の概要	この授業では、サービスラーニング (カレッジフレンド) に参加し、秦野市内の小中学校に在籍する外国人児童生徒の日本語及び教科学習支援を行う。サービスラーニングでは、決められた学校で木曜日の2限 (学期中 11 回) に活動を行い、月曜日とサービスラーニングのない木曜日には学内で日本語支援の方法やバイリンガル環境の子どもの発達について学ぶ。				
達成目標 (授業の目的)	グローバル化が進む現代社会における外国人児童生徒を取り巻く環境や教育課題を理解できるようになる。特に日本の学校で学ぶ外国人児童生徒の言語発達について、理論的に考察できるようになる。地域の課題を理解し、多文化共生に向けて自ら行動できるようになる。				
到達目標 (学修成果)	① 支援対象の言語的ニーズを掴み相手に合わせた支援が工夫できるようになる。 ② 地域の課題に対する理解が進み、多文化共生的な視点からの意見が持てるようになる。 ③ サービスラーニングを通して社会人として成長する。				
評価方法	① 授業への積極参加 : 20% ② サービスラーニング実習 : 30% ③ プレゼンテーション : 20% ④ レポート : 30%				
評価基準	① 授業への積極参加 : 授業でディスカッション等に積極的に参加しているかを評価する。 ② サービスラーニング実習 : 積極的に参加し、毎回振り返りを期日までに提出しているか、また活動において工夫や成長があるかを評価する。 ③ プレゼンテーション : 自分の成長や変化、工夫を明確に述べられるかを評価する。 ④ レポート : 地域の課題を意識し、サービスラーニングを通して自分の視野を広げられたか、自己の学びを客観的に分析できているかを評価する。 ※成績は「P (合格)」「X (不合格)」のいずれかで評価されます。				
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally				
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。				

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	第1章 公立小学校での「子どもの日本語教育」を知る	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 3-7 頁を読んでノートにまとめる
2	第2章 日本社会の中の「子どもの日本語教育」を知る	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 8-12 頁を読んでノートにまとめる
3	日本語支援の必要な子どもの特徴	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 12-16 頁を読んでノートにまとめる
4	カレッジフレンドの支援対象と内容	講義、グループディスカッション、質疑応答	前年度の報告書を読んで要点をまとめる
5	第3章 子どもの日本語力	巡回先での実習の観察と助言	教科書 43-59 頁を読んでノートにまとめる
6	実習 1 : 派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
7	第5章 教科学習と日本語学習をつなぐ	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 81-108 頁を読んでノートにまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	実習2：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
9	第6章 教科学習に必要な言語力について考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 109-126 頁を読んでノートにまとめる
10	実習3：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
11	実習4：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
12	第7章 子どもの第2言語習得について知る	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 127-145 頁を読んでノートにまとめる
13	実習5：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
14	第4章 子どものための日本語教材を使う・作る	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 61-79 頁を読んでノートにまとめる
15	実習6：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
16	第3章 子どもの日本語力を評価する1	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 43-49 頁を読んでノートにまとめる
17	実習7：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
18	第3章 子どもの日本語力を評価する2	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 50-59 頁を読んでノートにまとめる
19	実習8：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
20	第8章 日本語という言語を外から見る	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 147-169 頁を読んでノートにまとめる
21	実習9：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
22	第9章 母語・継承語も育てる	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 171-192 頁を読んでノートにまとめる
23	発達障害と外国人の子ども	講義、グループディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる
24	インクルーシブ教育とろう	講義、グループディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる
25	やさしい日本語	講義、グループディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる
26	実習10：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	実習11：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
28	プレゼンテーション	講義、グループディスカッション、質疑応答	レポートを書く

テキスト	西川朋美『外国につながるこどもの日本語教育』（くろしお出版）
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスマーケティング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE303: サービスラーニング (地域日本語支援 A)			担当教員	宮崎 幸江	
開講期	春	開講時限	火金 5 限		研究室	4217
分類	選択	単位	3	標準受講年次	2 年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				4-⑤, 5-①
キーワード	多文化共生、やさしい日本語、社会参加、居場所、参加型学習					
授業の概要	日本に住む外国籍の人々に対して、日本語や教科学習支援を行うために必要な知識やスキルを講義で学び、実習では担当する外国につながるのある学習者に継続して支援を行う。					
達成目標 (授業の目的)	本科目は、グローバル化により多文化化が進む日本社会において「多文化共生社会」実現のために、地域社会における外国籍市民の課題について理解し、課題解決に向けた行動を起こせる人材を育成することが目的である。					
到達目標 (学修成果)	日本語非母語話者の日本語のニーズを理解し、相手に合わせてコミュニケーションを図ることができるようになる。支援活動の計画・実践・振り返り・改善という一連の行動を自主的に続けることができるようになる。また、外国籍市民を含む地域社会に目を向け、当事者として考え行動することができるようになる。					
評価方法	① 授業への積極参加：20% ② サービスラーニング実習：30% ③ プレゼンテーション：20% ④ レポート：30%					
評価基準	① 授業への積極参加：授業での話し合いに積極的に参加し貢献できているかを評価する。 ② サービスラーニング実習：実習に積極的に参加し、毎回の振り返りを期限内に提出しているか、また活動において工夫や成長があるかを評価する。 ③ プレゼンテーション：それまでの支援での工夫や学びを評価する。 ④ レポート：活動をまとめ自己の学びを分析できているかを評価する。 ※成績は「P (合格)」「X (不合格)」のいずれかで評価されます。					
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	日本で育つ外国人家庭のこども言語と教育問題	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 8-16 頁を読んでノートにまとめる
2	グローバル化と日本の学校文化 秦野市の多文化化の状況について考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 17-24 頁を読んでノートにまとめる
3	居場所としての地域日本語教室	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 42-52 頁を読んでノートにまとめる
4	多様な子どもたちと日本語支援	講義、グループディスカッション、質疑応答	リソースルームで成人用の教材を閲覧する
5	多様な保護者	講義、グループディスカッション、質疑応答	リソースルームで子ども用の教材を閲覧する
6	教材選びと支援の方法	講義、グループディスカッション、質疑応答	前の学期の支援報告を読み、要点をまとめる
7	実習 1: コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く



授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	1回目の振り返り 支援相手を知る：人間関係の構築	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
9	実習2：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
10	2回目の振り返り やさしい日本語について	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
11	実習3：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
12	3回目の振り返り 読む力をつける方法	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
13	実習4：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
14	4回目の振り返り 読み聞かせの方法	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
15	実習5：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
16	子どもたちの家庭環境を考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
17	実習6：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
18	サービスラーニングの意味と自己の学びを考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
19	実習7：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
20	個々の子どもの課題を整理する	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
21	実習8：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
22	子どもの個性にあった支援方法	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
23	実習9：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
24	夏祭りプロジェクトの計画	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
25	実習10：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
26	夏祭りプロジェクトの計画	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	実習11：コミュニティフレンド拠点での日本語支援 日本語支援と夏祭り	拠点での観察と指導	支援報告を書く
28	プレゼンテーションとまとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	レポートを書く

テキスト	咲間まり子『保育者のための外国人保護者支援の本』（かもがわ出版）		
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。		
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。		



科目名	SLE304: サービスラーニング (地域日本語支援 B)			担当教員	鷲見 あつみ	
開講期	秋	開講時限	火金 5 限		研究室	4号館 2階 講師控室
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				4-⑤, 5-①
キーワード	地域日本語教室、「生活者としての外国人」、多文化共生、教科学習支援					
授業の概要	学校外での外国人家庭の子どもや保護者に対する教科学習支援および日本語を通して、彼らの背景・現状・社会課題について学ぶ。 火曜午後 18～19 時半まで「はだのこども館」において支援活動を行い、金曜日 5 限は学内で教科学習支援の振り返りを行い課題を共有する。また、多文化共生について検討し、他の支援教室の実情について動画視聴で議論を進める。					
達成目標 (授業の目的)	外国人家庭の子どもを取り巻く現状を理解し、個々の日本語能力や背景に応じた支援活動を継続的に行う力を養う。また、活動後の振り返りで課題を見出し、次の実践に繋げることができるようになる。子どもを取り巻く支援者たちとの連携を図り、環境を整える柔軟な対応力を養うことを目指す。					
到達目標 (学修成果)	① 支援対象者との信頼関係を構築し、学習者のニーズを掴むことができる。 ② 支援対象者への予測を超えた事態に臨機応変に対応することができる。 ③ 多文化共生社会づくりを担う人材として成長すること。					
評価方法	① 授業への積極的かつ協力的な参加と活動後の報告		30%			
	② コミュニティフレンドへの積極的な参加		45%			
	③ イベントの企画・実施		25%			
評価基準	① 授業内の議論に積極的に参加し、意見を述べているか。 ② 自らの学習支援を振り返り、報告書を提出したか。 課題を見つけ次の活動へ繋げているか。 ③ 周囲の人と協力してイベントの企画を遂行できたか。 ※成績は「P (合格)」「X (不合格)」のいずれかで評価されます。					
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う/orally					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	秦野市の多文化共生の現状 動画視聴	講義、ディスカッション、質疑応答	資料を事前に読む。
2	地域日本語教室の事例と理解 資料配布	講義、ディスカッション、質疑応答	資料を事前に読む。
3	地域日本語教室の事例と理解 資料配布	講義、ディスカッション、質疑応答	資料を事前に読む。
4	日本語能力の育成と見極め 資料配布	講義、ディスカッション、質疑応答	資料を事前に読む。
5	支援準備 リソース室の活用	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
6	実習① 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
7	振り返り① 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
8	実習② 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	振り返り② 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動の準備
10	実習③ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
11	振り返り③ 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動の準備
12	実習④ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
13	振り返り④ 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動の準備
14	実習⑤ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
15	振り返り⑤ イベントの企画 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動の準備
16	実習⑥ イベントの企画 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
17	振り返り⑥ イベントの準備 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動の準備
18	実習⑦ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
19	振り返り⑦ イベントの準備 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動の準備 イベントの準備
20	実習⑧ イベントの実施 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
21	振り返り⑧ イベントの振り返り 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動の準備
22	実習⑨ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
23	振り返り⑨ 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動の準備
24	実習⑩ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
25	振り返り⑩ 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動の準備
26	実習⑪ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	振り返り⑪ 報告を基に課題共有	講義、ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーション準備
28	最終プレゼンテーション	プレゼンテーション 質疑応答	最終レポートを書き提出。

テキスト	なし。授業内容に関するデータを Moodle 上で配布する。
履修条件、 前提科目	本講の履修には「サービスマーケティング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他 特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	EDU322: リテラシーと多文化教育				担当教員	M. Lupas	
開講期	秋	開講時限	火金5限		研究室	4206	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと	
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				3-④, 4-⑤	
キーワード	literacy education, multicultural education, teaching reading, teaching young learners						
授業の概要	The course is taught in English and introduces the principles of reading and writing instruction used in kindergarten through elementary school grade 5 in the United States and then analyzes videos of classroom teaching in the United States to understand how these principles are applied. Students can use the knowledge gained in this course to improve their skills as language tutors of English. They will also gain awareness of cross-cultural differences between the American and Japanese education systems.						
達成目標 (授業の目的)	Course goals are: ・to understand the basic principles of teaching how to read and write in monolingual, bilingual, and multilingual classrooms, ・to become familiar with methods and materials used to teach literacy skills at the elementary school level, ・and to become aware of cross-cultural similarities and differences in approaches to literacy education.						
到達目標 (学修成果)	By the end of the course students will be able to do the following: (1) Understand and give examples of the key components of teaching reading and how they are carried out in the elementary school classroom. (2) Write clear and organized texts of 300 words or more in English on a regular basis. (3) Summarize and critique the contents of video case studies in small and large group discussion. (4) Compare their own learning experiences with those depicted in the videos and readings.						
評価方法	Participation and discussion 50% Reaction papers 50%						
評価基準	(1) Participation and discussion: Demonstrate accurate comprehension of the readings and videos as well as show ability to reflect on the contents by responding effectively to the instructor's questions orally or through in-class tasks including small-group and whole-group discussions. Demonstrate understanding of the definition of vocabulary, keywords, and key components of literacy by using them to answer the instructor's questions and comment on the videos. (2) Reaction papers: Punctuality, completeness (meets required length of 300 words), organization, and detail in describing, analyzing, and evaluating the video case studies of teaching. Ability to think critically about the video contents (basic components of reading, key terminology, and concepts of literacy instruction as demonstrated in the videos and readings). Ability to compare one's own learning experiences with those depicted in the videos.						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Basic reading skills, oral language, phonological awareness, phonics, fluency, vocabulary	video, lecture, reading	preview the textbook
2	Grades K-2: Video 1: Becoming readers and writers	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
3	Present reaction paper. Textbook reading: "Oral Language" p.8	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
4	Grades K-2: Video 2 Writer's Journal (level appropriate independent writing)	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
5	Present reaction paper. Textbook reading: "Phonological Awareness" p.9	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
6	Grades K-2: Video 3: Building oral language	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Present reaction paper. Textbook reading: “Fluency” p.11	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
8	Grades K-2: Video 4: Thalia learns the details Bilingual schools	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
9	Present reaction paper. Textbook reading: “Learning Vocabulary” p.12	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
10	Grades K-2: Video 5: Assessment driven instruction.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
11	Present reaction paper. Textbook reading: “Prior Knowledge” p.13	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
12	Grades K-2: Video 6: Cassandra becomes a fluent reader. Using visual clues.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
13	Present reaction paper. Textbook reading: “Comprehension” p.14	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
14	Grades K-2: Video 7: Connecting Skills to Text Phonics	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
15	Present reaction paper. Textbook reading: “Motivation” p.15	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
16	Grades K-2: Video 8: Promoting readers as leaders	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
17	Present reaction paper. Textbook reading: “Integrated Reading” p.16	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
18	Grades K-2: Video 11: Staying on Topic Autonomy	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
19	Present reaction paper. Textbook reading: “Assessment” p.18	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
20	Grades 3-5: Workshop 1: Creating contexts for learning.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
21	Present reaction paper. Textbook reading: “Culture factor” p.19	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
22	Grades 3-5: Workshop 2: Fluency and word study.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
23	Present reaction paper. Textbook reading: “The Role of Practice” p.20	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
24	Grades 3-5: Workshop 3: Building comprehension	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
25	Present reaction paper. Textbook reading: “Conclusion” p.21	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
26	Grades 3-5: Workshop 4: Writing (reading and writing connection).	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Present reaction paper. Discussion.	group work, video, discussion	write a reaction paper
28	Review and individual consultations.	Lecture, one-on-one consultations	read video description handout

テキスト	① Elizabeth Pang and others. <i>Teaching Reading</i> (UNESCO International Bureau of Education, PDF in Moodle). ② Videos and handouts from <a href="http://learner.org">http://learner.org</a> and other sources.
参考書	Horn, Martha, and Mary Ellen Giacobbe. <i>Talking, Drawing, Writing</i> (Stenhouse). Banks, James. <i>An Introduction to Multicultural Education</i> (Pearson).
その他 特記事項	Reaction papers for this class should be written in English.

